

**令和元年度 宮崎県結婚・子育て意識調査
調査結果報告書**

令和元年10月

宮崎県

目次

I はじめに.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査時期.....	1
4. 回収率.....	1
II 調査結果.....	2
1. あなたご自身のことについて、一般的なことがらをおたずねします。.....	2
2. あなたご自身のことについて、一般的なことがらをおたずねします。.....	15
3. 出産や子育てに関することについておたずねします。.....	50
4. 出生数の減少に関することについておたずねします。.....	71
5. 子育て環境の整備に関することについておたずねします。.....	75
6. 子どもの貧困対策に関することについておたずねします。.....	100
7. 仕事と子育ての両立に関することについておたずねします。.....	105
8. 問23～問32については、子どもをお持ちの方のみお答えください。既に子どもが就 学中の方は、就学前当時のことについてお答えください。.....	126
9. 問33については、子どもをお持ちでない方のみお答えください。.....	165
10. 問34～問37については、未婚の方のみお答えください。.....	167

I はじめに

1. 調査の目的

本調査は、結婚や子育てに関する県民の意見・ニーズを把握し、今後の子ども・子育て支援の各種施策の推進に活用するとともに、宮崎県が策定する「みやざき子ども・子育て応援プラン」策定の基礎資料として実施した。

2. 調査方法

住民基本台帳から無作為抽出した宮崎県内居住の20代～40代の男女3,000人(男性1,500人、女性1,500人)に対して郵送法で実施。

3. 調査時期

令和元年7月

4. 回収率

	配布数	回収数	回収率
男性	1,500票	292票	19.5%
女性	1,500票	593票	39.5%
性別無回答	-	9票	-
合計	3,000票	894票	29.8%

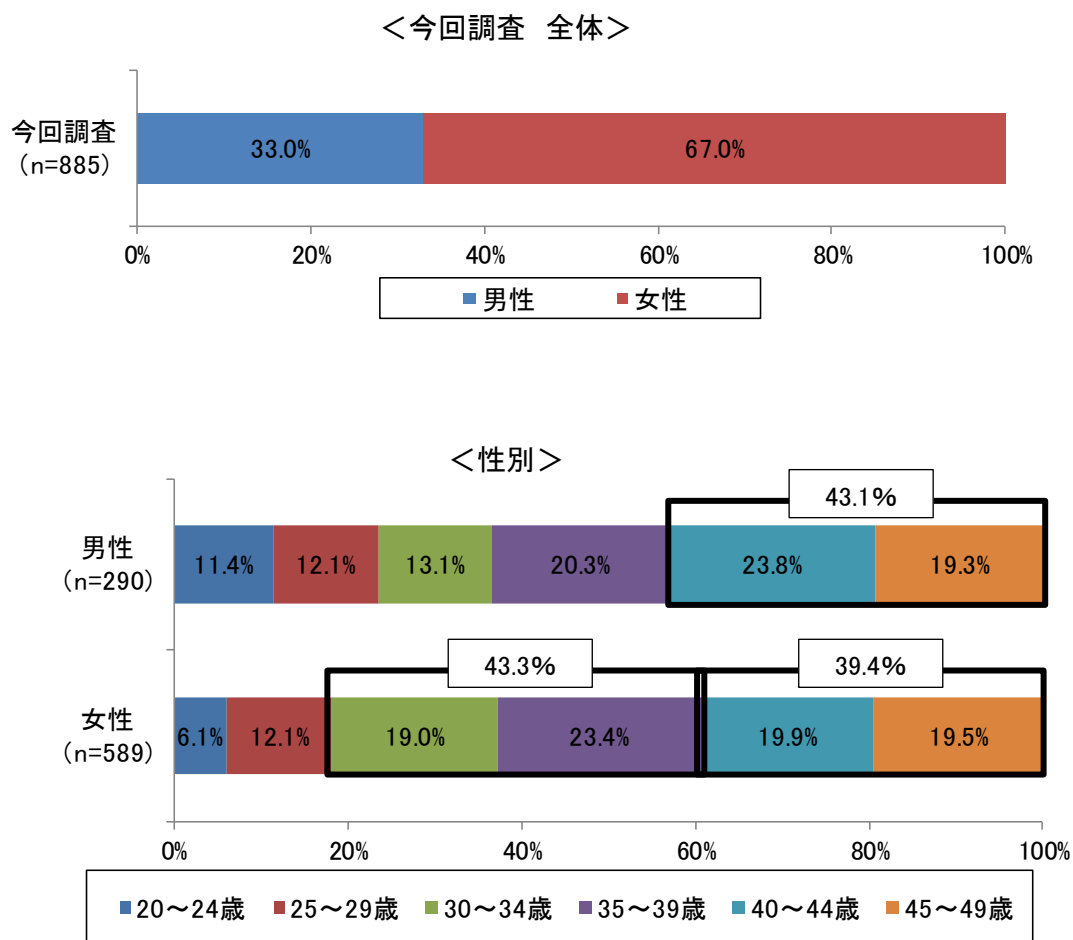
Ⅱ 調査結果

1. あなたご自身のことについて、一般的なことがらをおたずねします。

(1) 性別

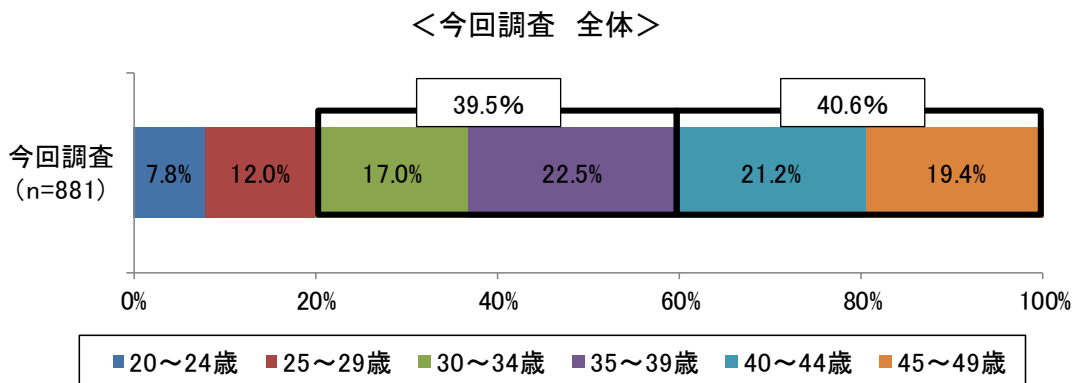
回答者は「女性」の割合(67.0%)が高く、「男性」は33.0%となっている。

また、「男性」は「40代」の割合(43.1%)が最も高く、「女性」は「30代」の割合(43.3%)が最も高くなっている。



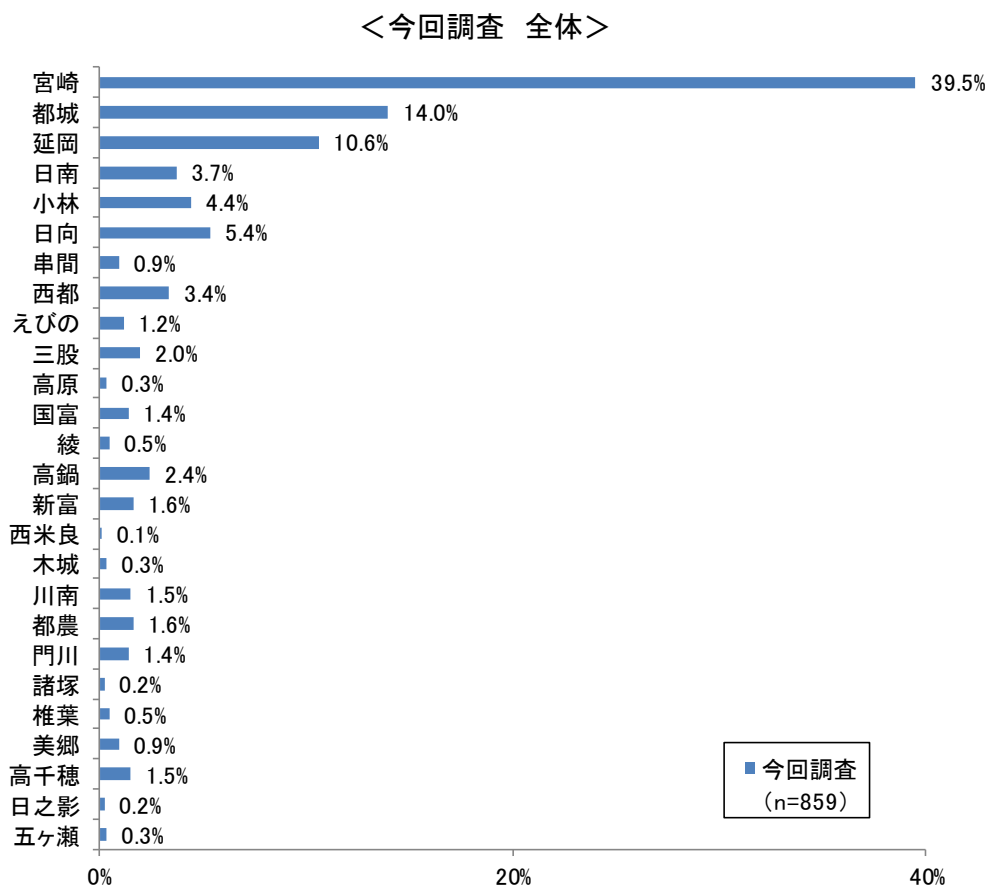
(2) 年齢

「40代」の割合(40.6%)が高く、「20代」(19.8%)が最も低くなっている。



(3) 居住地

「宮崎」の割合(39.5%)が高く、トップとなっている。これに「都城」(14.0%)・「延岡」(10.6%)を加えると3市が全体の約3分の2(64.1%)を占めている。

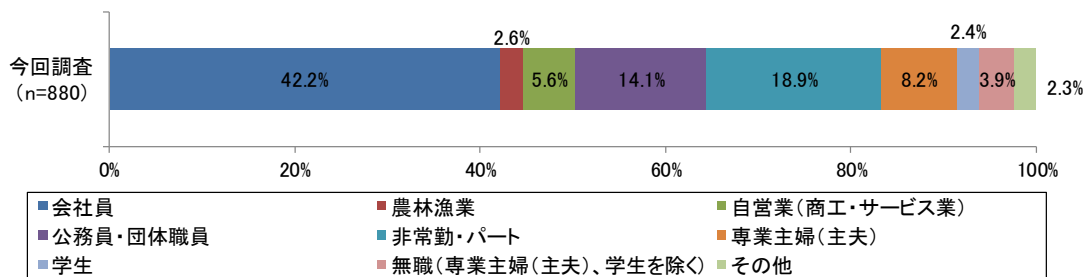


(4)職業

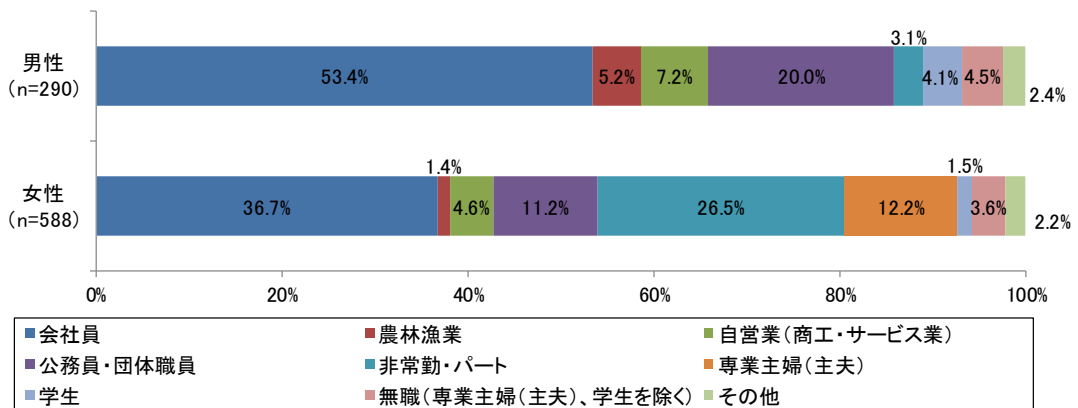
「会社員」の割合(42.2%)が最も高くなっている。「非常勤・パート」(18.9%)が次に高くなっている。

性別でみると、「男性」は「会社員」が半数以上(53.4%)を占めている。「女性」は「会社員」の割合(36.7%)が最も高く、「非常勤・パート」(26.5%)次に高くなっている。なお、女性の「専業主婦」は12.2%となっている。

<今回調査 全体>



<性別>



(6)ご本人を含む世帯人員

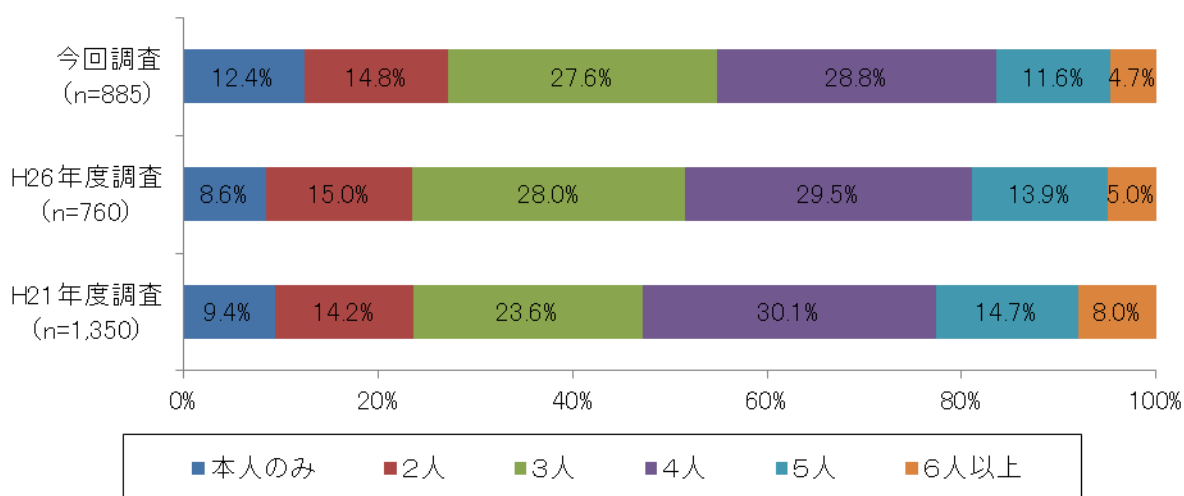
今回調査の全体(以下:全体)では、「4人」の割合(28.8%)が最も高く、次に「3人」の割合(27.6%)が高くなっている。

過去調査(H26・21年度:以下同じ)との比較では、「4人以上」の割合が減少傾向にある。

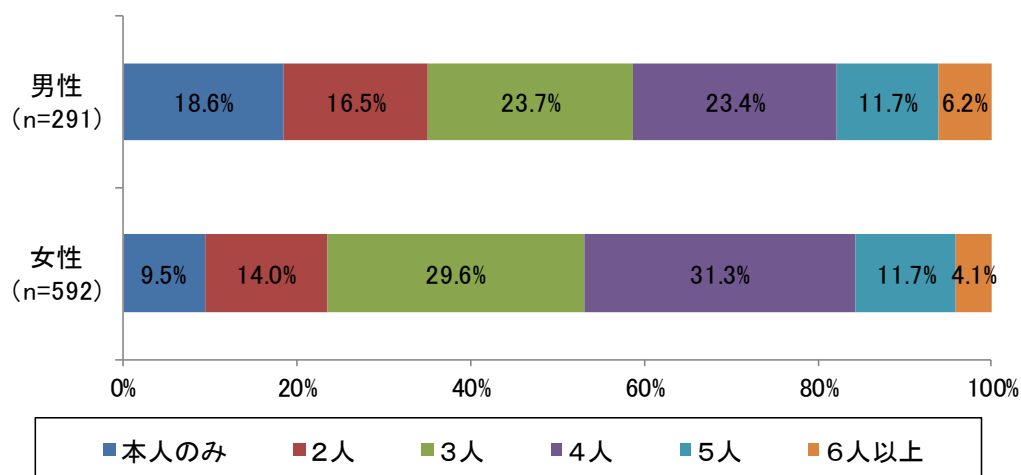
性別では、男女とも「3人」「4人」の割合が高い中で、「本人のみ」は「男性」(18.6%)が「女性」(9.5%)を9.1ポイント上回っている。

年代別では、「20歳代」の「本人のみ」は他の年代を10ポイント以上上回っている。

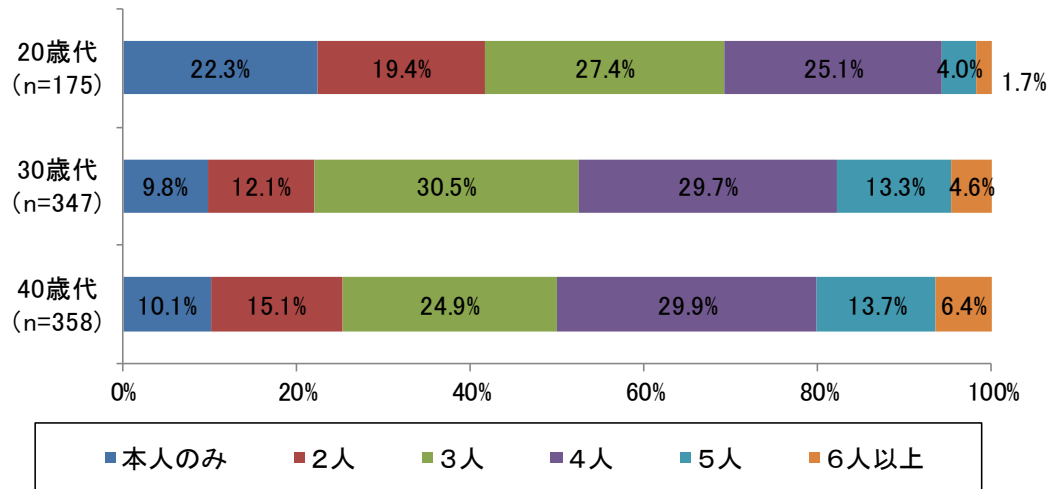
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



(7) 世帯構成

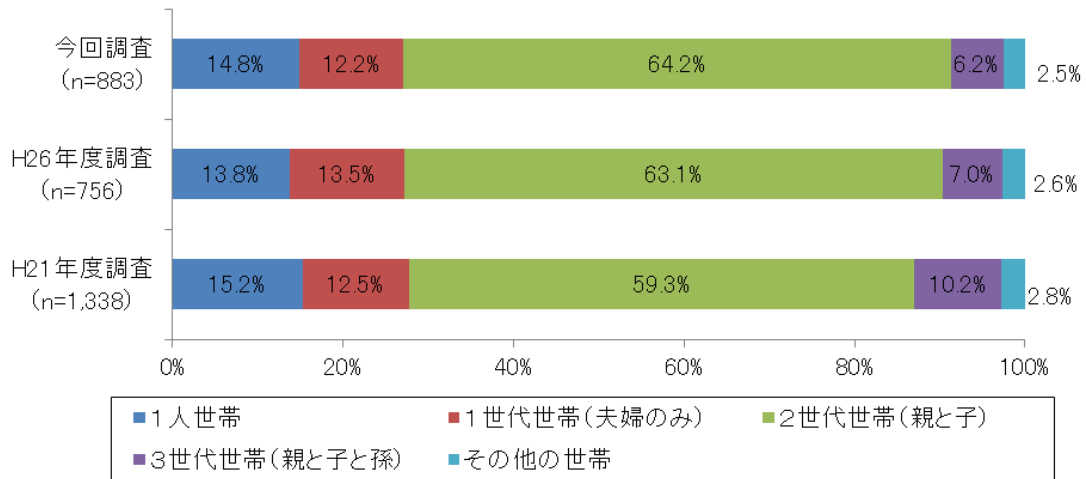
全体では、「2世代世帯(親と子)」の割合(64.2%)が最も高くなっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

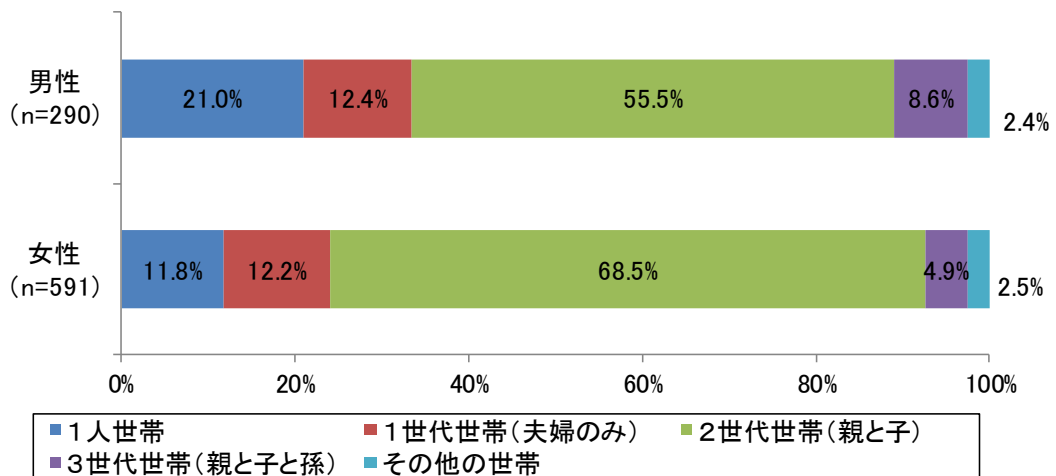
性別では、男性の「1人世帯」の割合(21.0%)は「女性」(11.8%)を9.2ポイント上回っている。

年代別では、「20歳代」で「1人世帯」の割合が25.3%であり、他の年代を10ポイント以上上回っている。

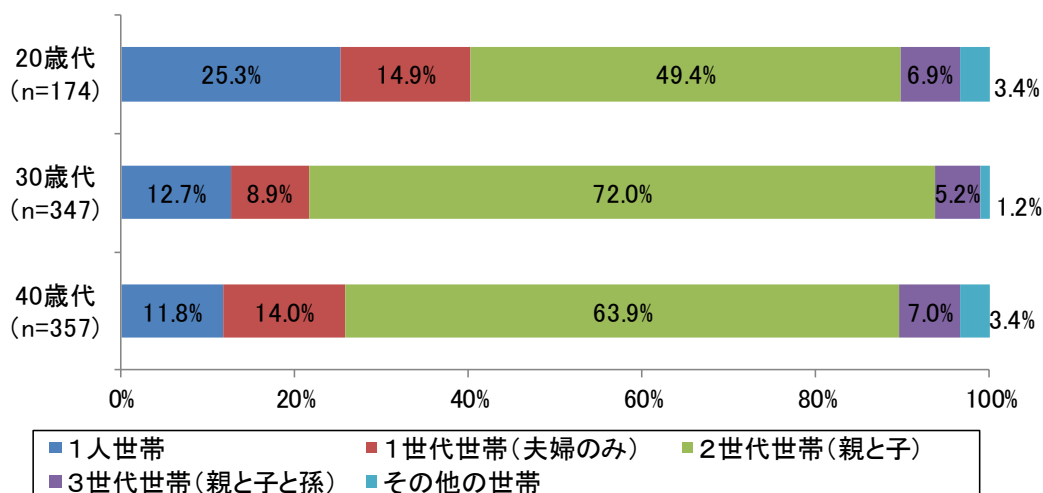
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



(8) 婚姻の有無

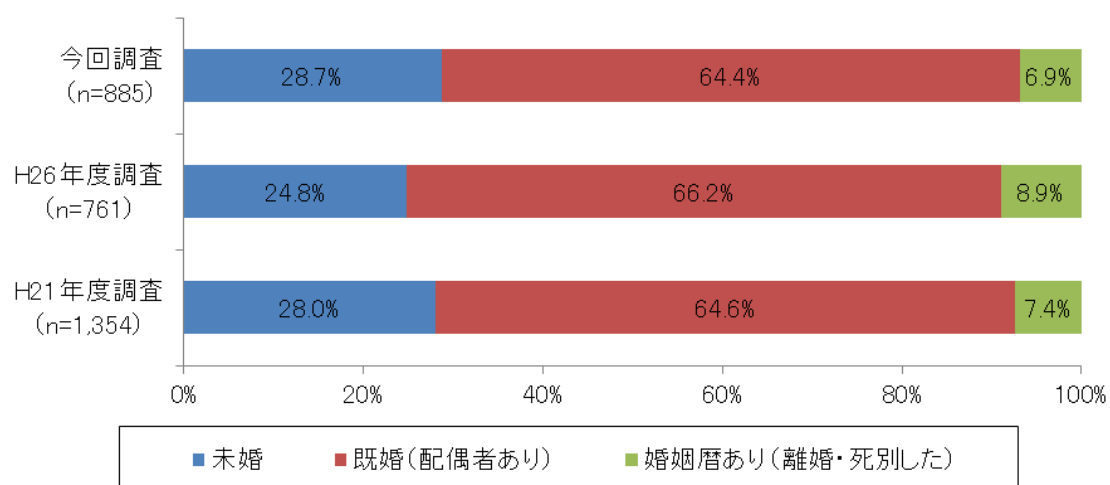
全体では、「未婚」の割合が28.7%、「既婚(配偶者あり)」は64.4%となっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

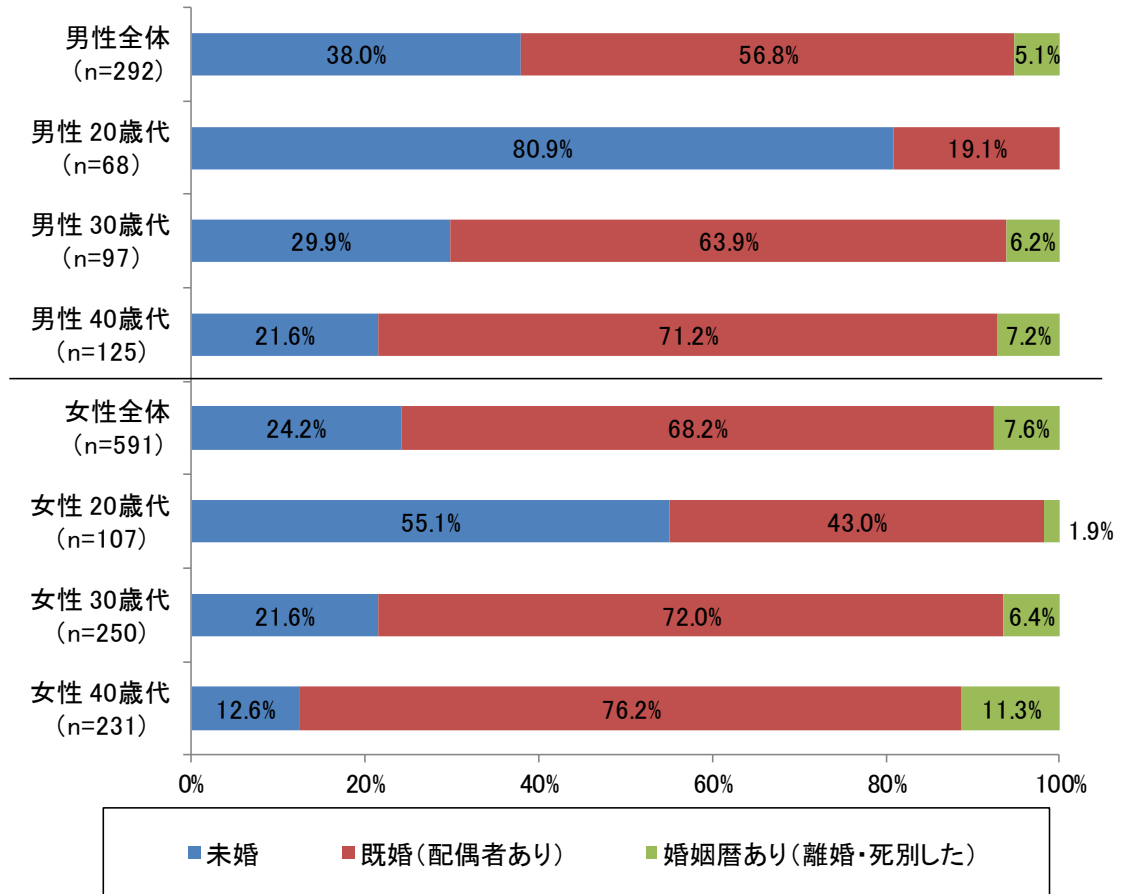
性別では、男性の「未婚」の割合(38.0%)は、「女性」(24.2%)を13.8ポイント上回っている。

性別・年代別では、「男性20歳代」の「未婚」の割合は80.9%で他の年代を大きく上回っている。また、男性はいずれの年代でも「未婚」の割合は女性を上回っている。

<過去調査との比較>



<性別・年代別>



(9)子どもの有無

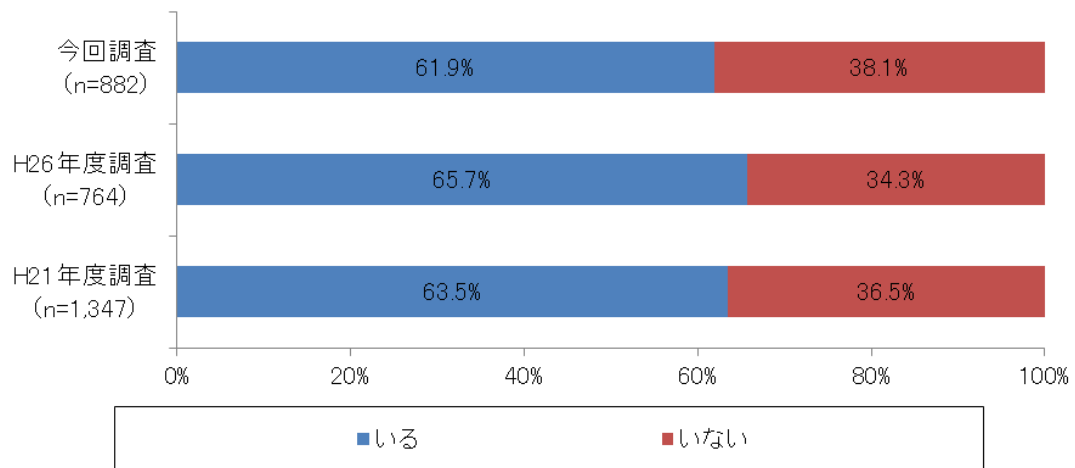
全体では、「いる」の割合が61.9%、「いない」は38.1%となっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

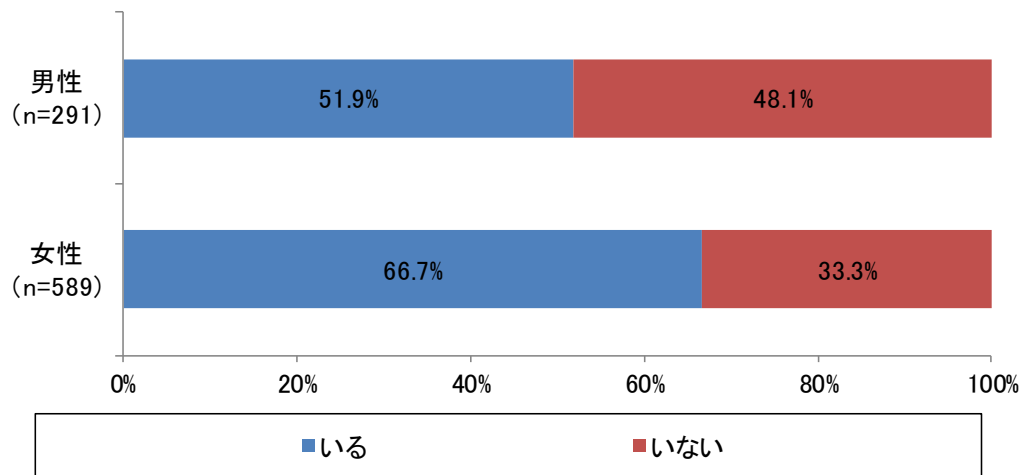
性別では、女性の「いる」の割合(66.7%)は、「男性」を14.8ポイント上回っている。

年代別では、「20歳代」の「いない」の割合(75.4%)は他の年代を大きく上回っている。

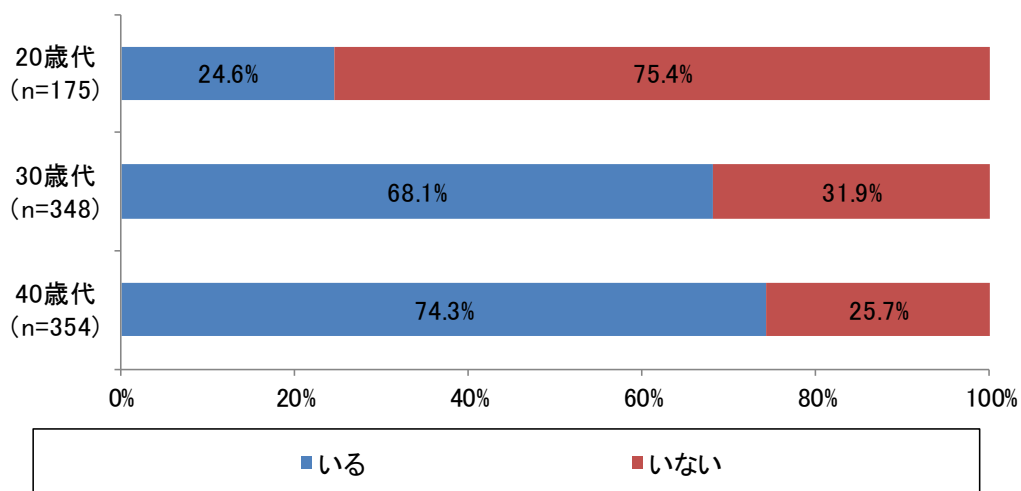
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



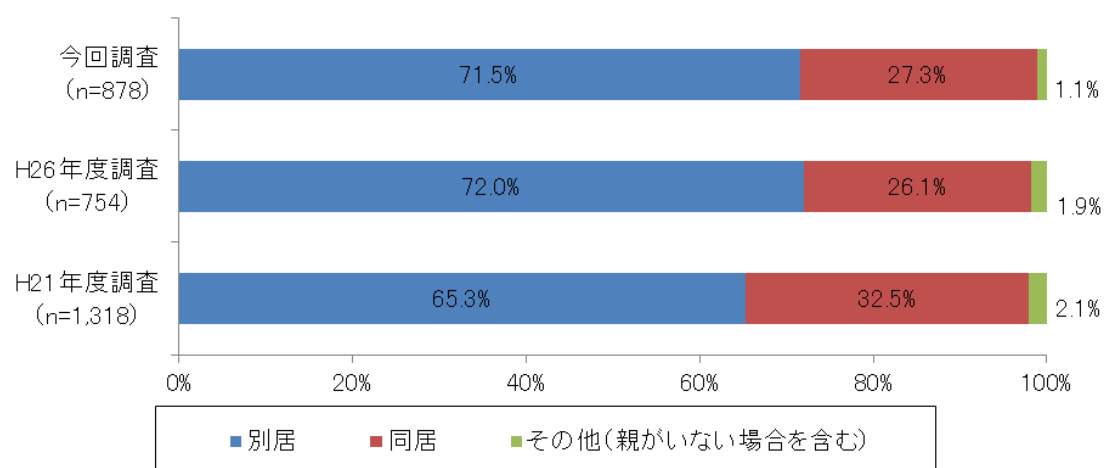
(10)①親との同居または別居の状況

全体では、「別居」の割合が71.5%、「同居」は27.3%となっている。

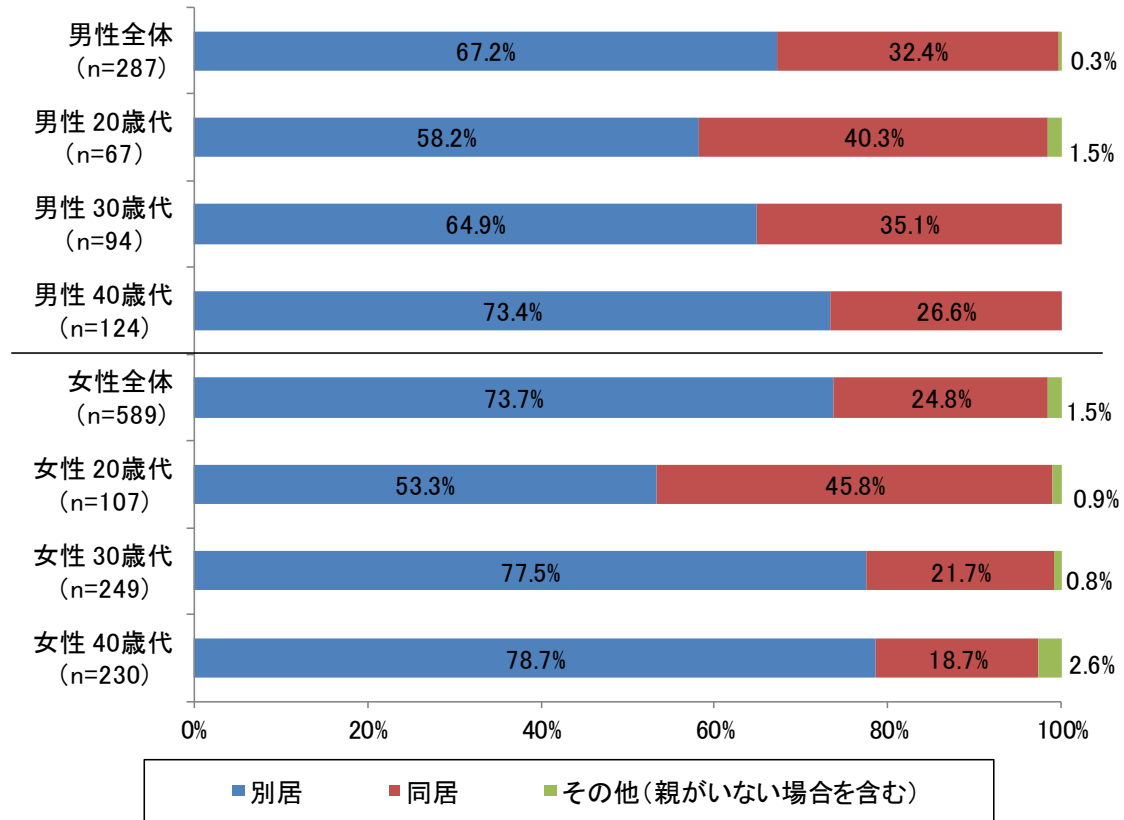
過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

性別では、男女とも「別居」の割合が約7割となっている。その中で、男女とも20歳代は「同居」の割合が4割を上回り、他の年代よりも高くなっている。

<過去調査との比較>



<性別・年代別>



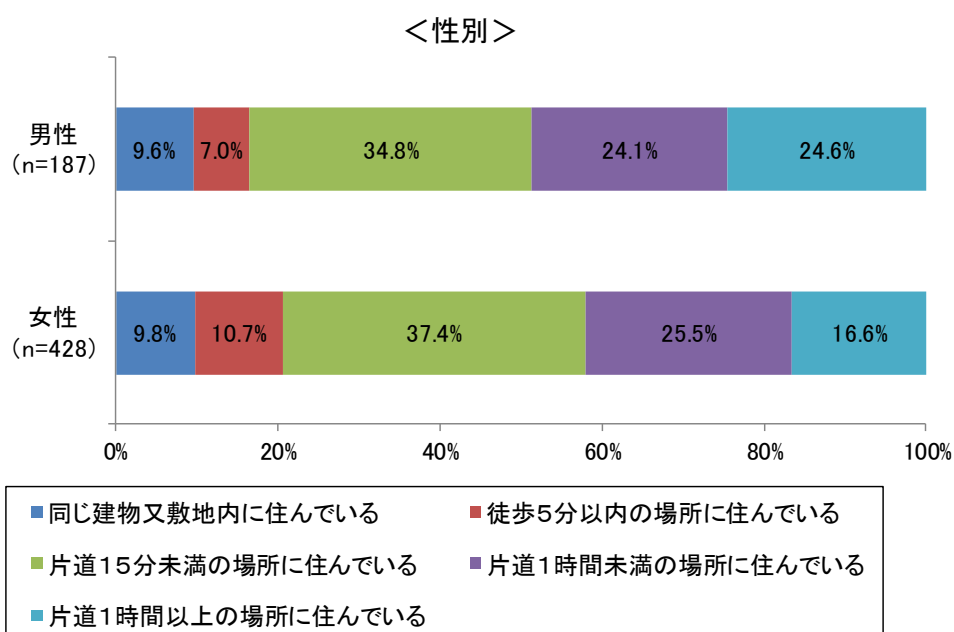
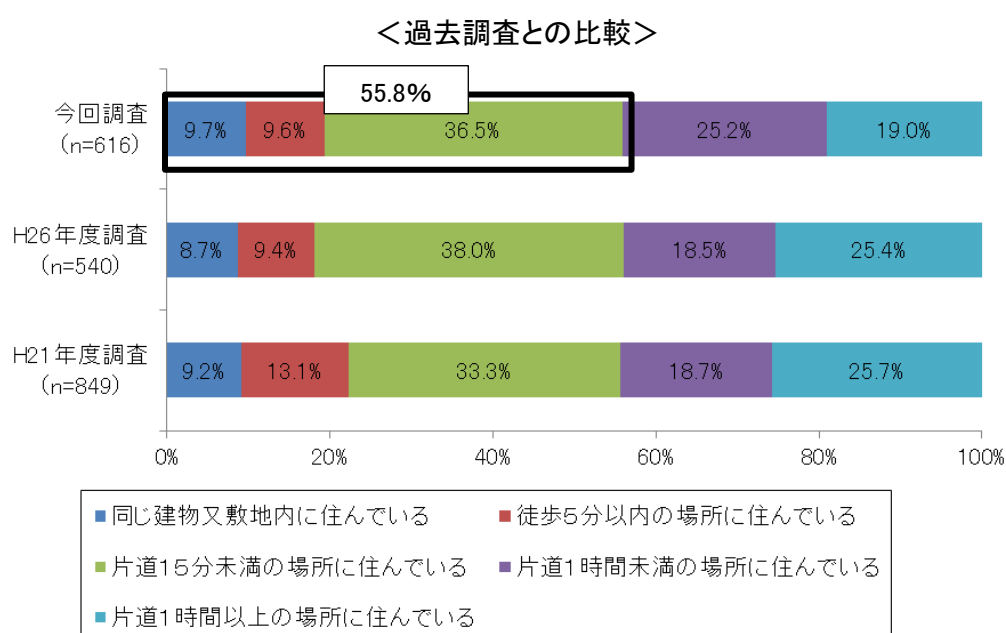
②別居の場合、ご本人又は配偶者の親の居住地(どちらか近い方)

全体では、「片道15分未満の場所に住んでいる」の割合(36.5%)が最も高く、「同じ建物又敷地内に住んでいる」(9.7%)と「徒歩5分以内の場所に住んでいる」(9.6%)を加えた”近居”は55.8%となっている。

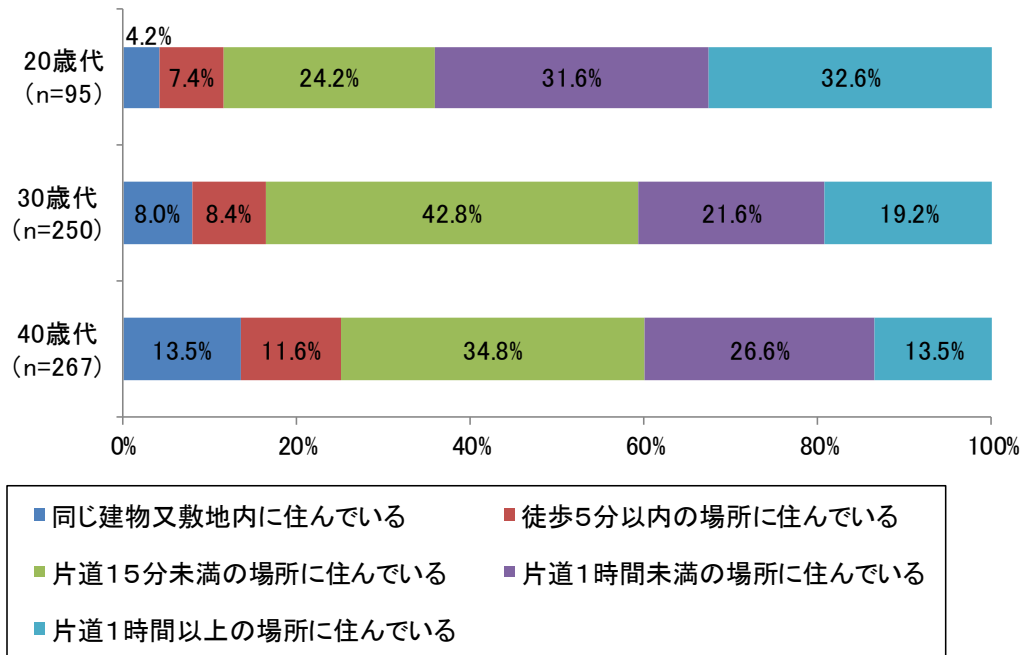
過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

性別では、男女とも全体と同様の傾向となっている。

年代別では、「20歳代」は「片道1時間以上の場所に住んでいる」(32.6%)や「片道1時間未満の場所に住んでいる」(31.6%)の割合が高くなっており、他の年代と異なった傾向を示している。



<年代別>



2. あなたご自身のことについて、一般的なことがらをおたずねします。

問1 ア～カまでの考え方について、どのように感じますか。(○は1つ)

ア 生涯を独身で過ごすというのは望ましい生き方ではない

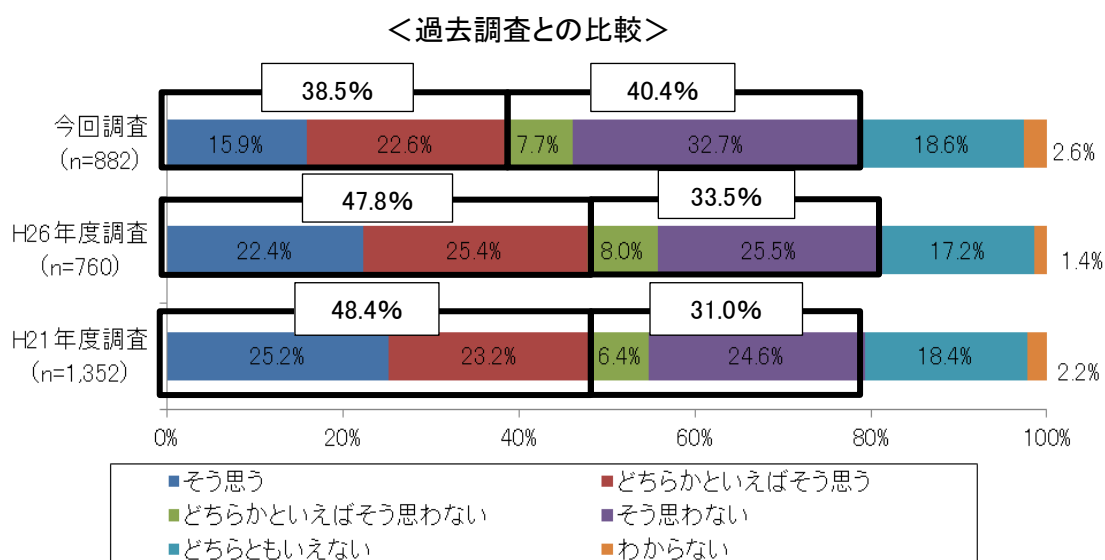
全体では、「そう思う」(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計:以下同じ)の割合は38.5%であり、「そう思わない」(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計:以下同じ)の割合(40.4%)とほぼ同じとなっている。

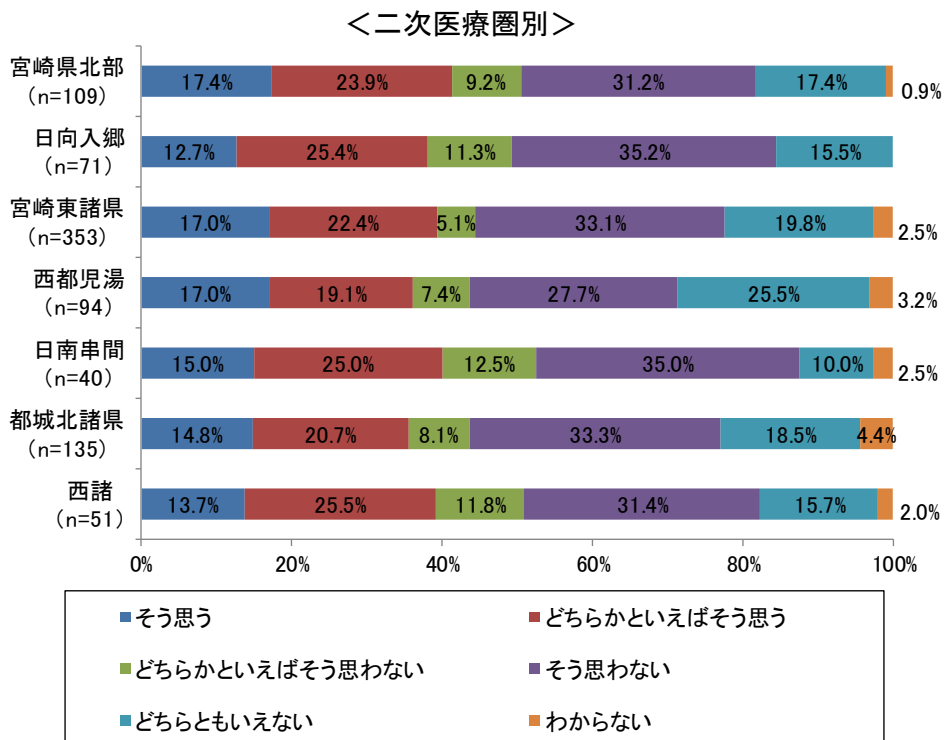
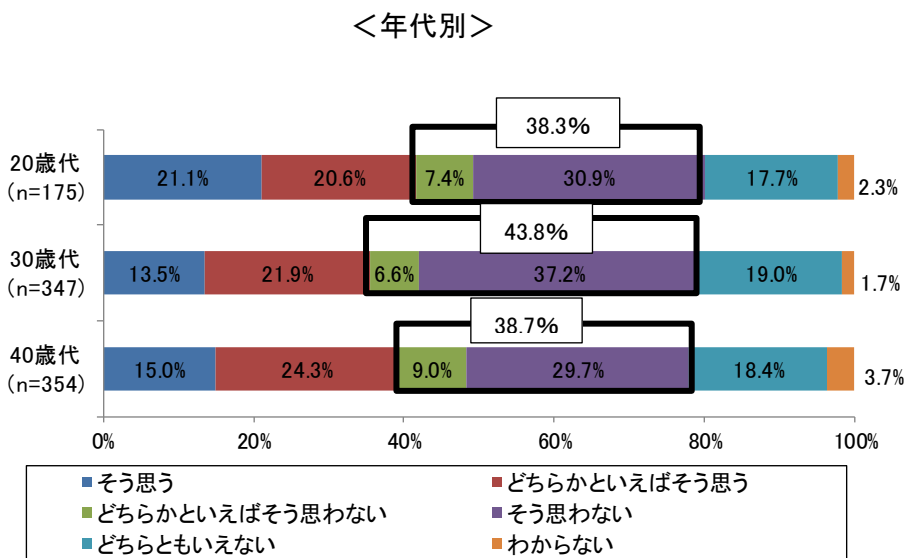
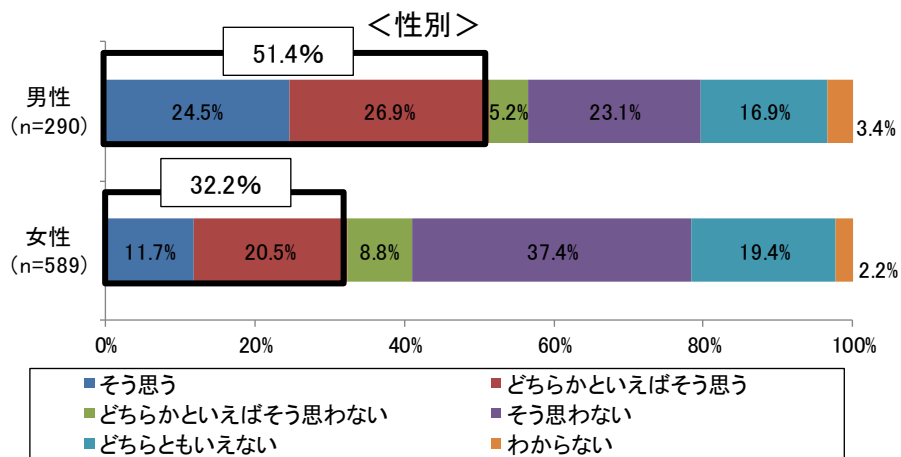
過去調査との比較では、「そう思う」の割合が10ポイント程度減少している。

性別では、「そう思う」の割合が男性は約半数(51.4%)となっているのに対し、女性は約3分の1(32.2%)となっている。

年代別では、「30歳代」の「そう思わない」は43.8%であり、他の年代を5ポイント程度上回っている。

二次医療圏別では、圏域ごとに大きな差異はみられない。





イ 結婚したら、家庭のために自分の個性や生き方を犠牲にするのは当然である

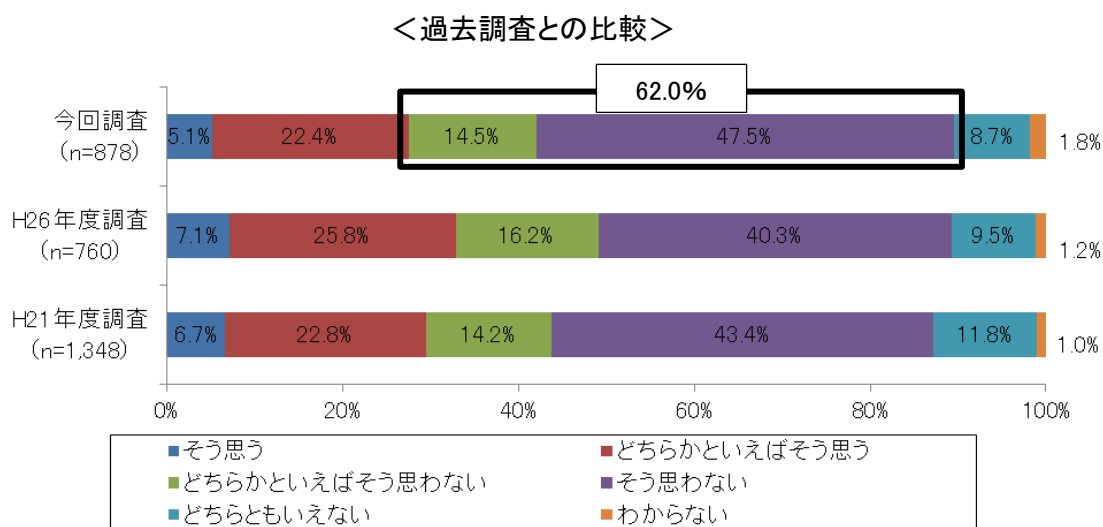
全体では、「そう思わない」の割合は62.0%となっている。

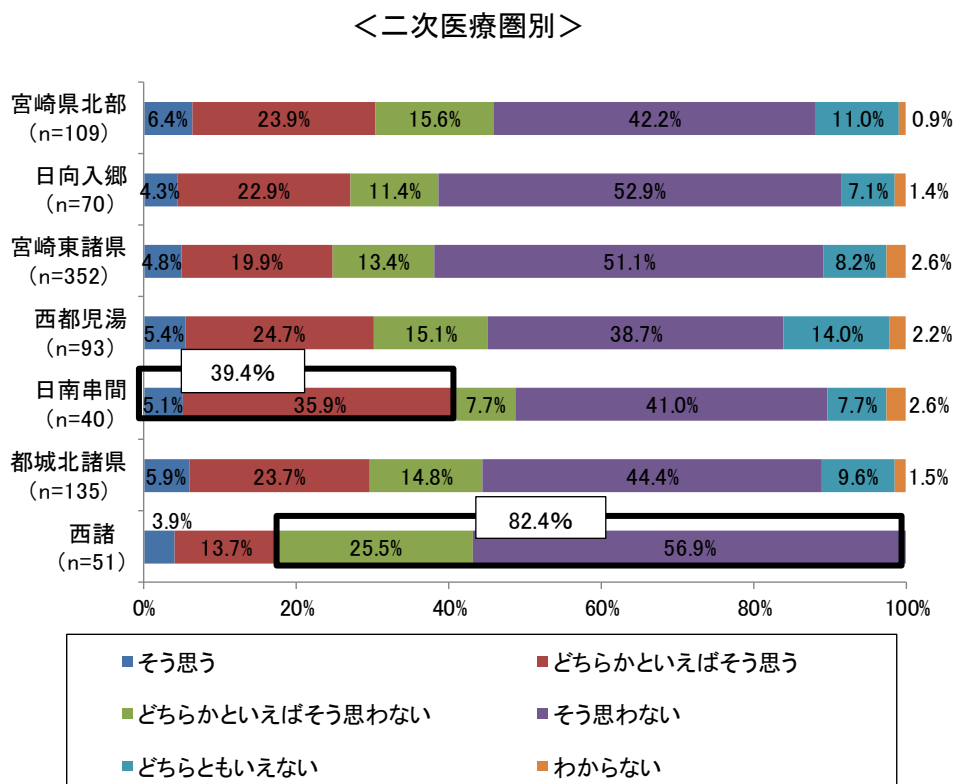
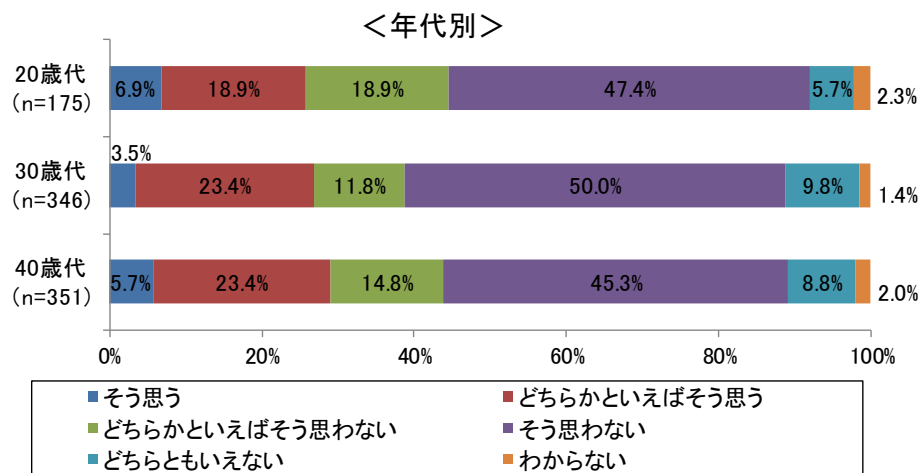
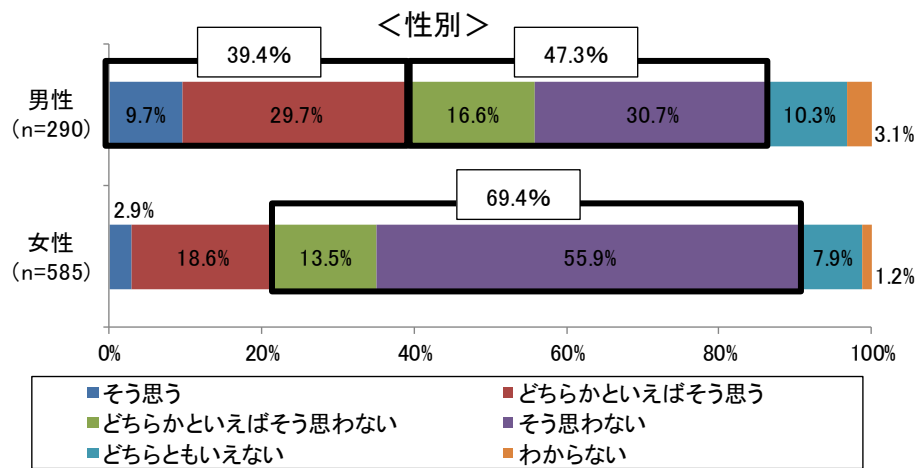
過去調査との比較では、傾向に大きな差異は見られない。

性別では、女性の「そう思わない」は69.4%で男性の47.3%を大きく上回っている。一方、男性は「そう思う」の割合(39.4%)が高くなっている。

年代別では、年代ごとに大きな差異はみられない。

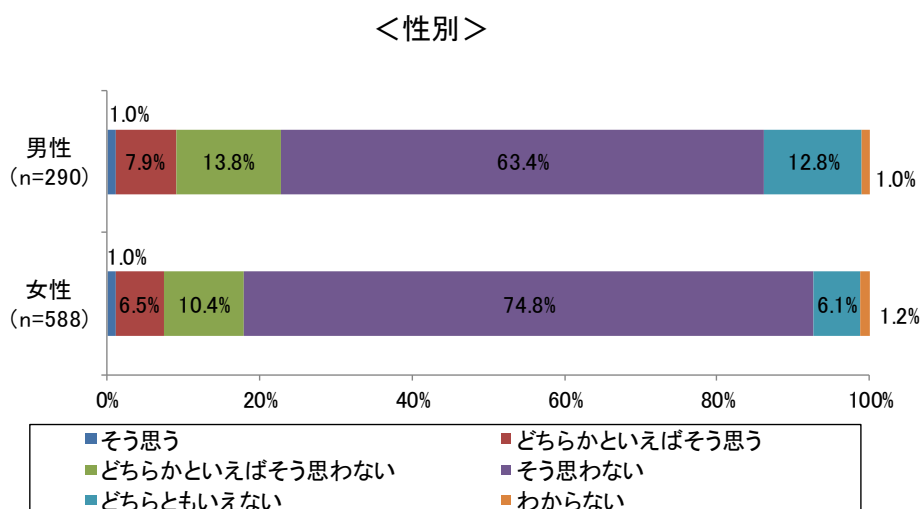
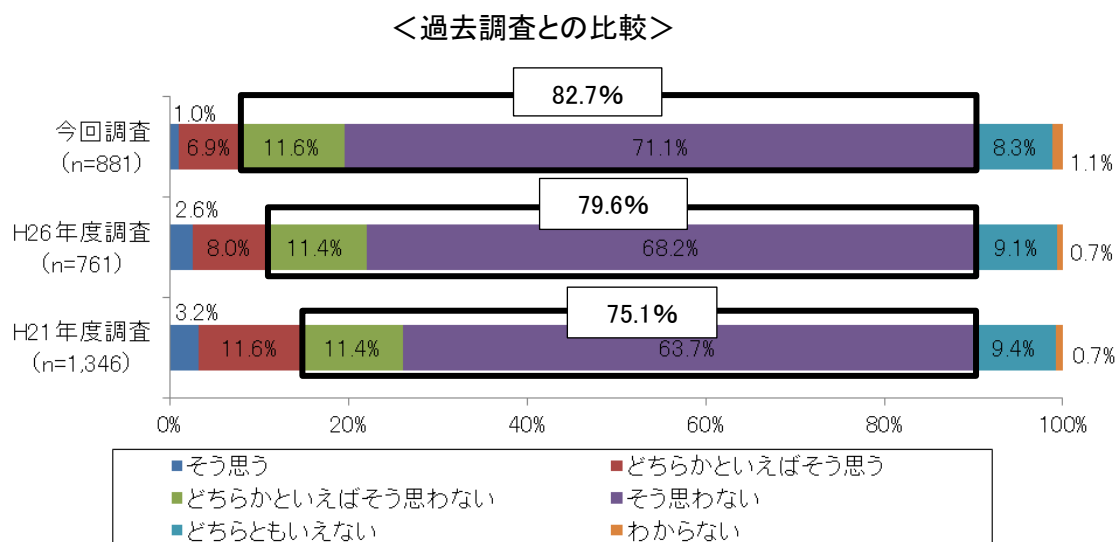
二次医療圏別では、「日南串間」で「そう思う」が39.4%、「西諸」で「そう思わない」が82.4%となっており、他の圏域を大きく上回っている。



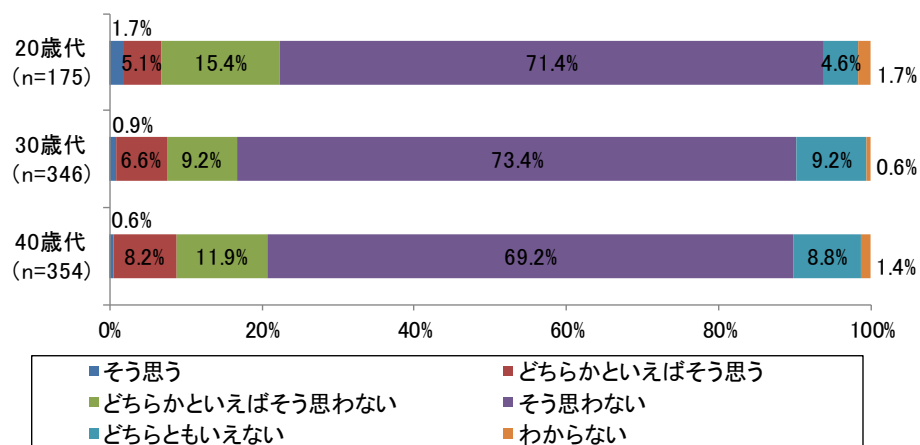


ウ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

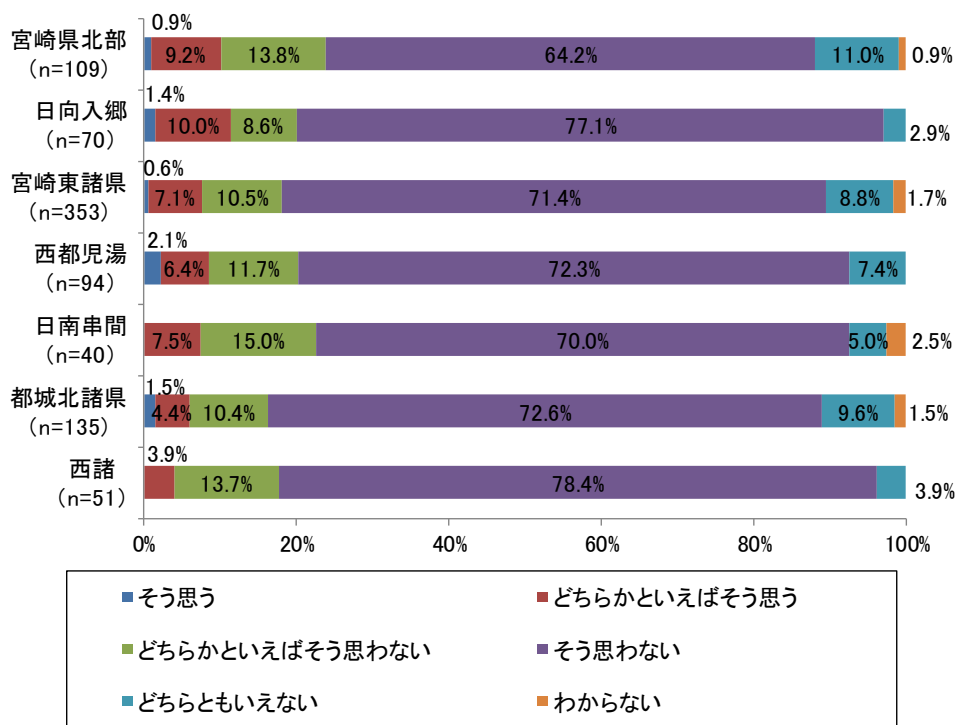
全体では、「そう思わない」の割合は82.7%となっている。
 過去調査との比較では、「そう思わない」が増加傾向にある。
 性別では、男女間に傾向に大きな差異はみられない。
 年代別では、年代ごとに大きな差異はみられない。
 二次医療圏別では、圏域ごとに大きな差異はみられない。



<年代別>



<二次医療圏別>



エ 結婚したら子どもを持つべきである

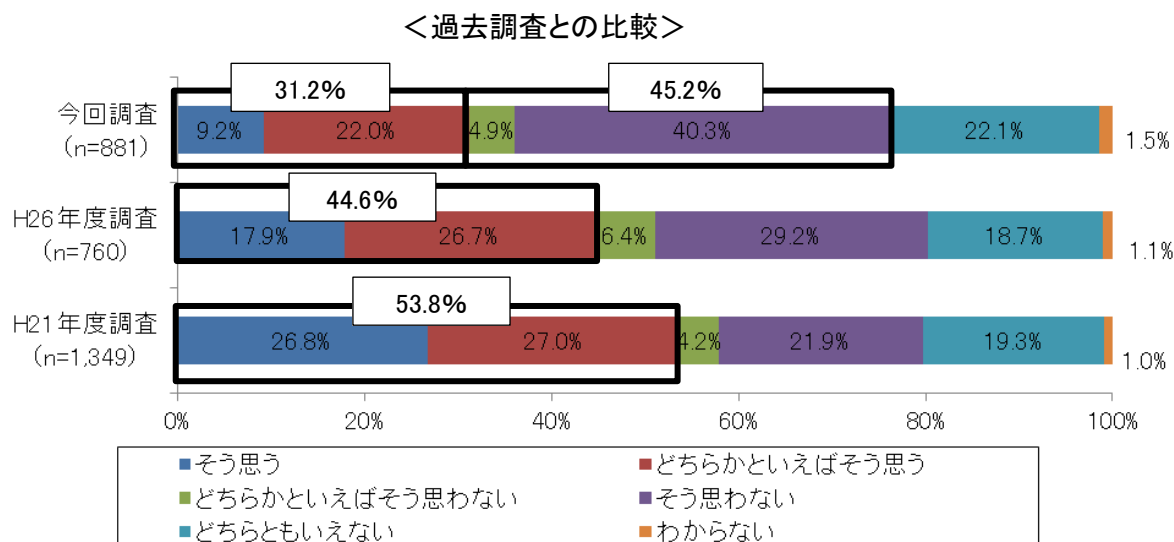
全体では、「そう思わない」の割合が45.2%で、「そう思う」(31.2%)を14.0ポイント上回っている。

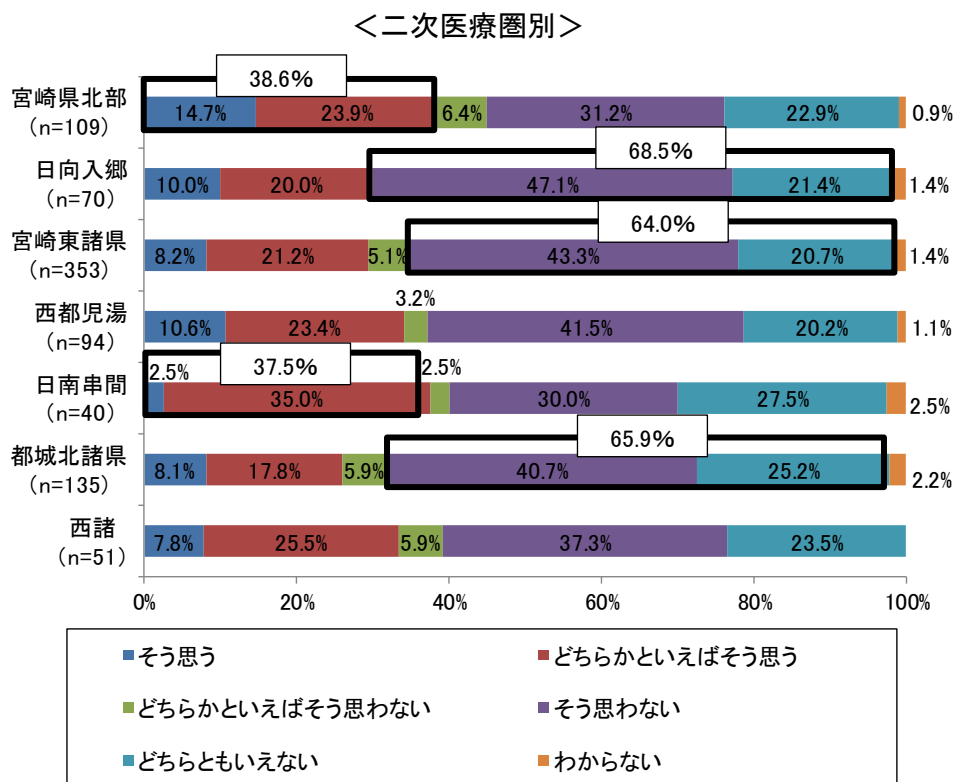
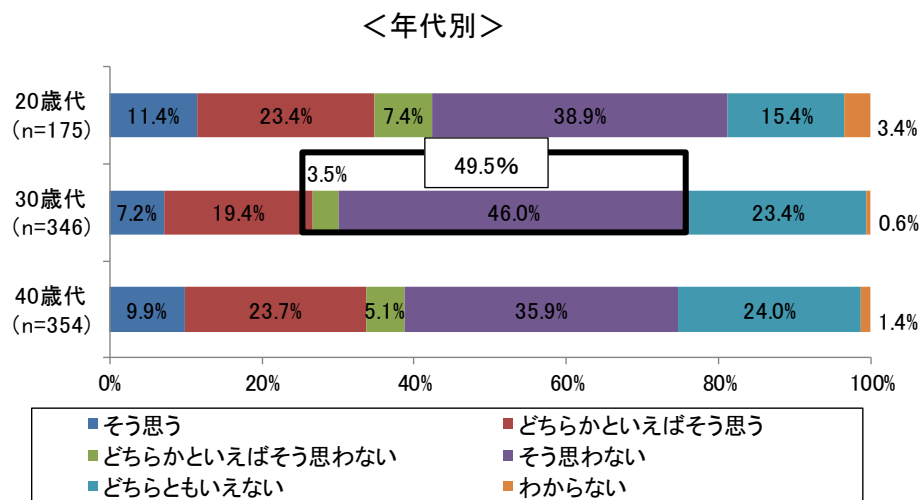
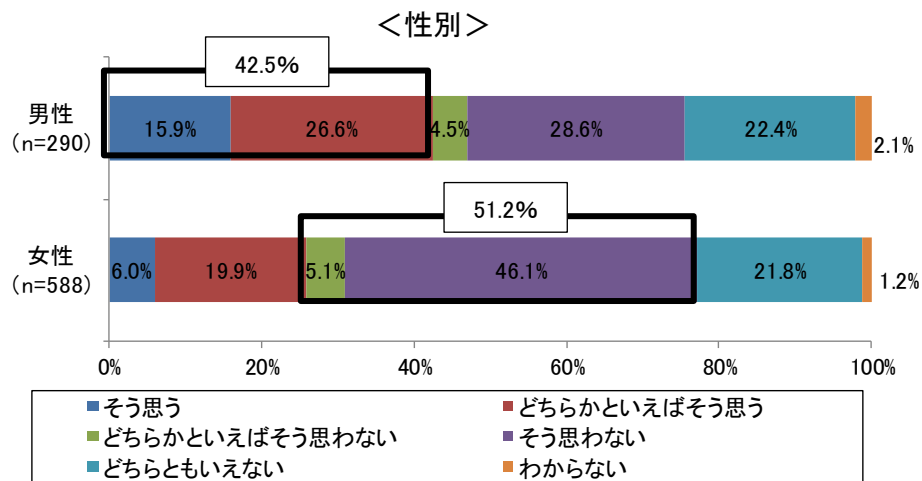
過去調査との比較では、「そう思う」の割合が減少、「そう思わない」の割合は増加の傾向を示している。

性別では、男性が「そう思う」の割合が42.5%であるのに対し、女性は「そう思わない」が51.2%となっている。

年代別では、30歳代で「そう思わない」が約半数(49.5%)となっている。

二次医療圏別では、「宮崎県北部」(38.6%)と「日南串間」(37.5%)は「そう思う」が約4割、「日向入郷」(68.5%)、「宮崎東諸県」(64.0%)、「都城北諸県」(65.9%)は「そう思わない」が6割を超えている。





オ 恋愛と結婚は別である

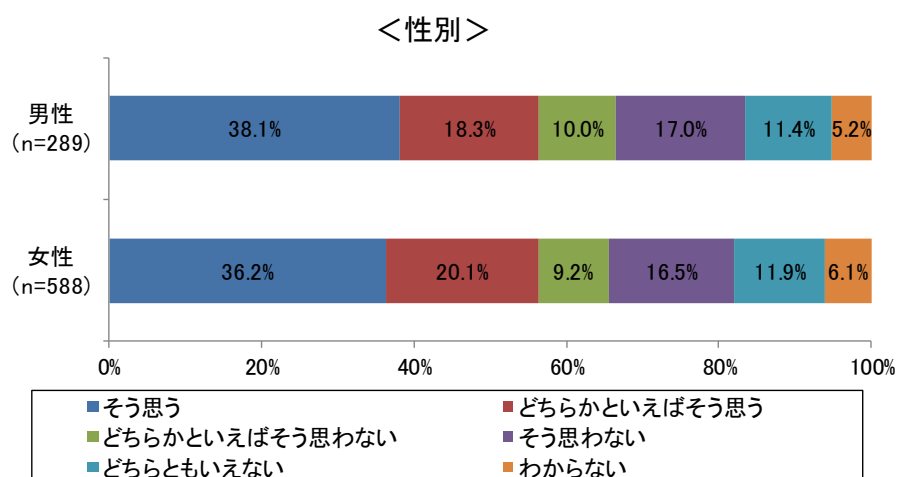
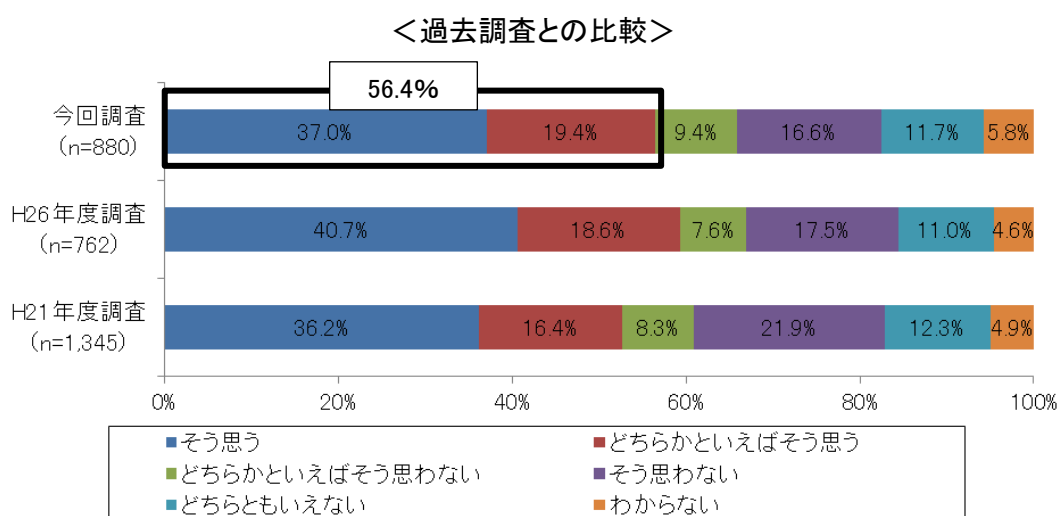
全体では、「そう思う」の割合が56.4%となっている。

過去調査との比較では、傾向に大きな差異はみられない。

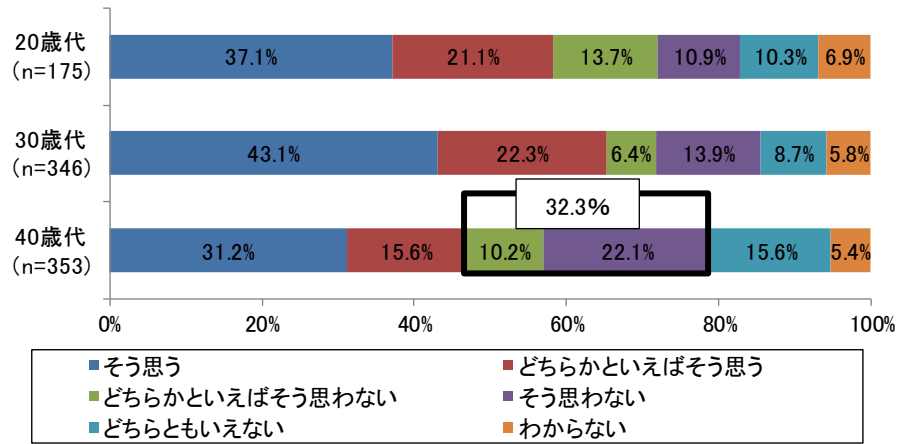
性別では、男女間の傾向に大きな差異はみられない。

年代別では、40歳代で「そう思わない」が32.3%で他の年代よりも割合が高くなっている。

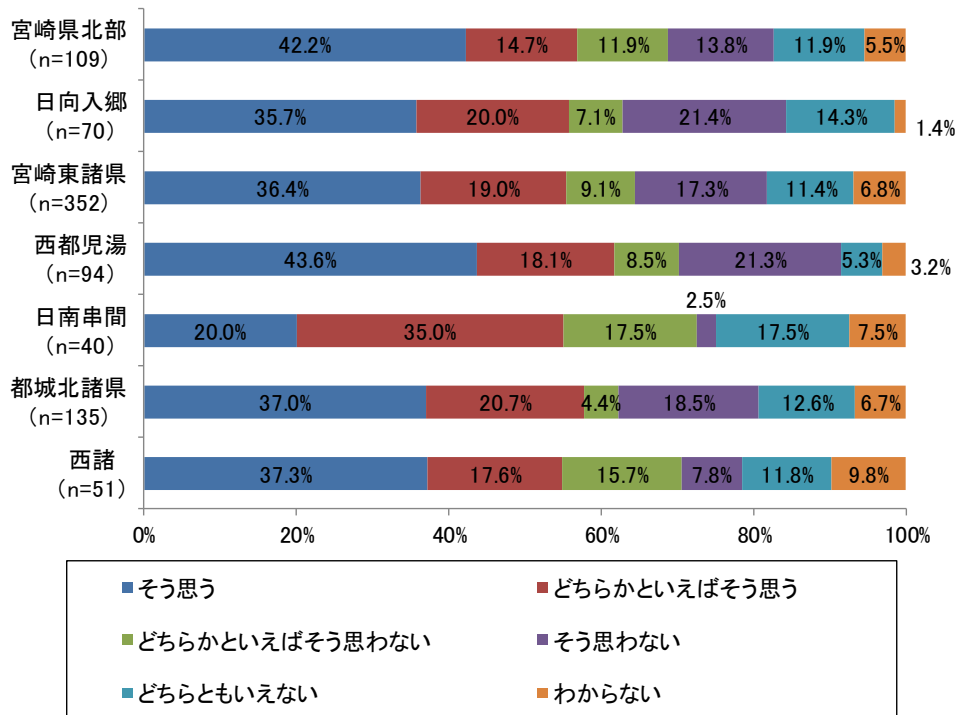
二次医療圏別では、日南串間を除いて圏域間の傾向に大きな差異はみられない。



<年代別>



<二次医療圏別>



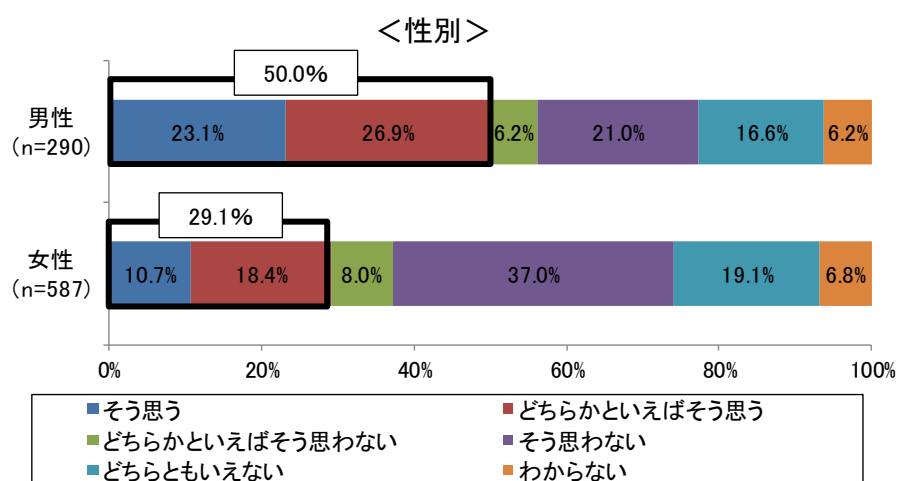
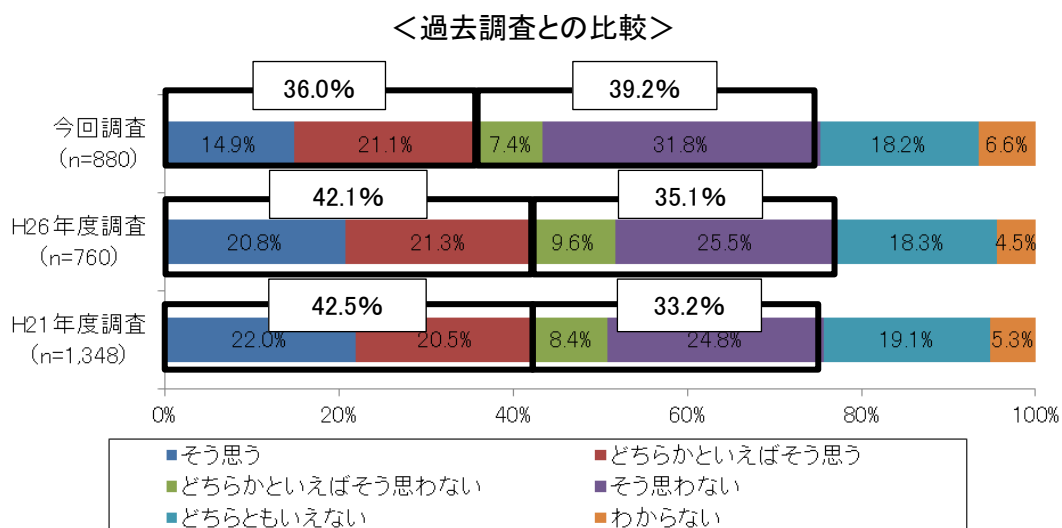
カ いったん結婚したら、性格の不一致ぐらいで分かれるべきでない

全体では、「そう思う」の割合が36.0%、「そう思わない」の割合が39.2%となっている。過去調査と比較すると今回、「そう思わない」の割合が「そう思う」をはじめて上回っている。

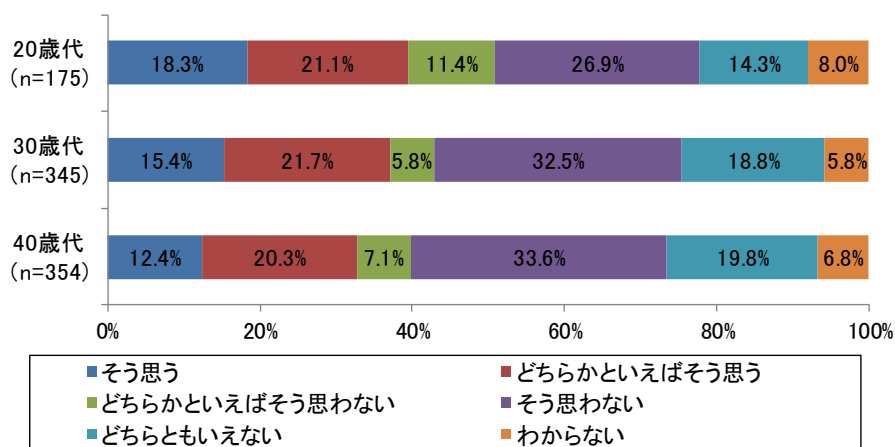
性別では、男性が「そう思う」の割合が50.0%で、女性(29.1%)を20.9ポイントも上回っている。

年代別では、若い年代ほど「そう思う」の割合は高い傾向にある。なお、「そう思わない」の割合はいずれの年代も4割程度となっている。

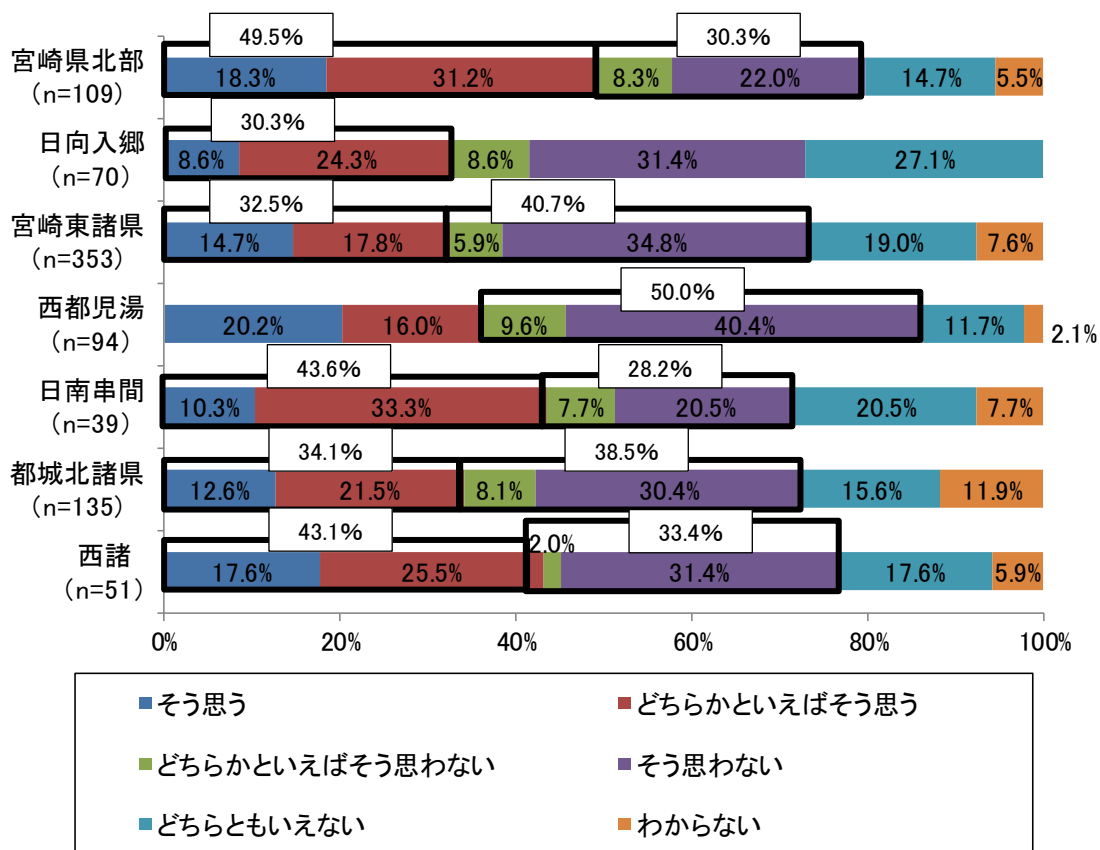
二次医療圏別では、圏域で差があり、「そう思う」の割合が高い圏域は宮崎県北部、日南申間、西諸となっている。逆に「そう思わない」の割合が高い圏域は残りの4圏域となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



問2 あなたは結婚に対して不安や負担を感じますか。

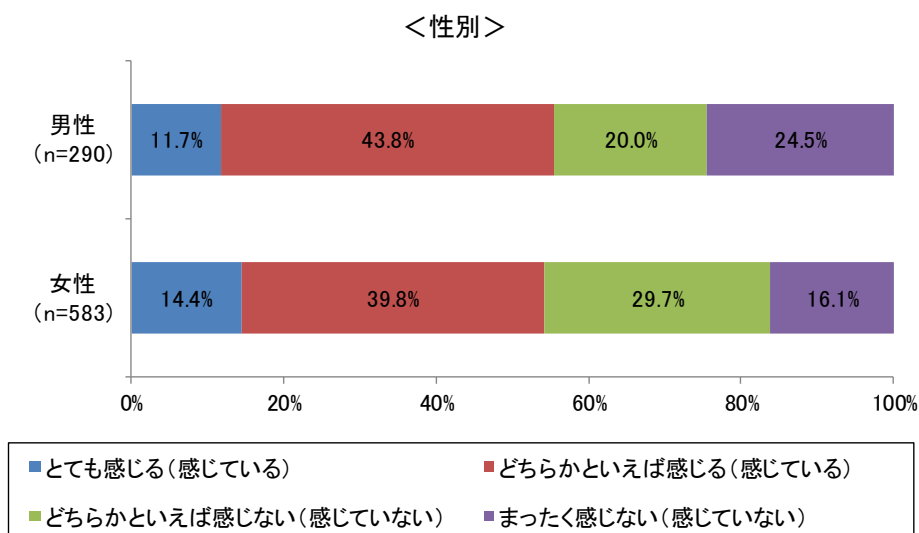
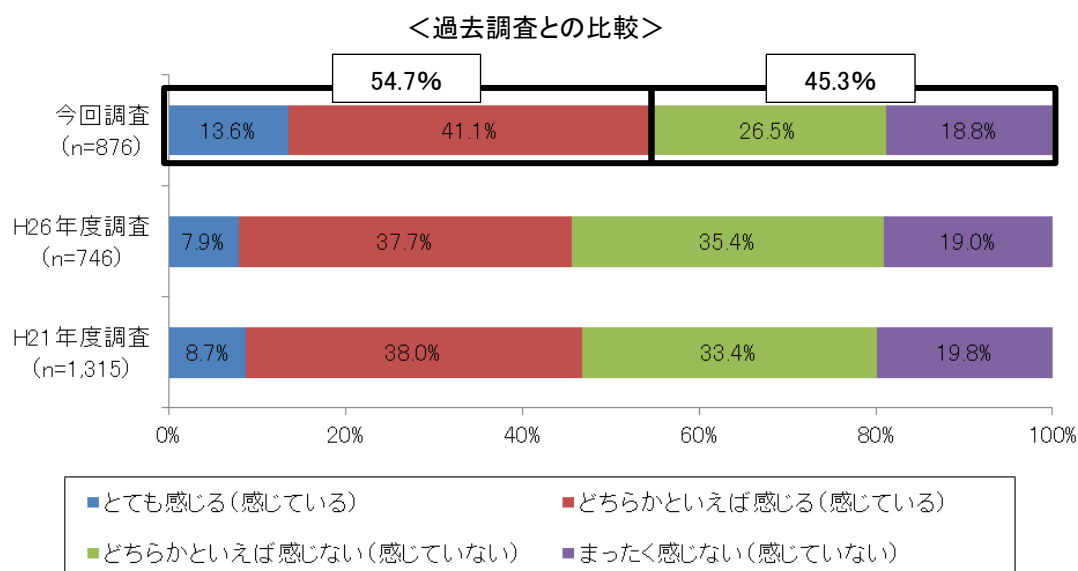
結婚されているのであれば、結婚に対して、不安や負担を感じていますか。(○は1つ)

「感じている」(「とても感じる(感じている)」と「どちらかといえば感じる(感じている)」の合計:以下同じ)の割合が54.7%、「感じていない」(「まったく感じない(感じていない)」と「どちらかといえば感じない(感じていない)」の合計:以下同じ)の割合が45.3%で、前者が9.4ポイント上回っている。この結果を過去調査と比較すると、各年度とも「感じている」の割合が「感じていない」を上回っている。

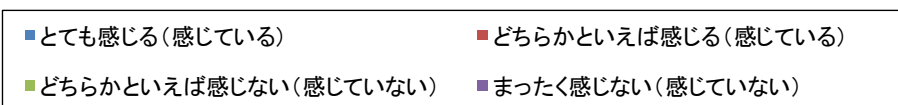
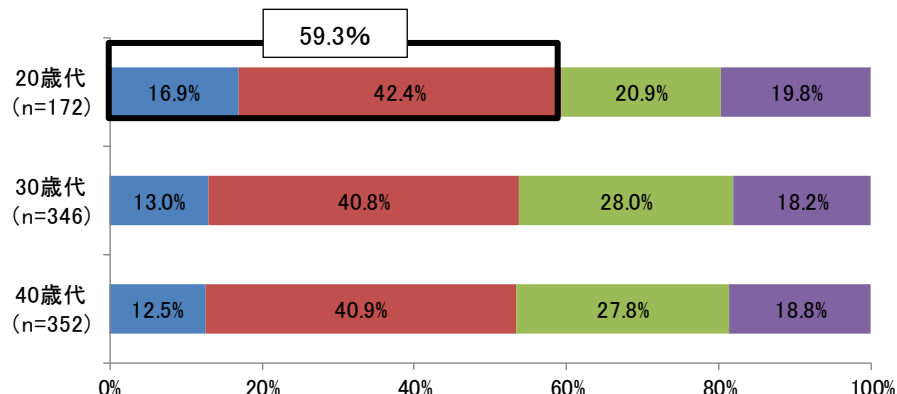
性別では、男女間の傾向に大きな差異はみられない。

年代別では、20歳代で「感じている」の割合(59.3%)が他の年代をわずかに上回っている。

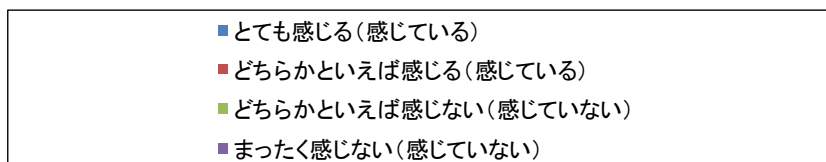
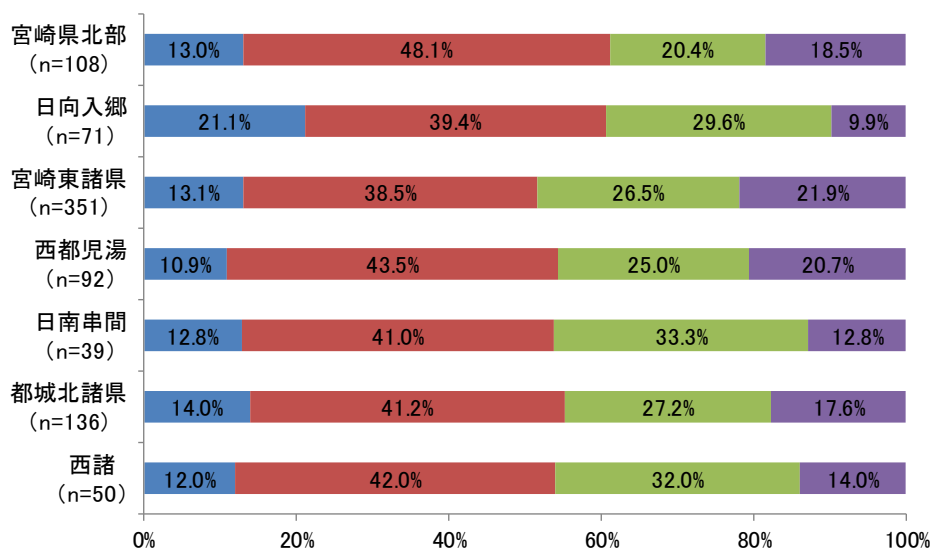
二次医療圏別では、圏域間の傾向に大きな差異はみられない。



<年代別>



<二次医療圏別>



問3 結婚することで得られることは何だと思えますか。(2つまで〇)

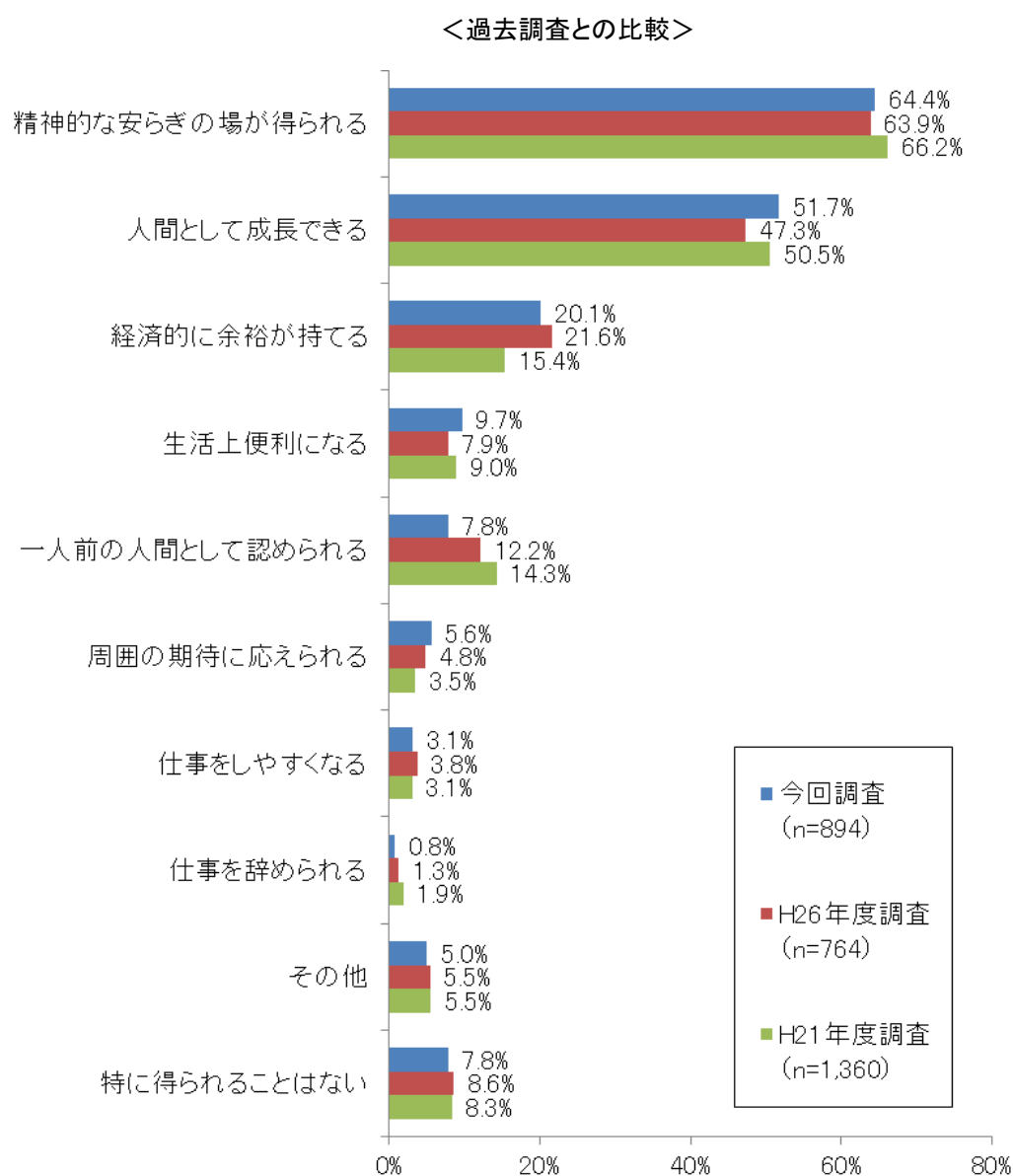
全体では、「精神的な安らぎの場が得られる」の割合が最も高く64.4%となっており、次に「人間として成長できる」(51.7%)となっている。

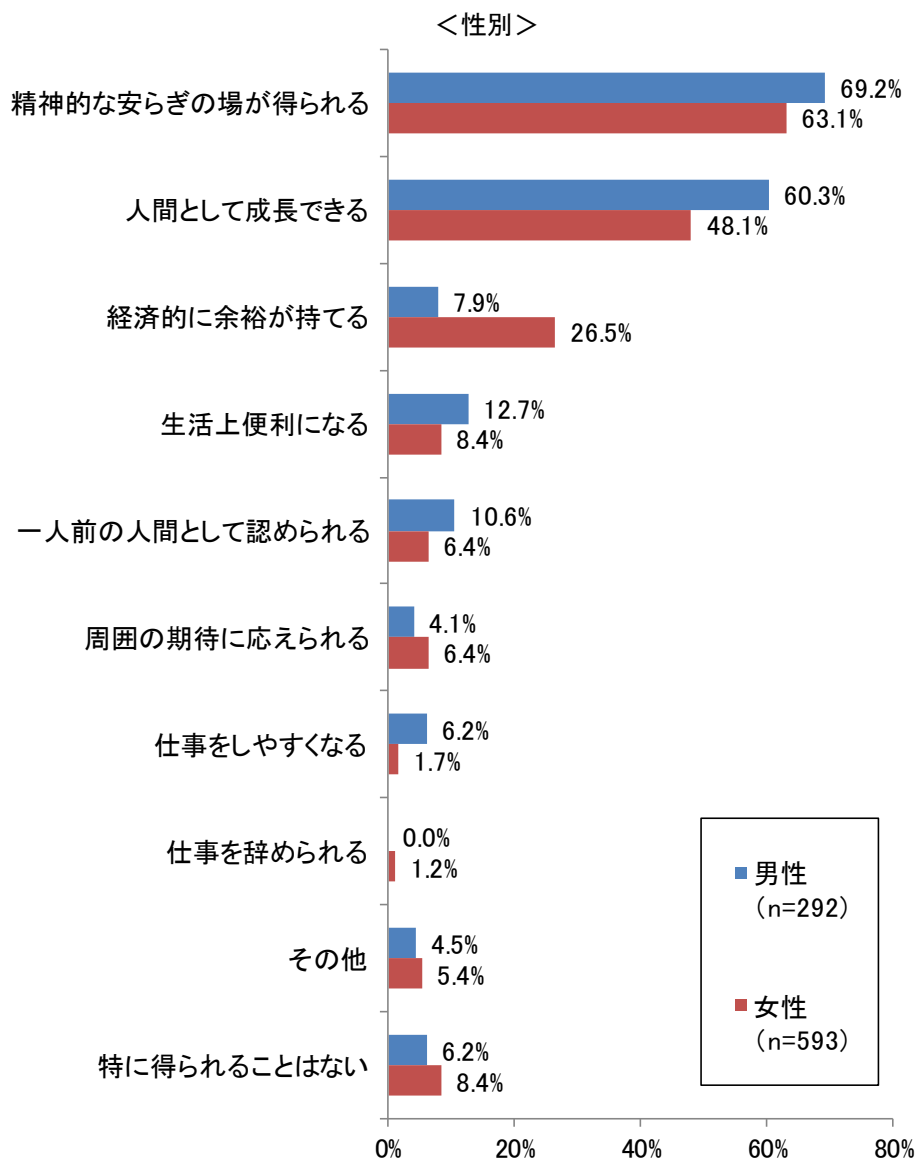
過去調査との比較では、上位の順位に大きな変動はみられない。

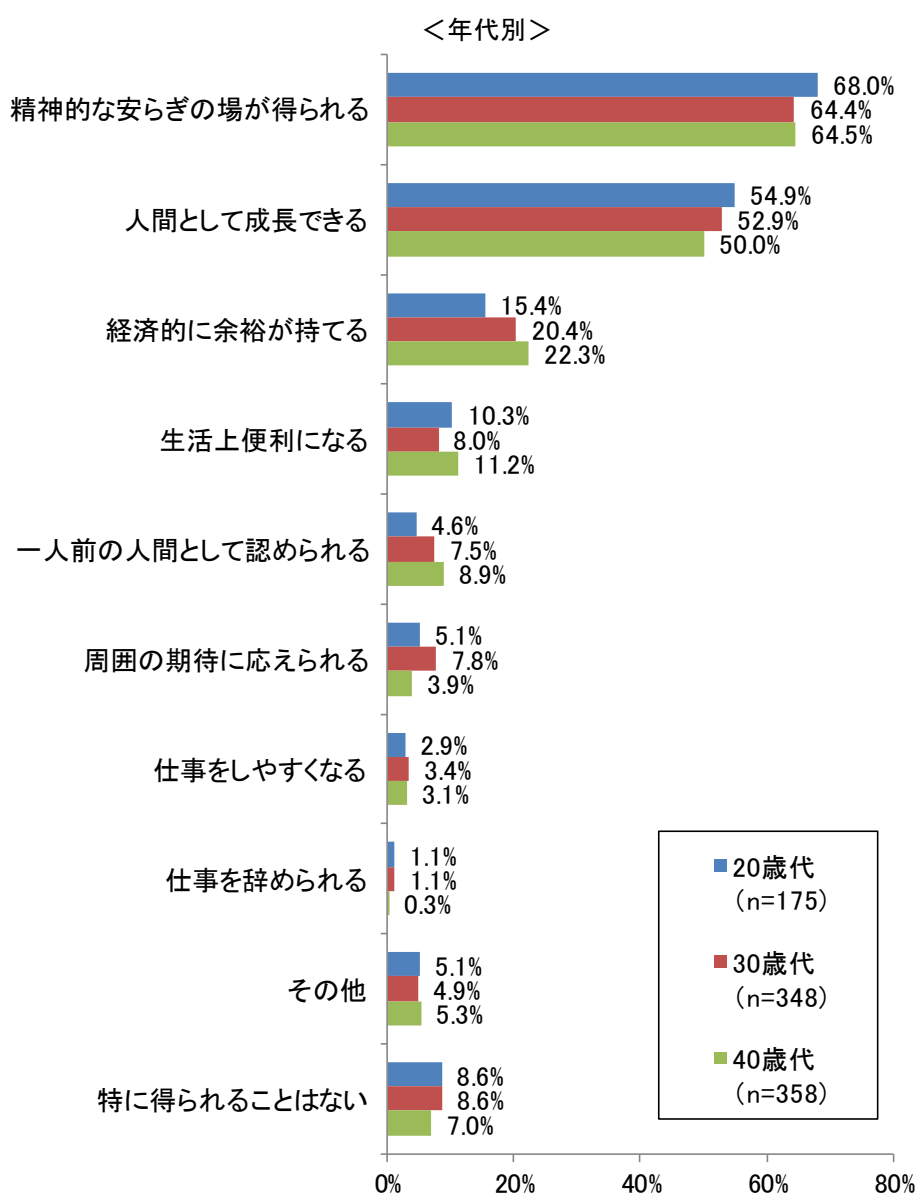
性別では、「経済的な余裕が持てる」が女性は26.5%で男性を18.6ポイント上回っている。

年代別では、年代間の傾向に大きな差異はみられない。

二次医療圏別では、圏域間の傾向に大きな差異はみられない。







＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
精神的な安らぎの場が得られる	68.8%	54.2%	64.8%	64.2%	57.5%	70.8%	62.7%
人間として成長できる	56.0%	56.9%	48.5%	52.6%	50.0%	56.9%	49.0%
経済的に余裕が持てる	13.8%	23.6%	22.0%	23.2%	20.0%	14.6%	25.5%
生活上便利になる	7.3%	8.3%	10.4%	15.8%	12.5%	8.8%	3.9%
一人前の人間として認められる	11.0%	6.9%	7.0%	10.5%	5.0%	5.8%	9.8%
周囲の期待に応えられる	3.7%	5.6%	5.4%	7.4%	10.0%	7.3%	3.9%
仕事をしやすくなる	4.6%	6.9%	2.3%	0.0%	0.0%	4.4%	3.9%
仕事を辞められる	0.0%	1.4%	0.8%	1.1%	2.5%	0.7%	0.0%
その他	3.7%	2.8%	6.2%	4.2%	5.0%	5.8%	3.9%
特に得られることはない	5.5%	5.6%	9.9%	3.2%	15.0%	5.1%	11.8%

問4 結婚することによって生じる不安や負担は何だと思いますか。(2つまで○)

全体では、「やりたいことの実現が制約されてしまう」(42.3%)がトップとなっており、第2位は「家事・育児等の負担が多くなる」(39.7%)、第3位は「自由に使えるお金が減ってしまう」(34.0%)となっている。

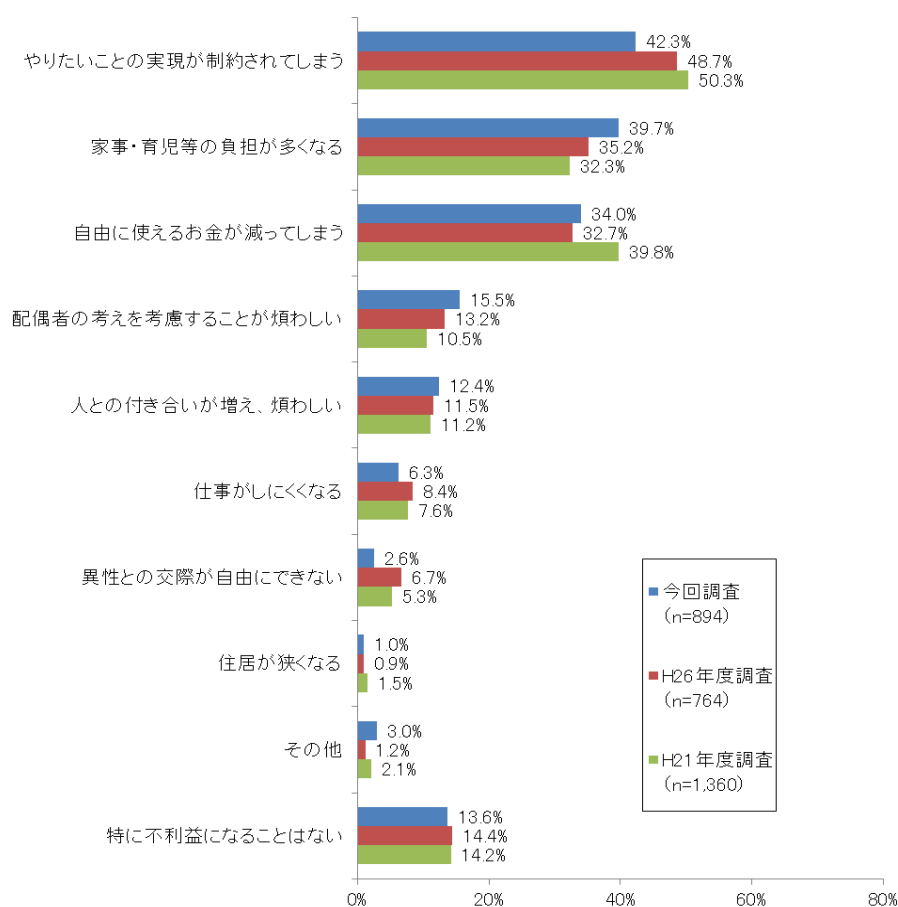
過去調査との比較では、上位の順位に大きな変動はみられない。

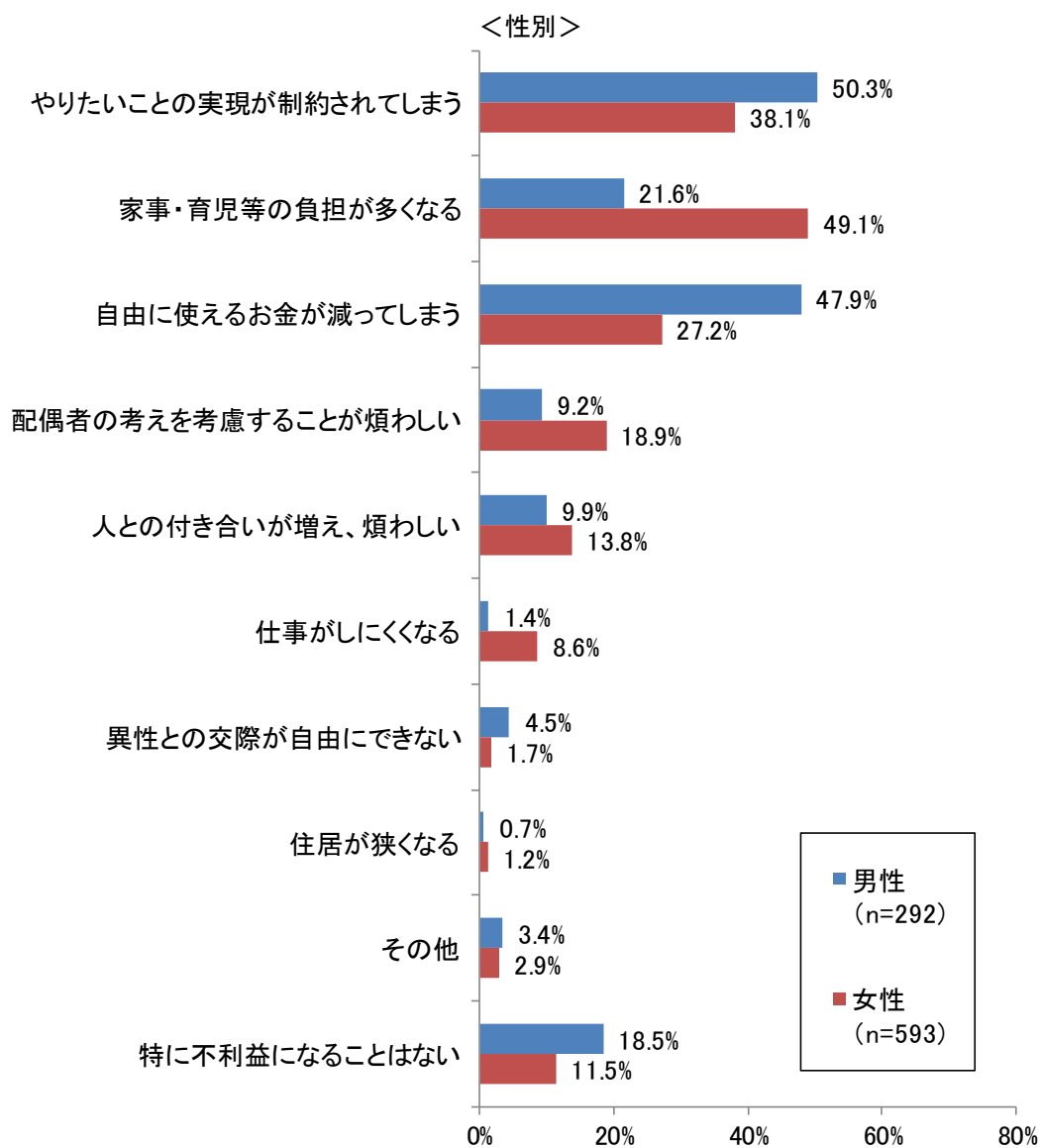
性別では、男性は「やりたいことの実現が制約されてしまう」(50.3%)がトップ、第2位は「自由に使えるお金が減ってしまう」(47.9%)となっている。女性は「家事・育児等の負担が多くなる」(49.1%)がトップ、第2位は「やりたいことの実現が制約されてしまう」(38.1%)となっている。特に「家事・育児等の負担が多くなる」と「自由に使えるお金が減ってしまう」では、男女の差が大きくなっている。

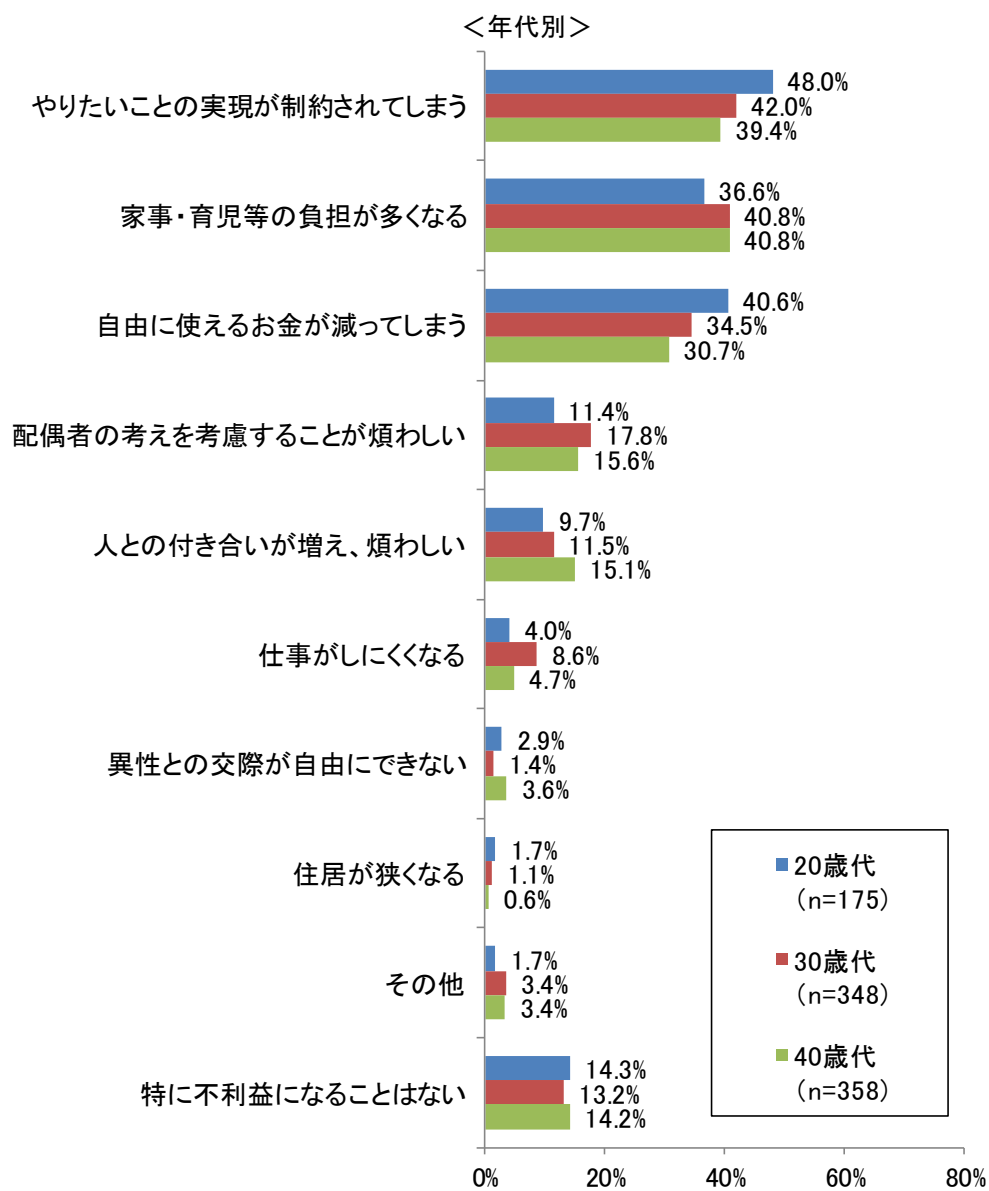
年代別では、上位の順位に大きな差異はみられない。

二次医療圏別で違いが目立つところは、各項目の割合(シェア)で、日向入郷では「配偶者の考えを考慮することが煩わしい」の割合が25.0%、日南串間では「人との付き合いが増え、煩わしい」の割合が22.5%で他の圏域よりも高くなっている。また、「特に不利益になることはない」の割合は西諸では17.6%となっており、圏域間でトップとなっている。

<過去調査との比較>







＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
やりたいことの実現が制約されてしまう	48.6%	36.1%	44.2%	45.3%	30.0%	43.1%	33.3%
家事・育児等の負担が多くなる	32.1%	44.4%	39.7%	43.2%	47.5%	37.2%	47.1%
自由に使えるお金が減ってしまう	36.7%	22.2%	34.4%	30.5%	35.0%	40.1%	31.4%
配偶者の考えを考慮することが煩わしい	11.0%	25.0%	14.4%	17.9%	12.5%	15.3%	19.6%
人との付き合いが増え、煩わしい	12.8%	13.9%	13.2%	8.4%	22.5%	11.7%	9.8%
仕事がしにくくなる	5.5%	4.2%	5.6%	7.4%	12.5%	5.8%	7.8%
異性との交際が自由にできない	4.6%	1.4%	2.8%	3.2%	0.0%	1.5%	3.9%
住居が狭くなる	0.9%	0.0%	0.8%	1.1%	0.0%	1.5%	2.0%
その他	0.0%	5.6%	3.7%	2.1%	2.5%	2.2%	5.9%
特に不利益になることはない	11.9%	12.5%	12.7%	16.8%	12.5%	14.6%	17.6%

問5 あなたは、以前に比べて平均的な結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えている理由は何だと思いますか。(3つまで○)

第1位「独身生活の方が自由が多い」(48.5%)、第2位「結婚することのメリットが感じられなくなっている」(36.7%)、第3位「経済力のある女性が増えた」(27.2%)となっている。

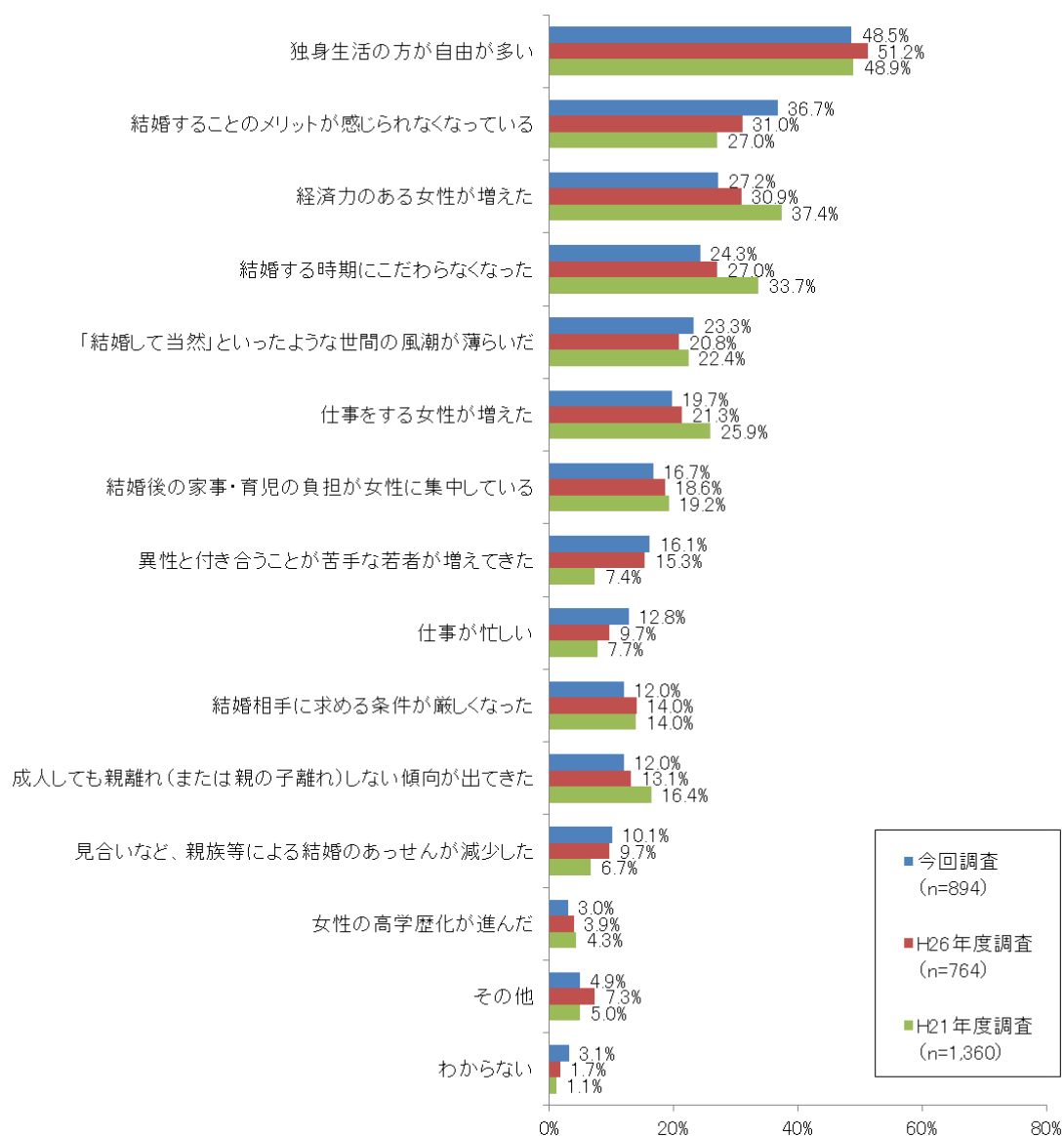
過去調査との比較では、上位項目の順位に大きな変動はみられない。その中で、「経済力のある女性が増えた」(37.4%)、「結婚する時期にこだわらなくなった」(33.7%)は減少傾向にある。

性別では、男女とも全体と同じ(順位)傾向にあるが、その中で、「経済力のある女性が増えた」(男性:16.4%、女性:32.5%)、「仕事をする女性が増えた」(男性:11.6%、女性:23.6%)、「結婚後の家事・育児の負担が女性に集中している」(男性:4.1%、女性23.1%)の項目では男女差が大きく、女性の割合が男性を大きく上回っている。

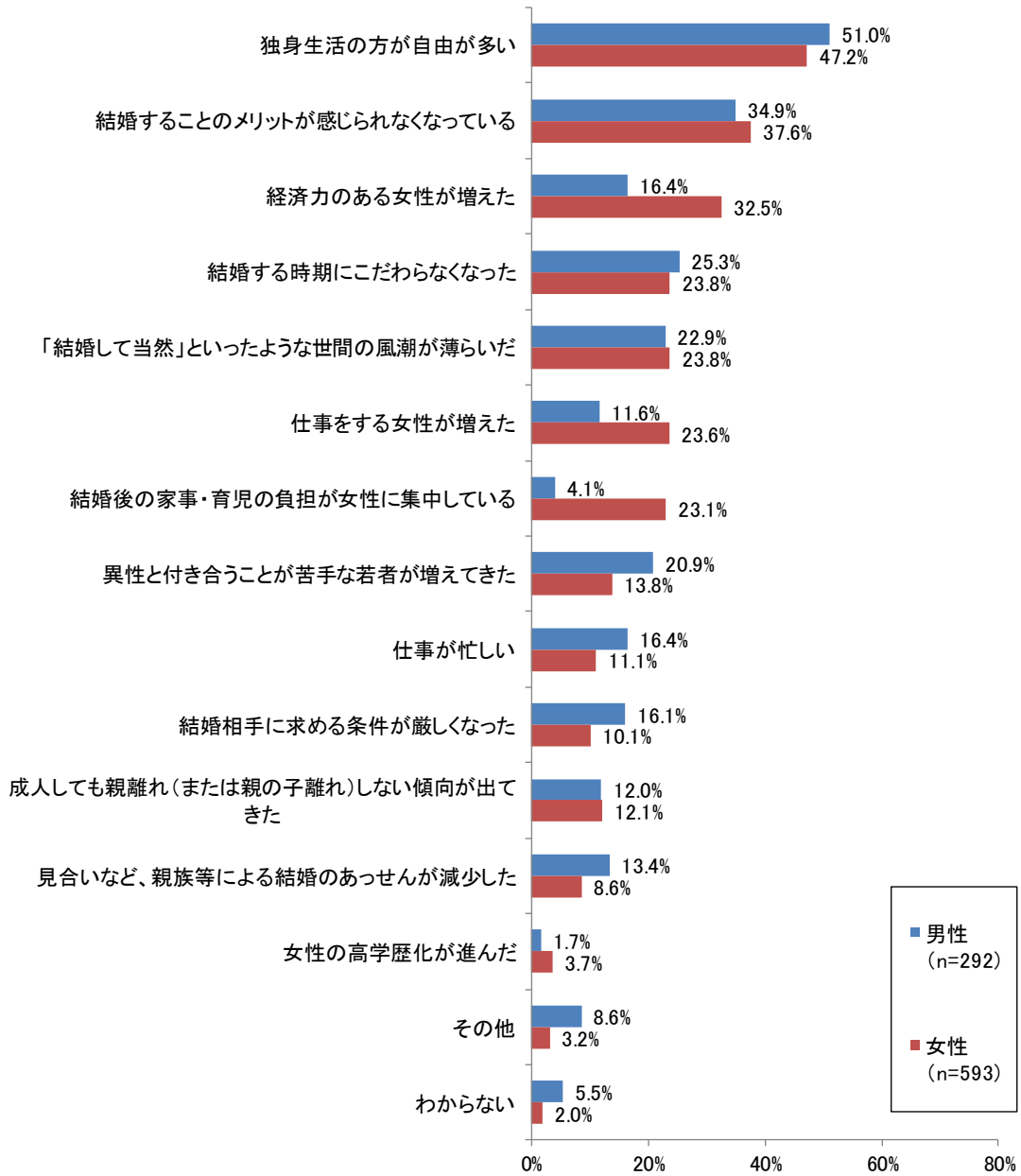
年代別では、上位項目はいずれの年代も同様の傾向を示している。

二次医療圏別では、日南串間は「結婚することのメリットが感じられなくなっている」(50.0%)、そして、宮崎県北部と日南串間では「結婚後の家事・育児の負担が女性に集中している」(それぞれ23.9%、25.0%)で、他の圏域よりも割合が高くなっている。

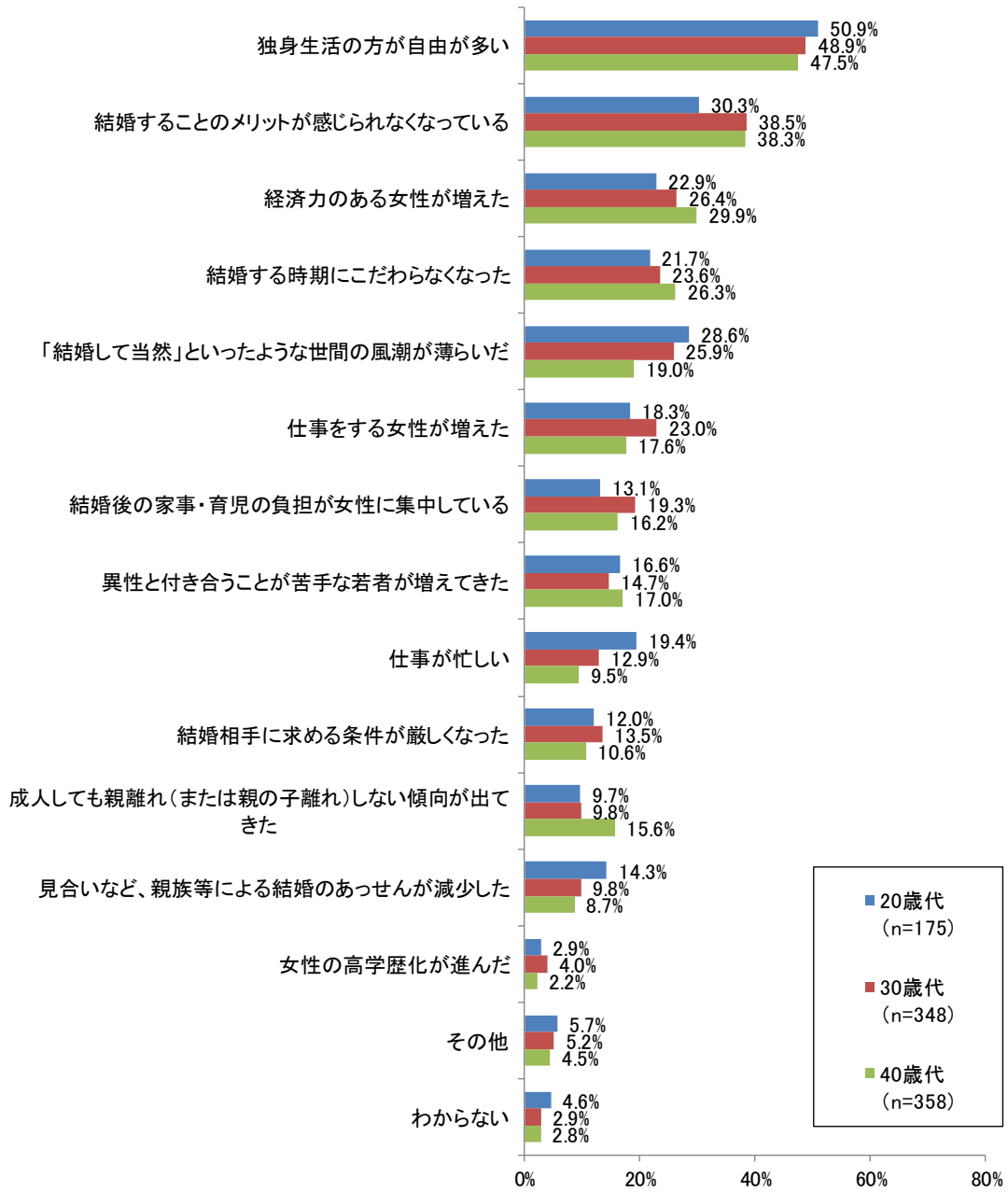
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
独身生活の方が自由が多い	50.5%	40.3%	47.3%	50.5%	52.5%	51.8%	49.0%
結婚することのメリットが感じられなくなっている	33.9%	34.7%	34.6%	41.1%	50.0%	35.8%	43.1%
経済力のある女性が増えた	22.9%	33.3%	30.4%	27.4%	20.0%	21.9%	25.5%
結婚する時期にこだわらなくなった	22.9%	26.4%	26.2%	13.7%	12.5%	26.3%	25.5%
「結婚して当然」といったような世間の風潮が薄らいだ	15.6%	23.6%	24.2%	30.5%	25.0%	23.4%	21.6%
仕事をする女性が増えた	14.7%	20.8%	20.6%	16.8%	17.5%	23.4%	23.5%
結婚後の家事・育児の負担が女性に集中している	23.9%	11.1%	15.2%	18.9%	25.0%	14.6%	19.6%
異性と付き合うことが苦手な若者が増えてきた	19.3%	11.1%	17.5%	15.8%	15.0%	17.5%	7.8%
仕事が忙しい	10.1%	16.7%	13.0%	16.8%	12.5%	13.9%	5.9%
結婚相手に求める条件が厳しくなった	15.6%	11.1%	11.8%	9.5%	10.0%	11.7%	13.7%
成人しても親離れ(または親の子離れ)しない傾向が出てきた	14.7%	6.9%	14.4%	8.4%	2.5%	11.7%	11.8%
見合いなど、親族等による結婚のあっせんが減少した	11.0%	8.3%	9.6%	10.5%	12.5%	12.4%	9.8%
女性の高学歴化が進んだ	2.8%	0.0%	4.8%	2.1%	5.0%	1.5%	2.0%
その他	5.5%	1.4%	5.1%	7.4%	2.5%	6.6%	2.0%
わからない	1.8%	5.6%	3.1%	2.1%	5.0%	2.2%	3.9%

問6 あなたは、結婚相手との出会いの場・きっかけとして何に期待しますか。(3つまで○)

(1)独身の人

第1位「友人の紹介」(52.4%)、第2位「趣味やスポーツのサークル」(32.7%)、第3位「同じ会社・職場」(29.5%)となっている。

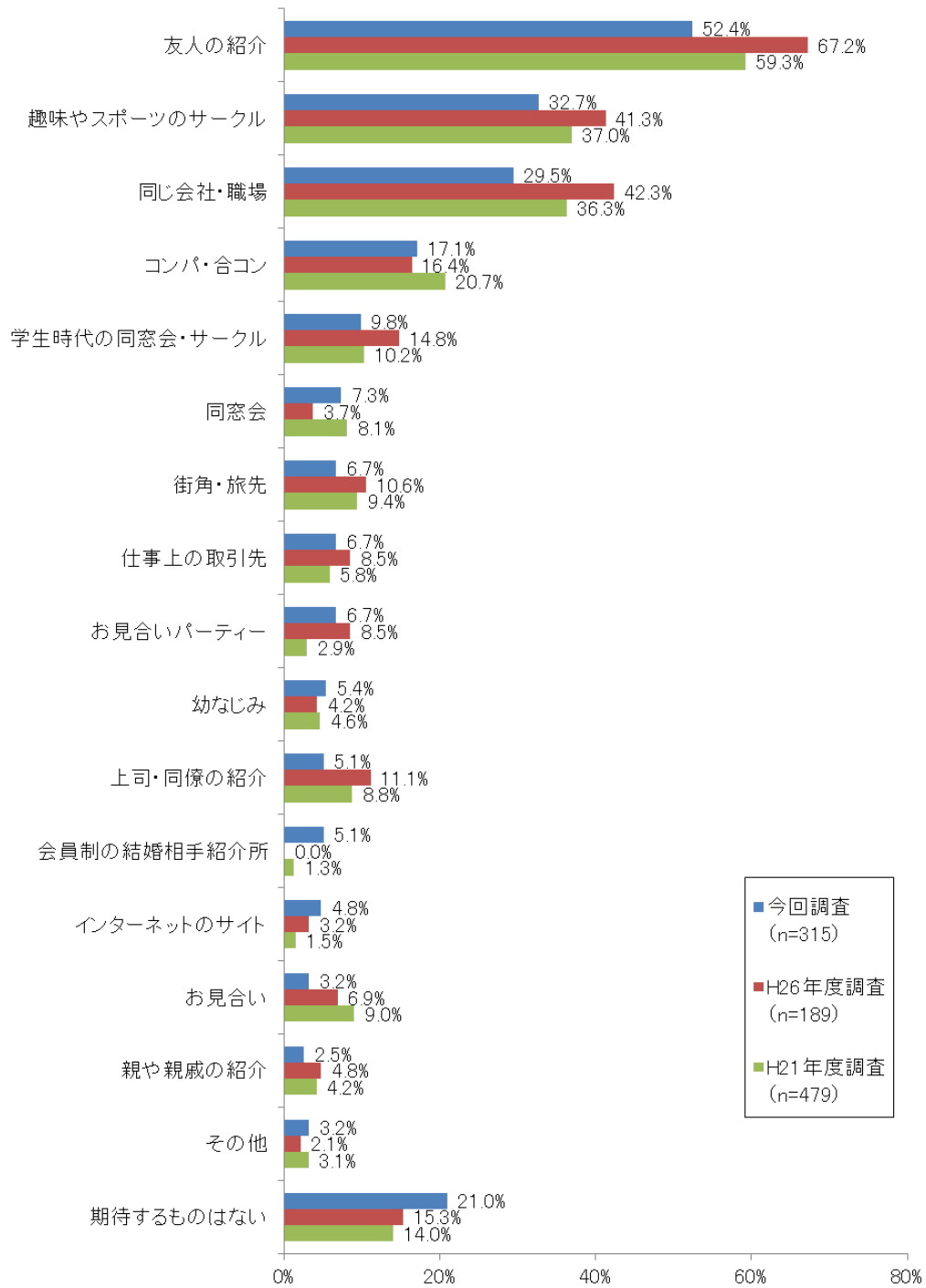
過去調査との比較では、上位項目の順位に大きな変動はみられないが割合(%)は減少している。(→「きっかけの分散化」傾向を示している。)

性別では、上位項目は男女とも概ね同様の傾向を示しているものの、「コンパ・合コン」(男性:26.2%、女性:11.2%)で男女差が大きくなっている。なお、女性は「期待するものはない」が第4位(24.5%)となっている。

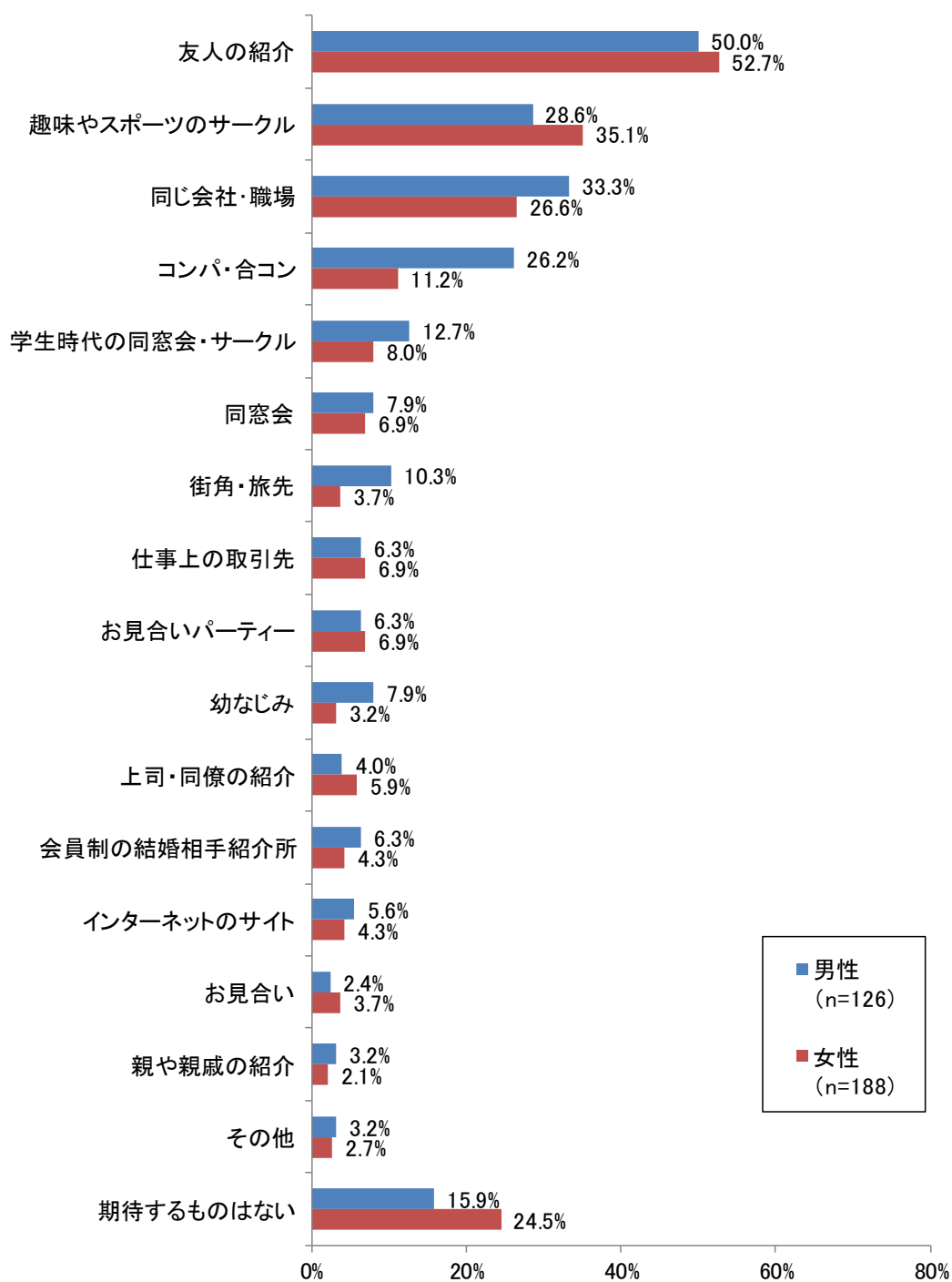
年代別では、上位項目はいずれの年代も同様の傾向を示しているものの、40歳代では「期待するものはない」が第2位(26.1%)となっている。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いた地域は回答数が少ないため、分析は行わない。

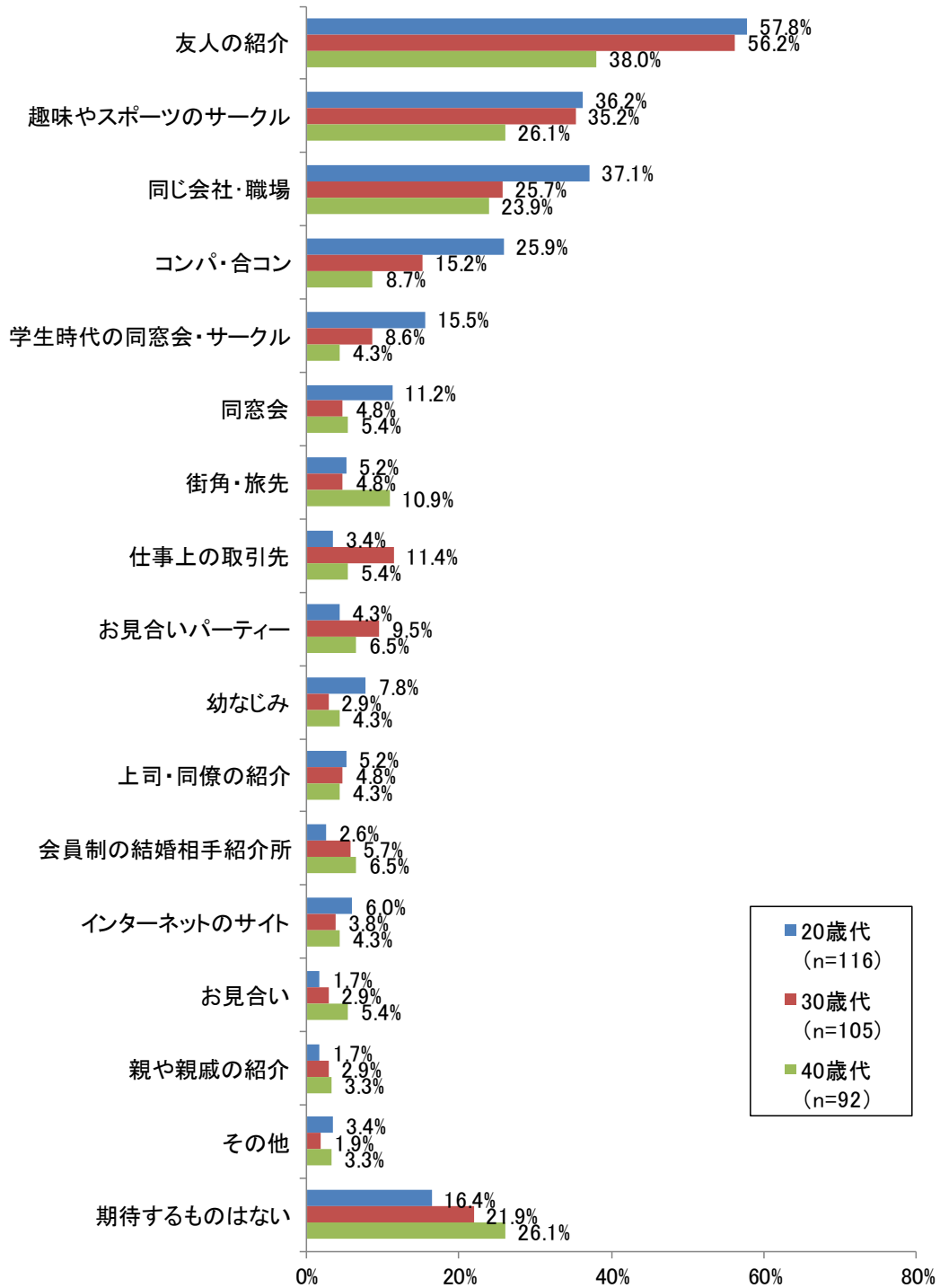
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>(参考)

	宮崎県北部 (n=44)	日向入郷 (n=25)	宮崎東諸県 (n=136)	西都児湯 (n=23)	日南串間 (n=18)	都城北諸県 (n=40)	西諸 (n=17)
友人の紹介	61.4%	52.0%	50.7%	52.2%	61.1%	32.5%	58.8%
趣味やスポーツのサークル	43.2%	24.0%	35.3%	17.4%	38.9%	32.5%	17.6%
同じ会社・職場	36.4%	20.0%	27.2%	30.4%	44.4%	30.0%	35.3%
コンパ・合コン	29.5%	8.0%	15.4%	26.1%	5.6%	17.5%	11.8%
学生時代の同窓会・サークル	6.8%	0.0%	11.8%	21.7%	5.6%	10.0%	5.9%
同窓会	9.1%	4.0%	5.9%	21.7%	0.0%	12.5%	0.0%
街角・旅先	6.8%	8.0%	5.1%	13.0%	5.6%	7.5%	5.9%
仕事上の取引先	6.8%	4.0%	8.8%	0.0%	0.0%	5.0%	17.6%
お見合いパーティー	0.0%	0.0%	8.8%	8.7%	0.0%	5.0%	11.8%
幼なじみ	4.5%	0.0%	4.4%	8.7%	0.0%	7.5%	5.9%
上司・同僚の紹介	4.5%	8.0%	3.7%	13.0%	0.0%	10.0%	0.0%
会員制の結婚相手紹介所	4.5%	12.0%	2.2%	4.3%	5.6%	10.0%	5.9%
インターネットのサイト	4.5%	0.0%	5.9%	4.3%	5.6%	7.5%	0.0%
お見合い	2.3%	0.0%	4.4%	4.3%	5.6%	2.5%	0.0%
親や親戚の紹介	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	11.1%	5.0%	0.0%
その他	4.5%	8.0%	2.2%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
期待するものはない	9.1%	28.0%	23.5%	21.7%	16.7%	22.5%	23.5%

(2)既婚の人

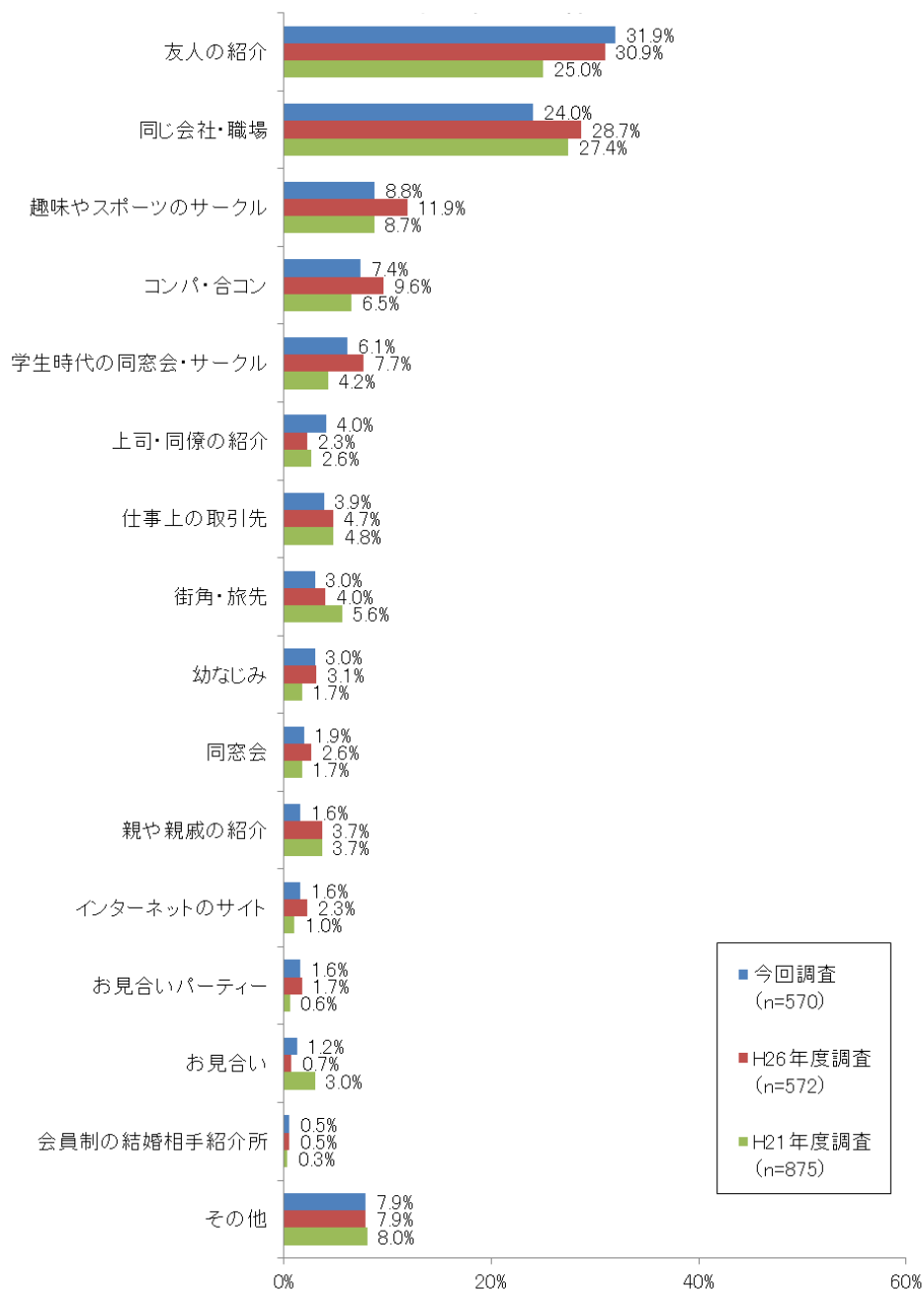
第1位「友人の紹介」(31.9%)、第2位「同じ会社・職場」(24.0%)で、他の項目を大きく上回っている。

過去調査との比較では、上位項目の順位に大きな変動はみられない。

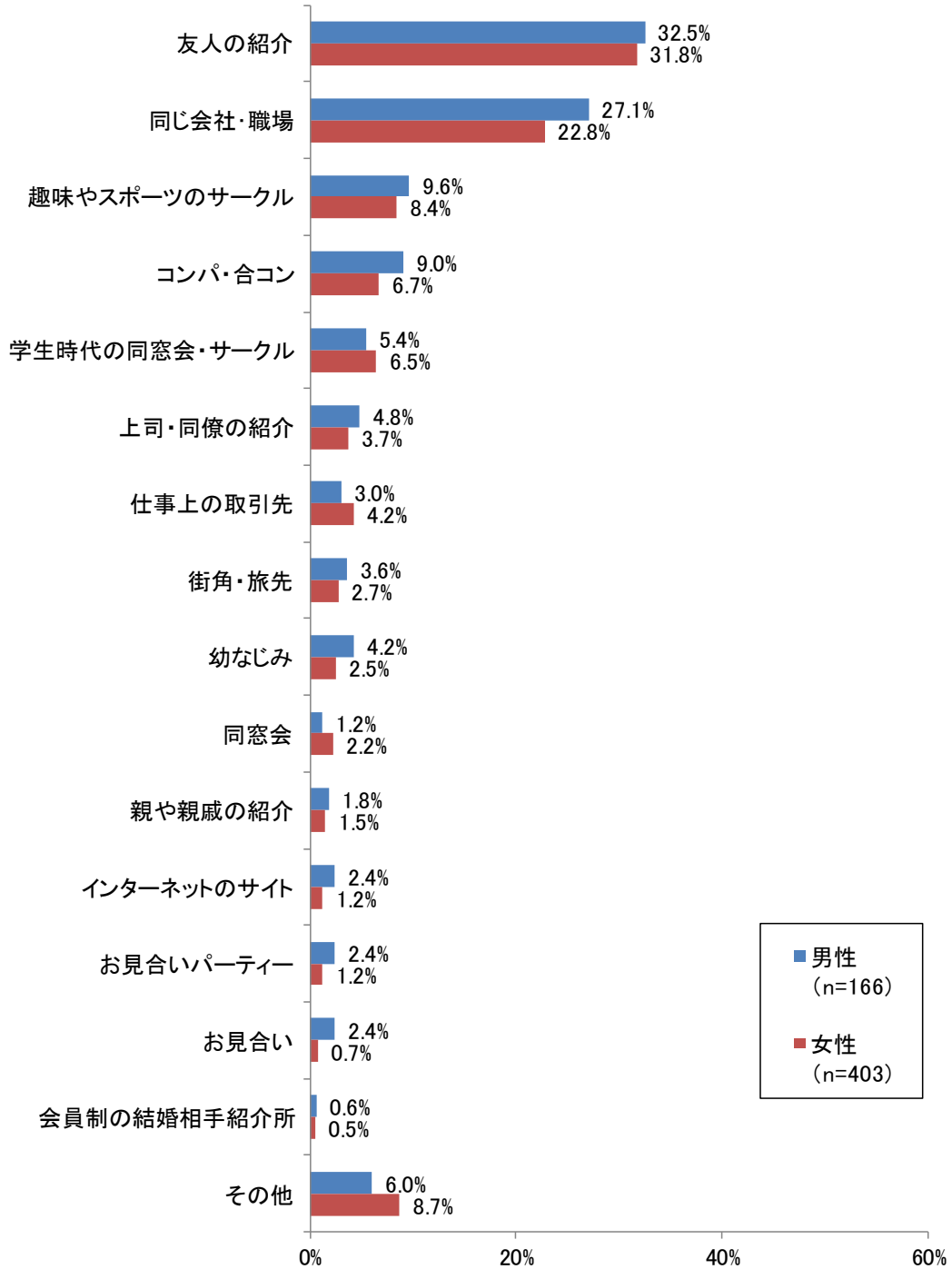
性別では、男女とも概ね同様の傾向を示している。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向を示している。

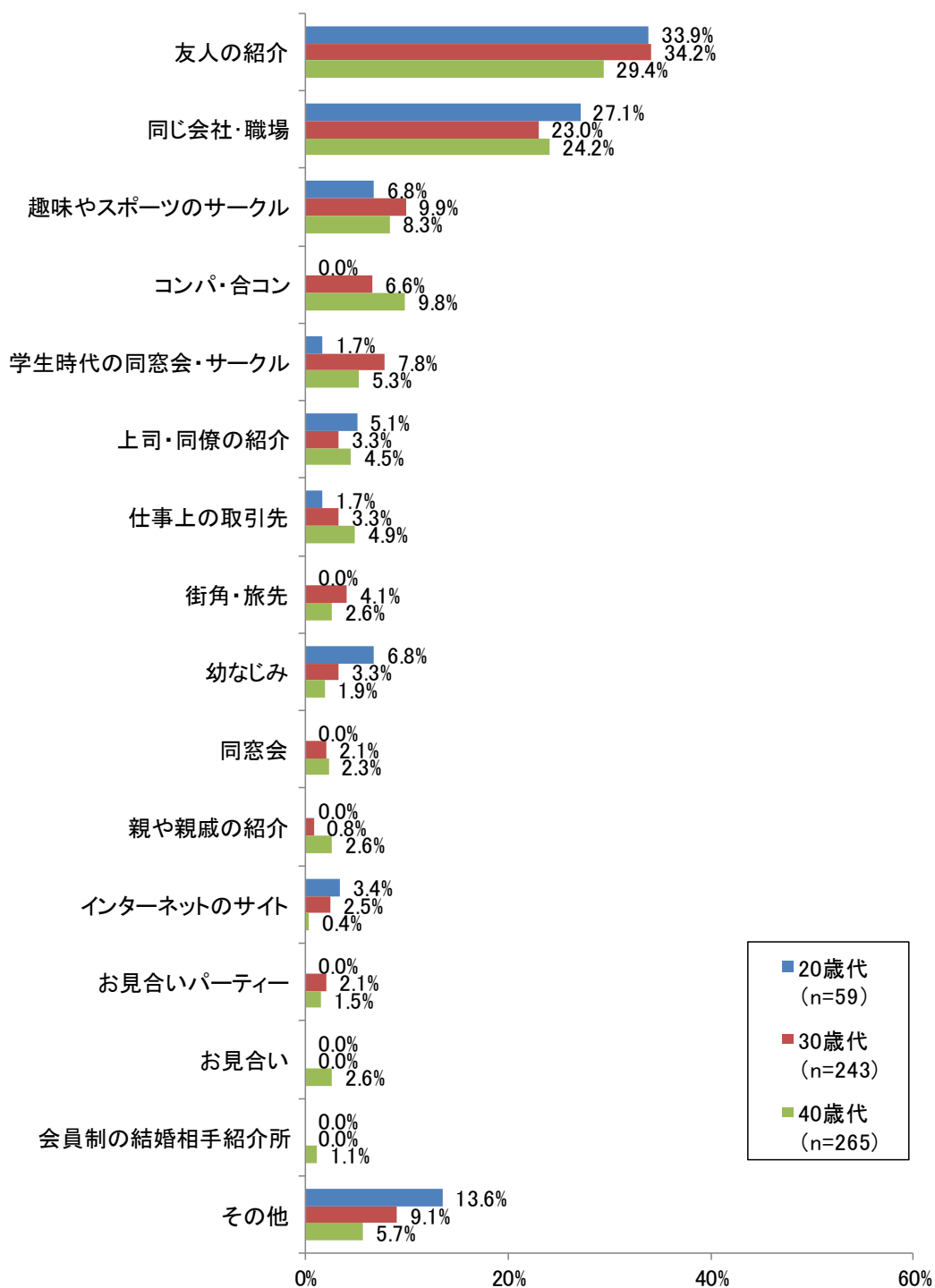
二次医療圏別では、いずれの圏域も同様の傾向を示している。



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=65)	日向入郷 (n=47)	宮崎東諸県 (n=217)	西都児湯 (n=72)	日南串間 (n=22)	都城北諸県 (n=97)	西諸 (n=34)
友人の紹介	23.1%	34.0%	32.3%	30.6%	40.9%	34.0%	35.3%
同じ会社・職場	23.1%	17.0%	26.7%	18.1%	4.5%	26.8%	35.3%
趣味やスポーツのサークル	15.4%	8.5%	8.3%	9.7%	0.0%	7.2%	8.8%
コンパ・合コン	9.2%	8.5%	6.9%	5.6%	9.1%	10.3%	2.9%
学生時代の同窓会・サークル	3.1%	6.4%	7.8%	8.3%	4.5%	3.1%	2.9%
上司・同僚の紹介	0.0%	6.4%	2.8%	9.7%	4.5%	6.2%	0.0%
仕事上の取引先	6.2%	0.0%	4.1%	0.0%	9.1%	7.2%	0.0%
街角・旅先	1.5%	6.4%	2.8%	2.8%	0.0%	3.1%	5.9%
幼なじみ	3.1%	4.3%	3.2%	2.8%	0.0%	3.1%	0.0%
同窓会	0.0%	0.0%	2.3%	2.8%	0.0%	2.1%	5.9%
親や親戚の紹介	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
インターネットのサイト	0.0%	2.1%	0.9%	5.6%	4.5%	1.0%	0.0%
お見合いパーティー	0.0%	2.1%	2.8%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
お見合い	1.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	1.0%	2.9%
会員制の結婚相手紹介所	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	13.8%	6.4%	6.5%	9.7%	13.6%	8.2%	2.9%

3. 出産や子育てに関することについておたずねします。

問7 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか(感じましたか)。(1つに○)

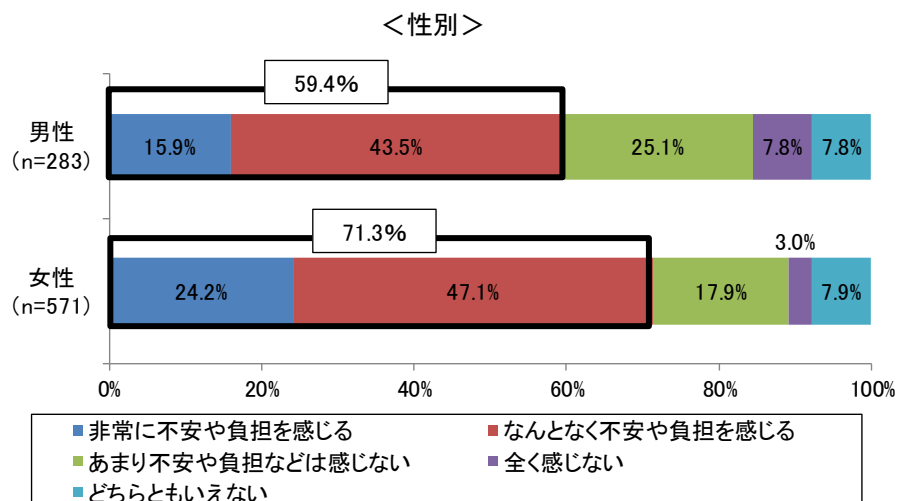
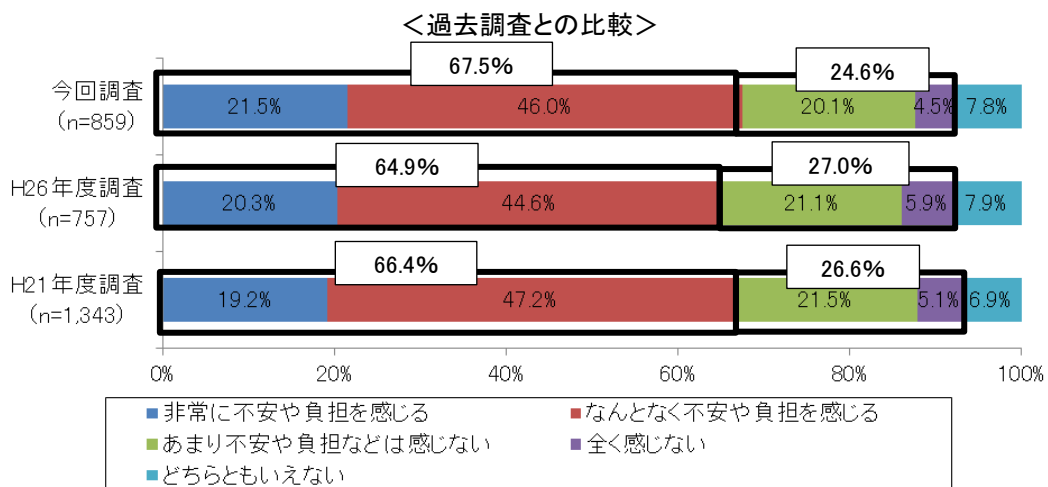
「不安や負担を感じる」(「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の計:以下同じ)は67.5%となっている。「不安や負担は感じない」(「あまり不安や負担などは感じない」と「全く感じない」の計:以下同じ)は24.6%で、前者が大きく上回っている。

過去調査との比較では、「不安や負担を感じる」は6割台、「不安や負担は感じない」は2割台で推移しており、大きな差はみられない。

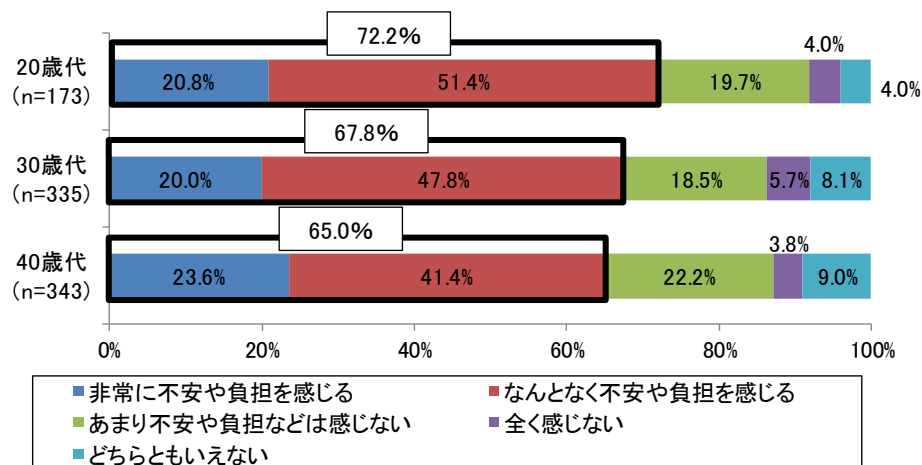
性別では、女性は「不安や負担を感じる」が71.3%であり、男性を11.9ポイント上回っている。

年代別では、20歳代で「不安や負担を感じる」が72.2%であり、若い世代ほど不安や負担を感じる傾向にある。

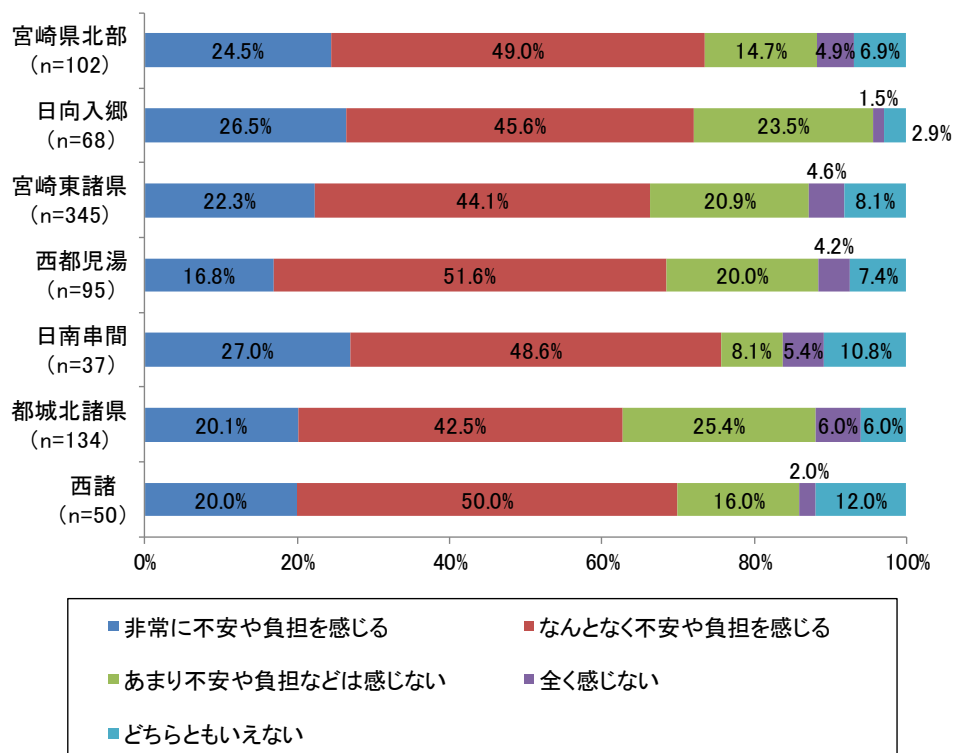
二次医療圏別では、宮崎県北部、日向入郷、日南串間で「不安や負担を感じる」の割合が7割を超えている。一方、都城北諸県では、「不安や負担は感じない」が3割を超えている状況にある。



<年代別>



<二次医療圏別>



問8 あなたは、子育てに関してどのような悩みや不安を感じますか(感じましたか)。

(3つまで〇)

第1位「子育てにお金がかかる」(56.3%)、第2位「子どもとの接し方やしつけの方法が正しいかという不安がある」(41.1%)、第3位「仕事と子育ての両立が難しい」(27.9%)となっている。

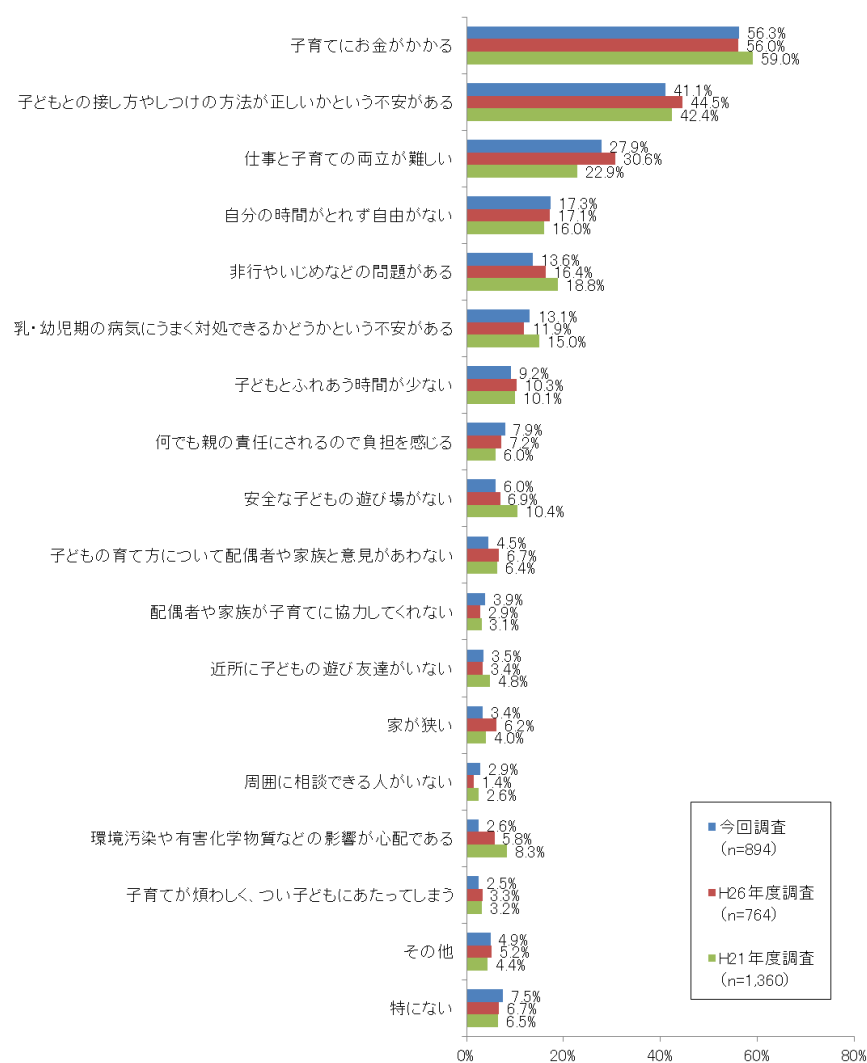
過去調査との比較では、順位に大きな変動はみられない。

性別では、女性で「仕事と子育ての両立が難しい」の割合(34.6%)が男性(14.0%)を20.6ポイント上回っている。

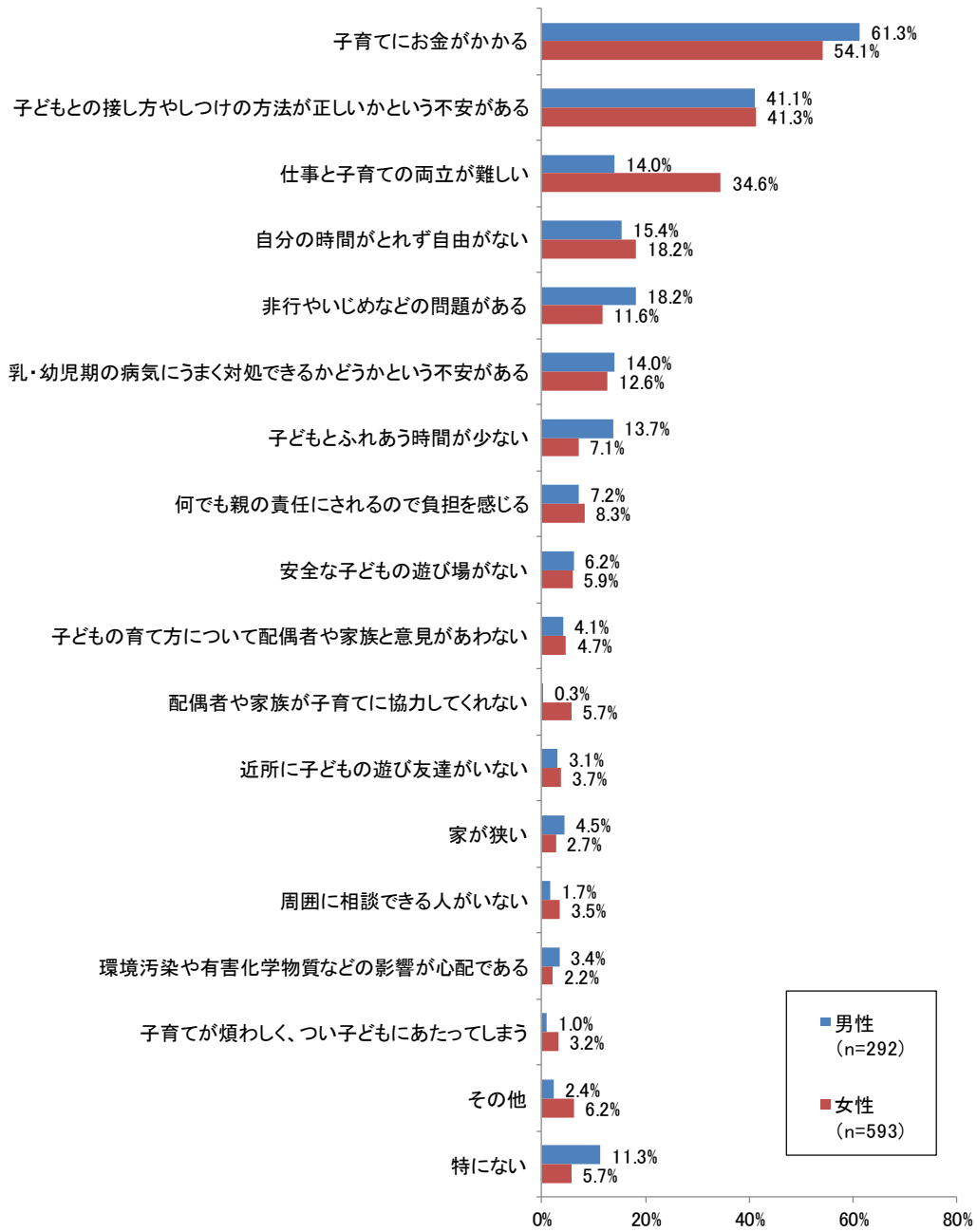
年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向を示している。

二次医療圏別では、日南串間では、「自分の時間がとれず自由がない」の割合が30.0%で他の圏域よりも高くなっている。

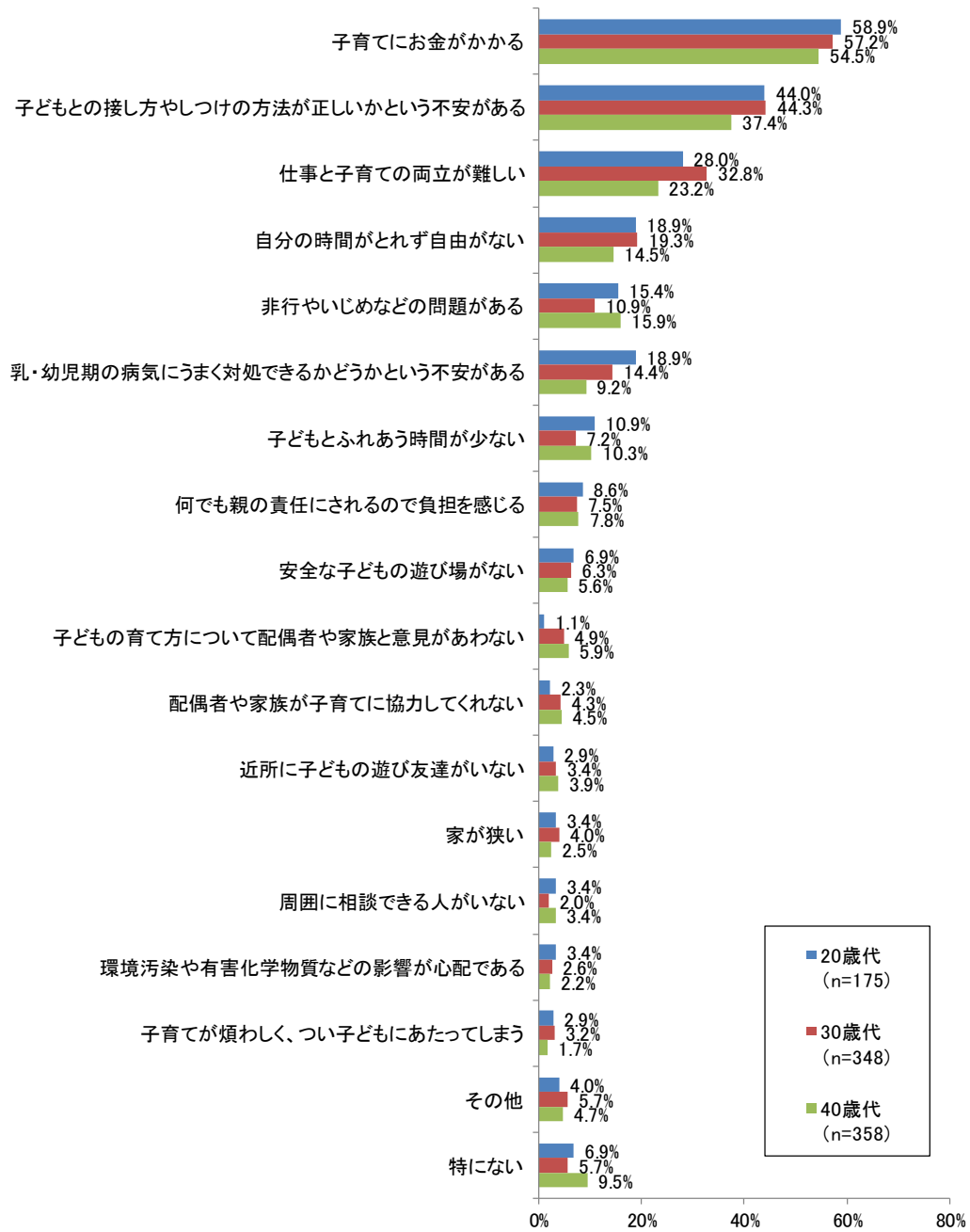
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
子育てにお金がかかる	54.1%	48.6%	58.3%	60.0%	62.5%	59.9%	41.2%
子どもとの接し方やしつけの方法が正しいかという不安がある	40.4%	33.3%	41.7%	44.2%	32.5%	41.6%	49.0%
仕事と子育ての両立が難しい	30.3%	20.8%	29.9%	30.5%	25.0%	21.9%	29.4%
自分の時間がとれず自由がない	12.8%	15.3%	18.3%	16.8%	30.0%	16.1%	15.7%
非行やいじめなどの問題がある	8.3%	13.9%	15.2%	9.5%	25.0%	16.1%	5.9%
乳・幼児期の病気にうまく対処できるかどうかという不安がある	15.6%	15.3%	13.0%	13.7%	15.0%	12.4%	11.8%
子どもとふれあう時間が少ない	6.4%	9.7%	7.3%	11.6%	10.0%	13.1%	13.7%
何でも親の責任にされるので負担を感じる	5.5%	8.3%	7.3%	9.5%	2.5%	9.5%	11.8%
安全な子どもの遊び場がない	11.0%	11.1%	4.5%	5.3%	7.5%	4.4%	3.9%
子どもの育て方について配偶者や家族と意見があわない	6.4%	5.6%	3.7%	6.3%	0.0%	3.6%	5.9%
配偶者や家族が子育てに協力してくれない	3.7%	6.9%	3.1%	5.3%	0.0%	3.6%	5.9%
近所に子どもの遊び友達がいない	6.4%	6.9%	2.3%	3.2%	5.0%	2.9%	3.9%
家が狭い	3.7%	0.0%	3.1%	5.3%	2.5%	3.6%	5.9%
周囲に相談できる人がいない	0.9%	2.8%	3.4%	5.3%	0.0%	1.5%	5.9%
環境汚染や有害化学物質などの影響が心配である	5.5%	5.6%	1.7%	3.2%	0.0%	2.9%	0.0%
子育てが煩わしく、つい子どもにあたってしまう	0.9%	1.4%	2.8%	3.2%	0.0%	3.6%	2.0%
その他	2.8%	6.9%	3.7%	6.3%	5.0%	8.8%	5.9%
特にない	9.2%	8.3%	6.5%	7.4%	7.5%	6.6%	11.8%

問9 問8「子育てに関してどのような悩みや不安を感じますか(感じましたか)。」において、「仕事と子育ての両立が難しい」を選ばれた方におうかがいします。

職場において、どのような制度や支援があれば、両立がしやすくなると思いますか。(2つまで○)

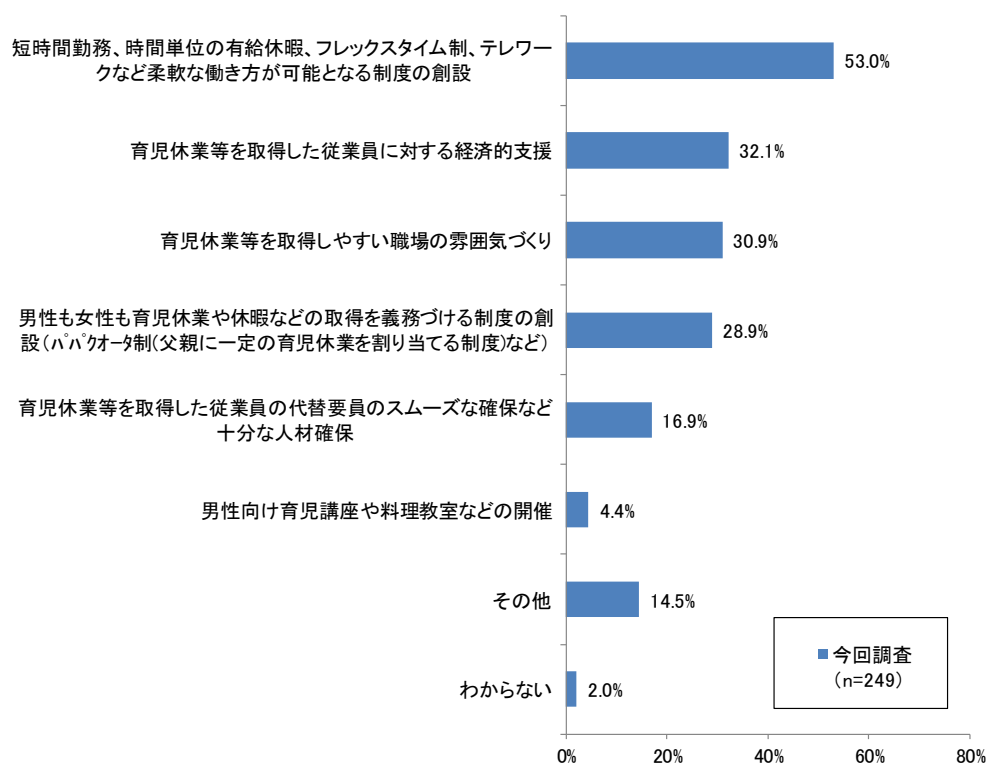
第1位「短時間勤務、時間単位の有給休暇、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方が可能となる制度の創設」(53.0%)、第2位「育児休業等を取得した従業員に対する経済的支援」(32.1%)、第3位「育児休業等を取得しやすい職場の雰囲気づくり」(30.9%)となっている。

性別では、男性は「男性も女性も育児休業や休暇などの取得を義務づける制度の創設(パクオータ制(父親に一定の育児休業を割り当てる制度)など)」の割合(51.2%)が最も高く、女性は「短時間勤務、時間単位の有給休暇、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方が可能となる制度の創設」の割合(57.6%)が最も高くなっている。

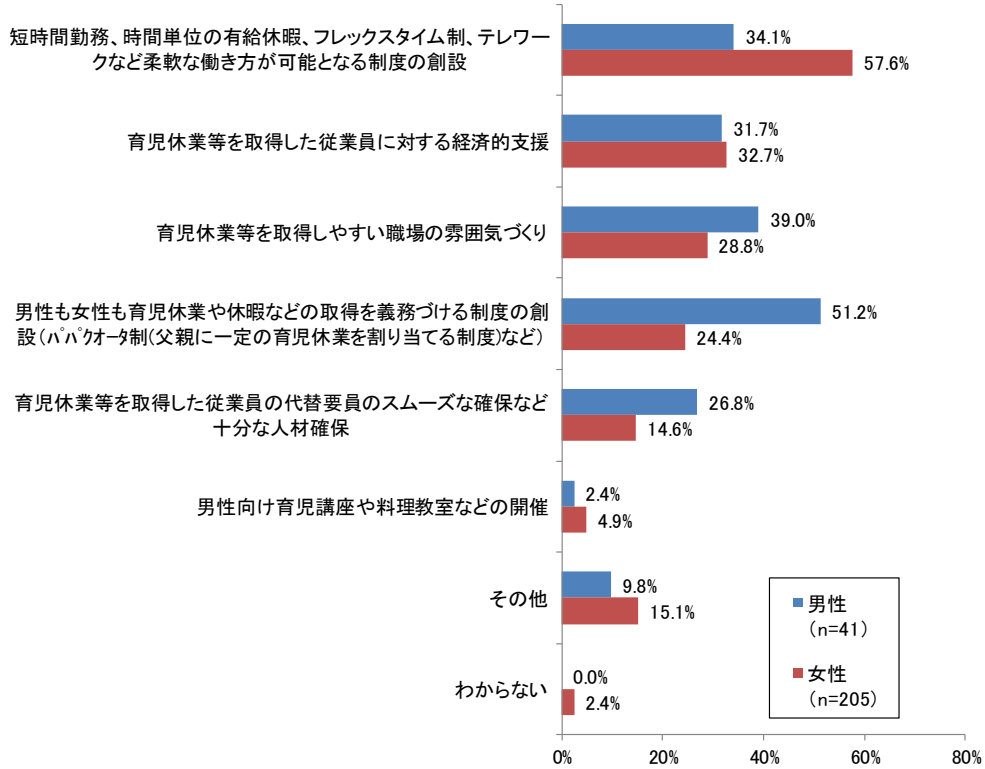
年代別では、いずれの年代も上位項目は、全体と概ね同様の傾向を示している。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いた地域は回答数が少ないため、分析は行わない。

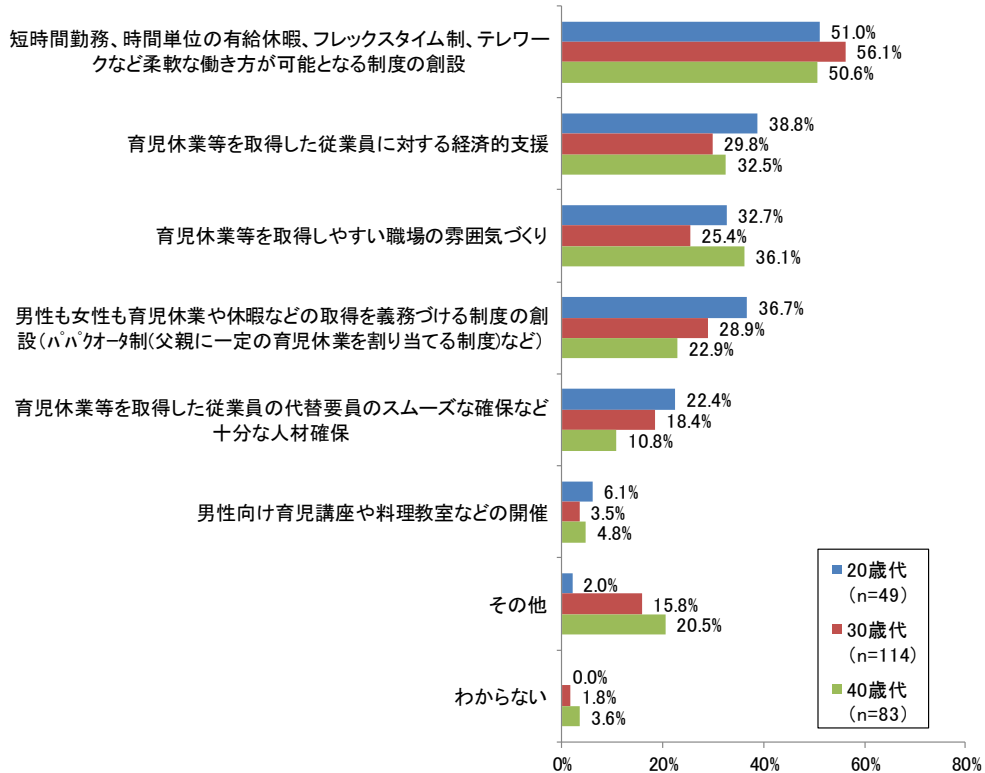
<今回調査 全体>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=33)	日向入郷 (n=15)	宮崎東諸県 (n=106)	西都児湯 (n=29)	日南串間 (n=10)	都城北諸県 (n=30)	西諸 (n=15)
短時間勤務、時間単位の有給休暇、フレックスタイム制、テレワークなど柔軟な働き方が可能となる制度の創設	45.5%	60.0%	48.1%	62.1%	80.0%	60.0%	53.3%
育児休業等を取得した従業員に対する経済的支援	39.4%	46.7%	33.0%	24.1%	30.0%	20.0%	46.7%
育児休業等を取得しやすい職場の雰囲気づくり	42.4%	26.7%	30.2%	17.2%	10.0%	26.7%	40.0%
男性も女性も育児休業や休暇などの取得を義務づける制度の創設(ハハクータ制(父親に一定の育児休業を割り当てる制度)など)	21.2%	20.0%	33.0%	34.5%	40.0%	26.7%	20.0%
育児休業等を取得した従業員の代替要員のスムーズな確保など十分な人材確保	15.2%	6.7%	21.7%	6.9%	10.0%	20.0%	6.7%
男性向け育児講座や料理教室などの開催	0.0%	0.0%	6.6%	6.9%	10.0%	3.3%	0.0%
その他	21.2%	6.7%	12.3%	13.8%	0.0%	23.3%	13.3%
わからない	3.0%	6.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問10 あなたは子どもが欲しいですか。また既にお子さんのいらっしゃる方はさらに子どもが欲しいですか。(1つに○)

○現在の子ども数

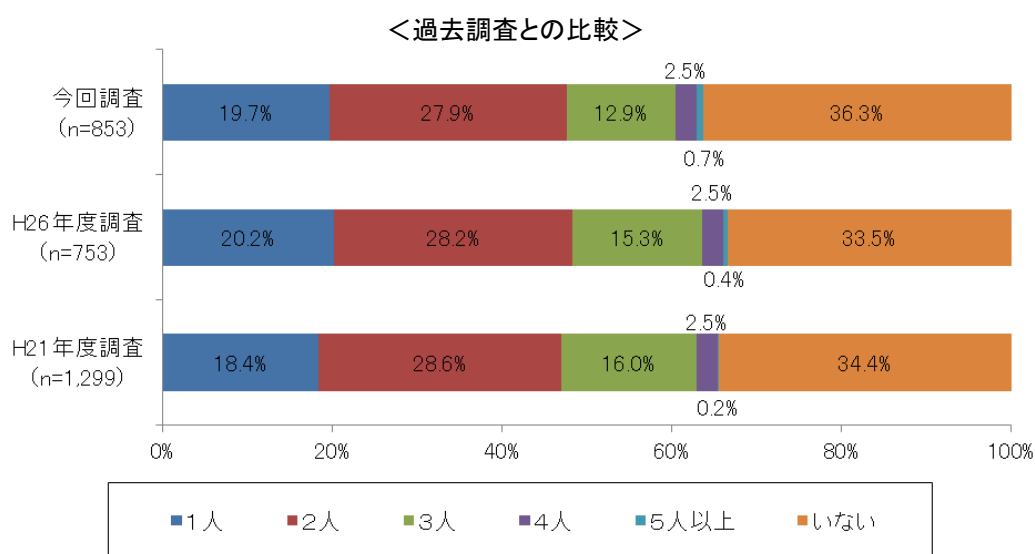
「いない」が36.3%で割合が最も高く、「2人」が27.9%、「1人」が19.7%、「3人」が12.9%の順となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の結果を示している。

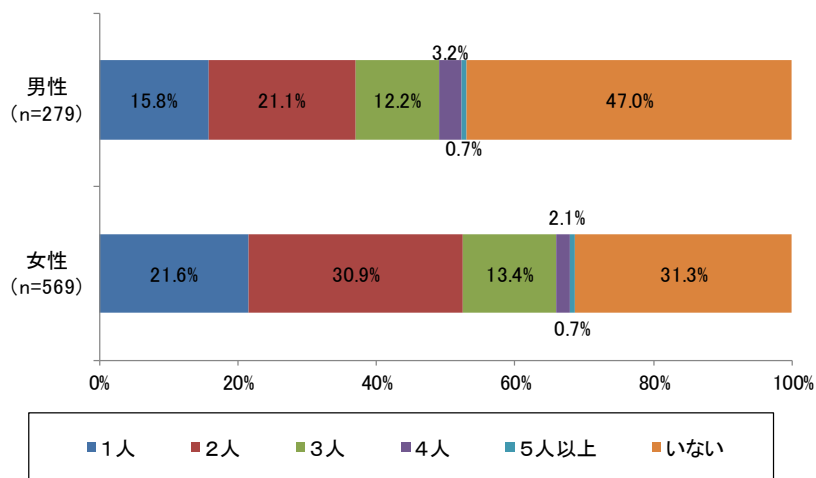
性別では、男性で「いない」(47.0%)が最も高い。女性は「いない」が31.3%、「2人」が30.9%となっている。

年代別では、「いない」は20歳代の割合(72.2%)が最も高く、30歳代は30.9%、40歳代は24.8%となっている。

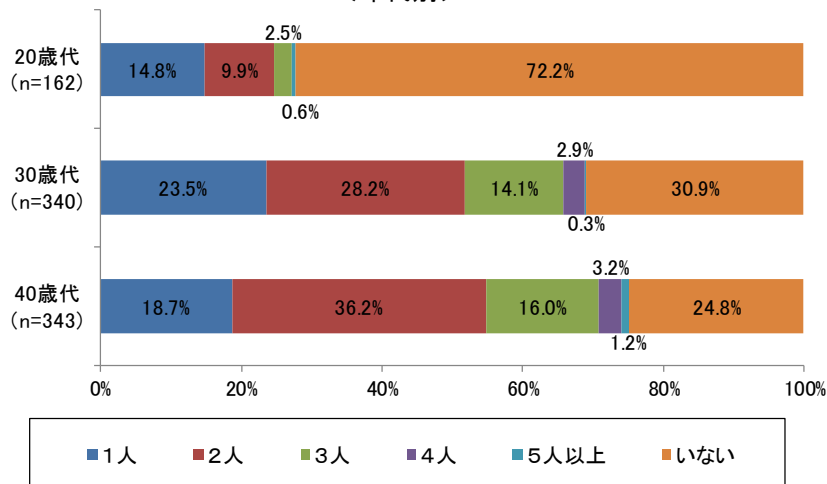
二次医療圏別では、「いない」は宮崎県北部、宮崎東諸県、日南串間では約4割となっているが、西都児湯と西諸では2割台後半となっている。



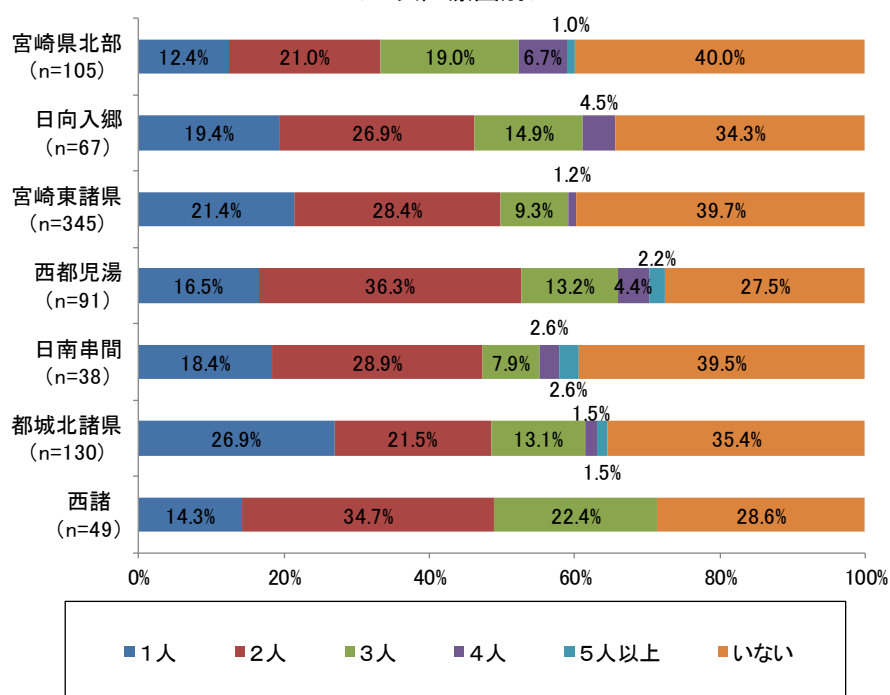
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



○予定している子ども数(現在の子ども数も含む)

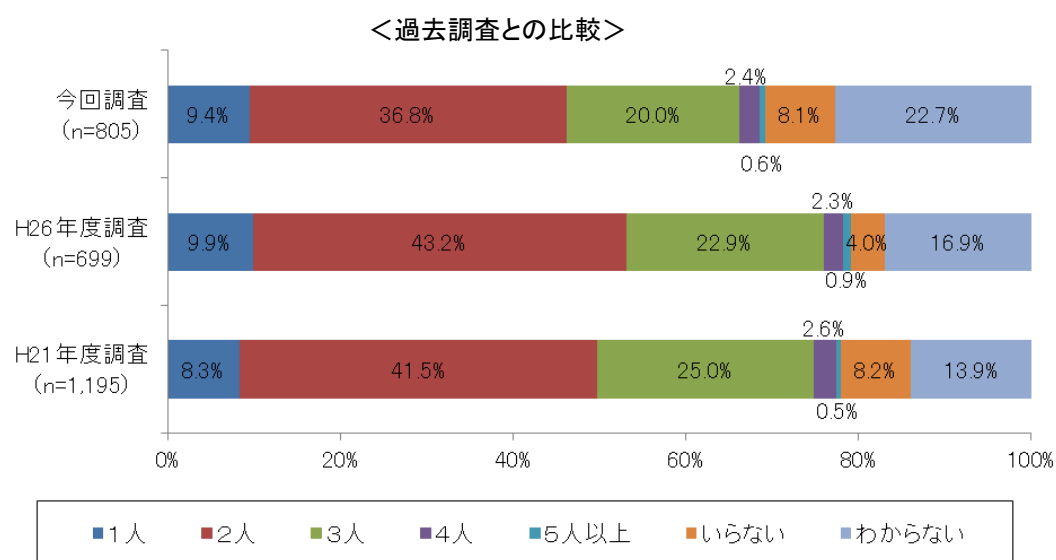
「2人」の割合(36.8%)が最も高くなっている。

過去調査との比較では、概ね同様の結果を示している。その中で、「2人」と「3人」は減少傾向を示しており、「わからない」は増加傾向を示している。

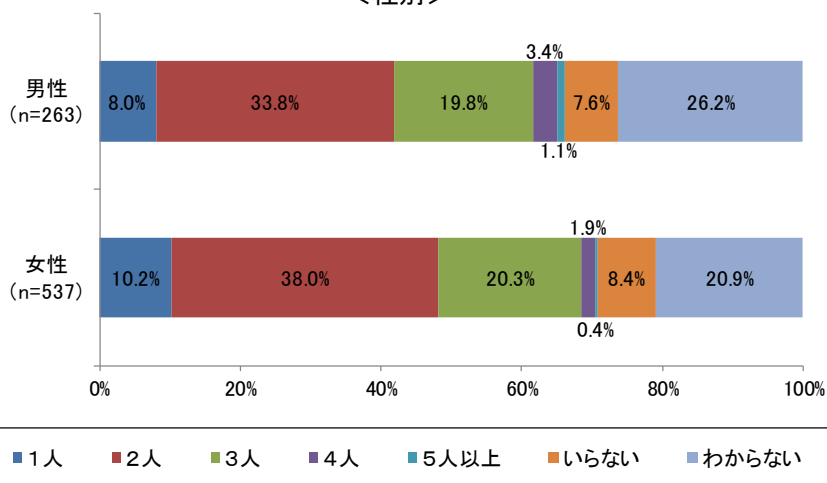
性別では、男女とも「2人」の割合が最も高くなっている。

年代別では、「全体」と概ね同じ傾向を示しているが、20歳代は「わからない」が第1位(33.8%)となっている。

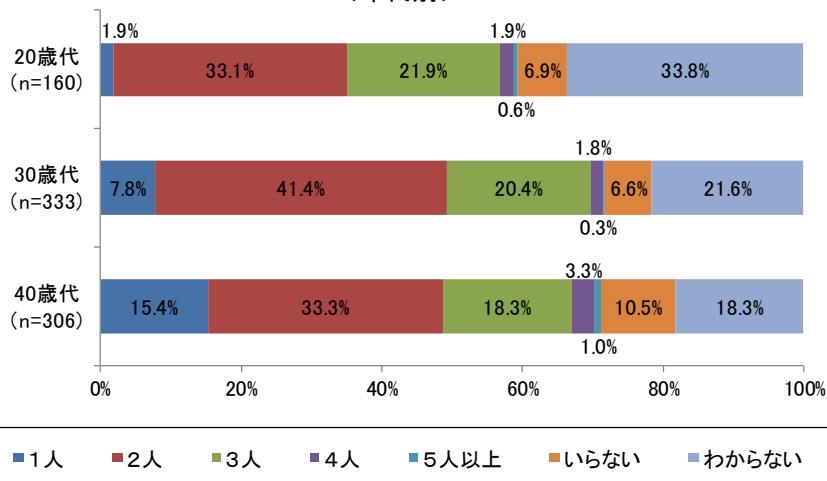
二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向を示している。その中で、都城北諸県と西諸で「3人」の割合(約3割)が他の圏域よりも高くなっている。



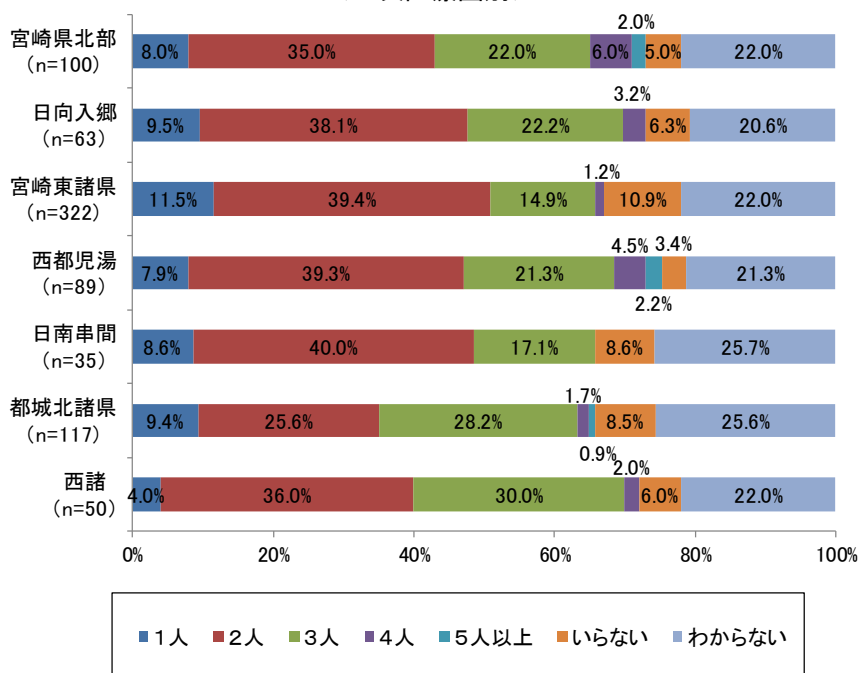
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



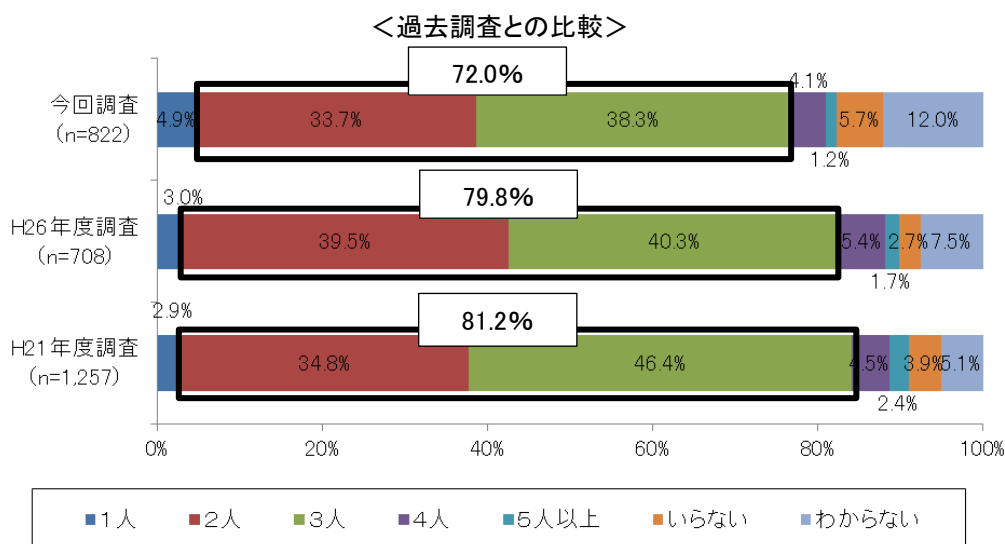
○理想としている子ども数(現在の子ども数を含む)

「3人」の割合(38.3%)が最も高く、次に「2人」(33.7%)となっており、両者で72.0%を占めているが、過去調査よりも低下している。なお、「わからない」は過去調査と比べると割合が高くなっている。

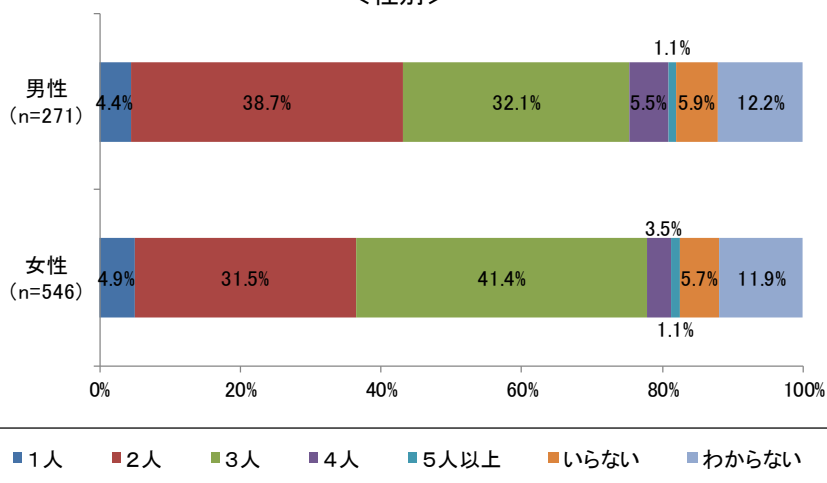
性別で見ると、男性は「2人」(38.7%)の割合、女性は「3人」(41.4%)の割合が最も高くなっている。

年代別では、30歳代と40歳代はともに「3人」(30歳代:42.6%、40歳代:35.7%)の割合が「2人」(30歳代:34.7%、40歳代:30.9%)を上回っている。

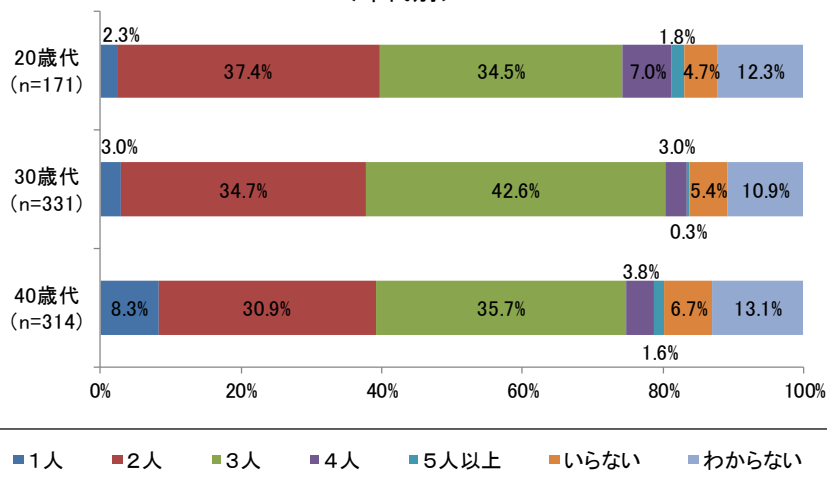
二次医療圏別では、宮崎県北部、日向入郷、西都児湯、都城北諸県、西諸で「3人」の割合(4割台前半)、そして、宮崎東諸県、日南串間は「2人」(3割台後半)の割合が最も高くなっている。



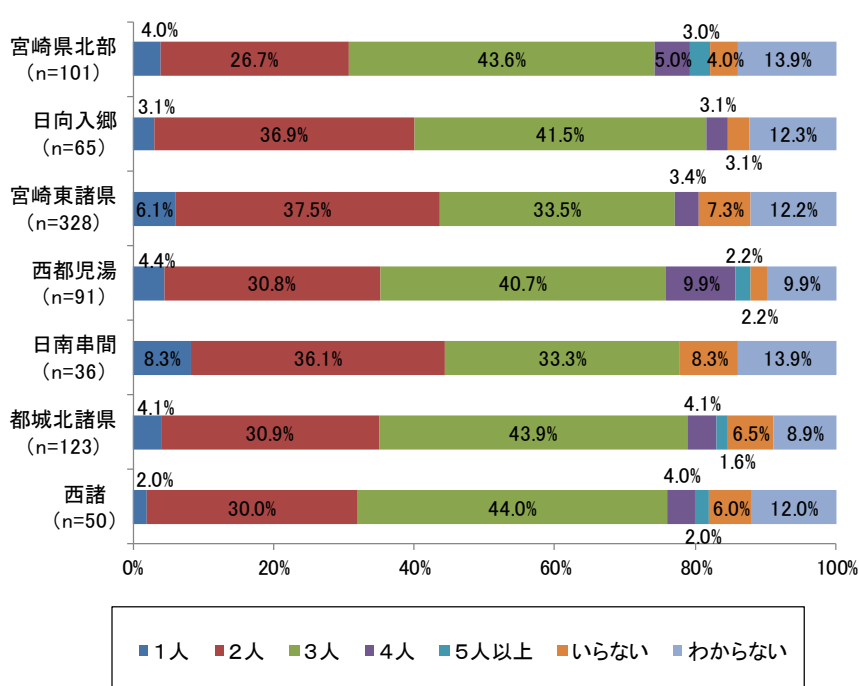
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



問11 問10「予定している子どもの数」又は「理想としている子どもの数」で「いない」を選ばれた方におうかがいします。

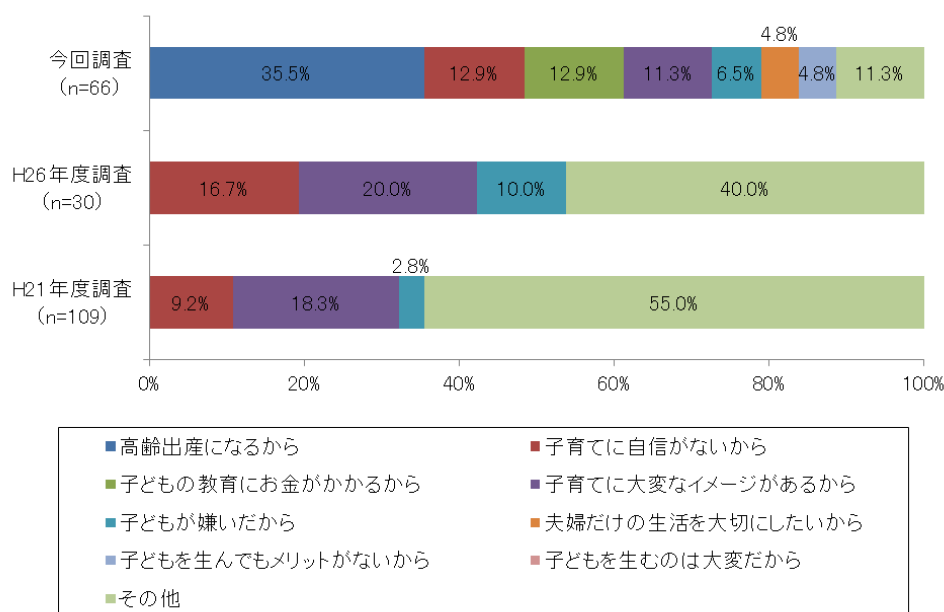
子どもは「いない」と考える具体的な理由は何ですか。(○は1つ)

「高齢出産になるから」の割合(35.5%)が最も高くなっている。

性別でも全体と同じ傾向を示している。その中で、男性は「子育てに大変なイメージがあるから」の割合(20.0%)が女性(7.1%)を大きく上回っている。

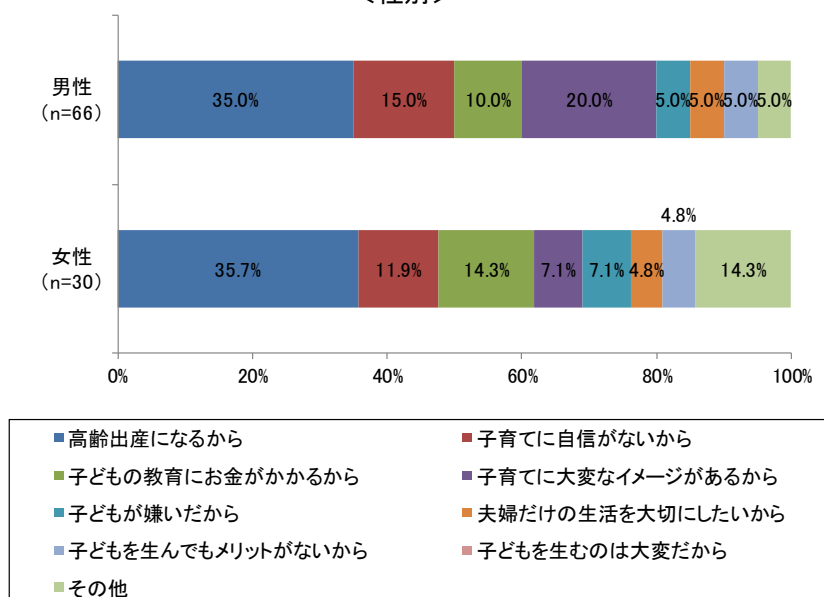
※年代別と二次医療圏別は回答数が少ないため、分析は行わない。

<過去調査との比較>

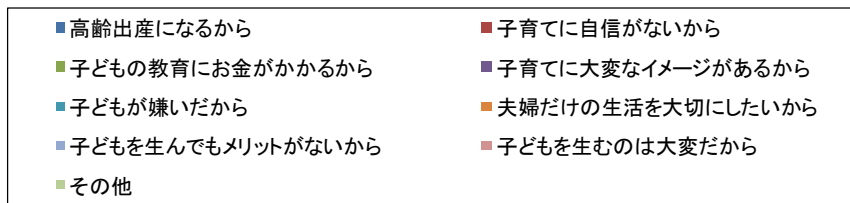
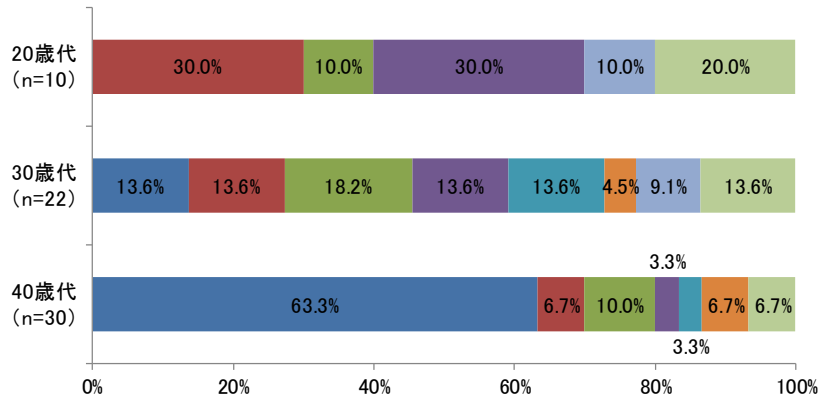


※「高齢出産になるから」は今回調査から追加した項目。

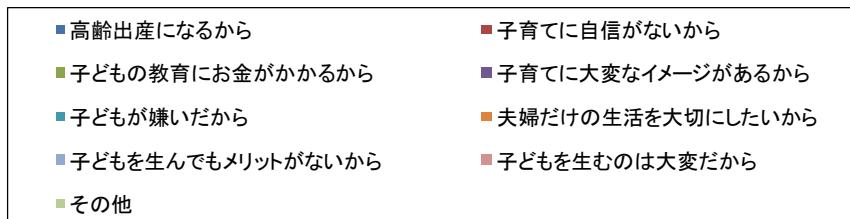
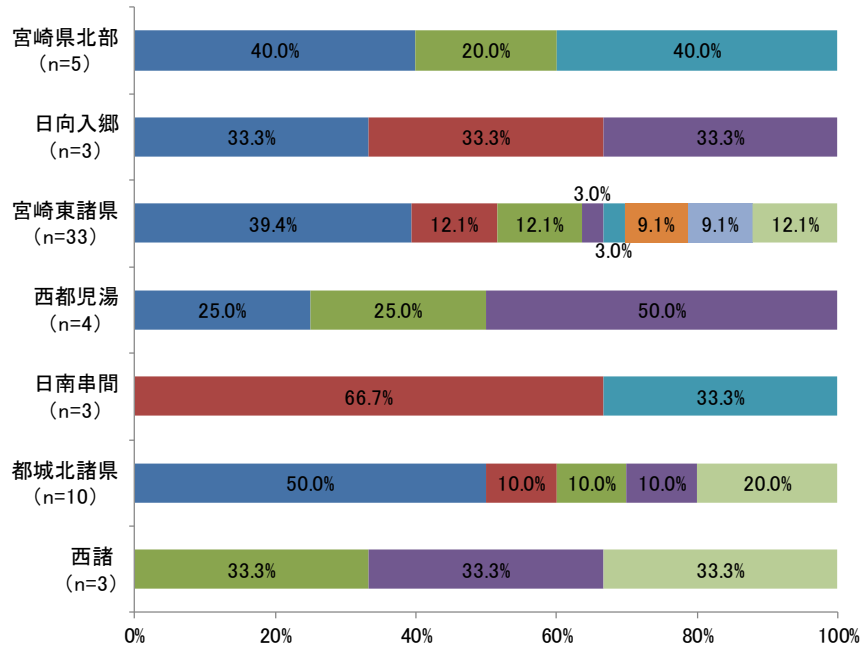
<性別>



<年代別> (参考)



<二次医療圏別> (参考)



問12 問10「予定している子どもの数」が、「理想としている子どもの数」より少ない方におうかがいします。そのように思っているのはなぜですか。(3つまで○)

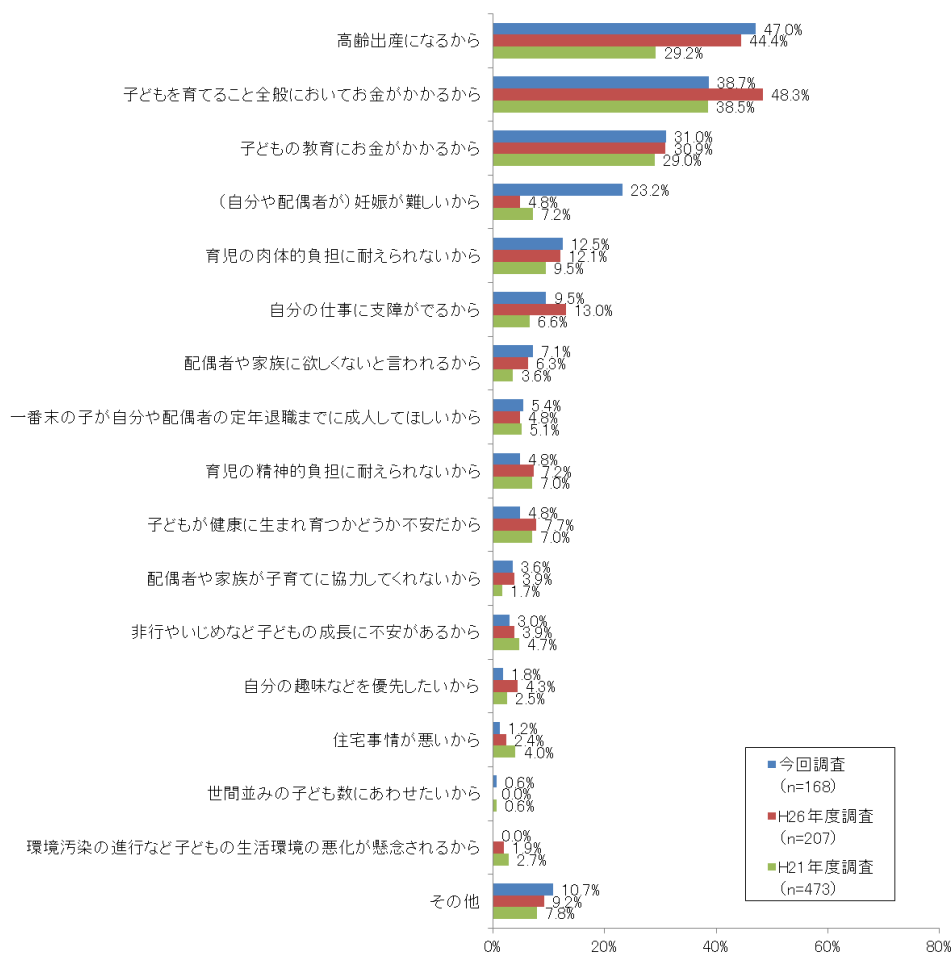
第1位「高齢出産になるから」(47.0%)、第2位「子どもを育てること全般においてお金がかかるから」(38.7%)、第3位「子どもの教育にお金がかかるから」(31.0%)となっている。

過去調査と比較すると、理由の順位は概ね同様となっているが、「(自分や配偶者が)妊娠が難しいから」(23.2%)の理由の割合が今回は高くなっている。

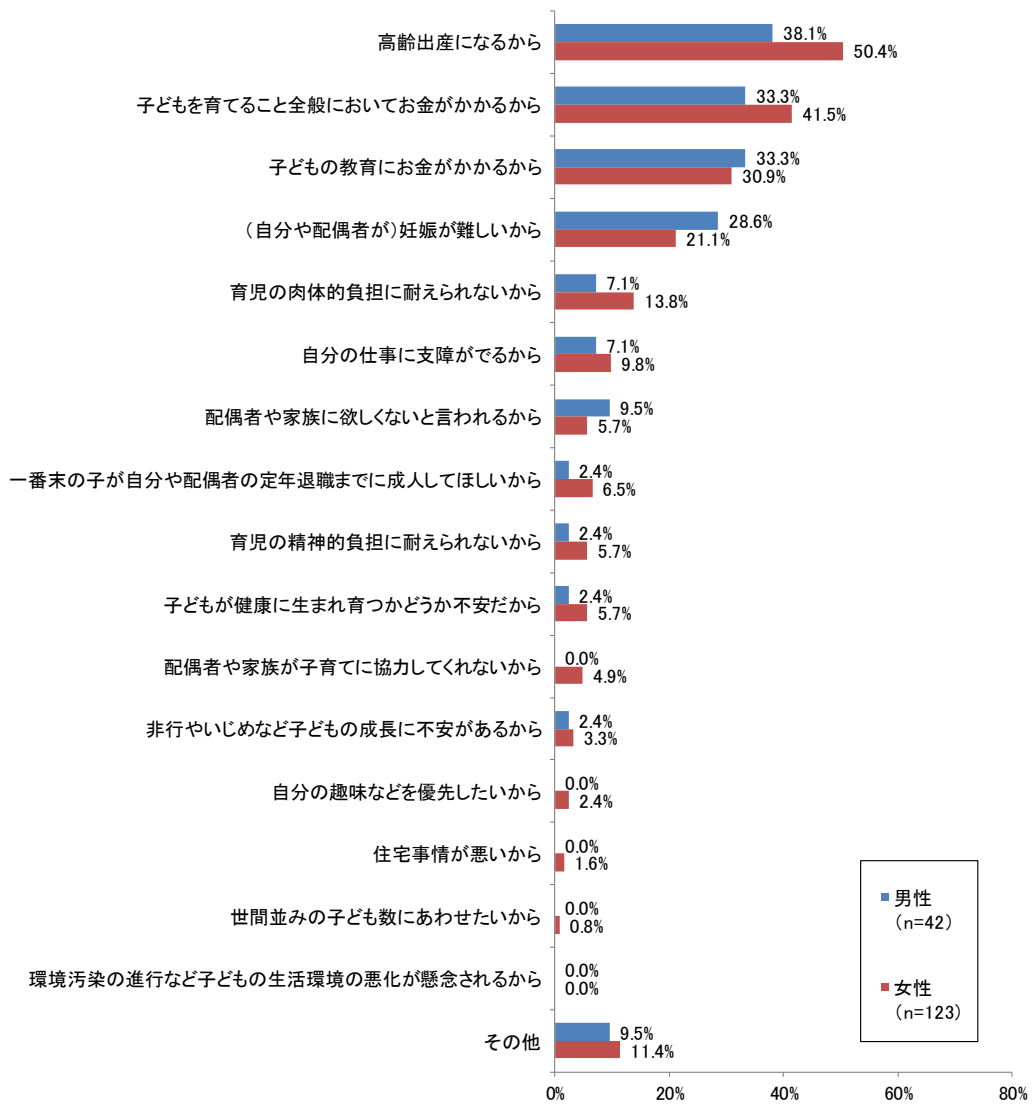
性別では、男女ともに理由の上位は概ね同様の傾向となっている。その中で「高齢出産になるから」は女性は50.4%であり、男性の38.1%を12.3ポイント上回っている。

※年代別と二次医療圏別は回答数が少ないため、分析は行わない。

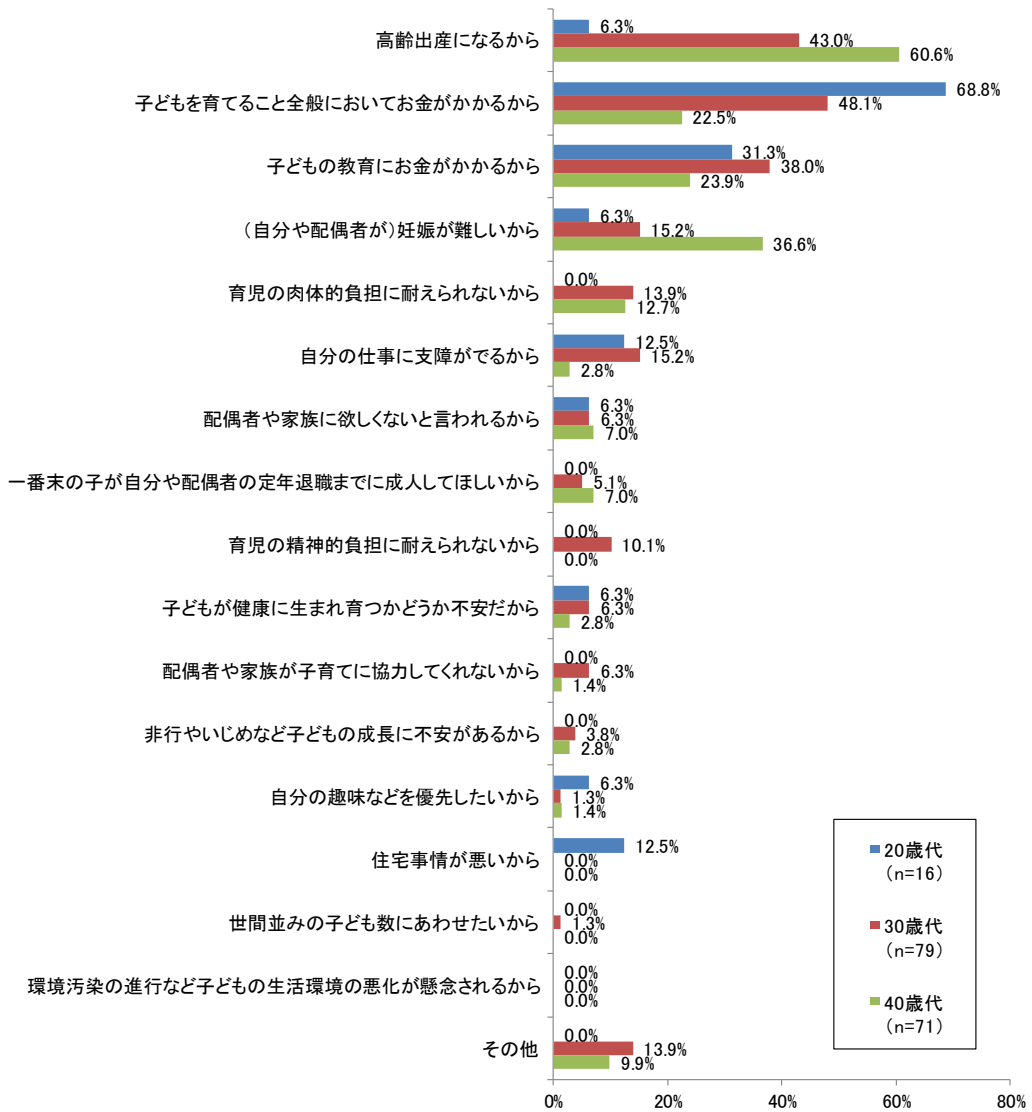
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別> (参考)



＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=26)	日向入郷 (n=12)	宮崎東諸県 (n=72)	西都児湯 (n=24)	日南串間 (n=4)	都城北諸県 (n=19)	西諸 (n=6)
高齢出産になるから	50.0%	50.0%	48.6%	41.7%	0.0%	42.1%	83.3%
子どもを育てること全般においてお金がかかるから	38.5%	16.7%	40.3%	50.0%	75.0%	42.1%	16.7%
子どもの教育にお金がかかるから	19.2%	41.7%	31.9%	29.2%	25.0%	52.6%	16.7%
(自分や配偶者が)妊娠が難しいから	15.4%	58.3%	22.2%	16.7%	25.0%	31.6%	0.0%
育児の肉体的負担に耐えられないから	11.5%	8.3%	12.5%	20.8%	25.0%	0.0%	16.7%
自分の仕事に支障がでるから	3.8%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%	5.3%	16.7%
配偶者や家族に欲しくないとと言われるから	3.8%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	5.3%	0.0%
一番末の子が自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから	0.0%	0.0%	4.2%	20.8%	0.0%	5.3%	0.0%
育児の精神的負担に耐えられないから	7.7%	0.0%	2.8%	12.5%	0.0%	5.3%	0.0%
子どもが健康に生まれ育つかどうか不安だから	7.7%	0.0%	1.4%	8.3%	25.0%	5.3%	16.7%
配偶者や家族が子育てに協力してくれないから	0.0%	0.0%	2.8%	4.2%	0.0%	10.5%	0.0%
非行やいじめなど子どもの成長に不安があるから	3.8%	0.0%	4.2%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
自分の趣味などを優先したいから	3.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
住宅事情が悪いから	3.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
世間並みの子ども数にあわせたいから	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
環境汚染の進行など子どもの生活環境の悪化が懸念されるから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	15.4%	16.7%	8.3%	4.2%	0.0%	10.5%	50.0%

4. 出生数の減少に関することについておたずねします。

問13 あなたは、出生率が低下傾向にある原因は何だと思いますか。(3つまで○)

第1位「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(54.4%)、第2位「平均的な結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えている」(50.2%)、第3位「仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所など)が整っていない」(49.1%)となっている。

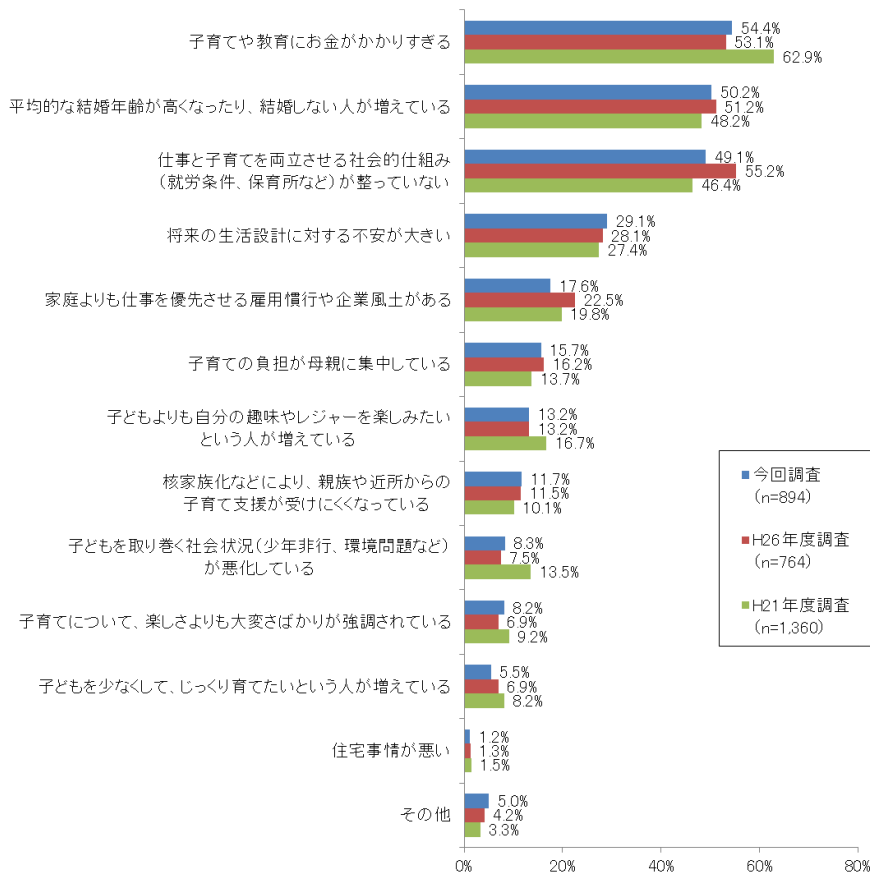
過去調査との比較では、上位の項目は概ね同様の傾向となっている。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向となっている。その中で男性は、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」や「将来の生活設計に対する不安が大きい」などの経済的理由が女性を上回っている。一方、女性は「仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所など)が整っていない」や「子育ての負担が母親に集中している」といった子育てに関する理由が男性を上回っている。

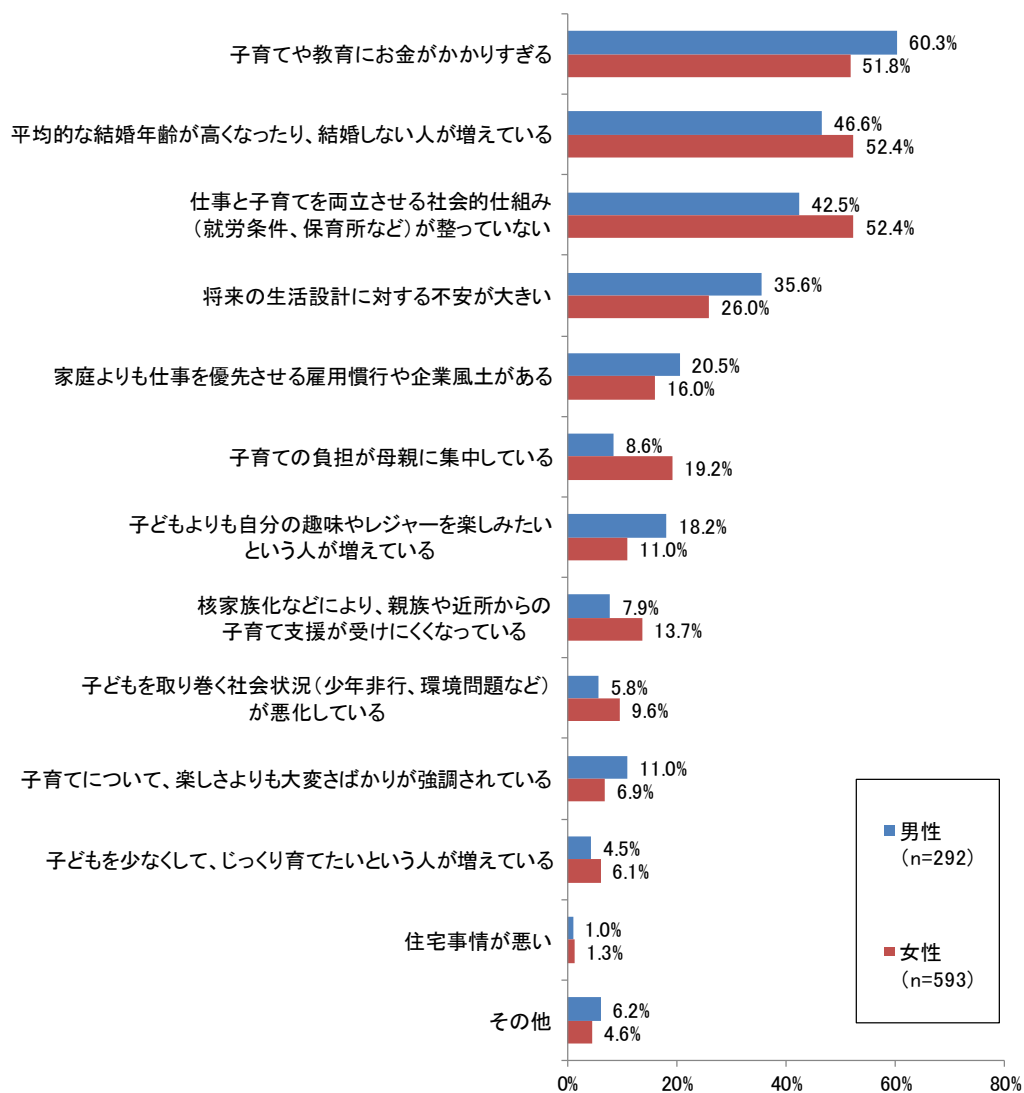
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向となっている。

二次医療圏別では、上位3項目はいずれの圏域も概ね同様の傾向となっている。

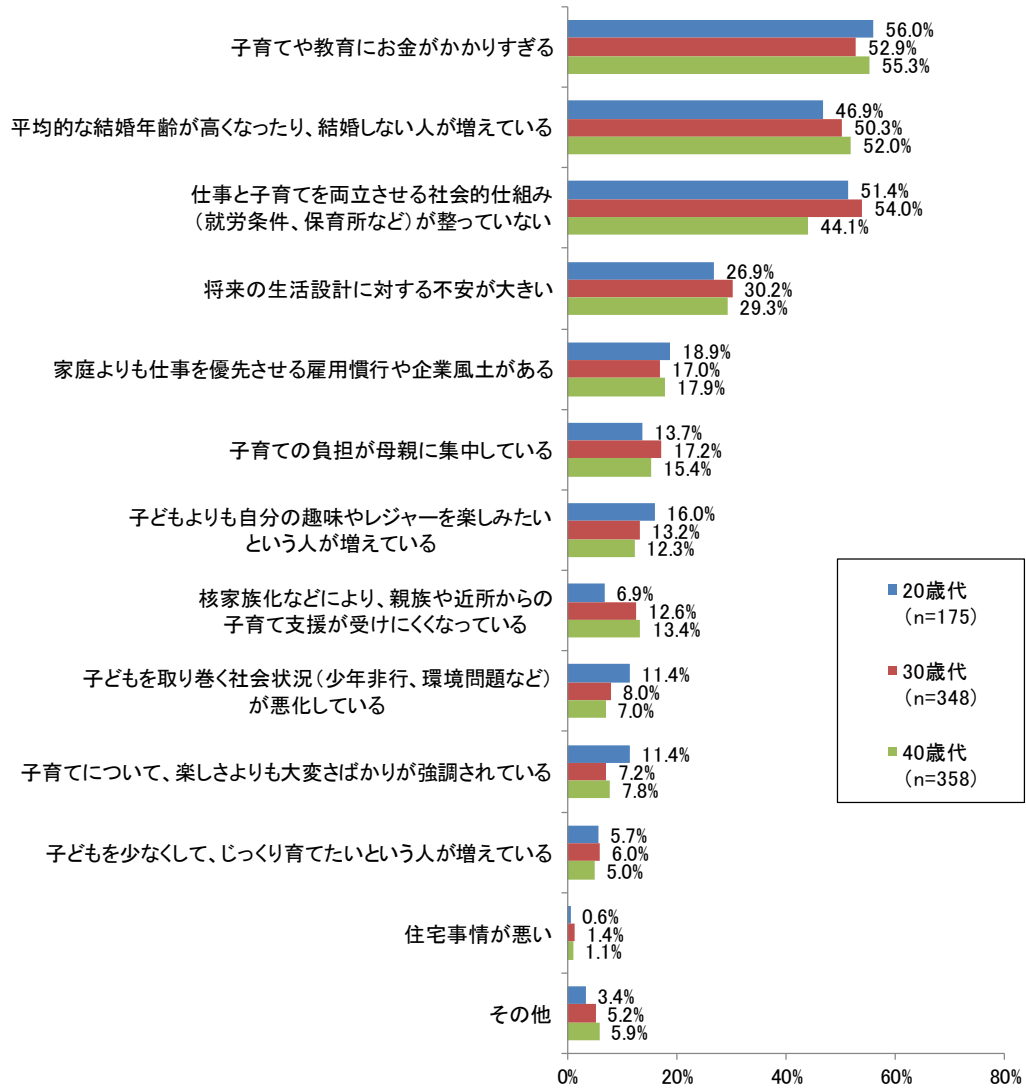
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
子育てや教育にお金がかかりすぎる	55.0%	41.7%	55.2%	47.4%	52.5%	62.0%	58.8%
平均的な結婚年齢が高くなったり、結婚しない人が増えている	48.6%	50.0%	51.8%	56.8%	65.0%	43.1%	45.1%
仕事と子育てを両立させる社会的仕組み(就労条件、保育所など)が整っていない	53.2%	47.2%	49.6%	50.5%	37.5%	42.3%	54.9%
将来の生活設計に対する不安が大きい	30.3%	31.9%	31.0%	21.1%	22.5%	32.1%	21.6%
家庭よりも仕事を優先させる雇用慣行や企業風土がある	17.4%	19.4%	15.5%	21.1%	15.0%	18.2%	17.6%
子育ての負担が母親に集中している	14.7%	16.7%	15.2%	15.8%	25.0%	13.9%	17.6%
子どもよりも自分の趣味やレジャーを楽しみたいという人が増えている	12.8%	12.5%	13.2%	12.6%	12.5%	14.6%	13.7%
核家族化などにより、親族や近所からの子育て支援が受けにくくなっている	11.9%	16.7%	12.4%	15.8%	7.5%	6.6%	15.7%
子どもを取り巻く社会状況(少年非行、環境問題など)が悪化している	10.1%	8.3%	7.6%	5.3%	5.0%	10.9%	9.8%
子育てについて、楽しさよりも大変さばかりが強調されている	9.2%	11.1%	7.3%	9.5%	15.0%	7.3%	5.9%
子どもを少なくして、じっくり育てたいという人が増えている	2.8%	4.2%	7.0%	6.3%	2.5%	5.1%	5.9%
住宅事情が悪い	1.8%	2.8%	1.4%	1.1%	0.0%	0.7%	0.0%
その他	5.5%	11.1%	4.2%	4.2%	5.0%	6.6%	0.0%

5. 子育て環境の整備に関することについておたずねします。

問14 あなたは、現在お住まいの地域の子育て環境について、どのような印象を持っていますか。(〇は1つ)

ア 気象条件や自然環境

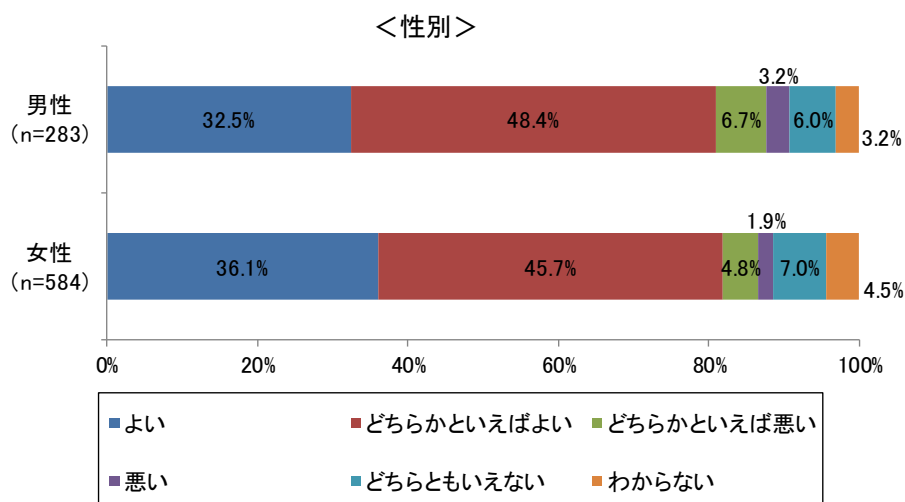
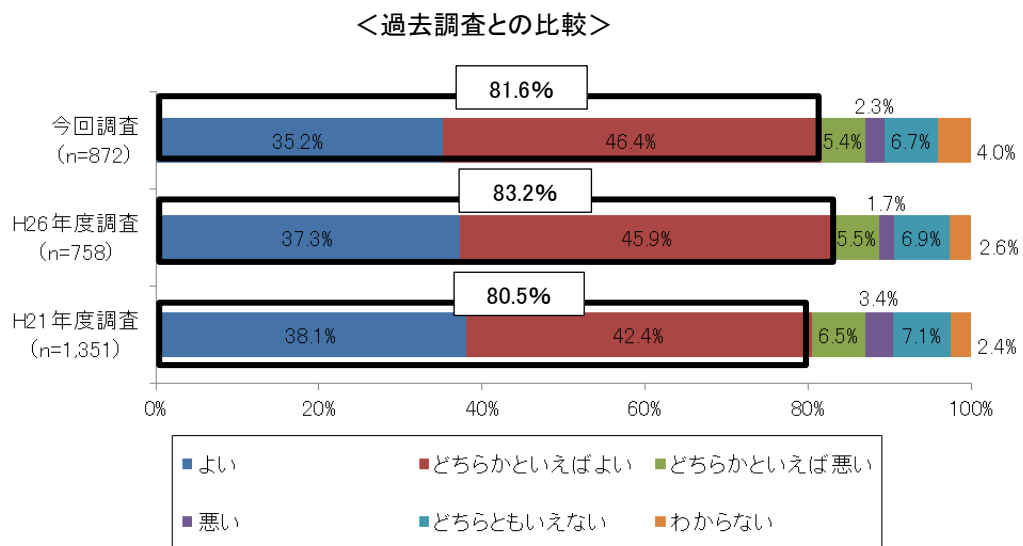
「よい」(「よい」と「どちらかといえばよい」の計:以下同じ)は81.6%、「悪い」(「悪い」と「どちらかといえば悪い」の計:以下同じ)は7.7%となっている。

過去調査との比較では、ほぼ同様の傾向となっている。

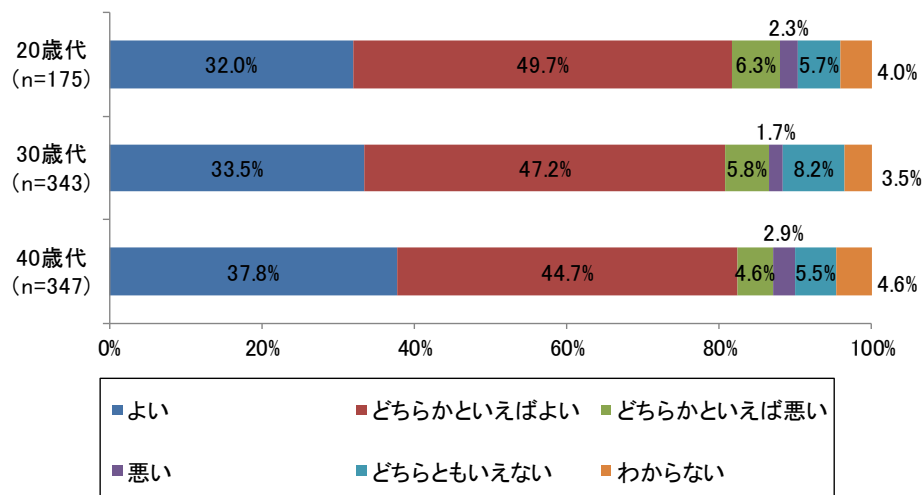
性別では、男女とも同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も同様の傾向となっている。

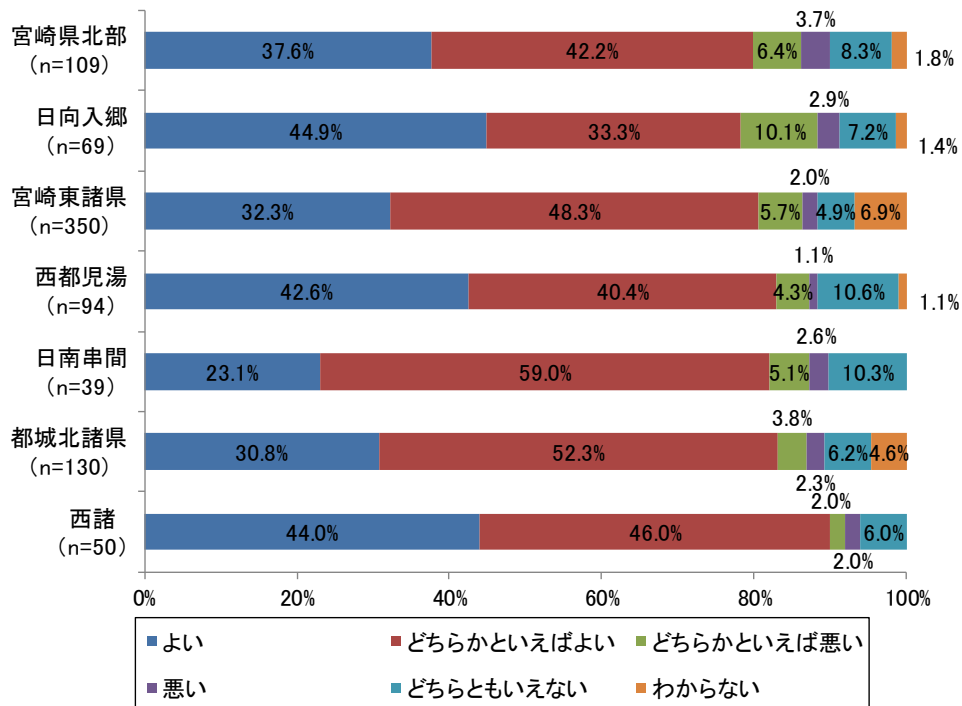
二次医療圏別では、全体と同じ傾向にある中で西諸は「よい」が全体(81.6%)を上回る9割となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



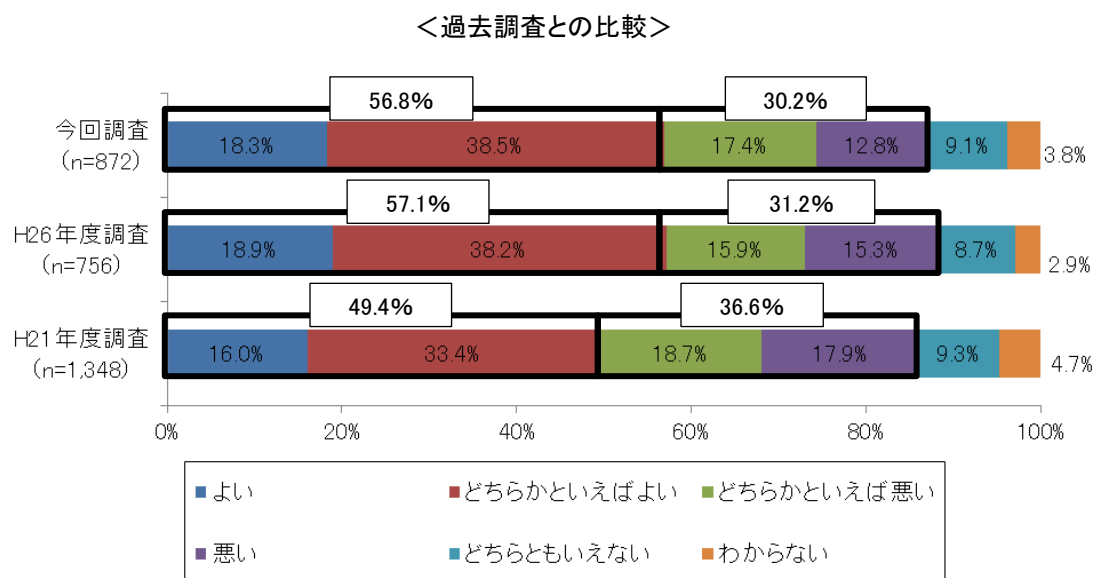
イ 公園や広場など子どもの遊び場

「よい」は56.8%、「悪い」は30.2%となっており、過去の調査と概ね同じ傾向を示している。

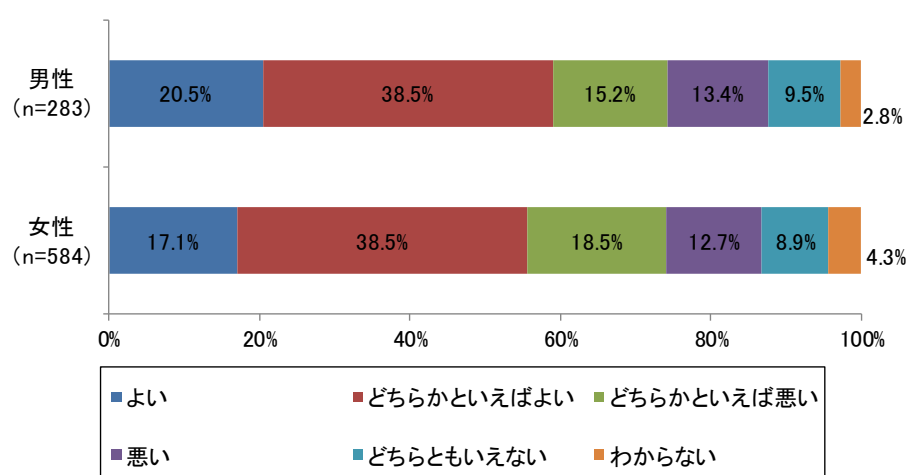
性別では、男女とも全体と同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も全体と同様の傾向となっている。

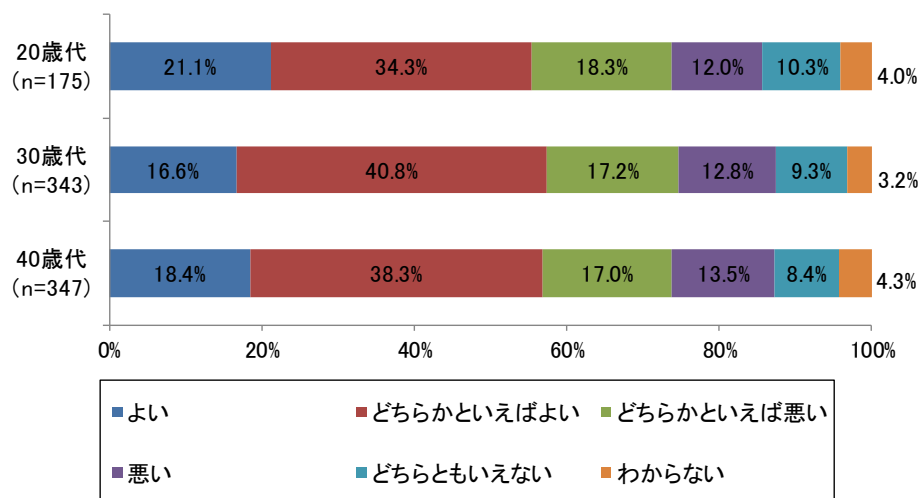
二次医療圏別では、全体とほぼ同じ傾向にあるが、日南串間は「よい」と「悪い」がほぼ同じ、西諸は「悪い」(50.0%)が「よい」(30.0%)を上回っている。



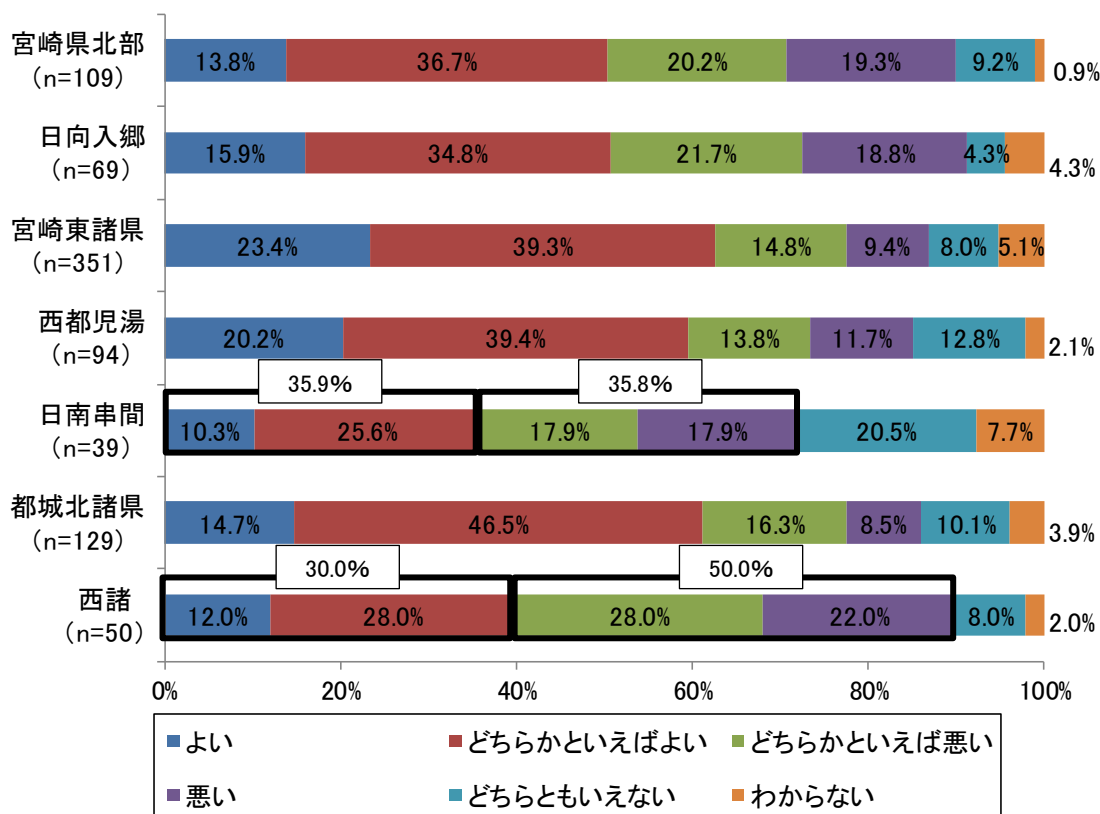
＜性別＞



<年代別>



<二次医療圏別>



ウ のびのびと学習できる環境

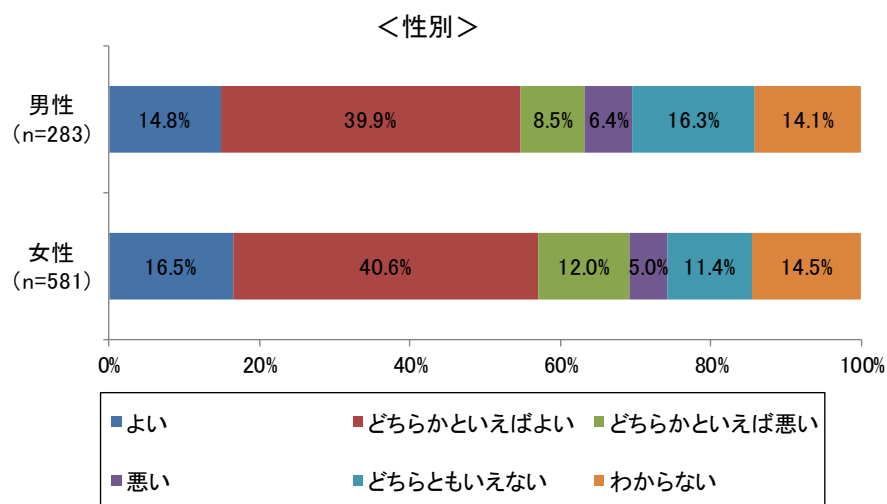
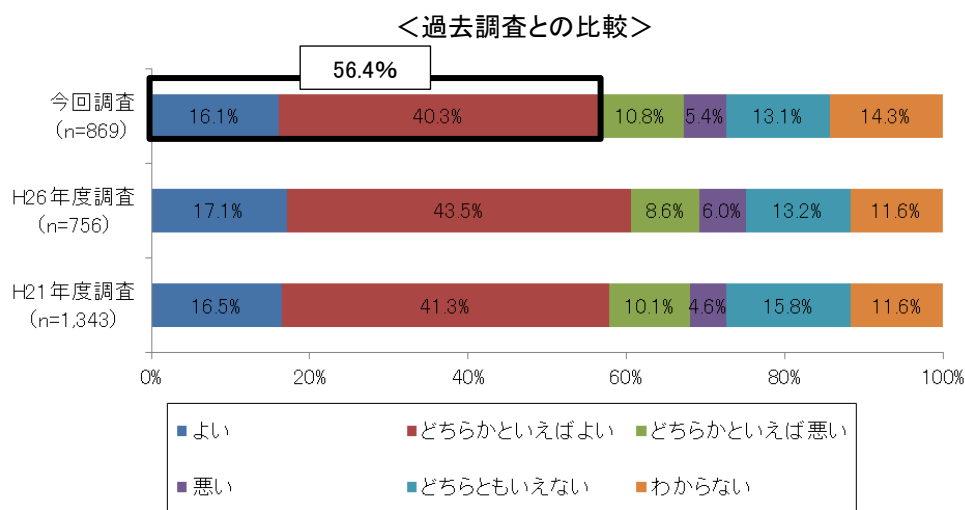
「よい」は、56.4%となっている。また、「わからない」は14.3%となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

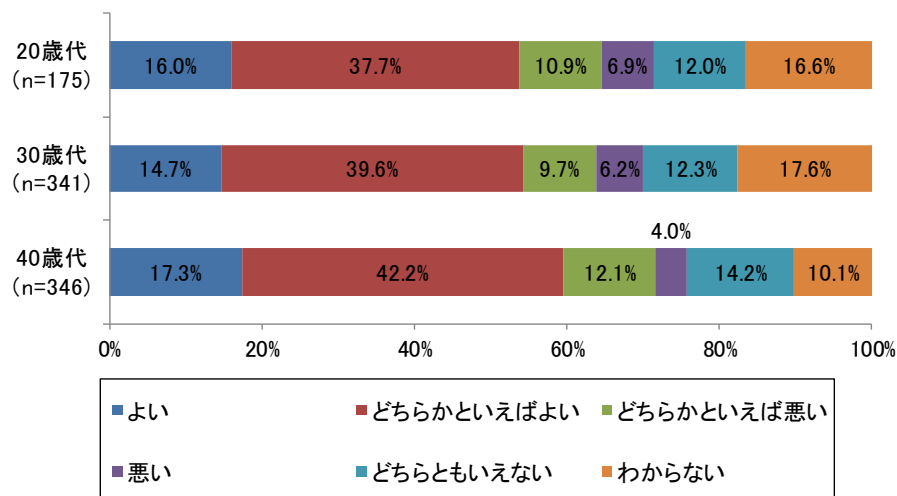
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向となっている。

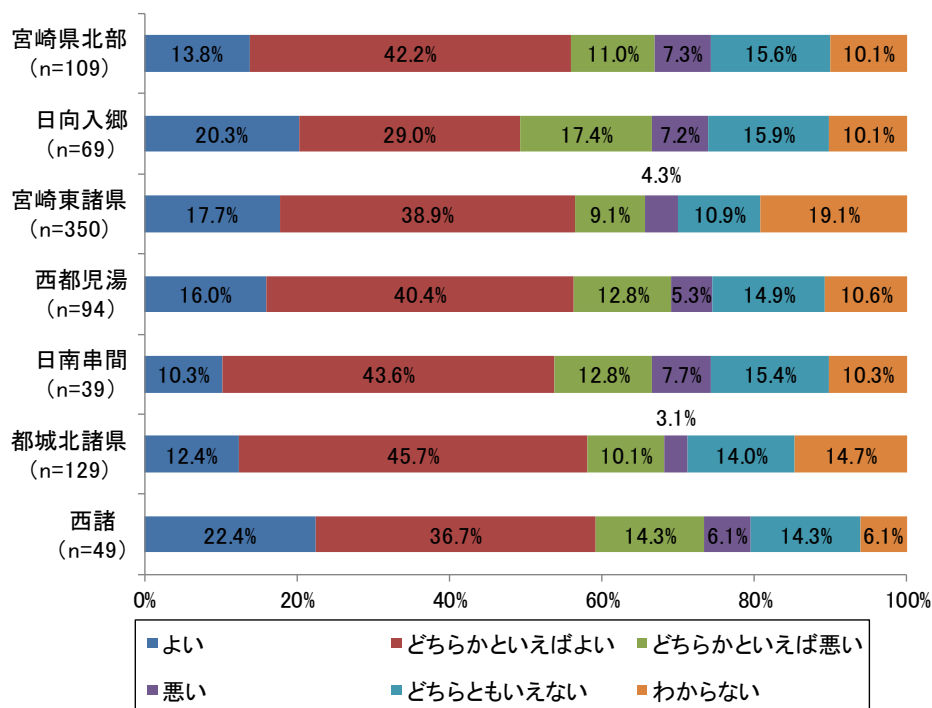
二次医療圏別では、いずれの圏域も概ね同様の傾向となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



エ 子どもが事故等にあわないような安全性

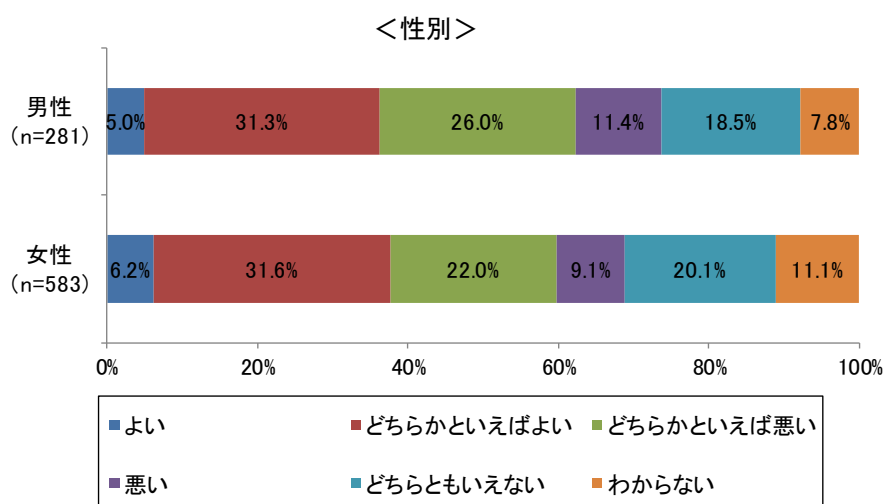
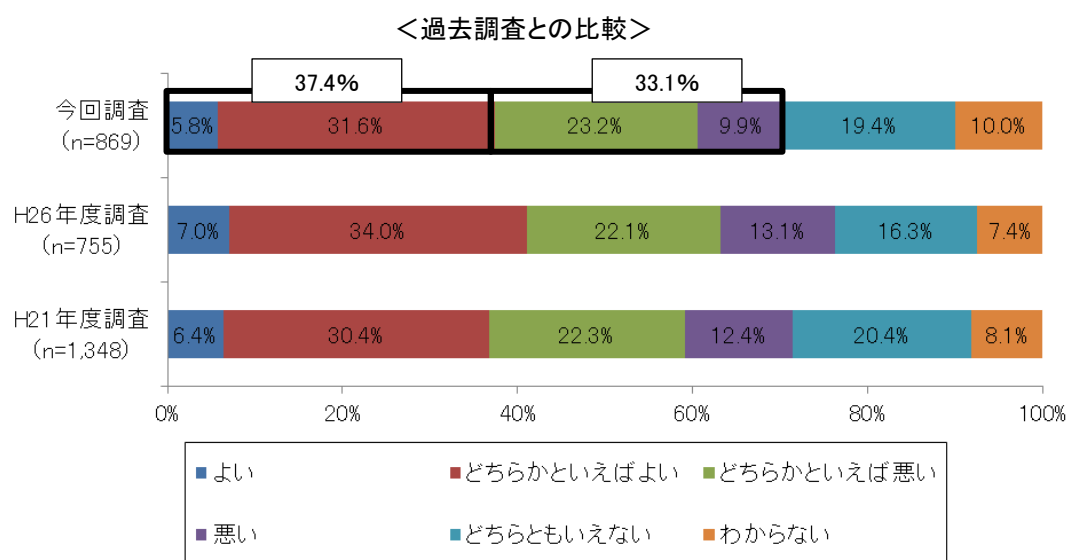
「よい」は、37.4%となっており、「悪い」は33.1%となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

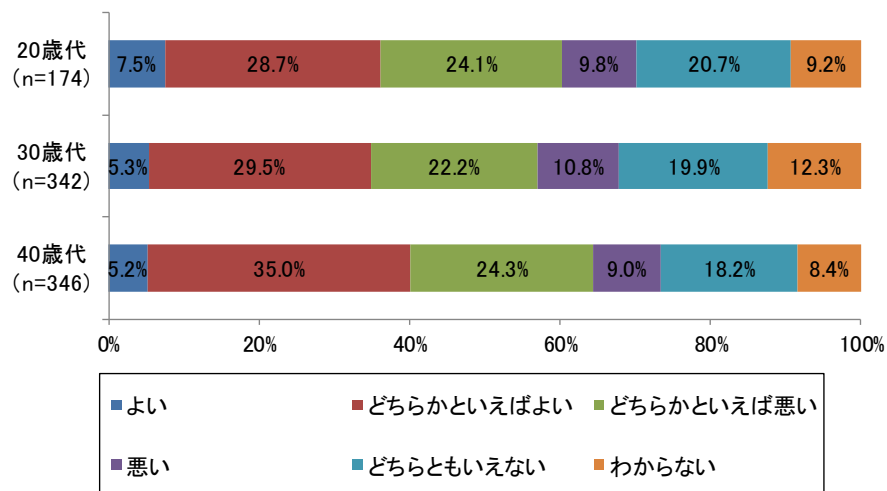
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向となっている。

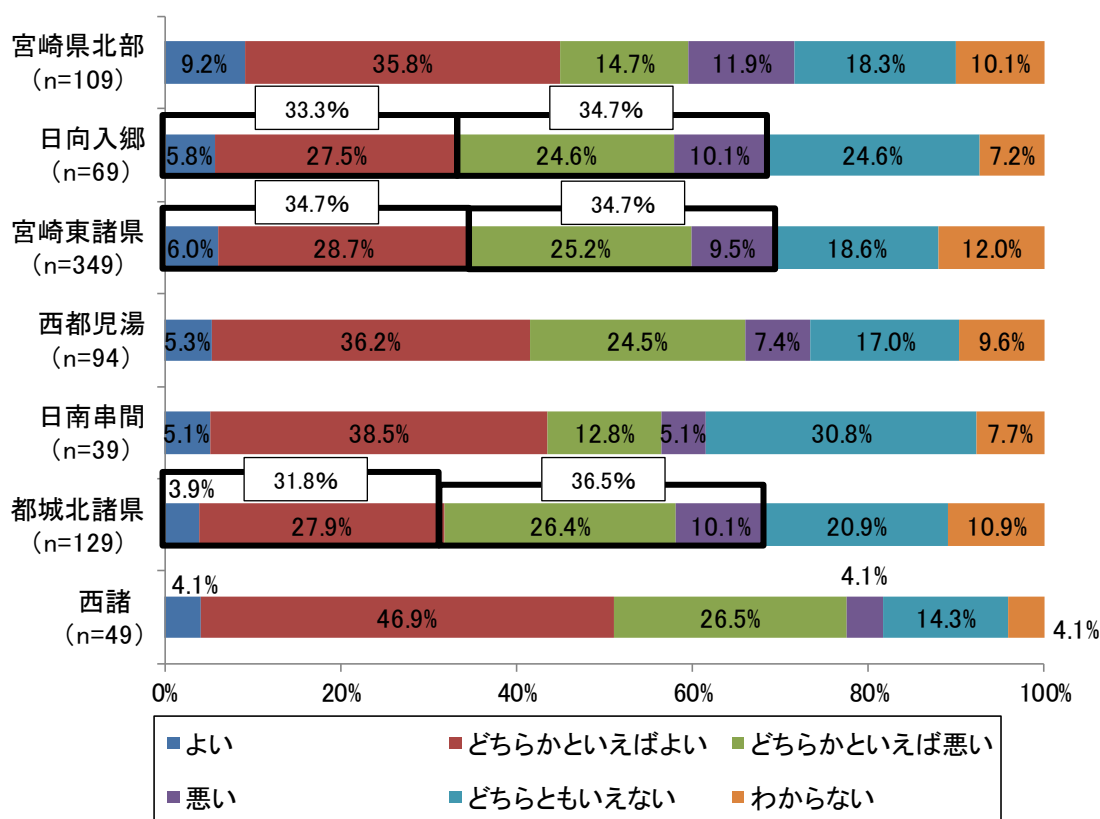
二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向にある。その中で、日向入郷、宮崎東諸県で「悪い」と「良い」が同程度で、都城北諸県は「悪い」(36.5%)が「よい」(31.8%)を上回っている。



<年代別>



<二次医療圏別>



オ 育児等に関する情報

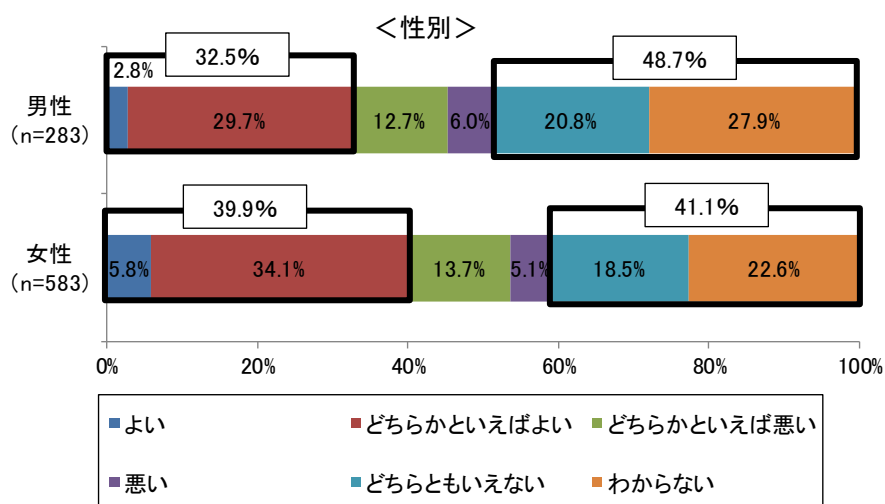
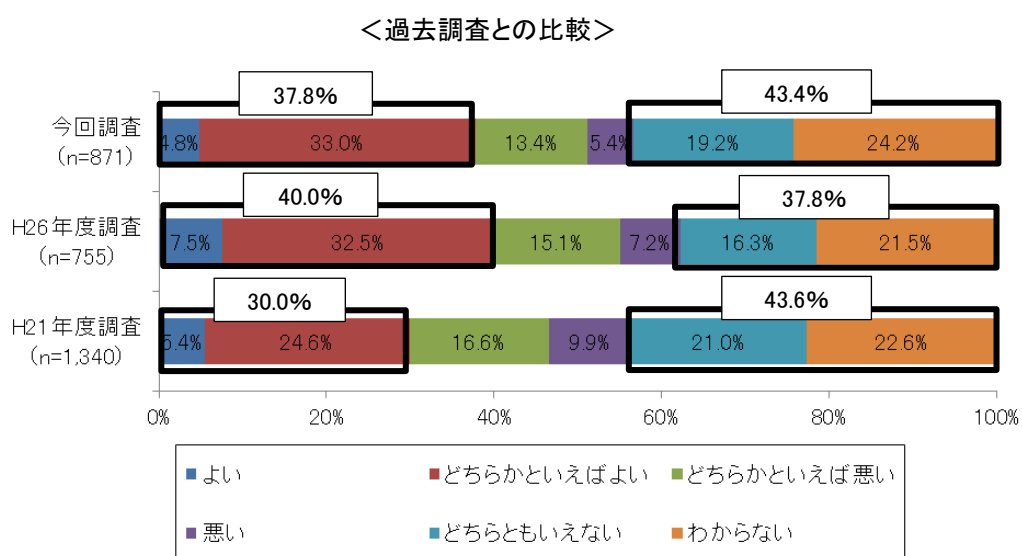
第1位は「よい」(37.8%)、第2位「わからない」(24.2%)、第3位「どちらともいえない」(19.2%)となっている。

過去調査との比較では、「よい」は30.0~40.0%であり、「どちらともいえない」と「わからない」の合計(→”判断不可能”:以下同じ)の割合を下回っている。

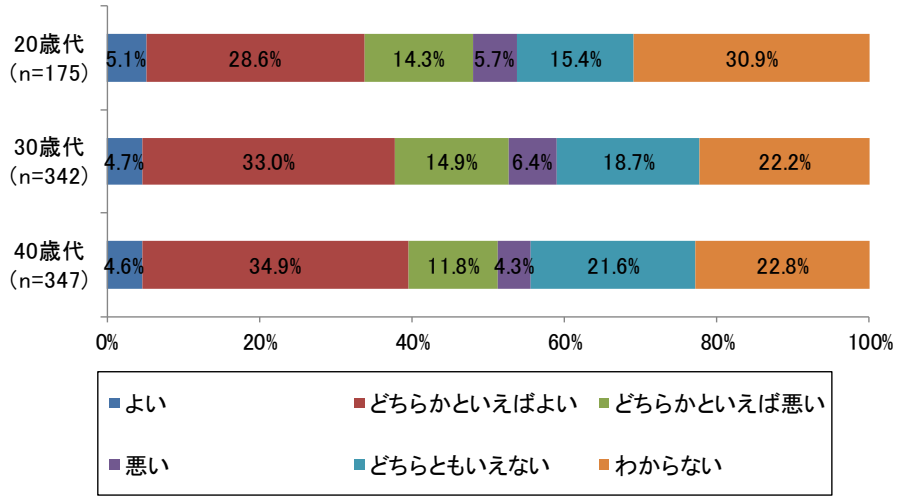
性別では、女性で「よい」が39.9%で男性の32.5%を7.4ポイント上回っている。

年代別では、20歳代で「わからない」が30.9%で他の年代よりも割合が高くなっている。

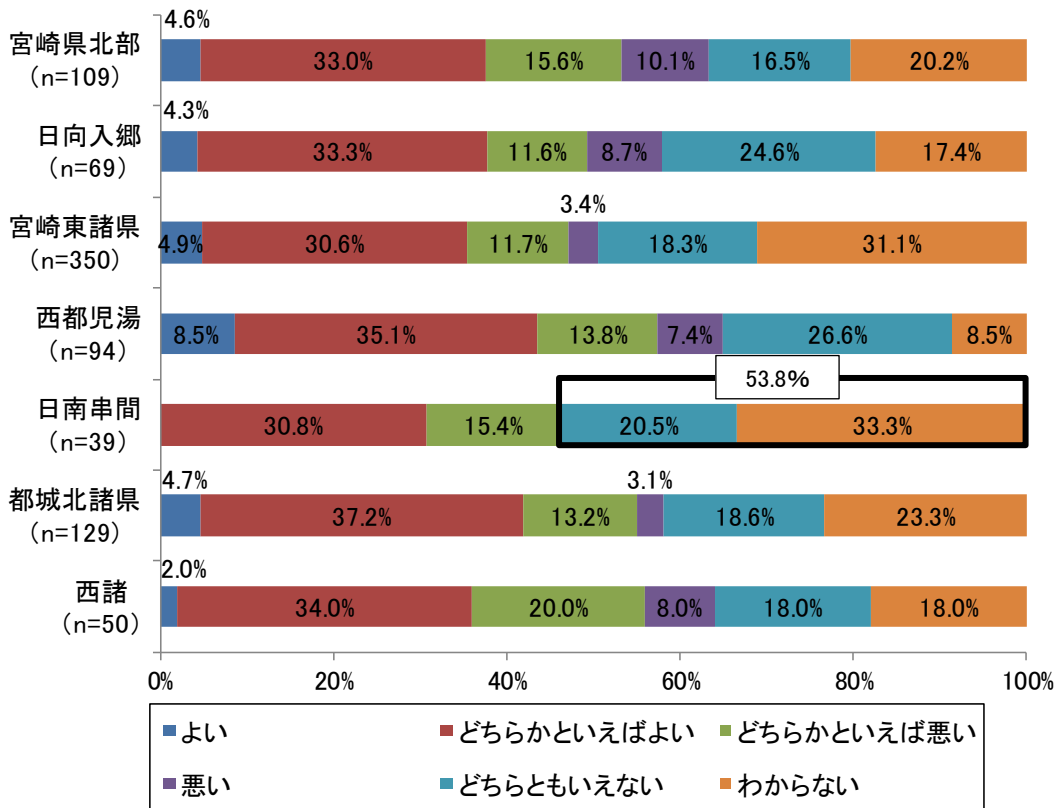
二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向にあるが、日南串間は”判断不可能”が半数(53.8%)を超えている。



<年代別>



<二次医療圏別>



カ 保育所・幼稚園・認定こども園の相談体制

「よい」は、40.6%となっている。また、「わからない」が33.0%となっている。

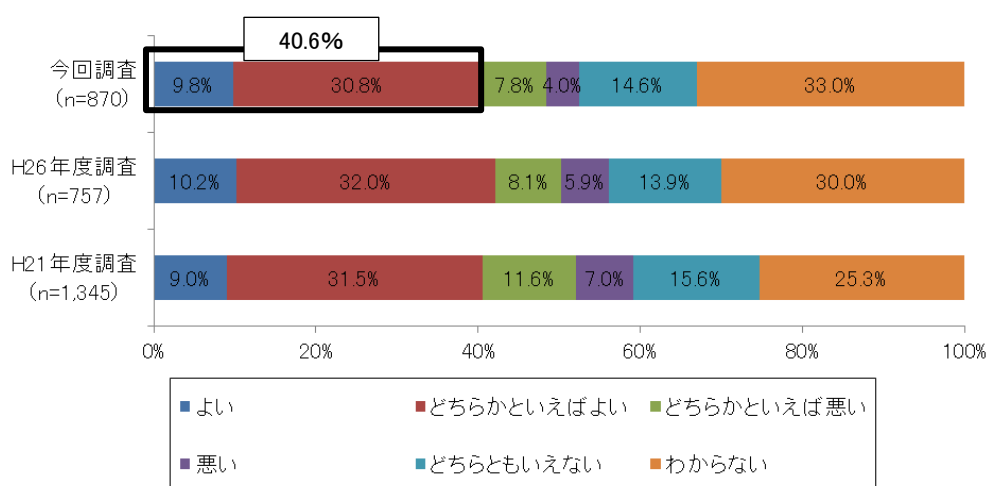
過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

性別では、「よい」は女性(42.2%)で、「男性」(36.7%)を5.5ポイント上回っている。

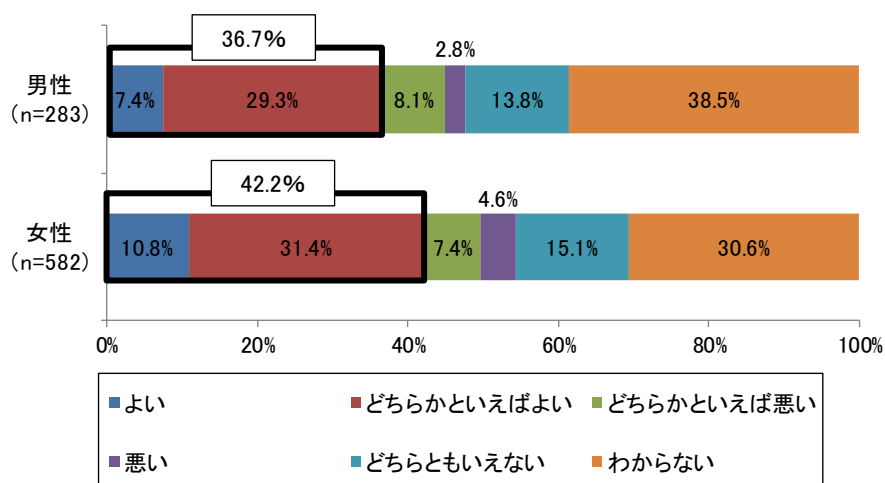
年代別では、年代が上がるにつれて「よい」の割合が高くなっており、40歳代では40.1%となっている。

二次医療圏別では、西都児湯で「よい」が47.9%で他の圏域よりも割合が高くなっている。

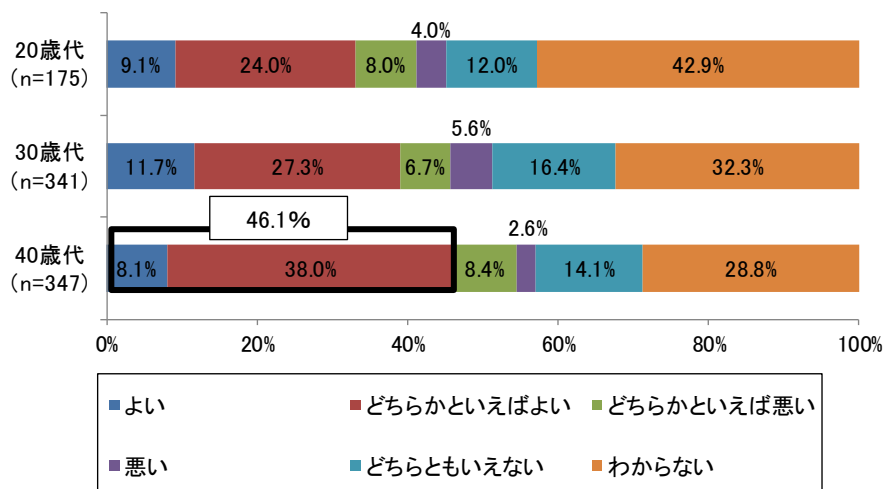
<過去調査との比較>



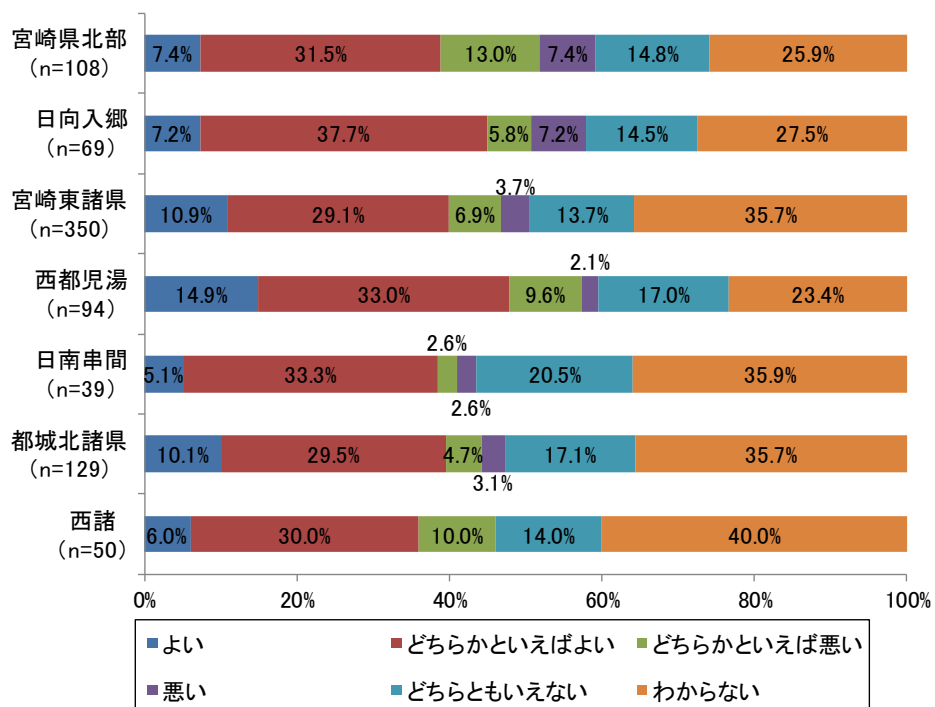
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



キ 病院・診療所などの医療施設

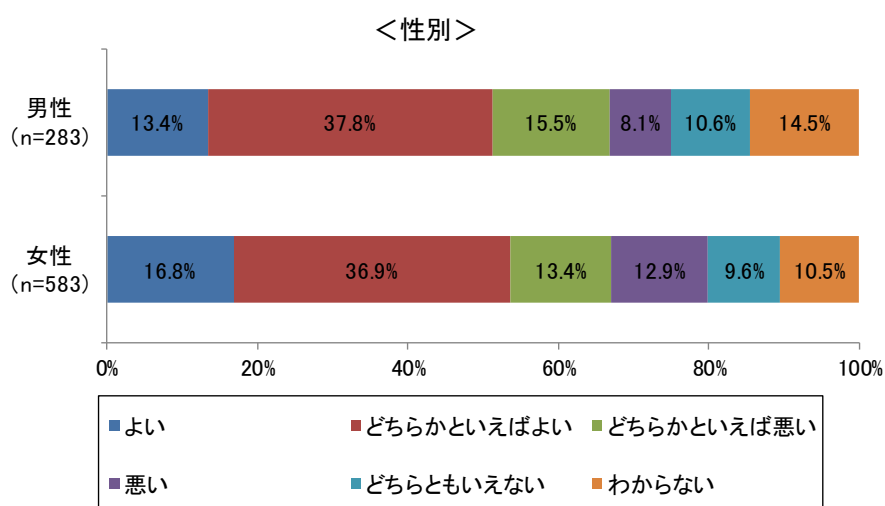
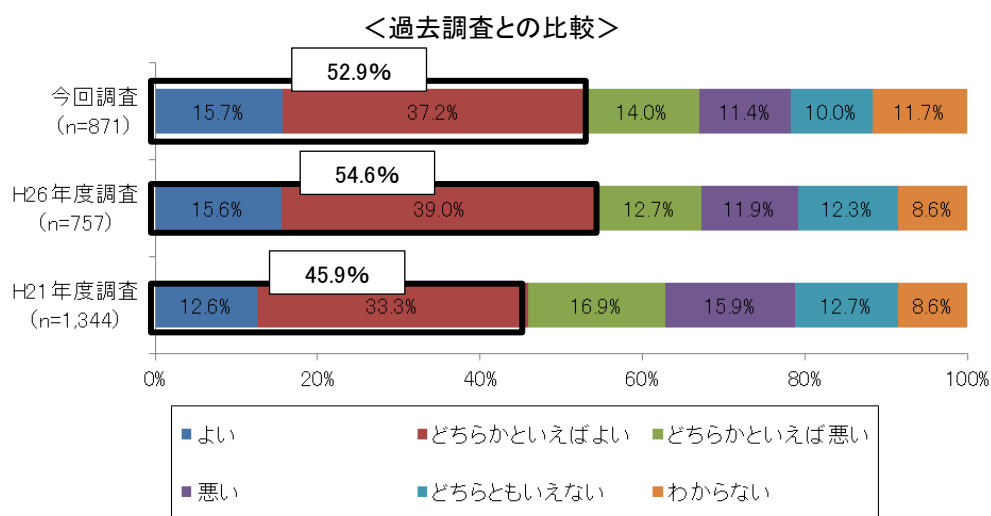
「よい」は52.9%となっている。

過去調査との比較では、「よい」が「悪い」を大きく上回る傾向が続いている。

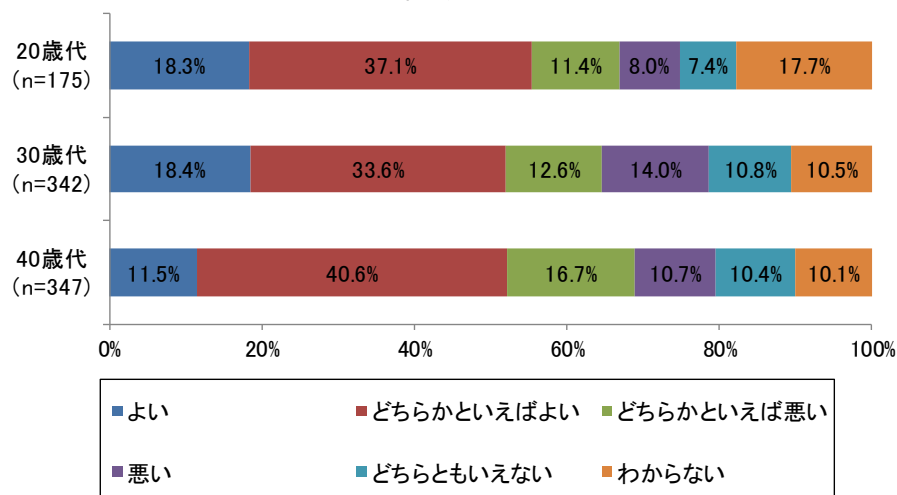
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向となっている。

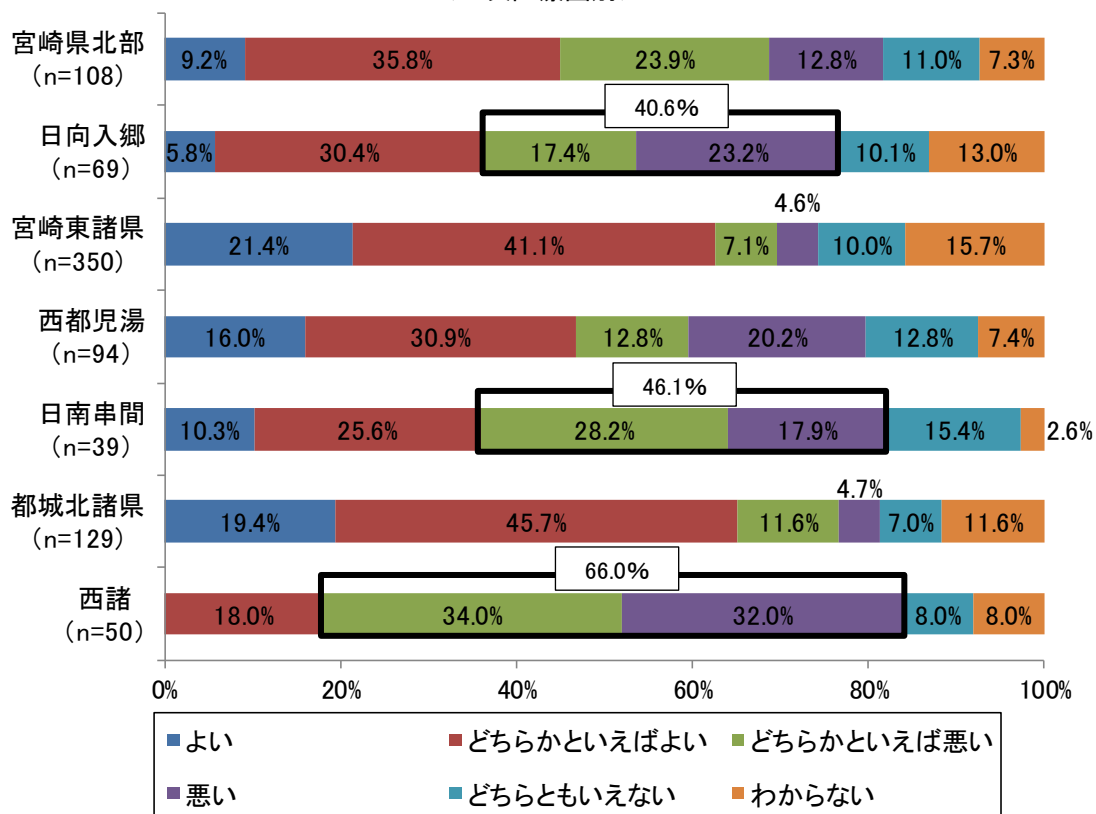
二次医療圏別では、西諸で「悪い」(66.0%)の割合が3分の2となっている。このほか、「悪い」が「よい」を上回っているのは日南串間(46.1%)、日向入郷(40.6%)となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



ク 子育てをしながらも働ける職場環境

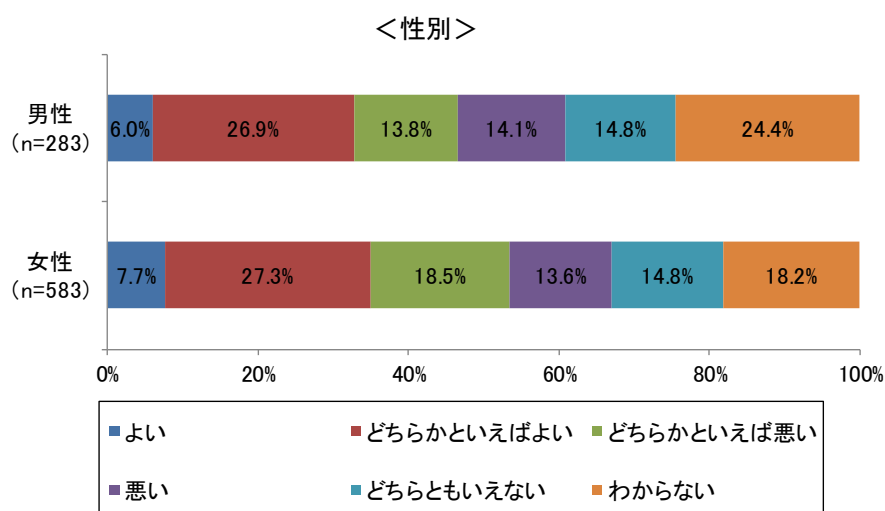
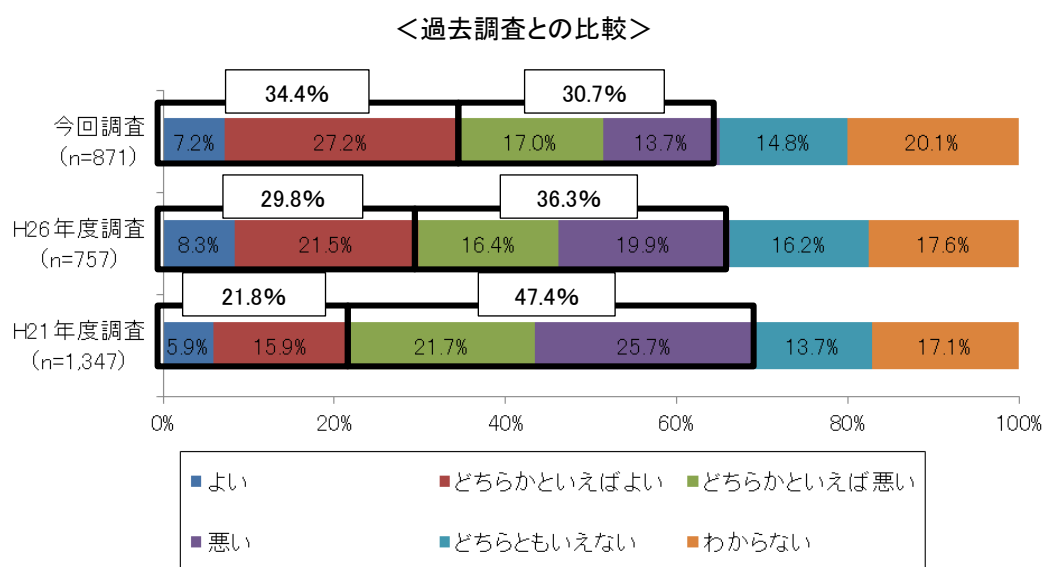
「よい」は34.4%、「悪い」は30.7%となっている。

過去調査との比較では、「よい」の割合が高まる傾向を示している。

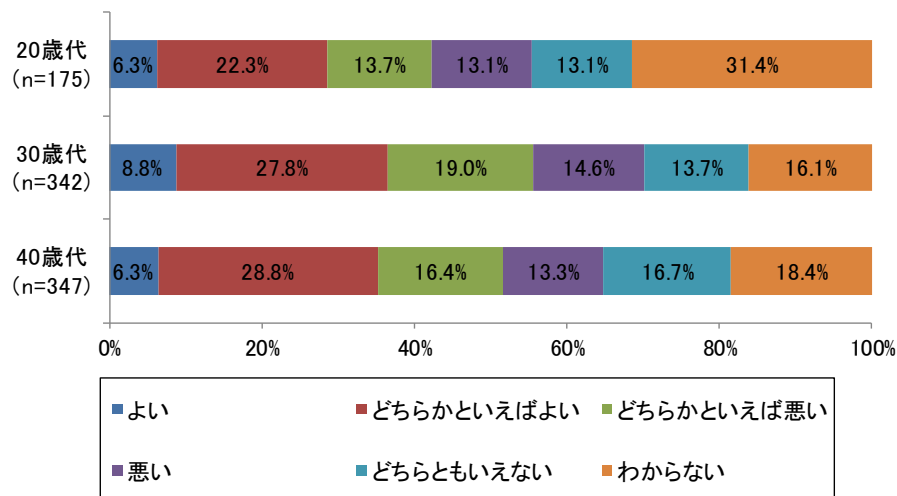
性別では、男女とも概ね同様の傾向となっている。

年代別では、20歳代で「わからない」が31.4%となっているが、30歳代と40歳代は全体と概ね同様の傾向となっている。

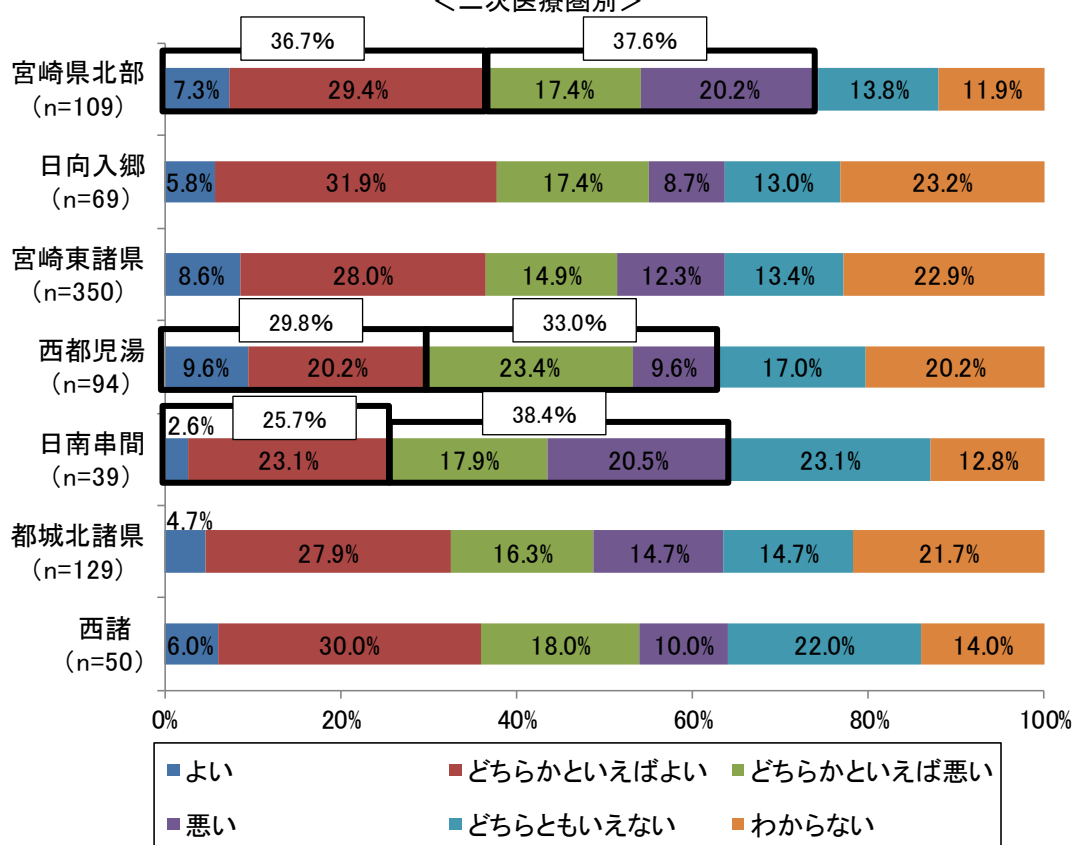
二次医療圏別では、宮崎県北部、西都児湯、日南串間は「悪い」の割合が「よい」を上回っている。



<年代別>



<二次医療圏別>



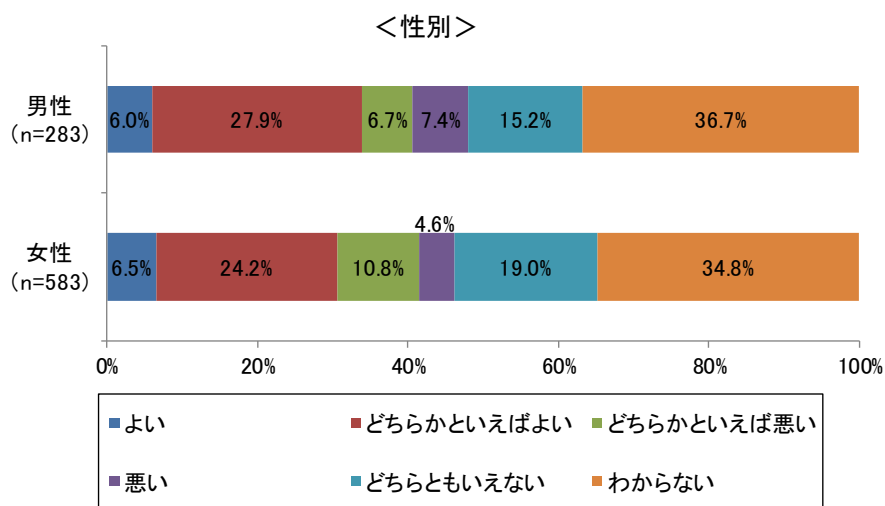
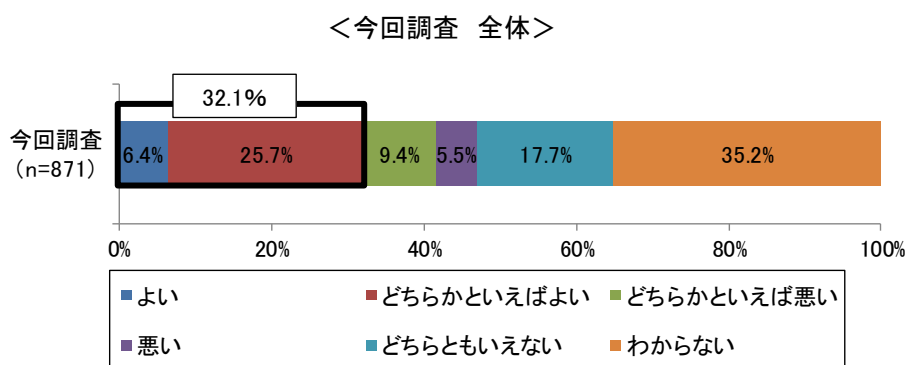
ケ 地域の支援体制(子ども会、自治会等)

「わからない」の割合(32.5%)が最も高くなっている。「よい」は32.1%となっている。

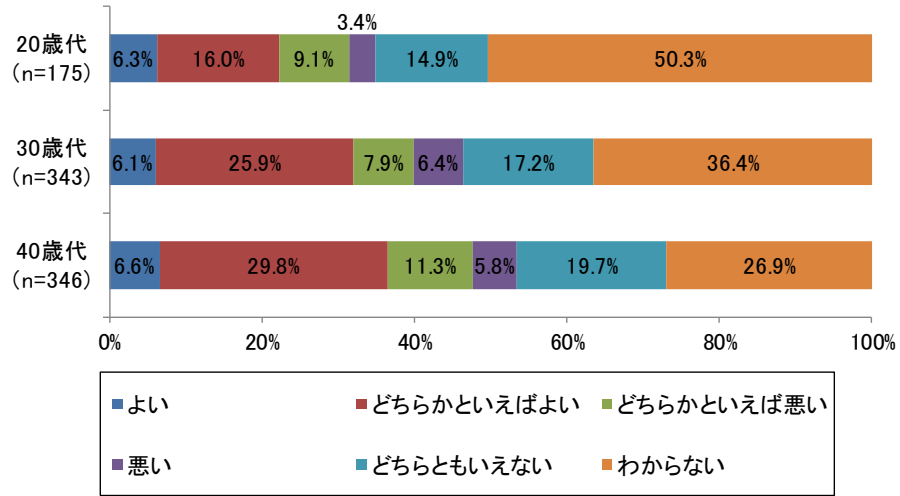
性別では、男女とも同様の傾向となっている。

年代別では、20歳代で「わからない」が半数(50.3%)となっているものの、年代が上がるにつれて「よい」の割合が高くなっている。

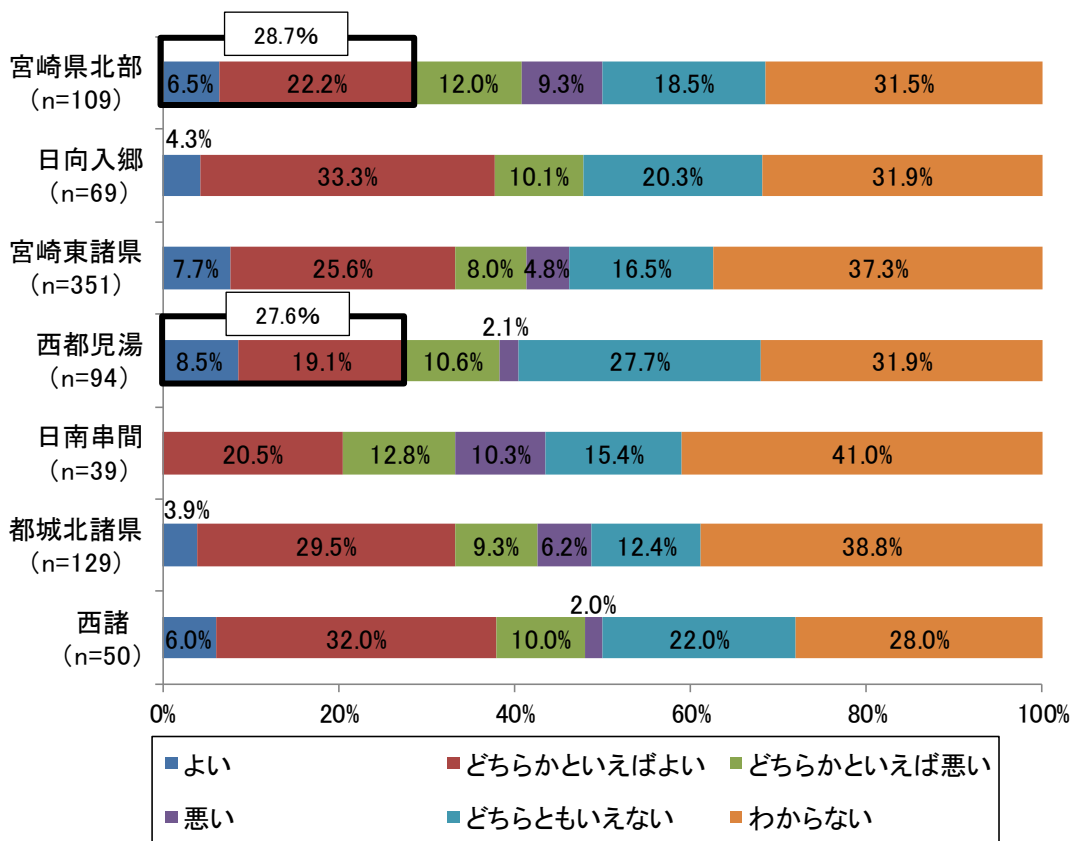
二次医療圏別では、「よい」が全体(32.1%)を下回っているのは、宮崎県北部(28.7%)、西都児湯(27.6%)、日南串間(20.0%)である。



<年代別>



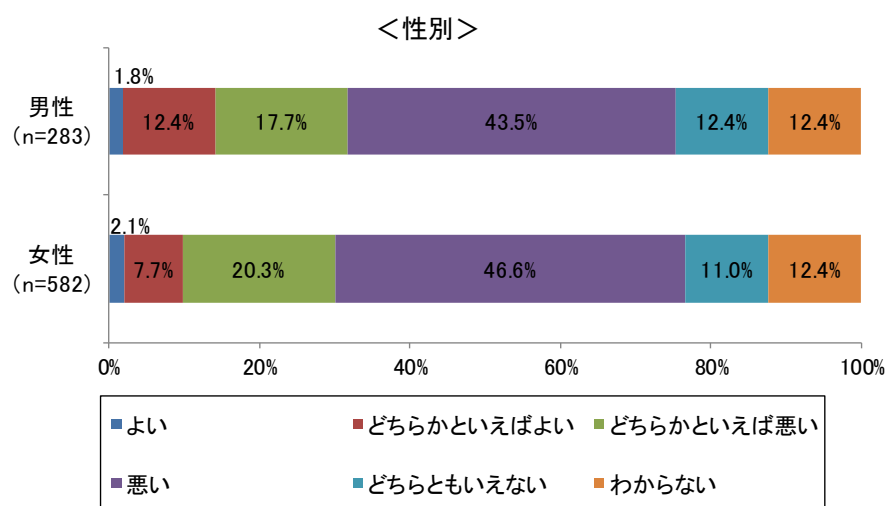
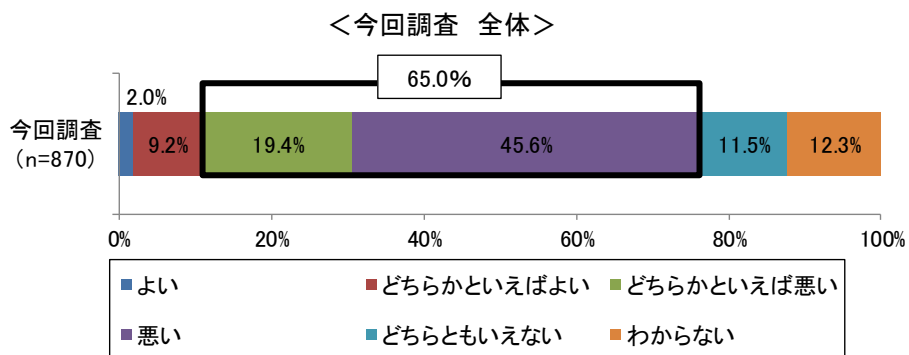
<二次医療圏別>



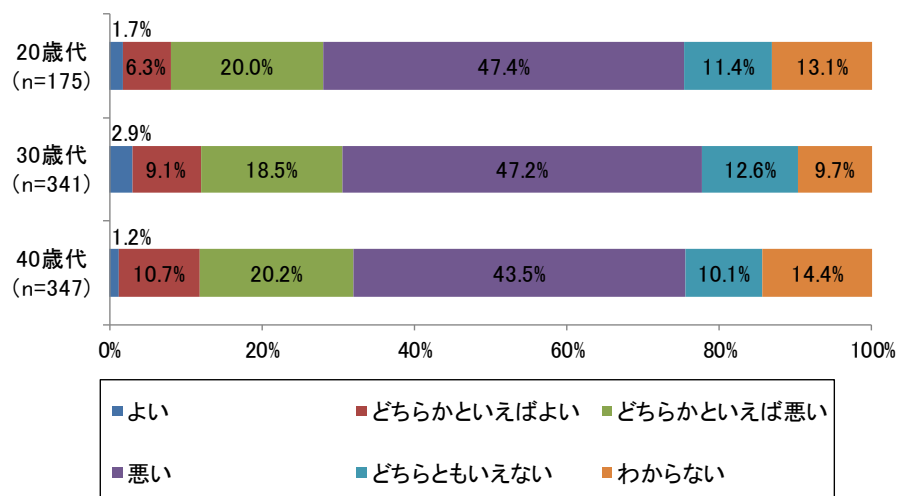
コ テーマパーク等の遊戯施設

「悪い」の割合が最も高く、65.0%となっている。

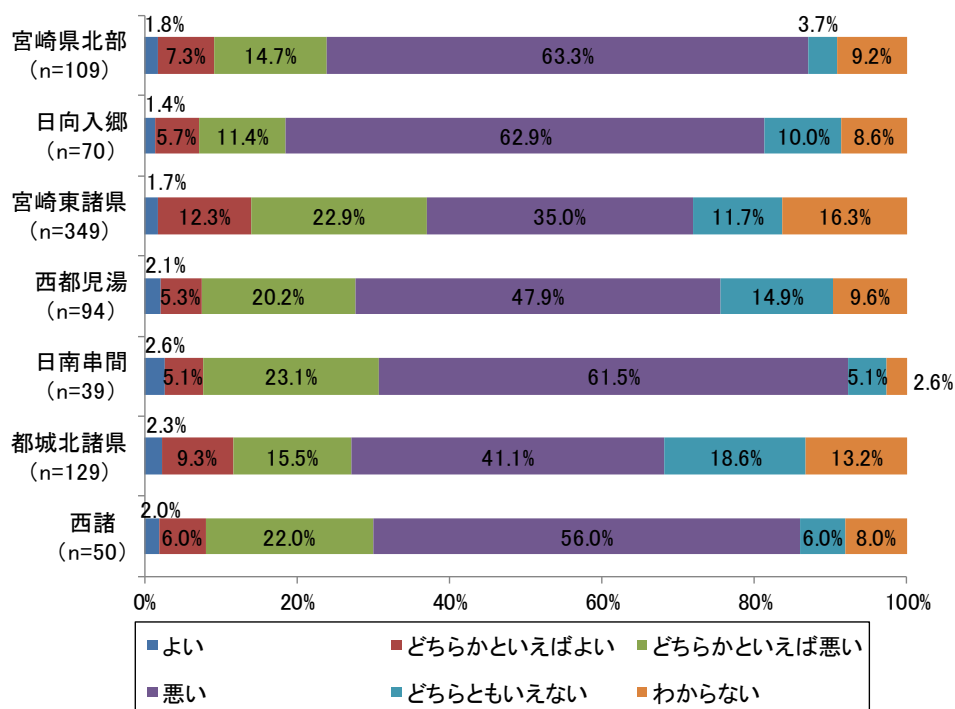
性別、年代別、二次医療圏別でも全体と概ね同様の傾向となっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



問15 あなたは、子どもを安心して産み育てられることのできる環境を整備するために、県や市町村にどのような政策を望みますか。(3つまで○)

第1位「出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充」(51.7%)、第2位「保育所・幼稚園・認定こども園などの費用負担の軽減(給食費などを含む)」(33.9%)、第3位「育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化」(25.2%)となっている。

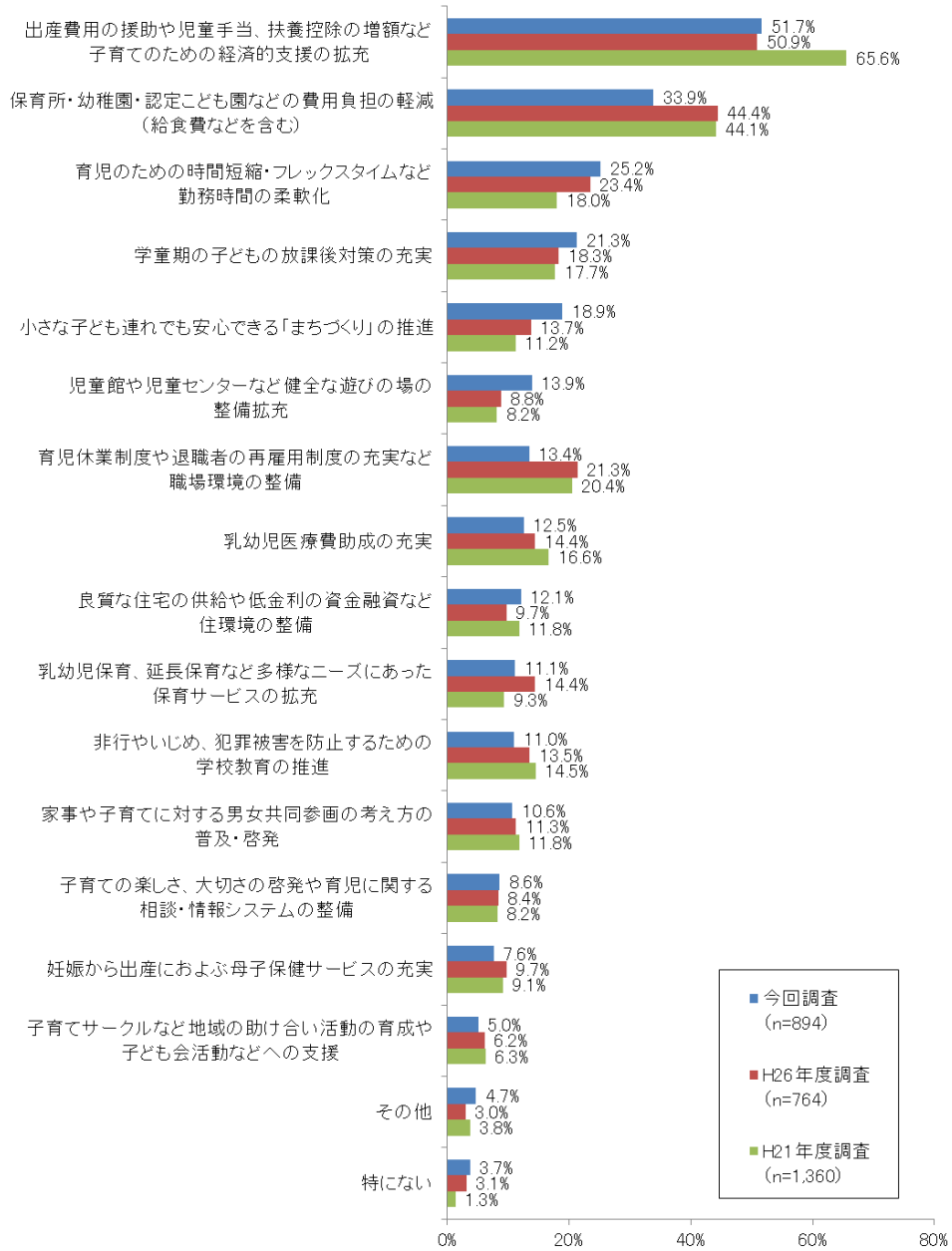
過去調査との比較では、政策の順位は概ね同様の傾向を示している。その中で今回は上位3項目ともその割合は過去調査より低下させている。(→項目の「選択の分散」がみられる。)

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。

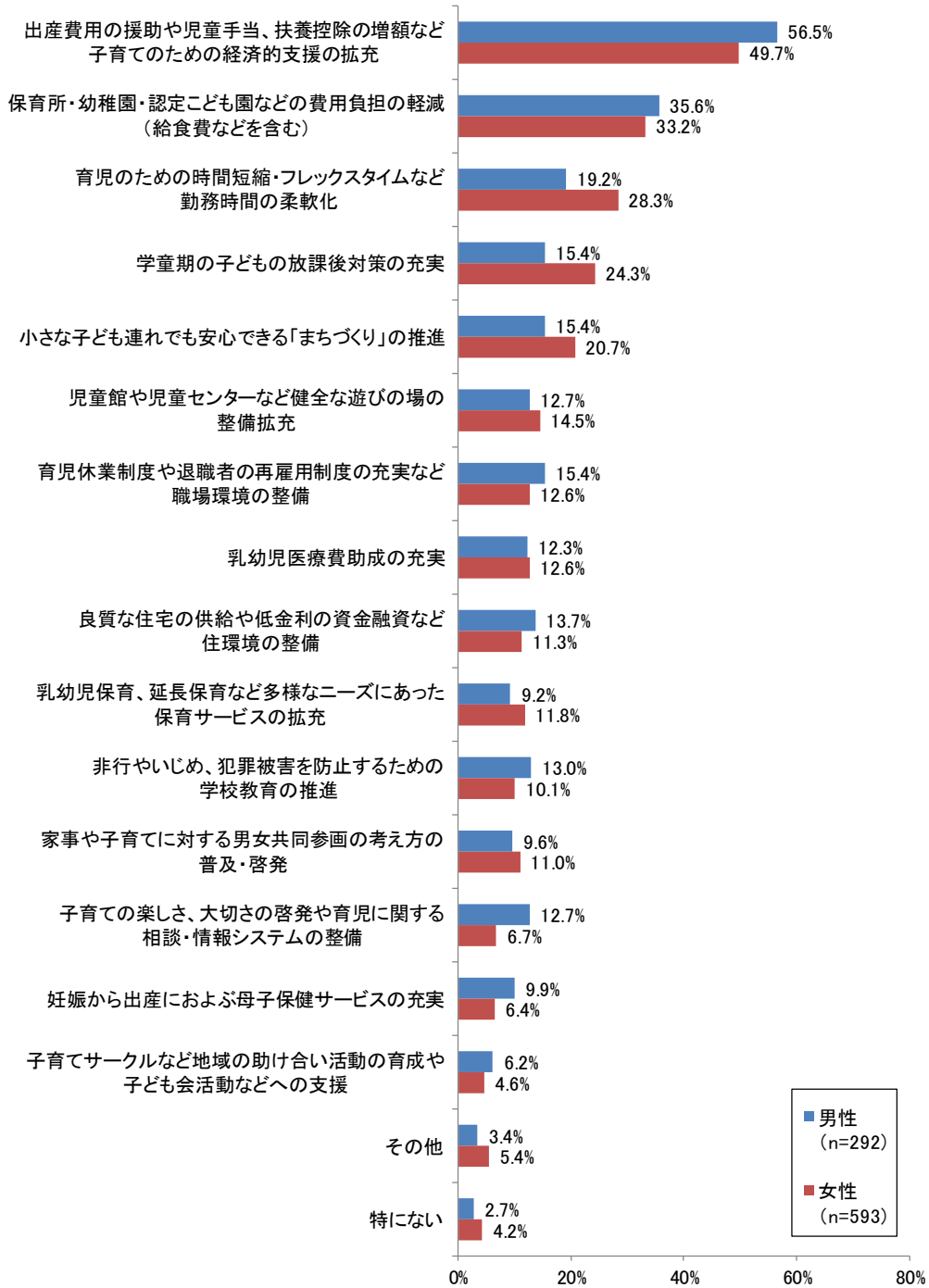
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向を示しているが、第1位、2位、3位の項目は若い年代ほど割合が高い状況にある。

二次医療圏別では、全体と概ね同じ傾向を示している。その中で日南串間は、第2位が「育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化」、宮崎県北部は第3位が「小さな子ども連れでも安心できる「まちづくり」の推進」、西都児湯は第3位が「学童期の子どもの放課後対策の充実」となっている。

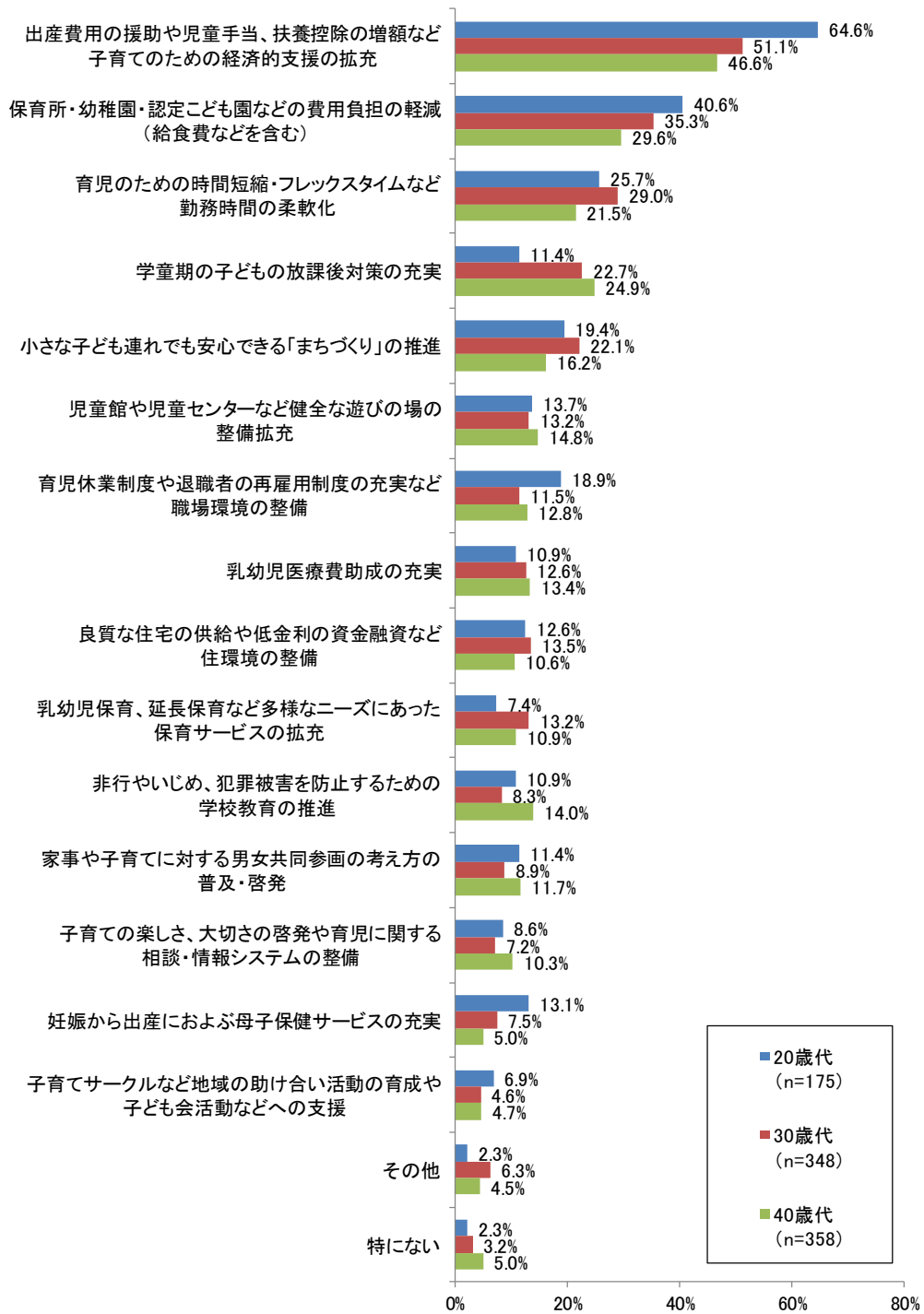
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
出産費用の援助や児童手当、扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充	54.1%	38.9%	52.4%	55.8%	55.0%	53.3%	49.0%
保育所・幼稚園・認定こども園などの費用負担の軽減(給食費などを含む)	33.0%	27.8%	35.5%	31.6%	27.5%	33.6%	35.3%
育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化	22.9%	26.4%	25.4%	16.8%	37.5%	27.0%	25.5%
学童期の子どもの放課後対策の充実	20.2%	19.4%	24.8%	25.3%	25.0%	15.3%	15.7%
小さな子ども連れでも安心できる「まちづくり」の推進	25.7%	26.4%	16.1%	23.2%	17.5%	14.6%	15.7%
児童館や児童センターなど健全な遊びの場の整備拡充	10.1%	13.9%	13.5%	14.7%	20.0%	13.9%	25.5%
育児休業制度や退職者の再雇用制度の充実など職場環境の整備	16.5%	13.9%	14.1%	11.6%	7.5%	11.7%	15.7%
乳幼児医療費助成の充実	20.2%	9.7%	10.4%	11.6%	7.5%	16.1%	11.8%
良質な住宅の供給や低金利の資金融資など住環境の整備	12.8%	15.3%	11.5%	14.7%	17.5%	9.5%	9.8%
乳幼児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの拡充	14.7%	15.3%	11.3%	12.6%	7.5%	4.4%	13.7%
非行やいじめ、犯罪被害を防止するための学校教育の推進	8.3%	2.8%	12.1%	8.4%	17.5%	12.4%	13.7%
家事や子育てに対する男女共同参画の考え方の普及・啓発	7.3%	11.1%	12.1%	8.4%	12.5%	10.9%	9.8%
子育ての楽しさ、大切さの啓発や育児に関する相談・情報システムの整備	9.2%	6.9%	9.6%	7.4%	7.5%	8.0%	9.8%
妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実	8.3%	6.9%	6.5%	7.4%	12.5%	7.3%	5.9%
子育てサークルなど地域の助け合い活動の育成や子ども会活動などへの支援	4.6%	11.1%	5.6%	6.3%	0.0%	2.9%	3.9%
その他	2.8%	4.2%	4.5%	8.4%	2.5%	3.6%	7.8%
特になし	3.7%	2.8%	4.5%	2.1%	0.0%	5.8%	2.0%

6. 子どもの貧困対策に関することについておたずねします。

問16 現在、県では、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、「子どもの貧困対策」の取組を進めています。

あなたは、子どもの貧困対策を進めるために、県や市町村にどのような政策を望みますか。
(3つまで○)

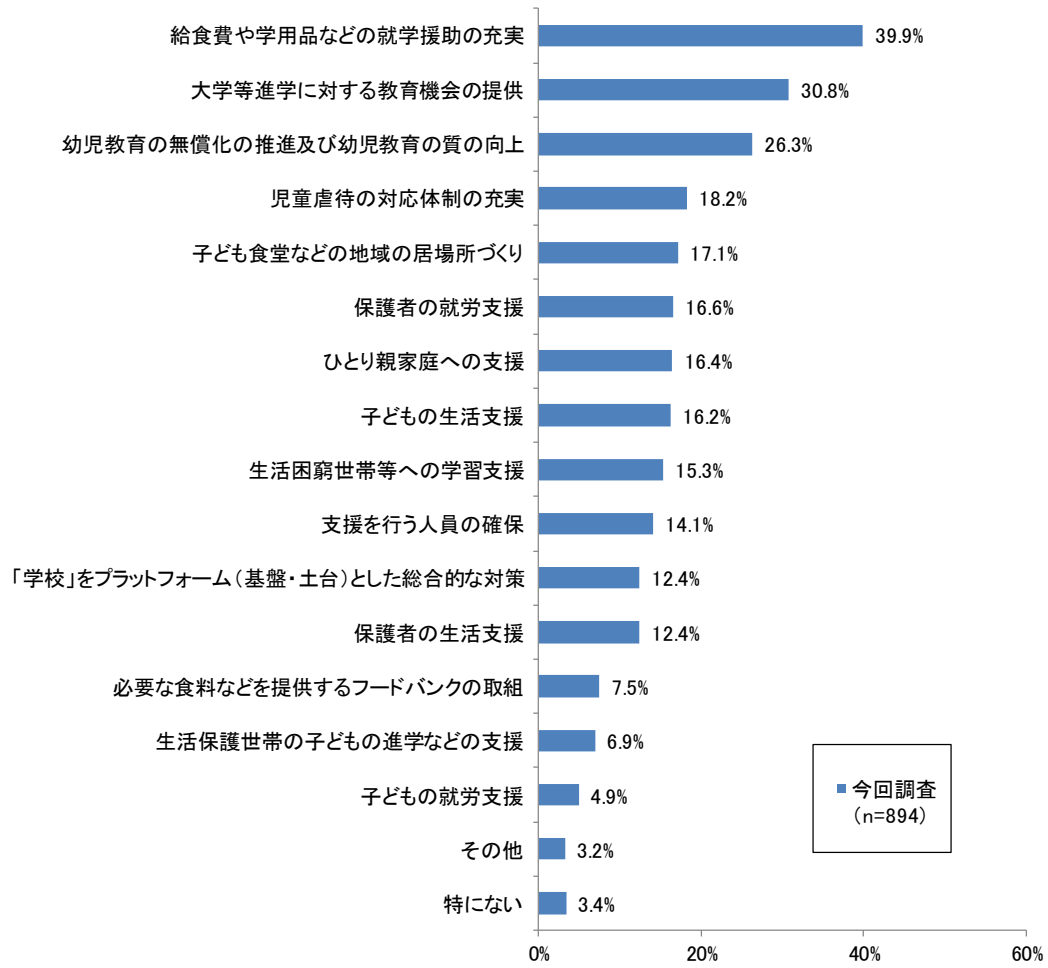
第1位「給食費や学用品などの就学援助の充実」(39.9%)、第2位「大学等進学に対する教育機会の提供」(30.8%)、第3位「幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上」(26.3%)となっている。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。その中で「大学等進学に対する教育機会の提供」(男性:25.7%、女性:33.2%)は女性が男性を7.5ポイント上回っており、「幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上」(男性:30.1%、女性:24.3%)は男性が女性を5.8ポイント上回っている。

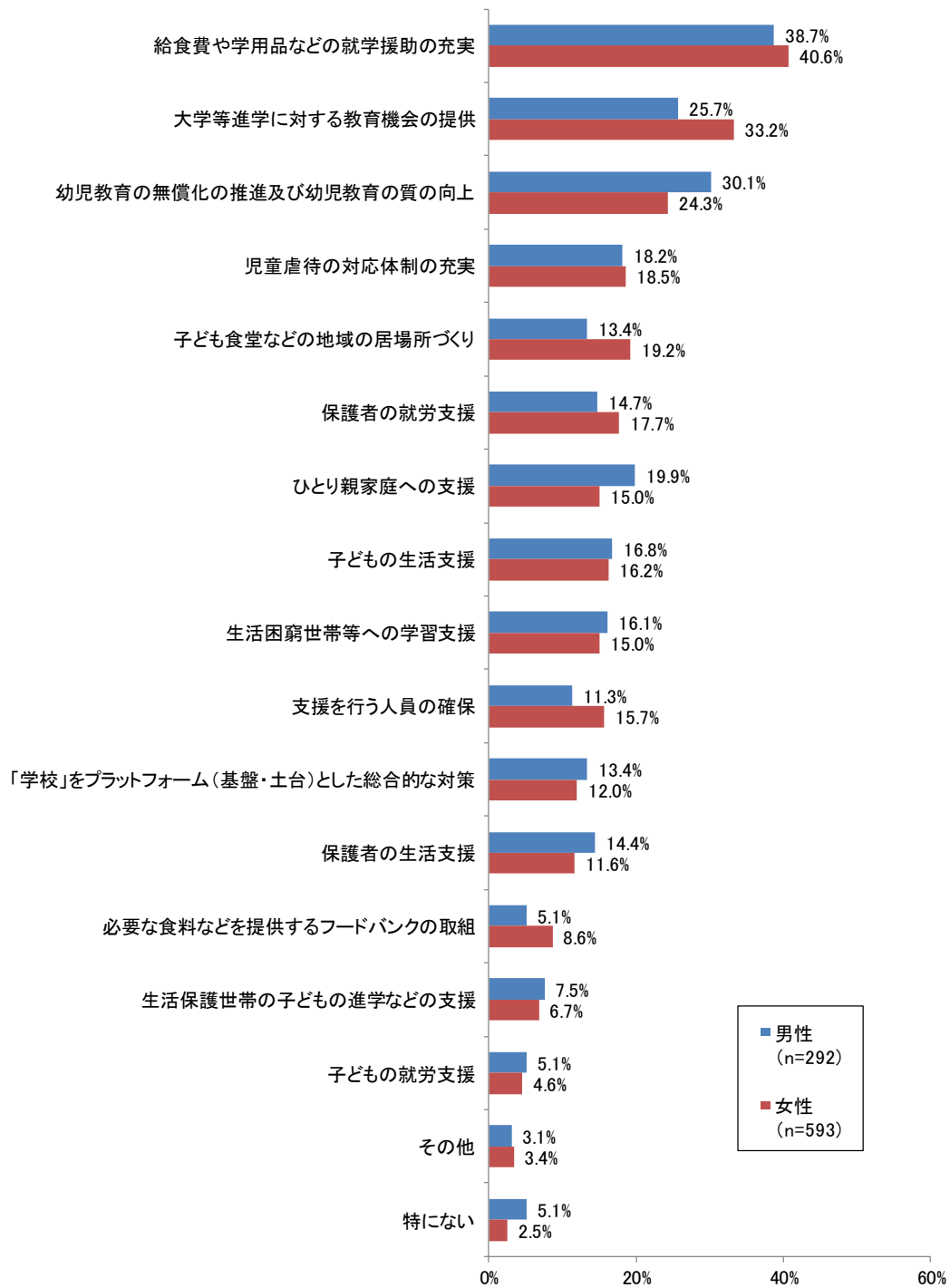
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向を示している。

二次医療圏別では、上位項目は全体と概ね同様の傾向を示している。その中で、宮崎県北部は「児童虐待の対応体制の充実」(22.9%)が第3位となっている。

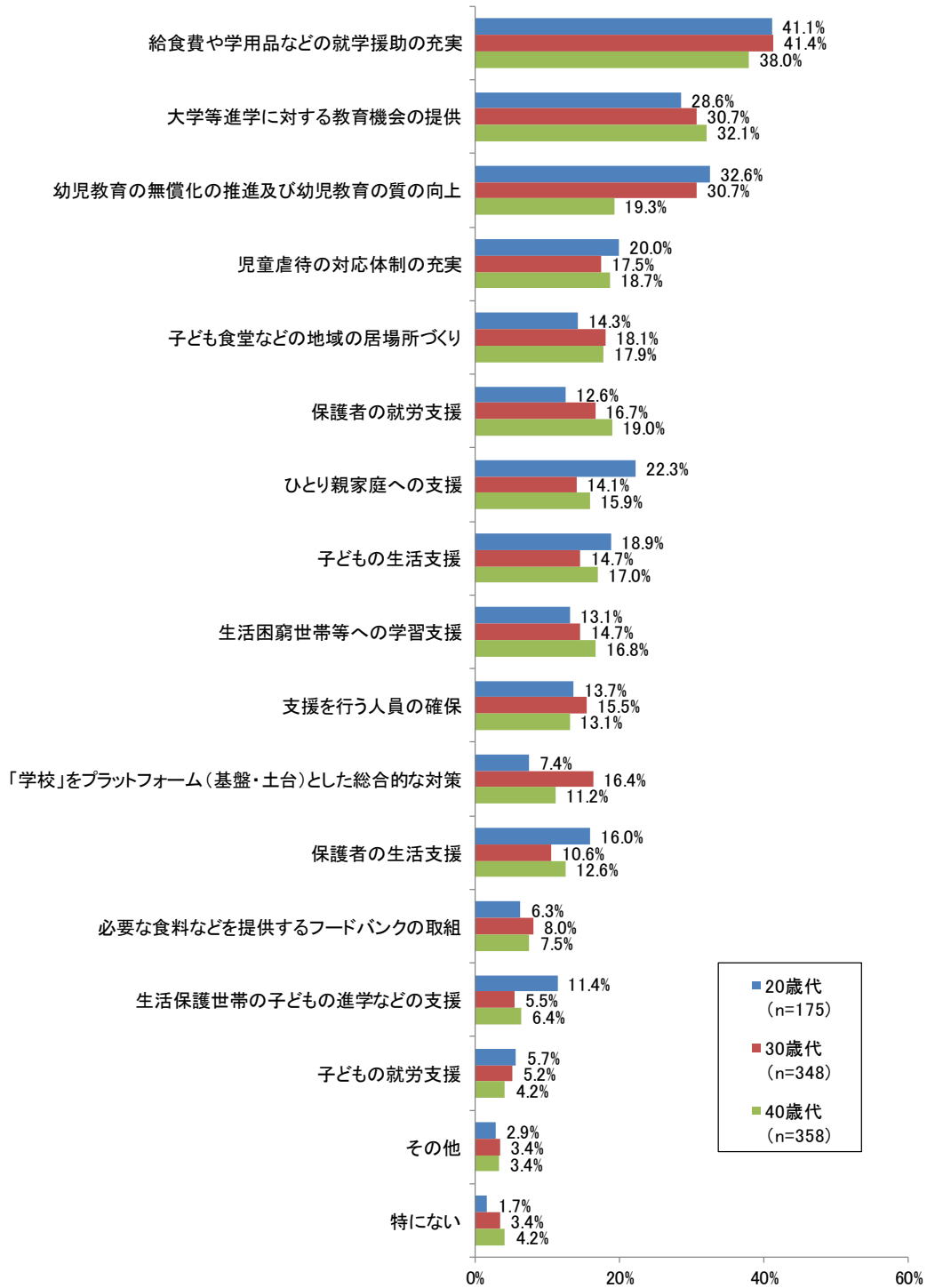
<今回調査 全体>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
給食費や学用品などの就学援助の充実	38.5%	36.1%	40.3%	44.2%	32.5%	41.6%	39.2%
大学等進学に対する教育機会の提供	36.7%	26.4%	34.9%	22.1%	30.0%	27.0%	29.4%
幼児教育の無償化の推進及び幼児教育の質の向上	22.0%	36.1%	26.8%	24.2%	25.0%	24.8%	25.5%
児童虐待の対応体制の充実	22.9%	16.7%	16.3%	22.1%	20.0%	17.5%	19.6%
子ども食堂などの地域の居場所づくり	11.9%	13.9%	15.8%	18.9%	20.0%	24.8%	13.7%
保護者の就労支援	19.3%	13.9%	18.3%	16.8%	12.5%	14.6%	11.8%
ひとり親家庭への支援	18.3%	20.8%	17.7%	12.6%	12.5%	14.6%	11.8%
子どもの生活支援	18.3%	18.1%	13.5%	17.9%	20.0%	16.8%	23.5%
生活困窮世帯等への学習支援	10.1%	16.7%	17.2%	10.5%	12.5%	16.8%	15.7%
支援を行う人員の確保	18.3%	12.5%	12.7%	20.0%	17.5%	11.7%	13.7%
「学校」をプラットフォーム(基盤・土台)とした総合的な対策	12.8%	11.1%	12.1%	15.8%	7.5%	8.0%	21.6%
保護者の生活支援	11.9%	11.1%	11.8%	9.5%	12.5%	14.6%	13.7%
必要な食料などを提供するフードバンクの取組	10.1%	11.1%	7.6%	10.5%	5.0%	3.6%	3.9%
生活保護世帯の子どもの進学などの支援	8.3%	8.3%	6.2%	6.3%	12.5%	5.8%	5.9%
子どもの就労支援	8.3%	4.2%	5.9%	1.1%	7.5%	3.6%	2.0%
その他	3.7%	6.9%	3.1%	2.1%	0.0%	3.6%	2.0%
特になし	4.6%	1.4%	3.4%	4.2%	5.0%	1.5%	7.8%

7. 仕事と子育ての両立に関することについておたずねします。

問17 あなたは、子育てと仕事を両立させるためには、どのような取組を進めることが必要だと思いますか。(3つまで○)

第1位「病気になった子どもを看護するための休暇制度、病気になった子どもの保育サービスの拡充」(50.2%)、第2位「育児休業中の賃金やその他の経済的支援の充実」(37.0%)、第3位「育児に必要な費用に対する減税や補助金等の拡充」(32.9%)となっている。

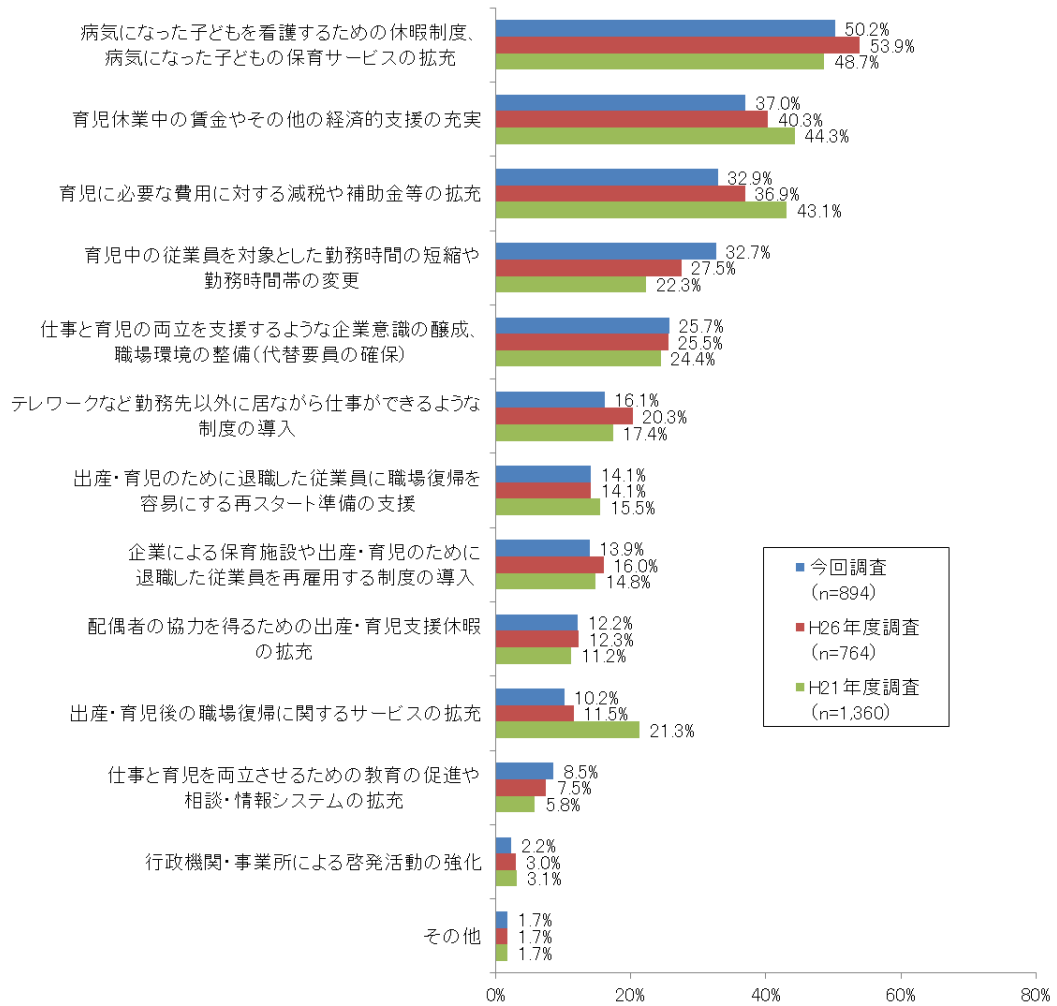
過去調査との比較では、項目の順位は概ね同様の傾向を示している。その中で今回は、第4位「育児中の従業員を対象とした勤務時間の短縮や勤務時間帯の変更」の割合が高まっている。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。その中で女性が「病気になった子どもを看護するための休暇制度、病気になった子どもの保育サービスの拡充」(男性:40.4%、女性:55.3%)が男性を、「育児休業中の賃金やその他の経済的支援の充実」(男性:45.5%、女性:33.1%)は男性が女性それぞれ上回っている。

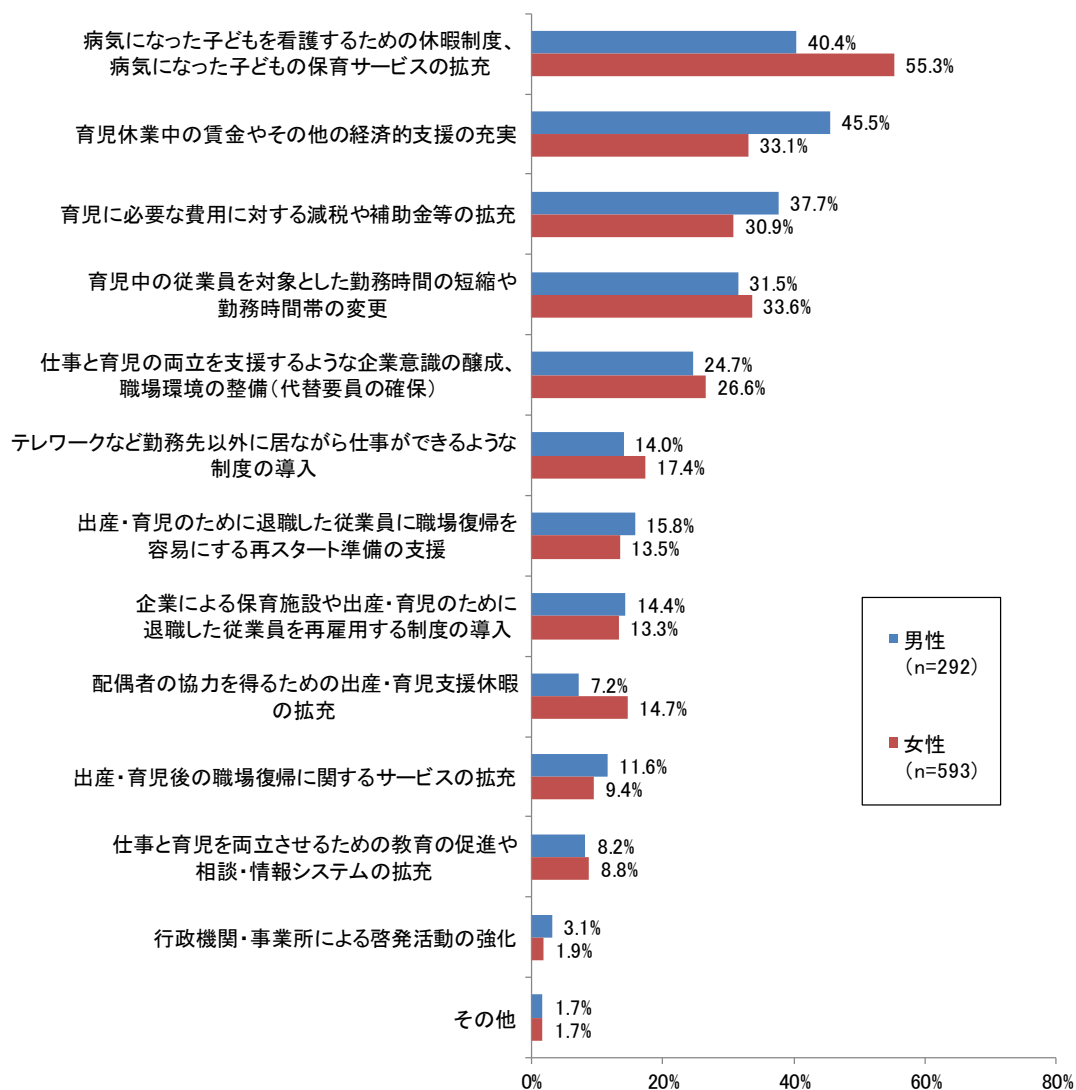
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向を示しているが、20歳代は「育児休業中の賃金やその他の経済的支援の充実」の割合が50.3%で他の年代よりも特に高くなっている。一方、30歳代と40歳代は、ほぼ半数が「病気になった子どもを看護するための休暇制度、病気になった子どもの保育サービスの拡充」を必要としている。

二次医療圏別では、日向入郷、宮崎東諸県、西都児湯、日南串間で「育児中の従業員を対象とした勤務時間の短縮や勤務時間帯の変更」の割合が高く、上位3位に入っている。

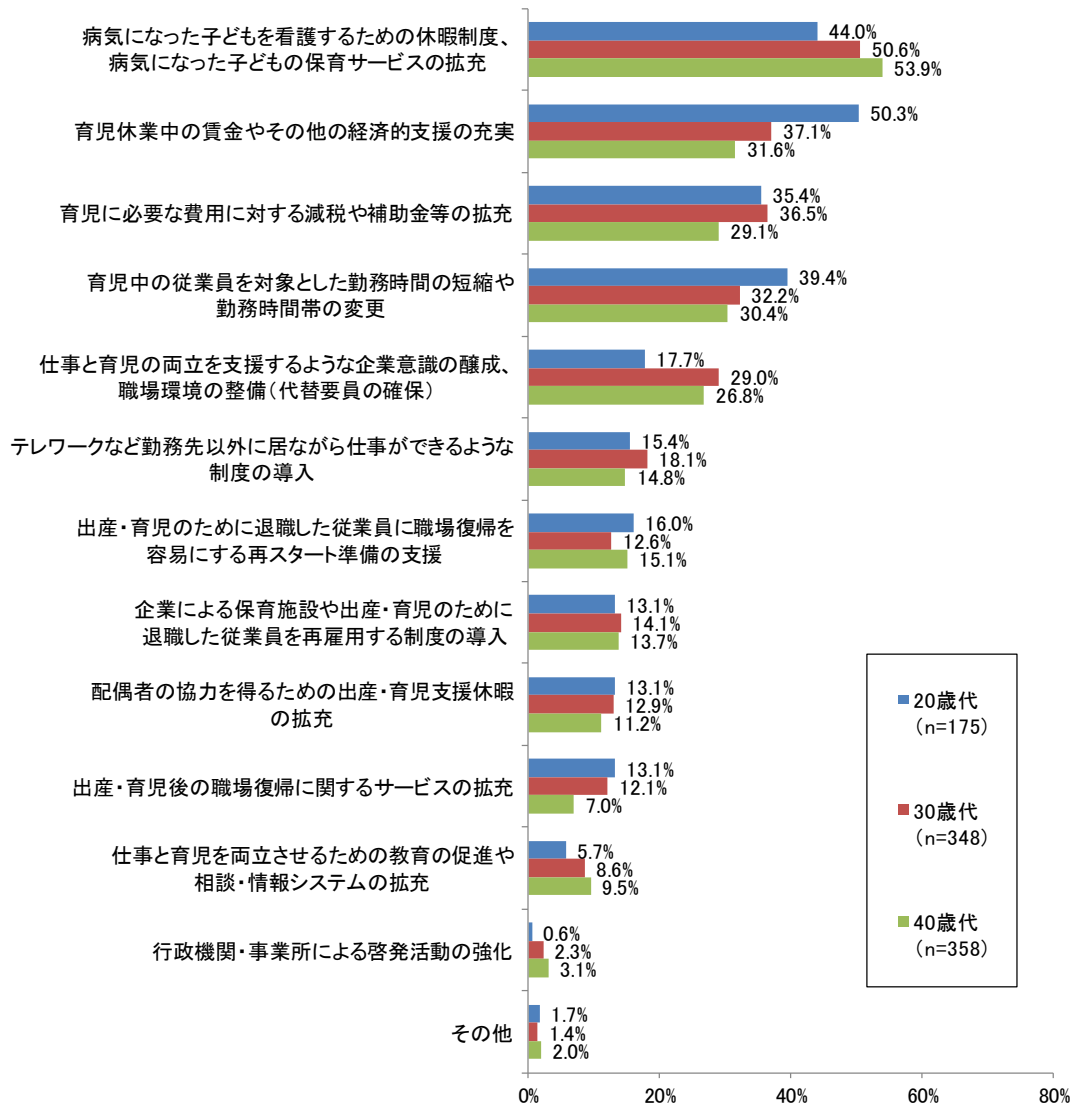
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
病気になった子どもを看護するための休暇制度、病気になった子どもの保育サービスの拡充	48.6%	58.3%	51.0%	52.6%	57.5%	39.4%	68.6%
育児休業中の賃金やその他の経済的支援の充実	43.1%	41.7%	34.6%	31.6%	42.5%	40.1%	31.4%
育児に必要な費用に対する減税や補助金等の拡充	40.4%	30.6%	27.9%	31.6%	25.0%	43.1%	35.3%
育児中の従業員を対象とした勤務時間の短縮や勤務時間帯の変更	25.7%	40.3%	33.2%	33.7%	30.0%	33.6%	25.5%
仕事と育児の両立を支援するような企業意識の醸成、職場環境の整備(代替要員の確保)	25.7%	25.0%	25.1%	25.3%	25.0%	29.2%	21.6%
テレワークなど勤務先以外に居ながら仕事ができるような制度の導入	14.7%	12.5%	19.4%	15.8%	15.0%	11.7%	17.6%
出産・育児のために退職した従業員に職場復帰を容易にする再スタート準備の支援	14.7%	12.5%	12.7%	21.1%	25.0%	13.1%	11.8%
企業による保育施設や出産・育児のために退職した従業員を再雇用する制度の導入	19.3%	9.7%	13.8%	13.7%	10.0%	10.2%	17.6%
配偶者の協力を得るための出産・育児支援休暇の拡充	15.6%	13.9%	10.4%	14.7%	7.5%	10.9%	17.6%
出産・育児後の職場復帰に関するサービスの拡充	9.2%	5.6%	11.8%	7.4%	12.5%	10.9%	5.9%
仕事と育児を両立させるための教育の促進や相談・情報システムの拡充	4.6%	11.1%	9.9%	8.4%	12.5%	8.0%	0.0%
行政機関・事業所による啓発活動の強化	0.9%	0.0%	2.8%	2.1%	5.0%	2.9%	2.0%
その他	1.8%	4.2%	1.4%	1.1%	0.0%	2.2%	2.0%

問18 あなたは、今後、男性が女性とともに子育てに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

第1位「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(45.7%)、第2位「男性が子育てに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(41.8%)、第3位「労働時間短縮や休暇制度を普及すること」(40.3%)となっている。

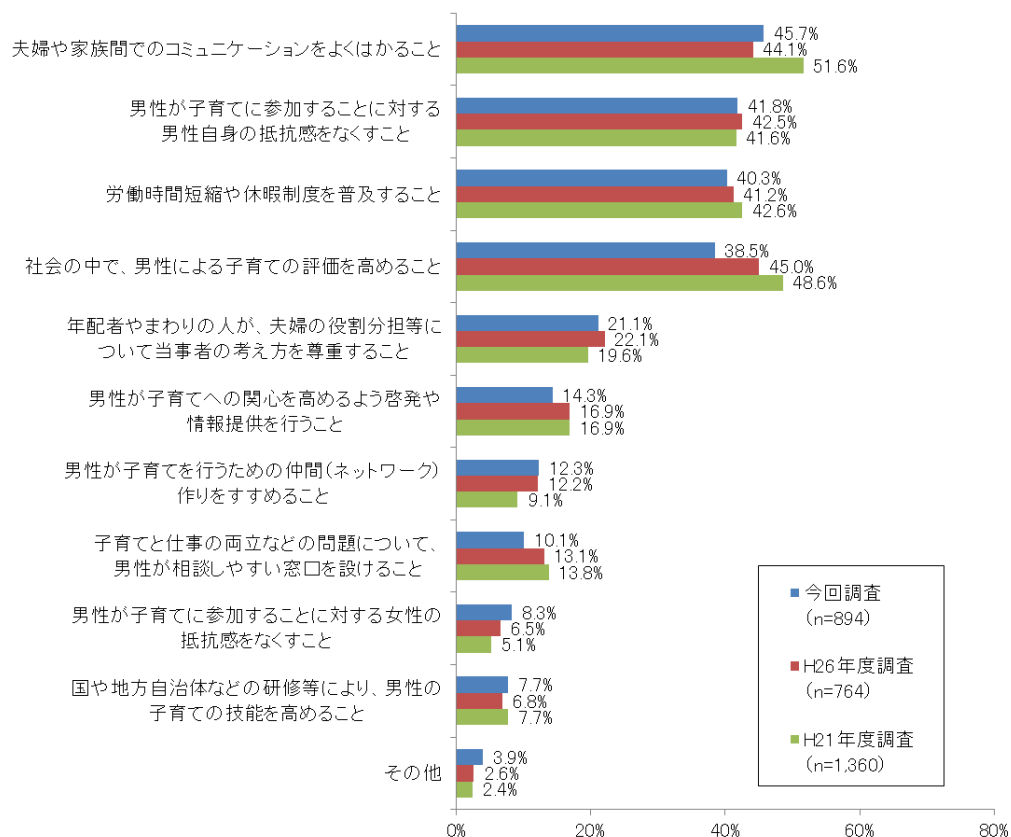
過去調査との比較では、上位項目の順位は概ね同様の傾向を示している。その中で第4位「社会の中で、男性による子育ての評価を高めること」(38.5%)は、上位3項目とほぼ同じ割合となっている。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。その中で「男性が子育てに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(男性:37.0%、女性:44.5%)は女性が男性を7.5ポイント上回っており、「労働時間短縮や休暇制度を普及すること」(男性:47.3%、女性:37.3%)は男性が女性を10.0ポイント上回っている。

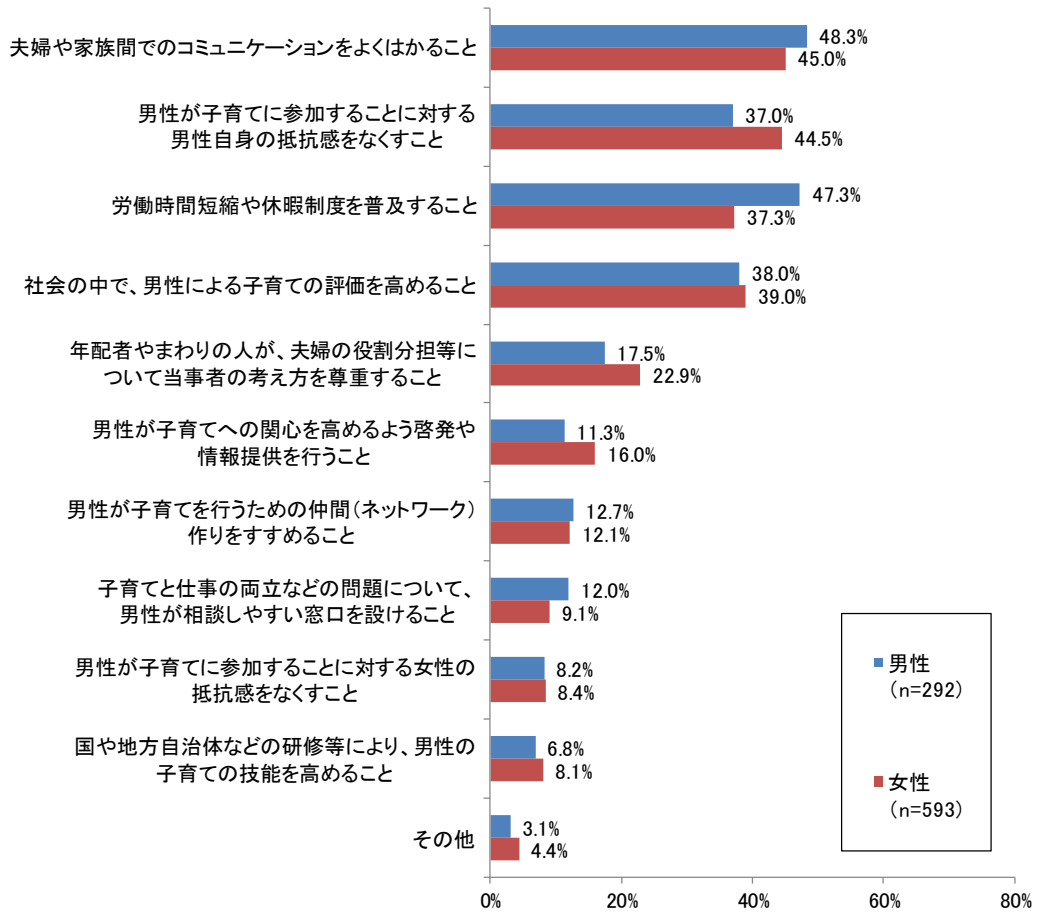
年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向を示しているが、20歳代は「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合(53.7%)が他の年代よりも特に高くなっている。

二次医療圏別では、宮崎県北部、日向入郷、宮崎東諸県、西都児湯で「社会の中で、男性による子育ての評価を高めること」の割合が高く、上位3位に入っている。

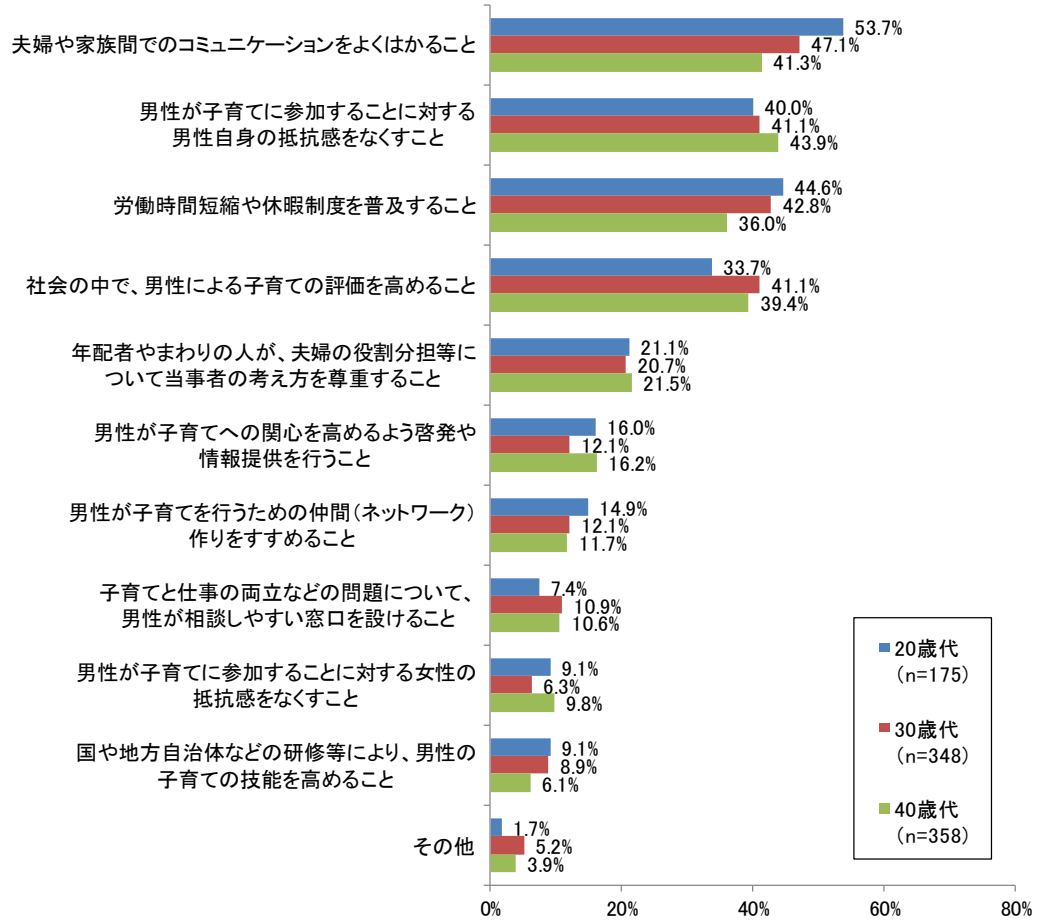
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=109)	日向入郷 (n=72)	宮崎東諸県 (n=355)	西都児湯 (n=95)	日南串間 (n=40)	都城北諸県 (n=137)	西諸 (n=51)
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	52.3%	52.8%	40.8%	48.4%	50.0%	47.4%	47.1%
男性が子育てに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	39.4%	44.4%	44.8%	36.8%	40.0%	37.2%	51.0%
労働時間短縮や休暇制度を普及すること	35.8%	33.3%	42.0%	40.0%	42.5%	42.3%	41.2%
社会の中で、男性による子育ての評価を高めること	44.0%	38.9%	40.8%	40.0%	27.5%	31.4%	35.3%
年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重すること	17.4%	19.4%	20.0%	29.5%	17.5%	25.5%	19.6%
男性が子育てへの関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	13.8%	11.1%	13.2%	9.5%	20.0%	21.2%	11.8%
男性が子育てを行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること	16.5%	15.3%	11.5%	13.7%	15.0%	10.9%	7.8%
子育てと仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	11.9%	6.9%	10.7%	9.5%	15.0%	7.3%	5.9%
男性が子育てに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	5.5%	6.9%	10.7%	5.3%	5.0%	8.8%	3.9%
国や地方自治体などの研修等により、男性の子育ての技能を高めること	8.3%	11.1%	5.9%	7.4%	7.5%	10.2%	5.9%
その他	4.6%	8.3%	3.4%	1.1%	5.0%	3.6%	3.9%

問19 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。

現在、働いていない人は、働いていると想定してお答えください。また、子育ての予定のない人は子育てすると想定してお答えください。(〇は1つ)

「利用したい」の割合が60.5%となっている。「利用したいが難しい」は21.5%、「利用したくない」は4.3%となっている。

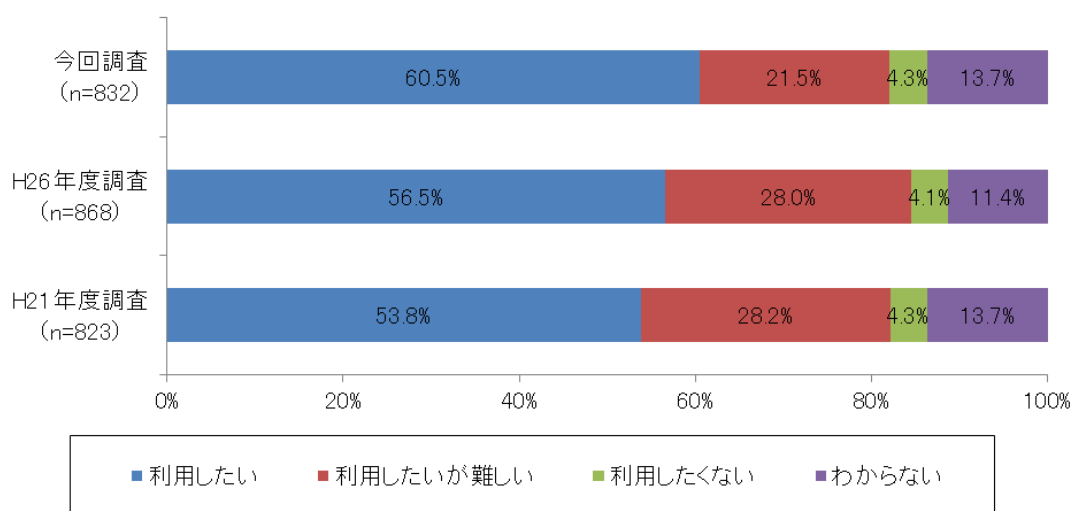
過去調査との比較では、「利用したい」の割合は次第に高まる傾向を示している。

性別では、「利用したい」が女性で73.9%で、男性は33.1%にとどまっている。しかしその男性も36.1%は、「利用したいが難しい」としている。

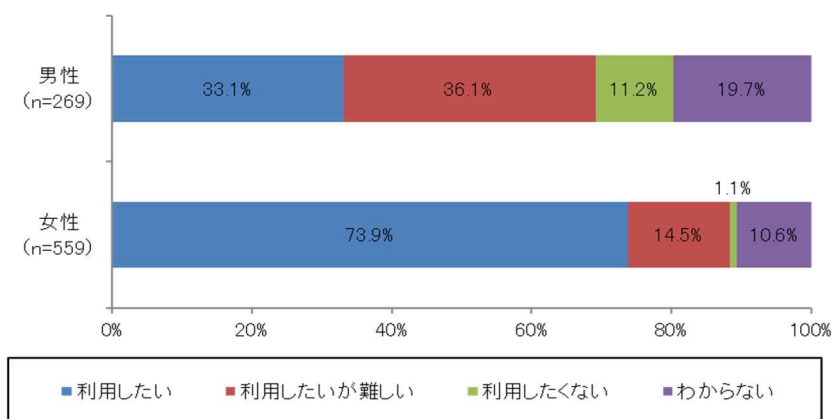
年代別では、すべての年代で「利用したい」が最も高い割合を占めているが、年代が高くなるにつれて、「利用したいが難しい」の割合が高くなっている。

二次医療圏別では、いずれの圏域も概ね同様の傾向を示しているが、宮崎県北部、日向入郷、日南串間では「利用したいが難しい」が全体(21.5%)を上回っている。

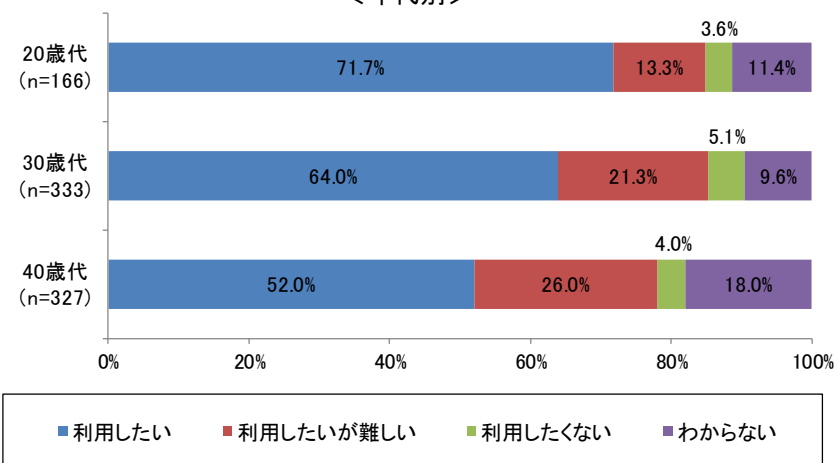
<過去調査との比較>



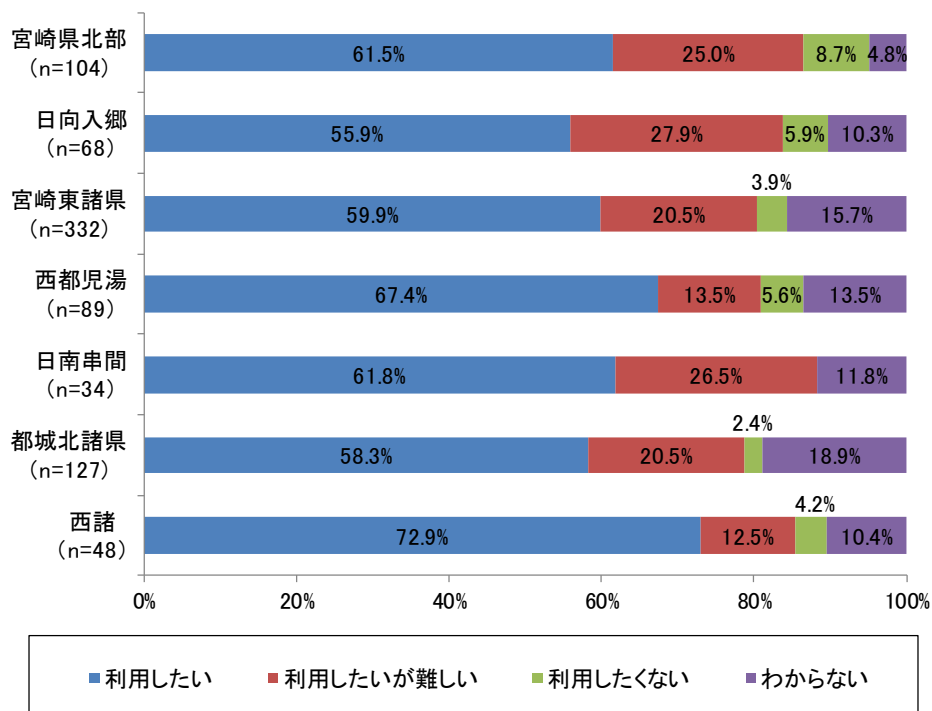
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



問20 問19で選択肢「利用したいが難しい」又は「利用したくない」を選ばれた方におうかがいします。

(1) あなたがそう思う理由は何ですか。(3つまで○)

第1位「職場に迷惑がかかるから」(62.8%)、第2位「収入が減るから」(49.8%)、第3位「育児休業を取れるような雰囲気ではないから」(36.7%)となっている。

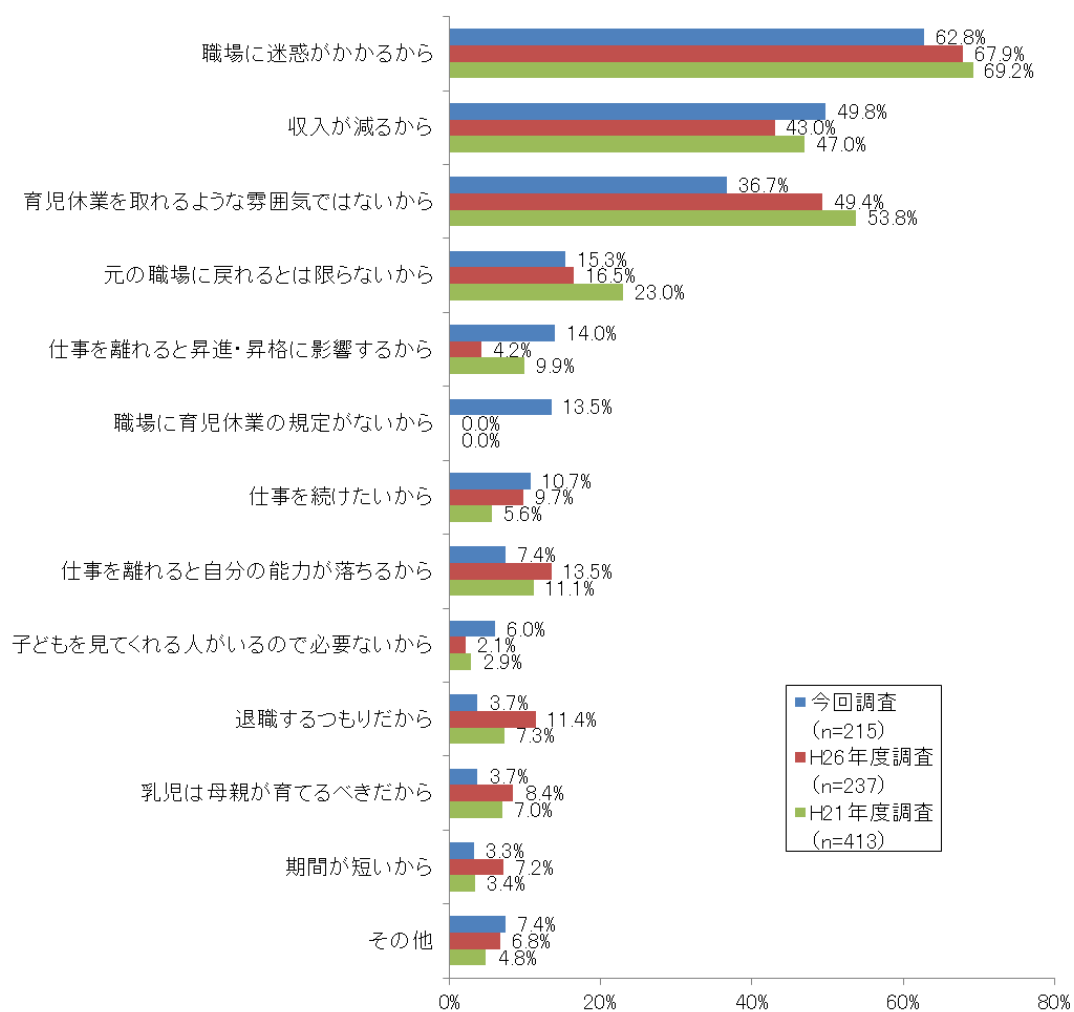
過去調査との比較では、項目の上位は概ね同様の傾向を示している。その中で、「育児休業を取れるような雰囲気ではないから」の割合が低下する傾向を示している。

性別では、男女とも概ね同様の傾向を示している。その中で「収入が減るから」(男性:56.7%、女性:40.2%)は男性が女性を16.5ポイント上回っている。

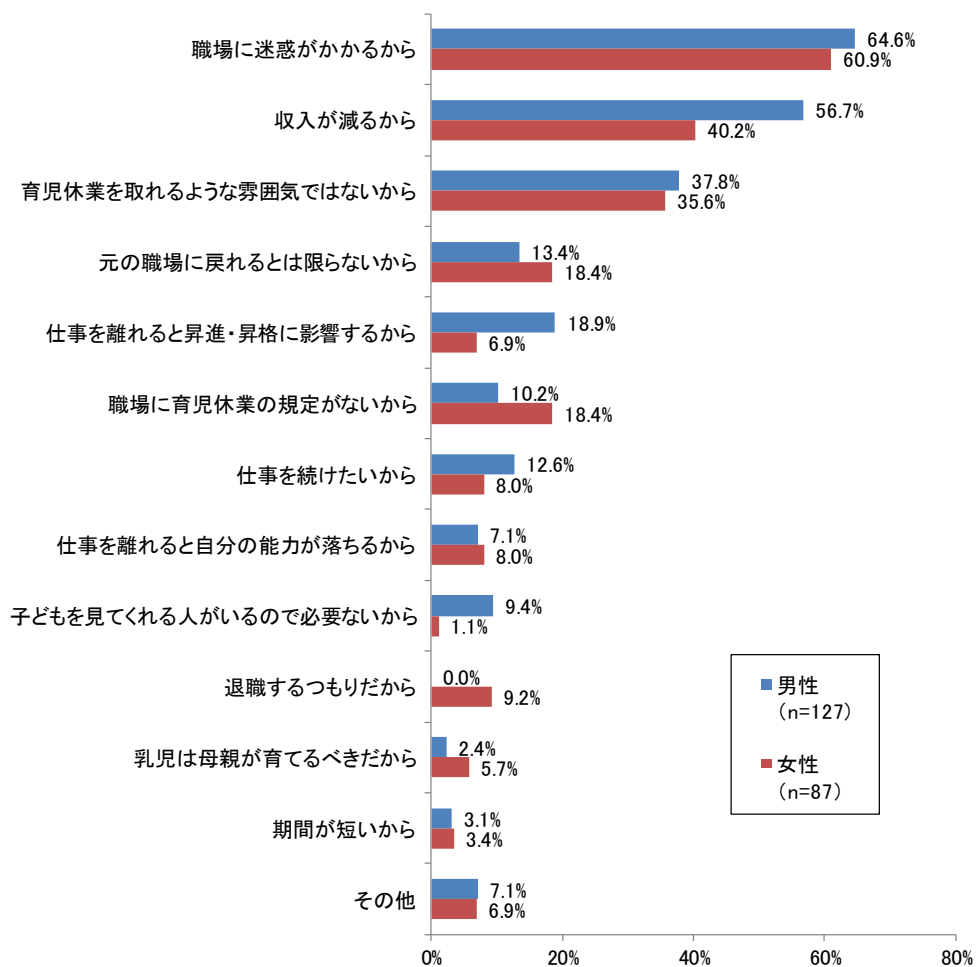
年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向を示しているが、「育児休業を取れるような雰囲気ではないから」の割合は年代が上がるにつれて高くなっている。また、「収入が減るから」は、年代が低いほど高い割合を示している。

※二次医療圏別では、宮崎東諸県を除いて回答数が少ないため、分析はしない。

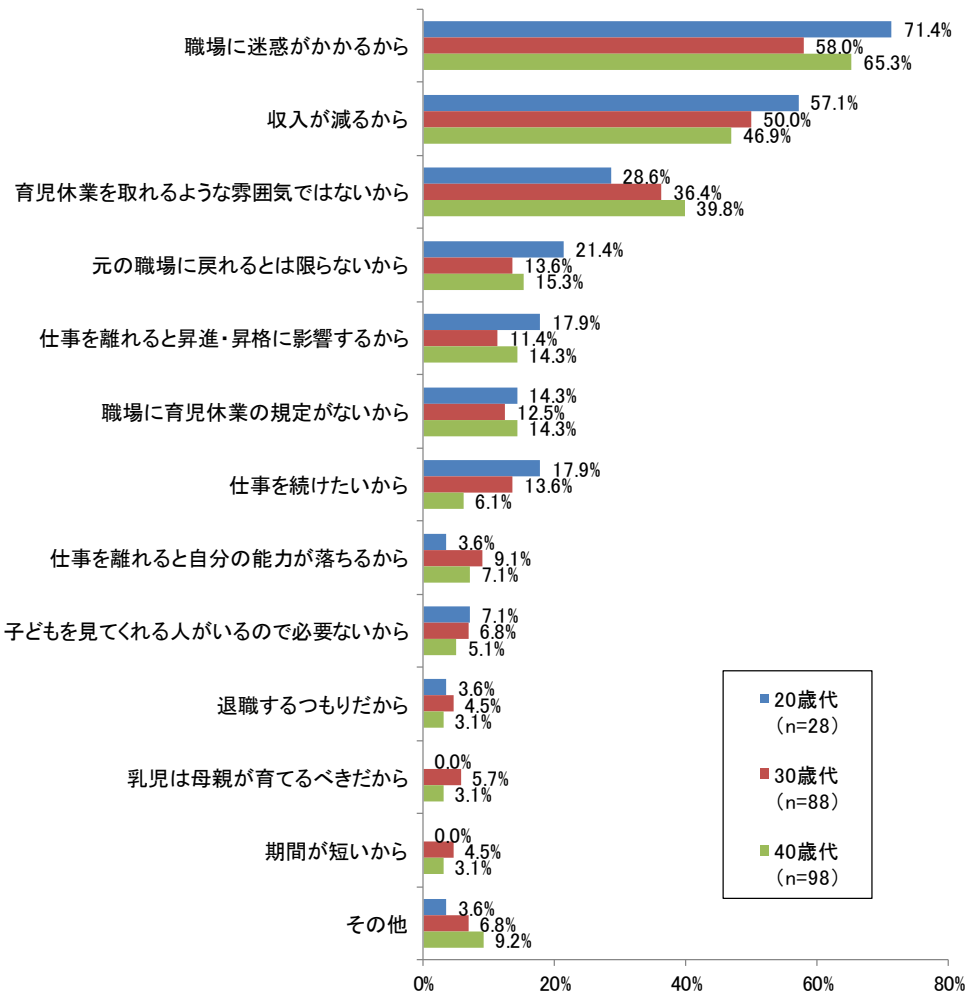
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



<二次医療圏別> (参考)

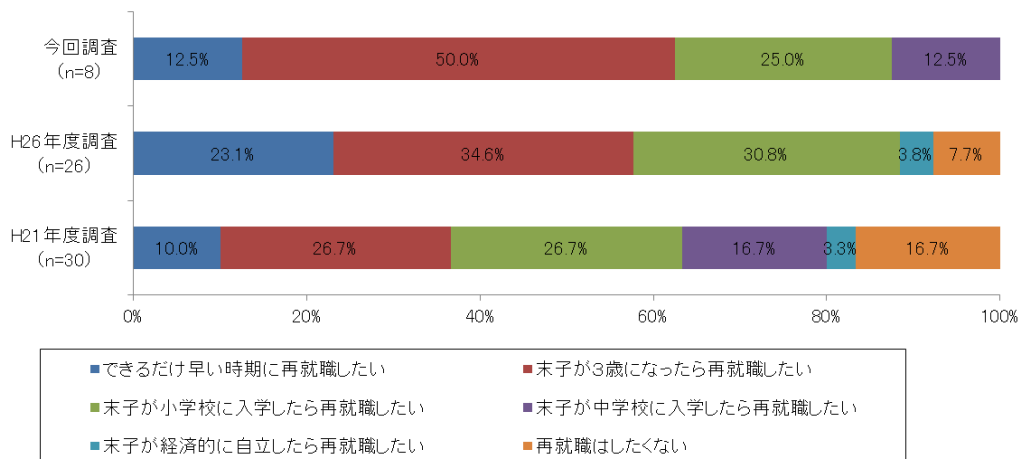
	宮崎県北部 (n=35)	日向入郷 (n=23)	宮崎東諸県 (n=81)	西都児湯 (n=17)	日南串間 (n=9)	都城北諸県 (n=29)	西諸 (n=8)
職場に迷惑がかかるから	45.7%	65.2%	64.2%	64.7%	55.6%	82.8%	62.5%
収入が減るから	51.4%	47.8%	51.9%	58.8%	55.6%	48.3%	25.0%
育児休業を取れるような雰囲気ではないから	37.1%	8.7%	35.8%	29.4%	44.4%	51.7%	37.5%
元の職場に戻れるとは限らないから	2.9%	17.4%	21.0%	5.9%	33.3%	13.8%	0.0%
仕事を離れると昇進・昇格に影響するから	20.0%	8.7%	17.3%	5.9%	11.1%	6.9%	0.0%
職場に育児休業の規定がないから	20.0%	8.7%	13.6%	0.0%	11.1%	13.8%	0.0%
仕事を続けたいから	20.0%	8.7%	11.1%	11.8%	11.1%	3.4%	12.5%
仕事を離れると自分の能力が落ちるから	8.6%	0.0%	6.2%	11.8%	0.0%	13.8%	12.5%
子どもを見てくれる人がいるので必要ないから	5.7%	0.0%	4.9%	23.5%	0.0%	10.3%	0.0%
退職するつもりだから	2.9%	4.3%	2.5%	5.9%	0.0%	6.9%	0.0%
乳児は母親が育てるべきだから	2.9%	8.7%	2.5%	5.9%	0.0%	6.9%	0.0%
期間が短いから	8.6%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%
その他	5.7%	21.7%	3.7%	17.6%	11.1%	0.0%	25.0%

(2) (1)で選択肢「退職するつもりだから」を選ばれた方におうかがいします。

あなたは、退職後、再就職を希望しますか。(〇は1つ)

※回答数が少ないため、分析は行わない。

<過去調査との比較>



問21 あなたは、男性も育児休業を取得できることを知っていますか。(〇は1つ)

「知っていた」が92.6%、「知らなかった」が7.4%となっている。

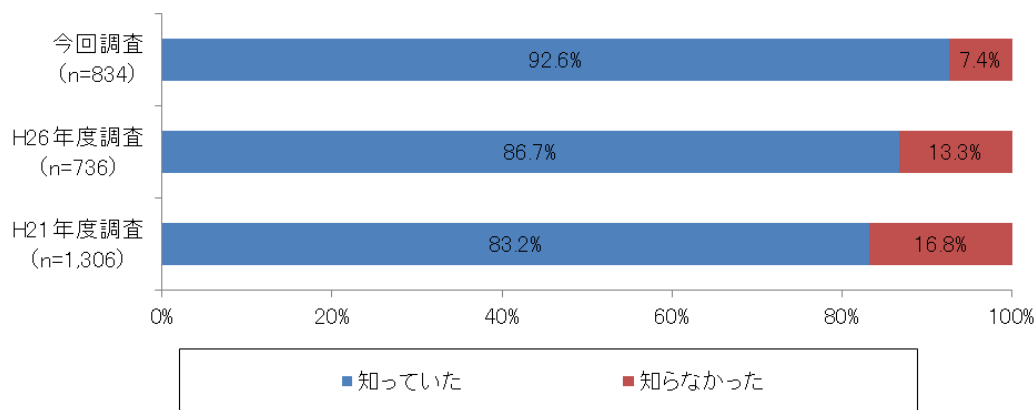
過去調査との比較では、男性も育児休業を取得できることの認知度は高まる傾向を示している。

性別では、男性の「知っていた」は88.4%で女性(94.4%)を6.0ポイント下回っており、男性は女性よりも認知度が低いことがうかがえる。

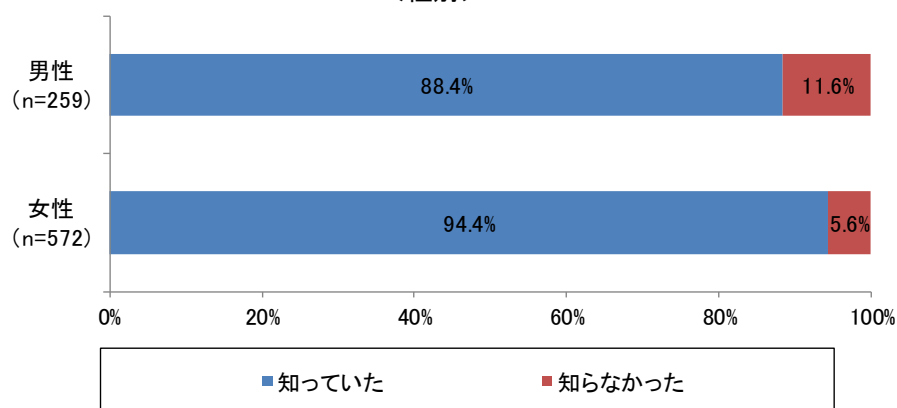
年代別では、いずれの年代も「知っていた」の割合が高いものの、20歳代は「知っていた」の割合が87.0%で30歳代と40歳代よりも認知度は低い状況にある。

二次医療圏別では、いずれの圏域も「知っていた」が9割を超えている。

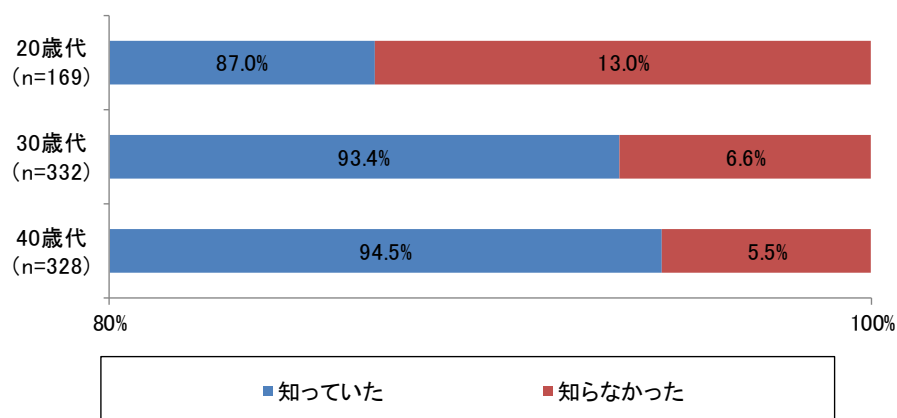
<過去調査との比較>



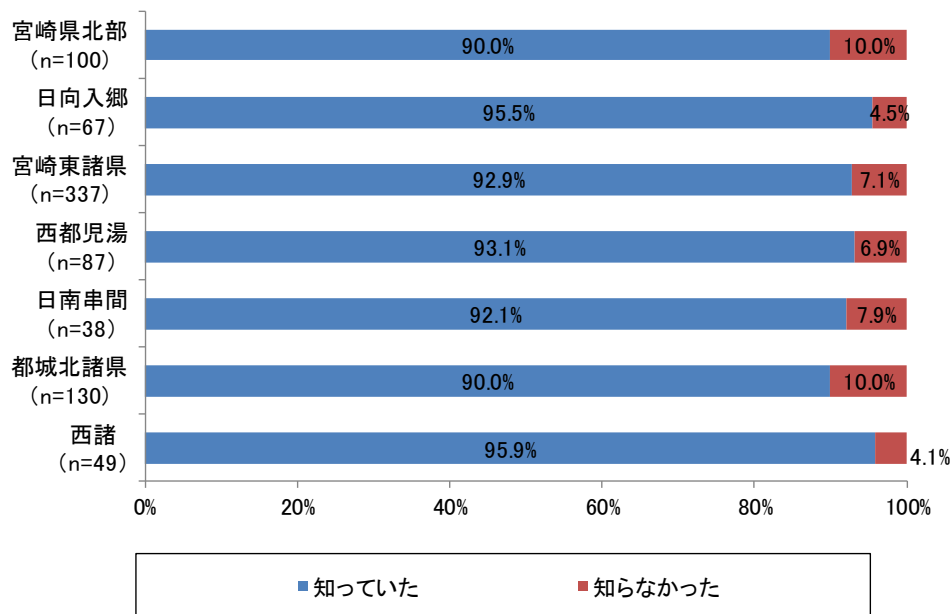
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



問22 あなたは、男性が育児休業を取得することをどう思いますか。(○は1つ)

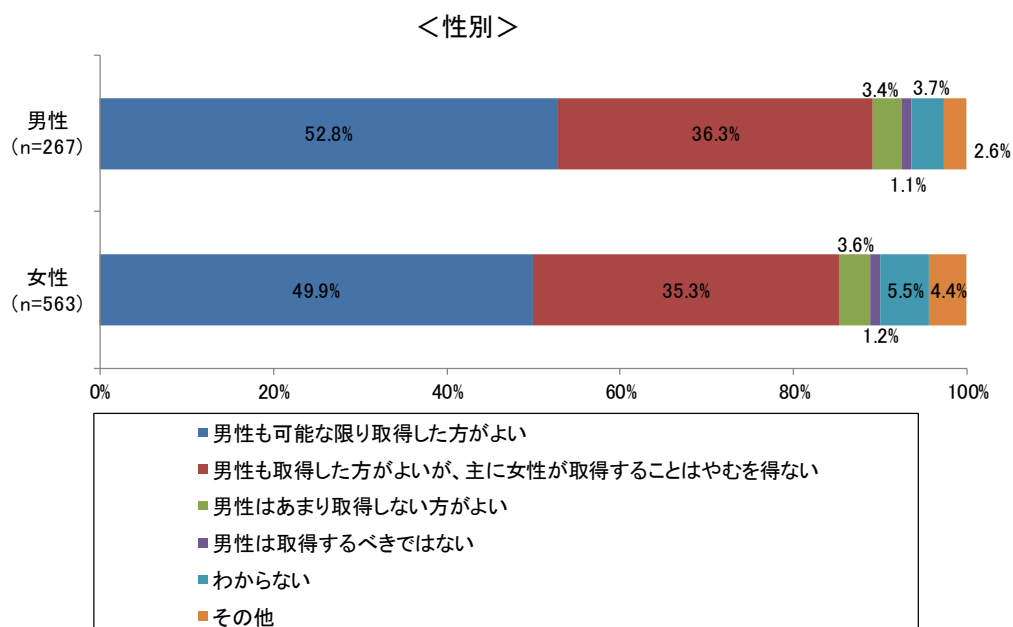
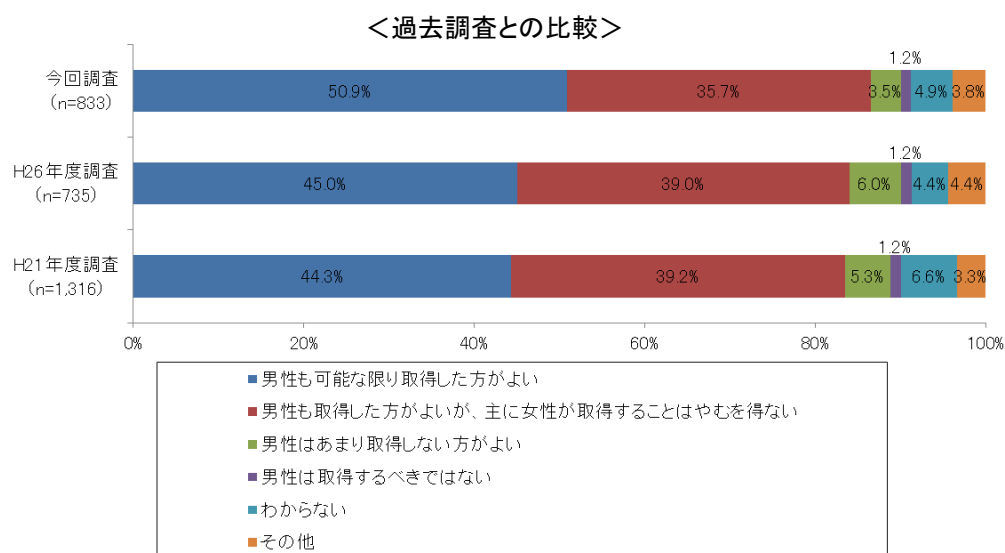
「男性も可能な限り取得した方がよい」の割合(50.9%)が最も高く、「男性も取得した方がよいが、主に女性が取得することはやむを得ない」が35.7%となっている。

過去調査との比較では、概ね同様の傾向にあるが、「男性も可能な限り取得した方がよい」の割合は高まる傾向を示している。

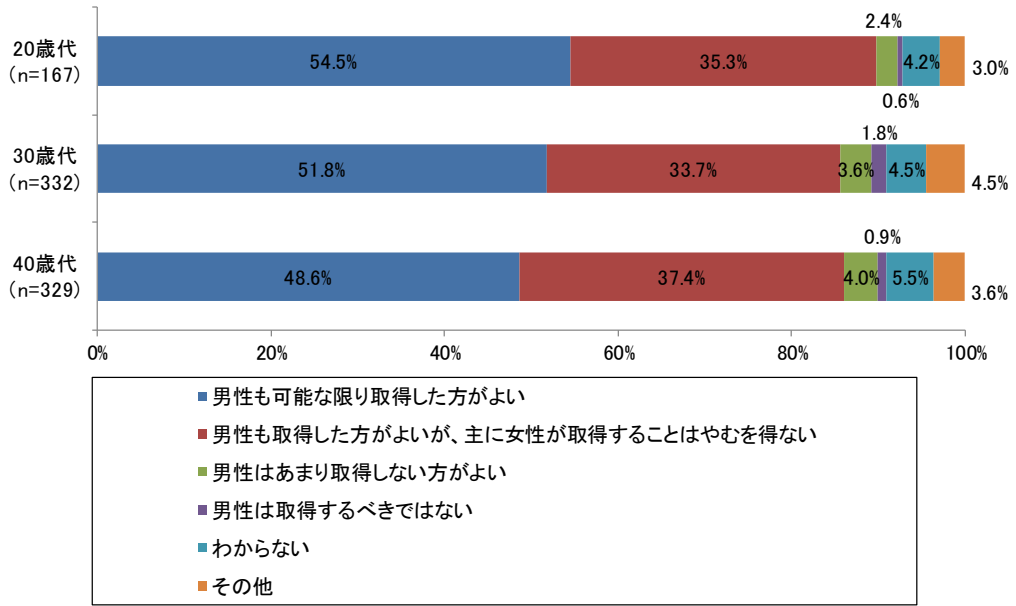
性別では、男女ともに概ね同様の傾向にある。

年代別では、いずれの年代も概ね同様の傾向にあるが、「男性も可能な限り取得した方がよい」は、年代が上がるとわずかに低くなる傾向にある。

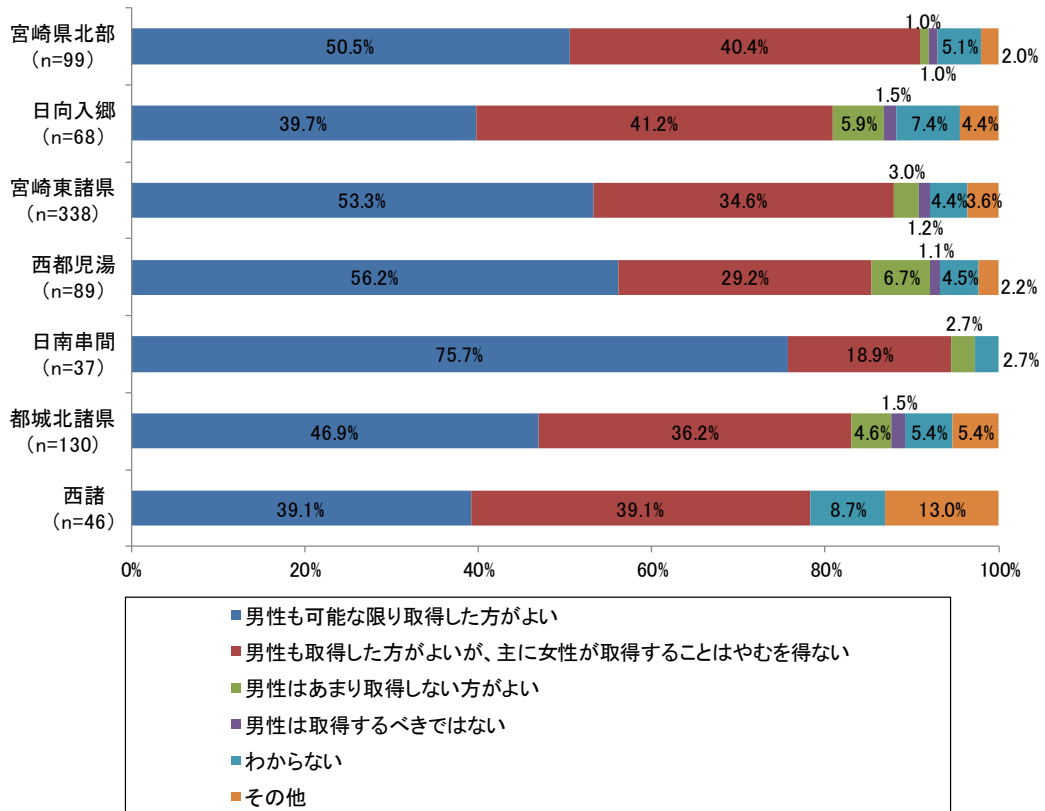
二次医療圏別では、日南串間で、「男性も可能な限り取得した方がよい」の割合が75.7%であり、他の圏域よりも顕著に高くなっている。



<年代別>



<二次医療圏別>



8. 問23～問32については、子どもをお持ちの方のみお答えください。既に子どもが就学中の方は、就学前当時のことについてお答えください。

問23 あなたは、子どもを保育所・幼稚園・認定こども園へ通わせていますか(通わせていましたか)。

2人以上の子どもをお持ちの方は、最年少の子どもについてお答えください。(○は1つ)

「1 認可保育所(市町村を経由して入所決定される保育所、へき地保育所を含む)に通っている(通っていた)」の割合が62.5%で最も高く、「3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)」の割合が次に高く、22.2%となっている。

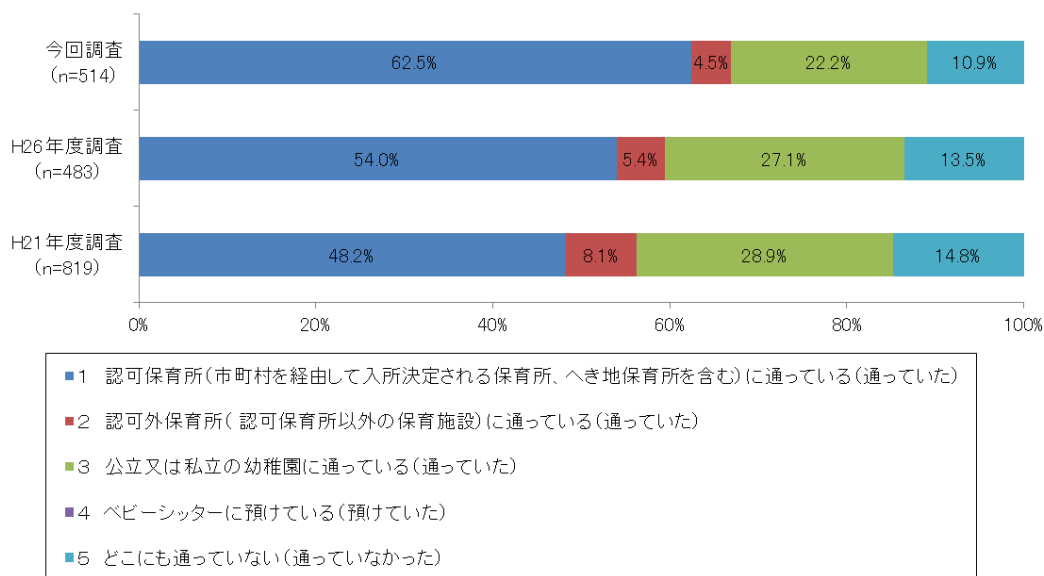
過去調査との比較では、「1 認可保育所(市町村を経由して入所決定される保育所、へき地保育所を含む)に通っている(通っていた)」の割合は増加傾向にあり、反対に「3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)」の割合は減少傾向にある。

性別では、男女とも概ね同様の傾向にある。

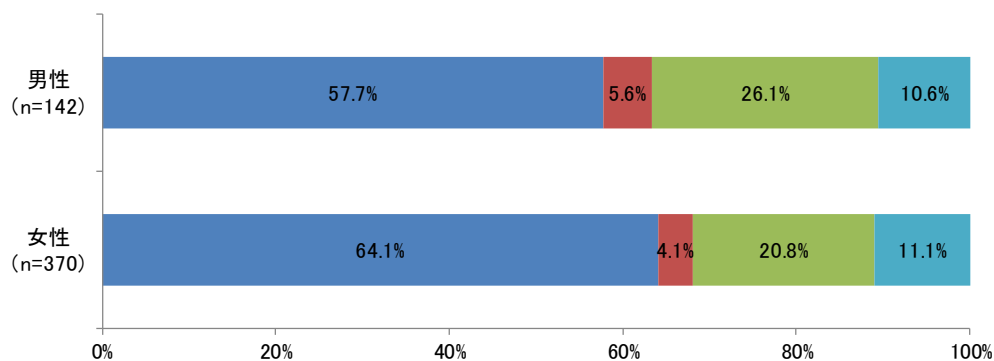
年代別では、20歳代は「5 どこにも通っていない(通っていなかった)」が30.0%であり、30歳代は16.8%、40歳代は2.4%で年代が高くなるにつれてその割合は低い状況にある。

二次医療圏別では、全体と概ね同様の傾向となっているが、日南串間と西諸では、「3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)」の割合が他の圏域よりも高い状況にある。

<過去調査との比較>

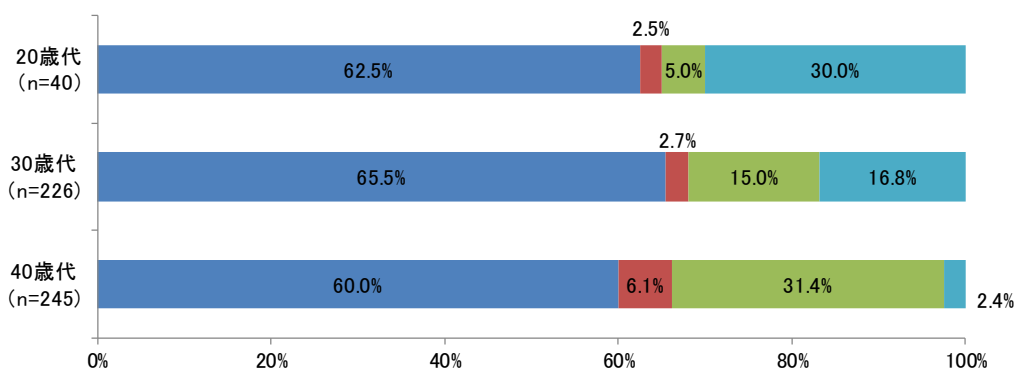


<性別>



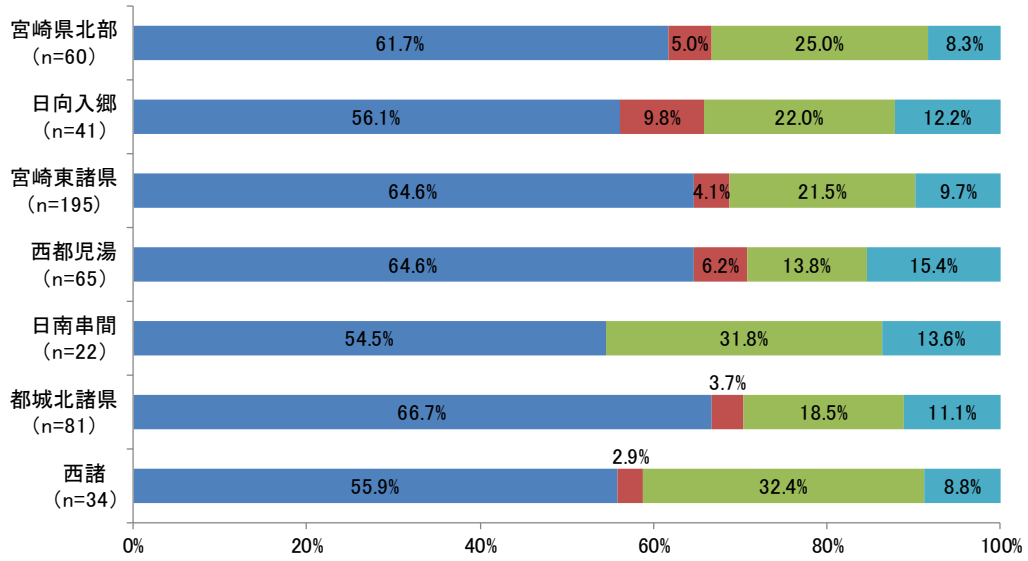
- 1 認可保育所(市町村を経由して入所決定される保育所、へき地保育所を含む)に通っている(通っていた)
- 2 認可外保育所(認可保育所以外の保育施設)に通っている(通っていた)
- 3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)
- 4 ベビーシッターに預けている(預けていた)
- 5 どこにも通っていない(通ってなかった)

<年代別>



- 1 認可保育所(市町村を経由して入所決定される保育所、へき地保育所を含む)に通っている(通っていた)
- 2 認可外保育所(認可保育所以外の保育施設)に通っている(通っていた)
- 3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)
- 4 ベビーシッターに預けている(預けていた)
- 5 どこにも通っていない(通ってなかった)

<二次医療圏別>



- 1 認可保育所(市町村を経由して入所決定される保育所、へき地保育所を含む)に通っている(通っていた)
- 2 認可外保育所(認可保育所以外の保育施設)に通っている(通っていた)
- 3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)
- 4 ベビーシッターに預けている(預けていた)
- 5 どこにも通っていない(通っていなかった)

問24 問23で選択肢「1 認可保育所に通っている(通っていた)」又は「2 認可外保育施設に通っている(通っていた)」を選ばれた方におうかがいします。

子どもが通っている(通っていた)保育所・保育施設に期待することは何ですか。(3つまで○)

第1位「保育料を安くしてほしい」(40.7%)、第2位「病気のときも預かってほしい」(29.9%)、第3位「土曜・日曜・祝日等も預かってほしい」(25.9%)となっている。

過去調査との比較では、上位の項目は概ね同様の傾向を示している。その中で今回は、「保育料を安くしてほしい」が20ポイント以上下回っている。

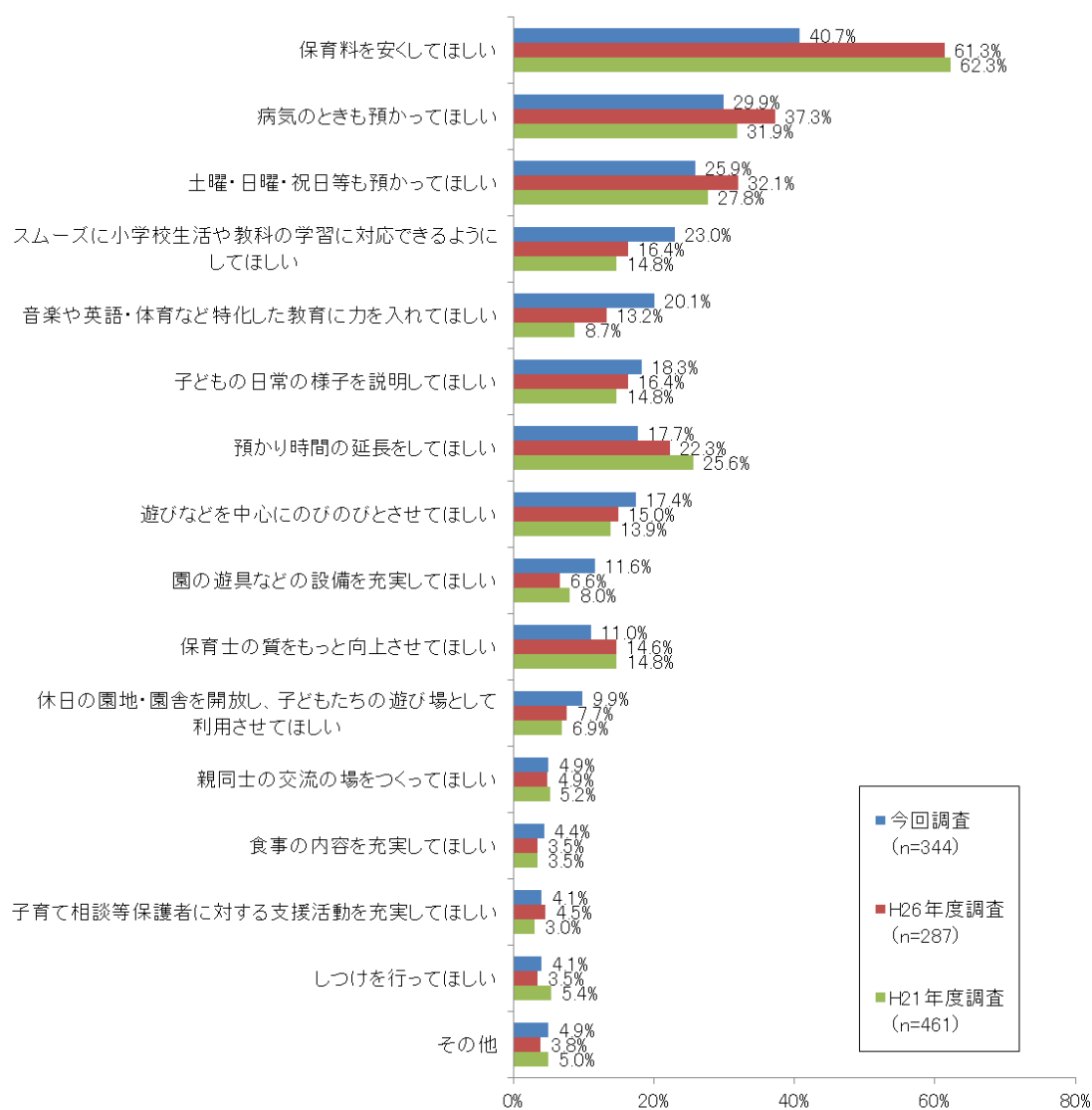
なお、第4位「スムーズに小学校生活や教科の学習に対応できるようにしてほしい」(23.0%)、第5位「音楽や英語・体育など特化した教育に力を入れてほしい」(20.1%)の割合は増加傾向を示している。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。その中で「保育料を安くしてほしい」(男性:50.0%、女性:37.7%)と「預かり時間の延長をしてほしい」(男性:24.4%、女性:15.5%)の割合は男性が女性を上回っている。

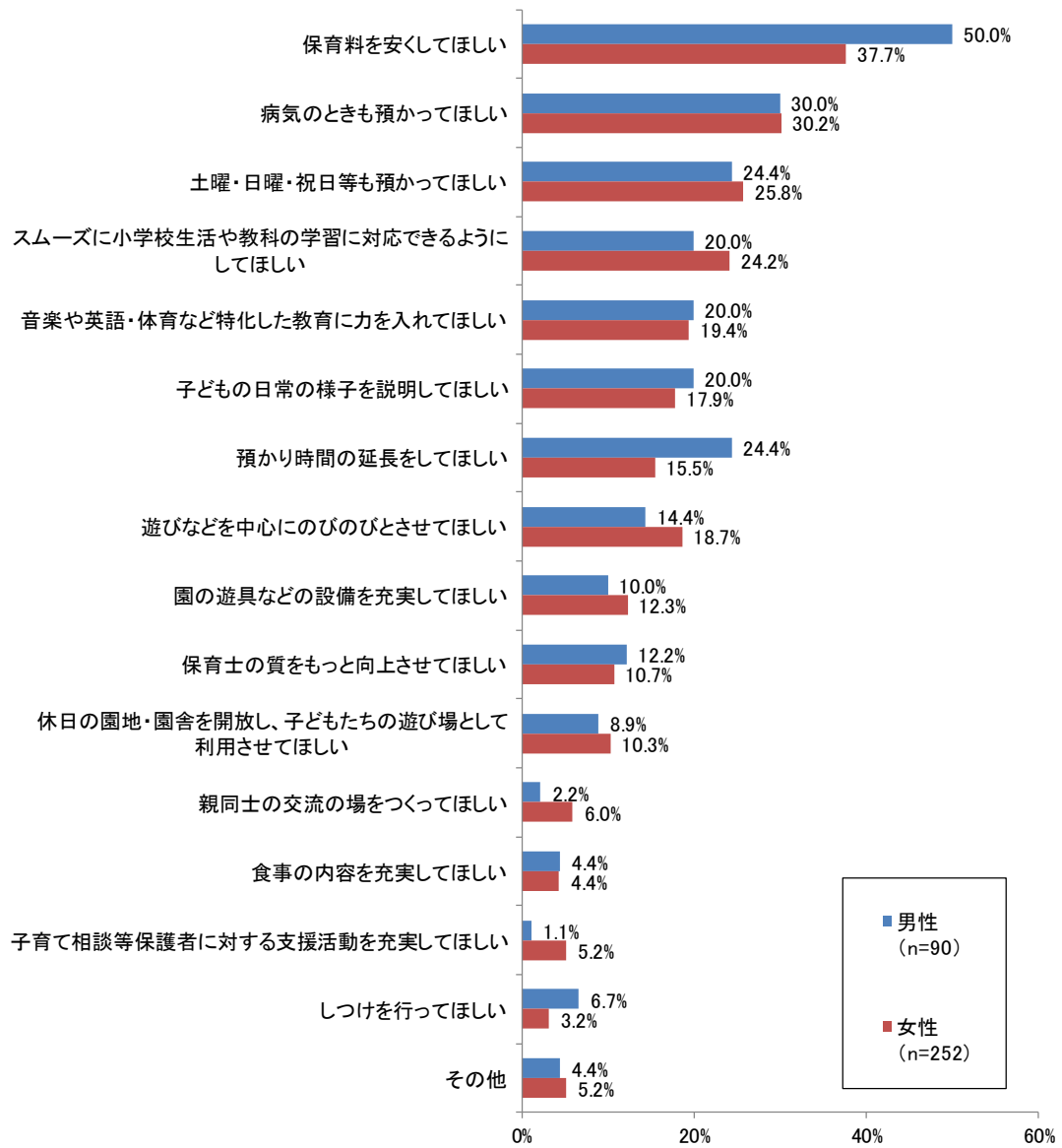
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向を示しているが、40歳代では「預かり時間の延長をしてほしい」(26.5%)の割合が第4位となっている。

二次医療圏別では回答数が少ない圏域もあるが、全体の上位3位を除いて割合が高い項目をみると、日向入郷は「預かり時間の延長をしてほしい」(29.6%)、西都児湯は「スムーズに小学校生活や教科の学習に対応できるようにしてほしい」と「子どもの日常の様子を説明してほしい」(ともに26.1%)、日南串間は「遊びなどを中心にのびのびとさせてほしい」(41.7%)、「音楽や英語・体育など特化した教育に力を入れてほしい」(33.3%)、都城北諸県は「遊びなどを中心にのびのびとさせてほしい」(24.6%)、西諸は「園の遊具などの設備を充実してほしい」(35.0%)などとなっている。

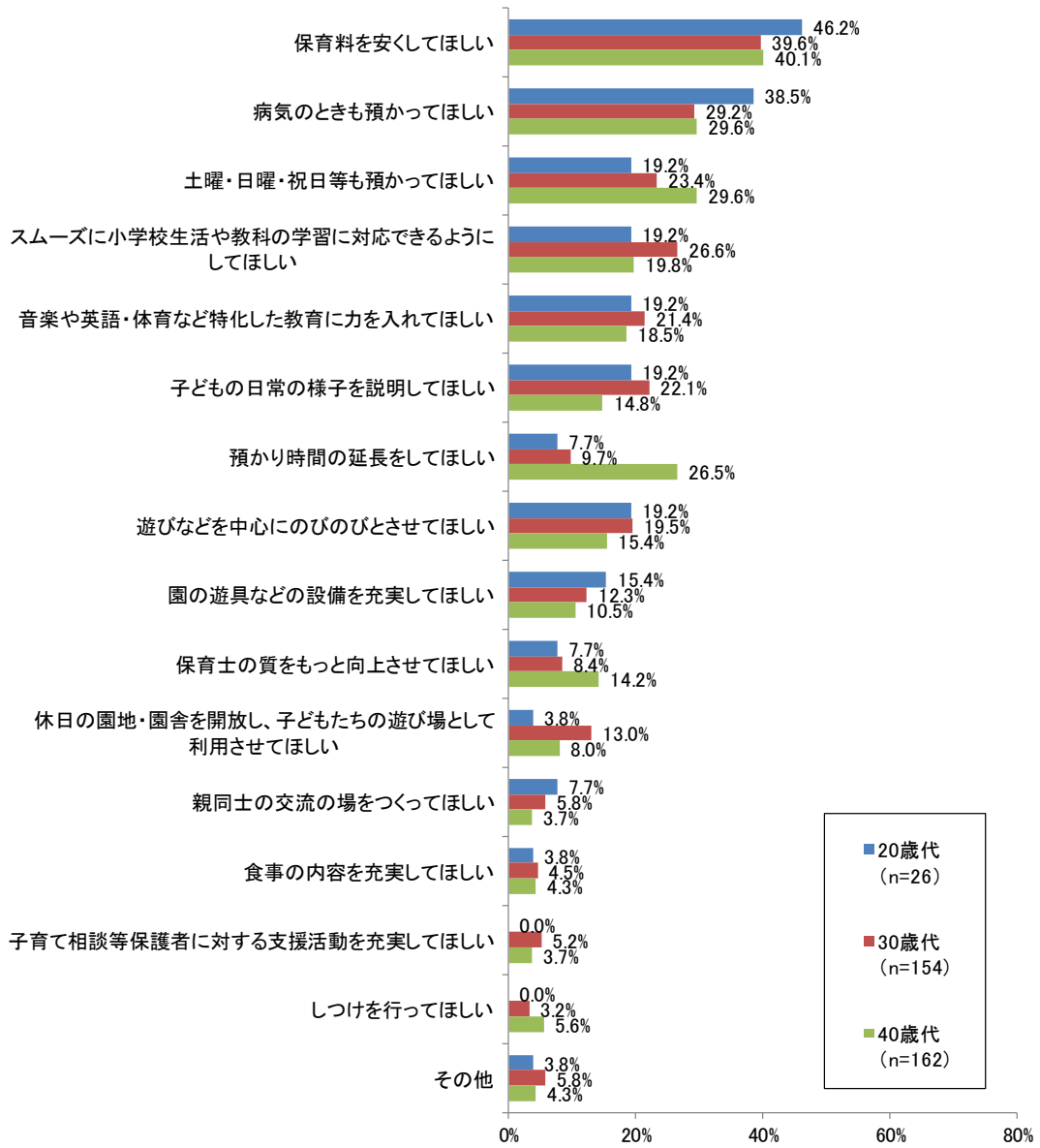
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=40)	日向入郷 (n=27)	宮崎東諸県 (n=134)	西都児湯 (n=46)	日南串間 (n=12)	都城北諸県 (n=57)	西諸 (n=20)
保育料を安くしてほしい	45.0%	44.4%	41.0%	41.3%	16.7%	47.4%	20.0%
病気のと きも預かってほしい	30.0%	18.5%	33.6%	34.8%	25.0%	29.8%	15.0%
土曜・日曜・祝日等も預かってほしい	35.0%	37.0%	27.6%	15.2%	25.0%	19.3%	20.0%
スムーズに小学校生活や教科の学習に対応できるようにしてほしい	17.5%	7.4%	23.1%	26.1%	58.3%	22.8%	30.0%
音楽や英語・体育など特化した教育に力を入れてほしい	15.0%	18.5%	24.6%	19.6%	33.3%	15.8%	15.0%
子どもの日常の様子を説明してほしい	15.0%	11.1%	21.6%	26.1%	8.3%	12.3%	10.0%
預かり時間の延長をしてほしい	27.5%	29.6%	19.4%	15.2%	0.0%	7.0%	10.0%
遊びなどを中心にのびのびとさせてほしい	12.5%	7.4%	15.7%	15.2%	41.7%	24.6%	15.0%
園の遊具などの設備を充実してほしい	10.0%	22.2%	6.0%	15.2%	0.0%	14.0%	35.0%
保育士の質をもっと向上させてほしい	10.0%	18.5%	8.2%	4.3%	8.3%	15.8%	15.0%
休日の園地・園舎を開放し、子どもたちの遊び場として利用させてほしい	15.0%	7.4%	7.5%	10.9%	25.0%	7.0%	20.0%
親同士の交流の場をつくってほしい	5.0%	3.7%	3.7%	6.5%	8.3%	5.3%	10.0%
食事の内容を充実してほしい	0.0%	0.0%	5.2%	6.5%	8.3%	7.0%	0.0%
子育て相談等保護者に対する支援活動を充実してほしい	2.5%	7.4%	3.0%	6.5%	0.0%	7.0%	0.0%
しつけを行ってほしい	2.5%	3.7%	5.2%	4.3%	8.3%	1.8%	5.0%
その他	5.0%	18.5%	3.7%	2.2%	0.0%	3.5%	10.0%

問25 問23で選択肢「3 公立又は私立の幼稚園に通っている(通っていた)」を選ばれた方におうかがいします。

子どもが通っている(通っていた)幼稚園に期待することは何ですか。(3つまで○)

※回答数が少ないので、分析は難しいことに留意する必要があります。

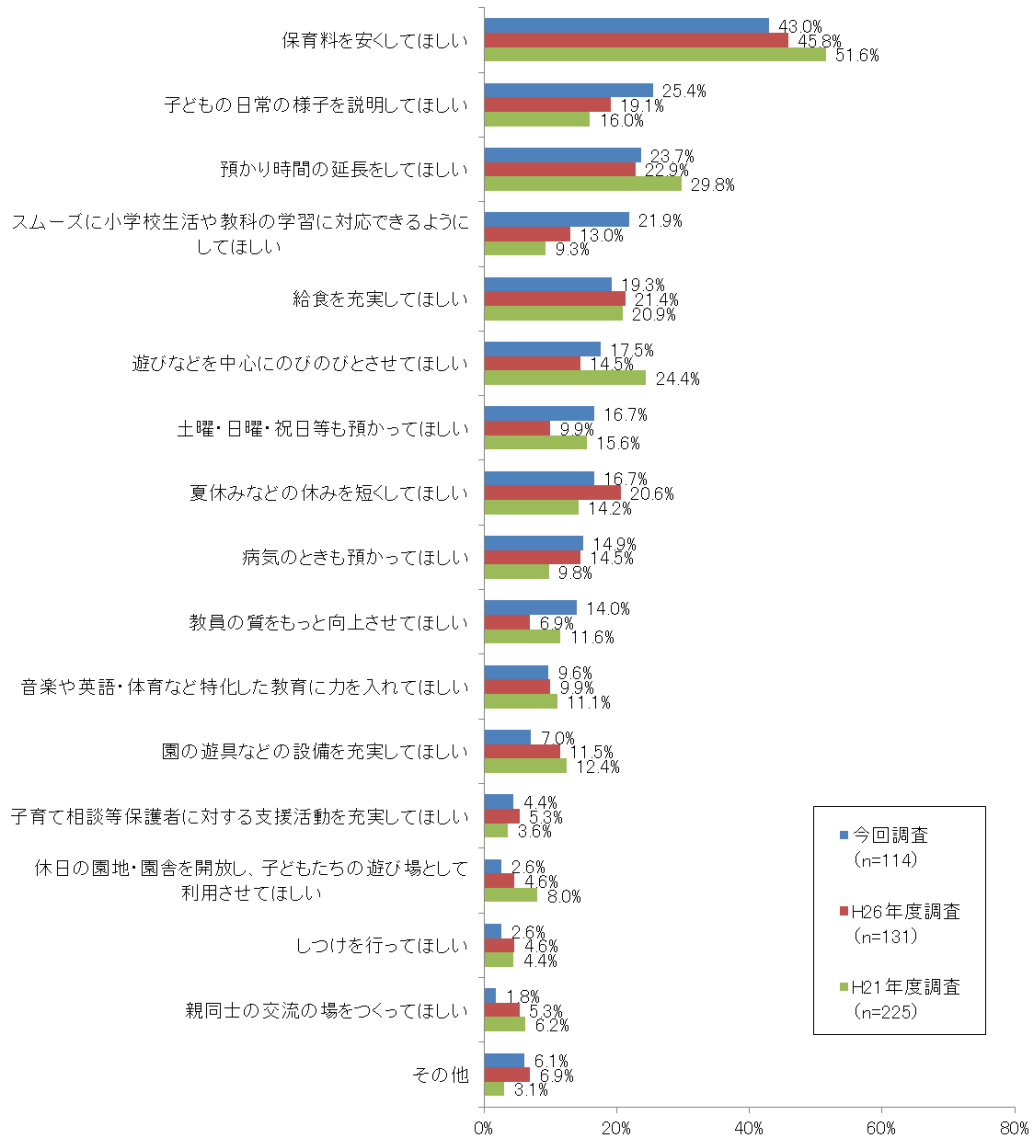
第1位「保育料を安くしてほしい」(43.0%)、第2位「子どもの日常の様子を説明してほしい」(25.4%)、第3位「預かり時間の延長をしてほしい」(23.7%)となっている。

過去調査との比較では、第1位の「保育料を安くしてほしい」の割合は減少傾向を示している。一方、「子どもの日常の様子を説明してほしい」、「スムーズに小学校生活や教科の学習に対応できるようにしてほしい」の割合は増加傾向を示している。

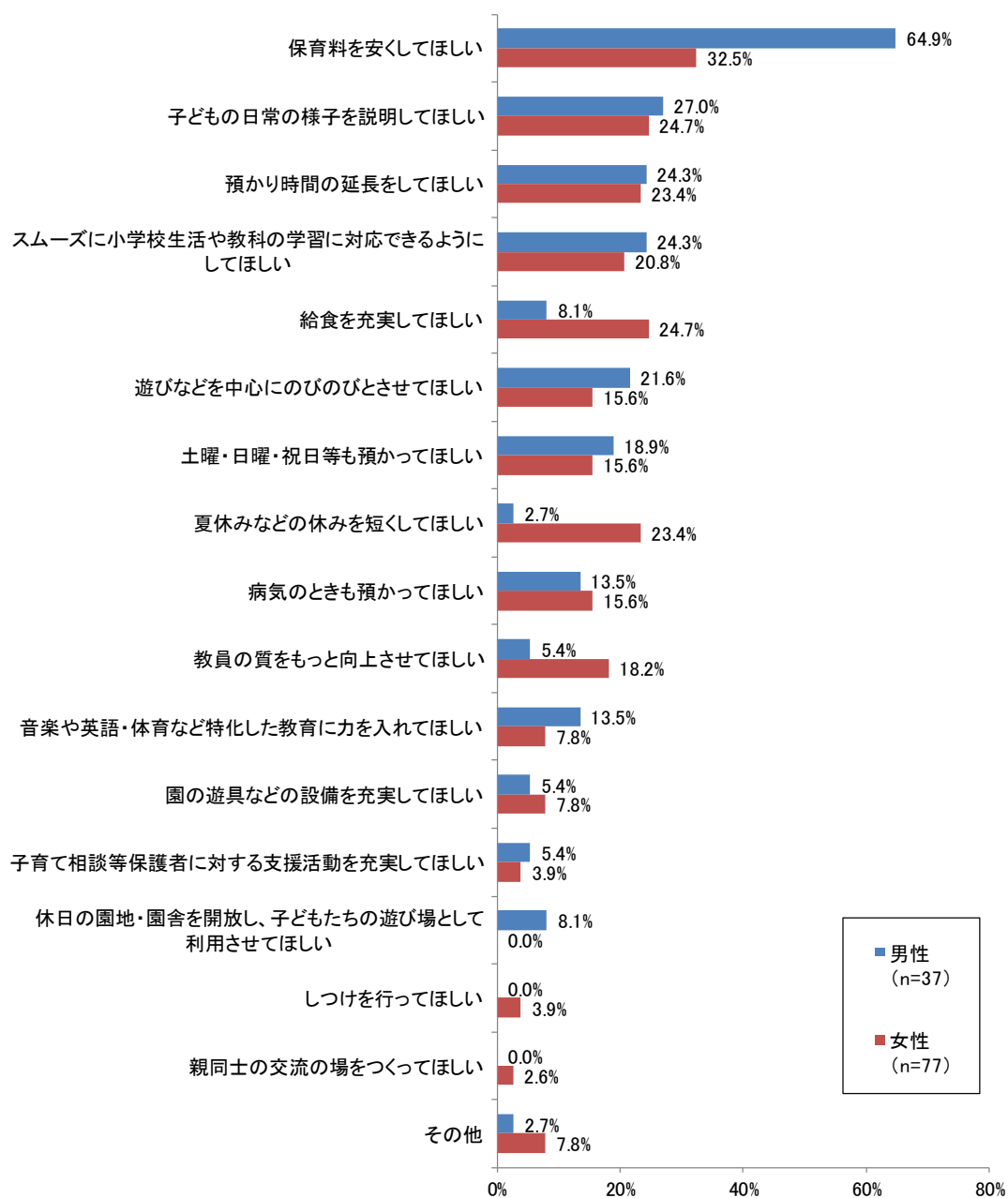
性別では、「保育料を安くしてほしい」(男性:64.9%、女性:32.5%)は男性が女性を32.4ポイント上回っているのが特徴的である。

※年代別と二次医療圏別は回答数が少ないため、分析は行わない。

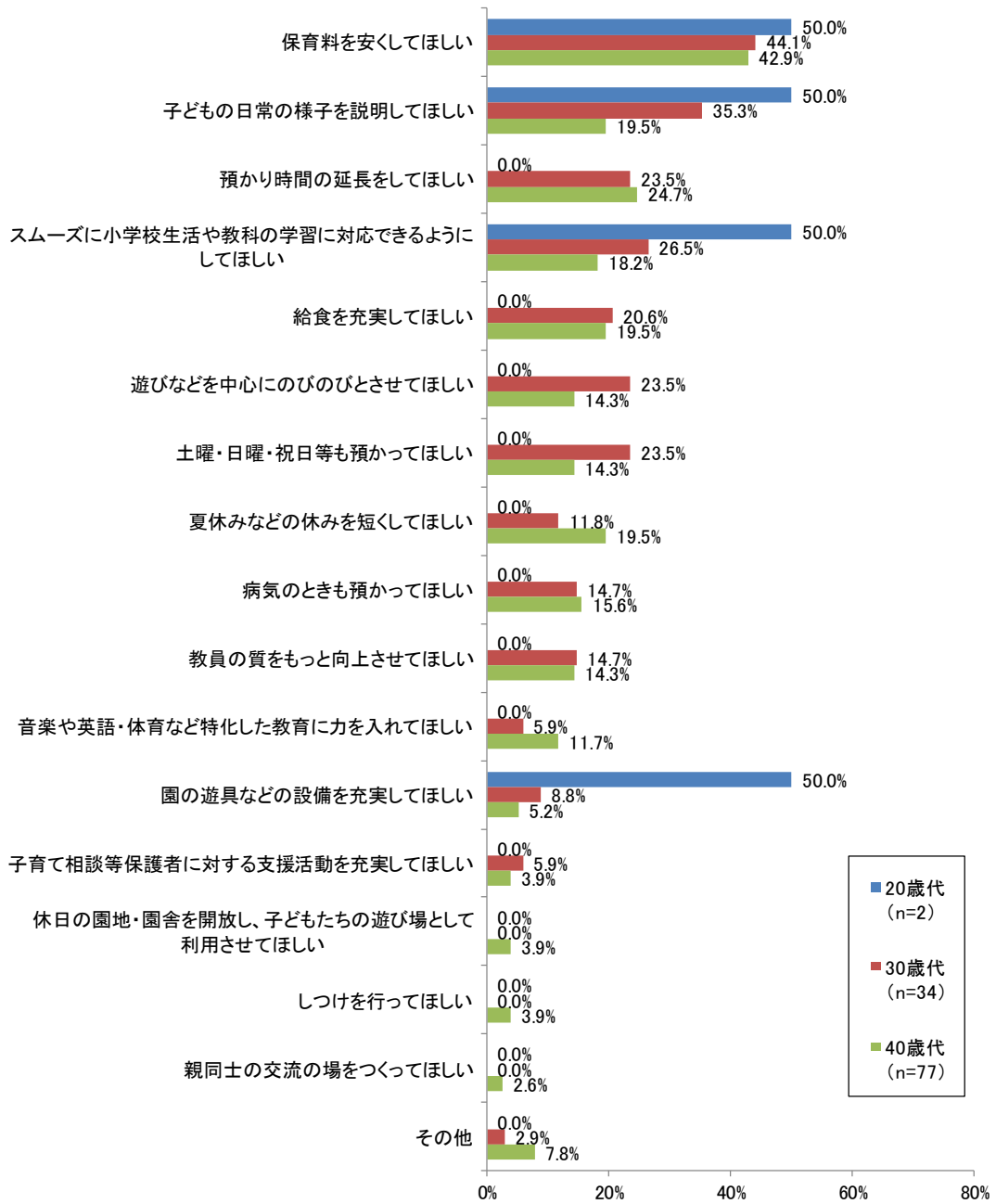
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別> (参考)



＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=15)	日向入郷 (n=9)	宮崎東諸県 (n=42)	西都児湯 (n=9)	日南串間 (n=7)	都城北諸県 (n=15)	西諸 (n=11)
保育料を安くしてほしい	60.0%	33.3%	47.6%	33.3%	57.1%	40.0%	18.2%
子どもの日常の様子を説明してほしい	46.7%	11.1%	21.4%	22.2%	42.9%	20.0%	9.1%
預かり時間の延長をしてほしい	20.0%	55.6%	28.6%	33.3%	0.0%	6.7%	18.2%
スムーズに小学校生活や教科の学習に対応できるようにしてほしい	26.7%	22.2%	21.4%	0.0%	42.9%	26.7%	9.1%
給食を充実してほしい	20.0%	11.1%	26.2%	11.1%	0.0%	33.3%	9.1%
遊びなどを中心にのびのびとさせてほしい	33.3%	11.1%	11.9%	11.1%	42.9%	20.0%	9.1%
土曜・日曜・祝日等も預かってほしい	13.3%	33.3%	14.3%	22.2%	14.3%	0.0%	36.4%
夏休みなどの休みを短くしてほしい	0.0%	11.1%	16.7%	11.1%	28.6%	13.3%	36.4%
病気のときも預かってほしい	6.7%	22.2%	16.7%	22.2%	14.3%	6.7%	27.3%
教員の質をもっと向上させてほしい	13.3%	11.1%	14.3%	11.1%	14.3%	20.0%	18.2%
音楽や英語・体育など特化した教育に力を入れてほしい	13.3%	22.2%	7.1%	0.0%	0.0%	13.3%	9.1%
園の遊具などの設備を充実してほしい	13.3%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
子育て相談等保護者に対する支援活動を充実してほしい	20.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	6.7%	0.0%
休日の園地・園舎を開放し、子どもたちの遊び場として利用させてほしい	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
しつけを行ってほしい	0.0%	11.1%	2.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
親同士の交流の場をつくってほしい	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
その他	0.0%	11.1%	2.4%	11.1%	0.0%	13.3%	18.2%

問26 問23で選択肢「5 どこにも通っていない(通っていなかった)」を選ばれた方におうかがいします。

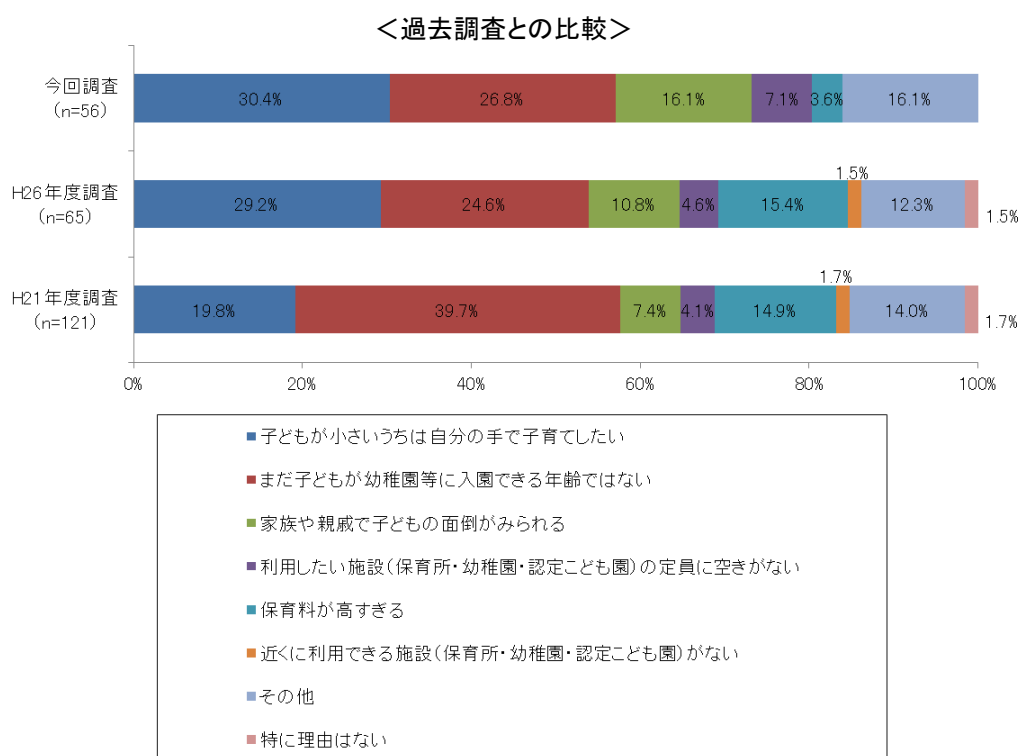
(1) どこにも通っていない(通っていなかった)のはなぜですか。(○は1つ)

※回答数が少ないので、分析は難しいことに留意する必要がある。

「子どもが小さいうちは自分の手で子育てしたい」の割合が30.4%で最も高く、「まだ子どもが幼稚園等に入園できる年齢ではない」が26.8%で次いでいる。

過去調査との比較では、「子どもが小さいうちは自分の手で子育てしたい」の割合が増加傾向を示している。

※回答数が少ないため、クロス集計の分析は行わない。



(2) 家庭で子育てする上で何か充実してほしいことはありますか。(2つまで○)

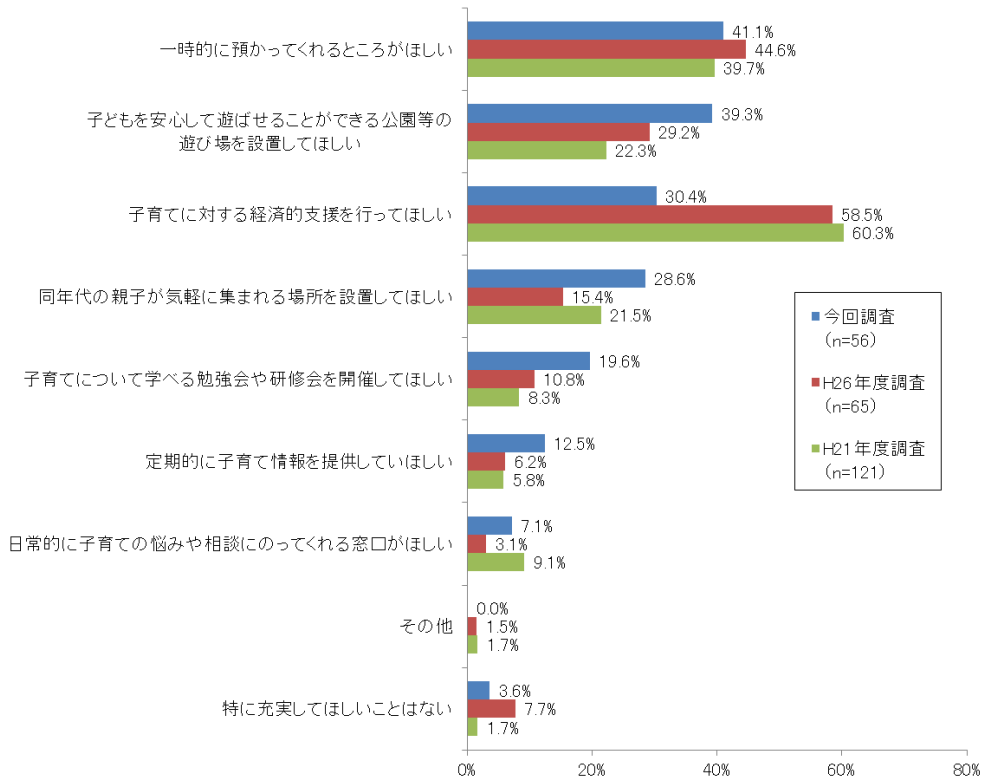
※回答数が少ないので、分析は難しいことに留意する必要がある。

第1位「一時的に預かってくれるところがほしい」(41.1%)、第2位「子どもを安心して遊ばせることができる公園等の遊び場を設置してほしい」(39.3%)、第3位「子育てに対する経済的支援を行ってほしい」(30.4%)となっている。

過去調査との比較では、「子育てに対する経済的支援を行ってほしい」の割合が今回は約30ポイント減少している。一方、「子どもを安心して遊ばせることができる公園等の遊び場を設置してほしい」「同年代の親子が気軽に集まれる場所を設置してほしい」「子育てについて学べる勉強会や研修会を開催してほしい」といった項目の割合は増加している。

※回答数が少ないため、クロス集計の分析は行わない。

<過去調査との比較>



問27 あなたは、子育ての際に生じた不安や悩みを誰に相談していますか(相談していましたか)。(3つまで○)

第1位「配偶者」(72.3%)、第2位「自分の親」(64.7%)、第3位「友人・知人」(50.7%)となっている。

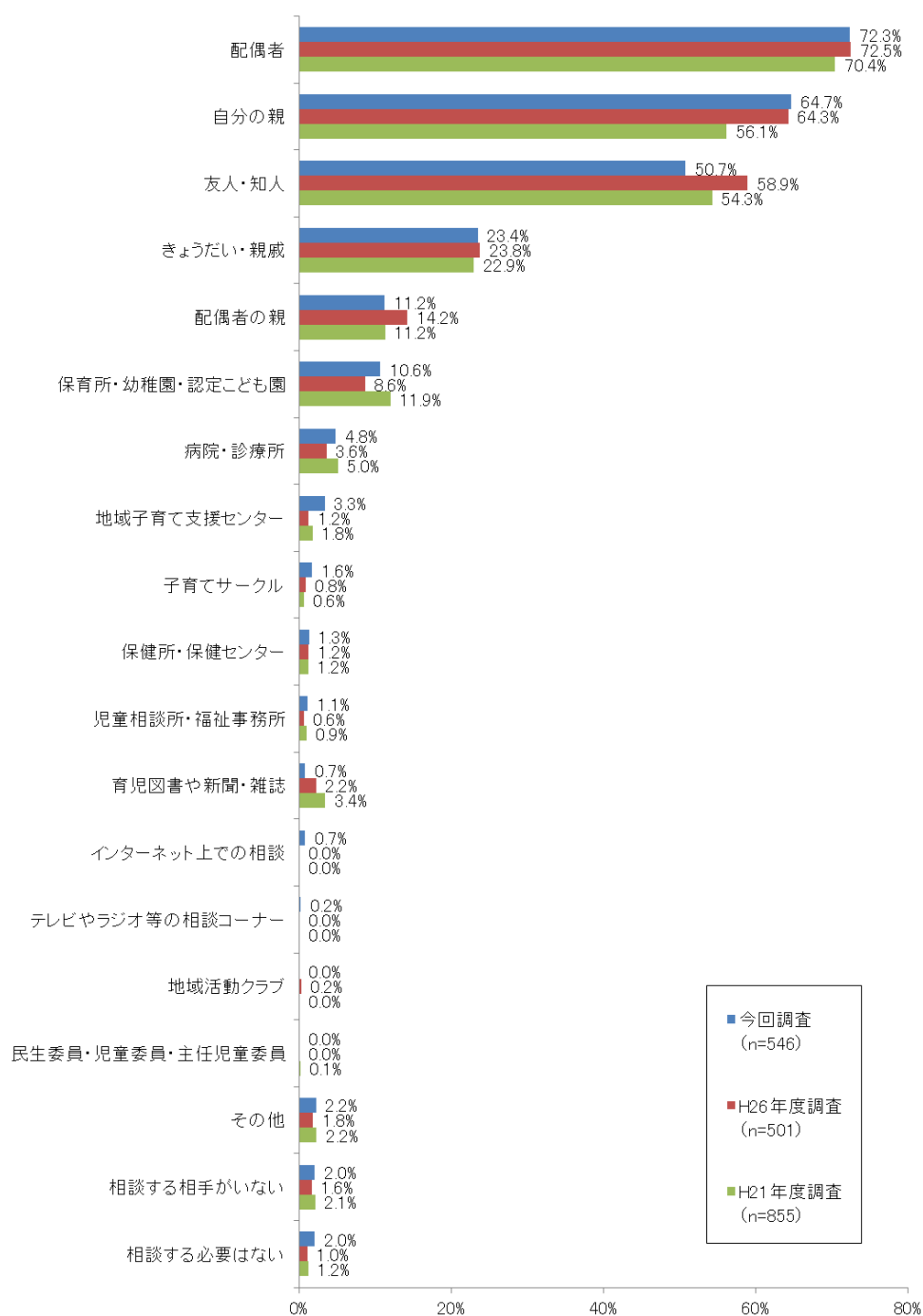
前回調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

性別では、上位の項目は男女とも全体と概ね同様の傾向にあるが、その中で女性は「自分の親」「友人・知人」に相談する割合が男性を大きく上回っている。

年代別では、上位の項目は全体と概ね同様の傾向となっている。

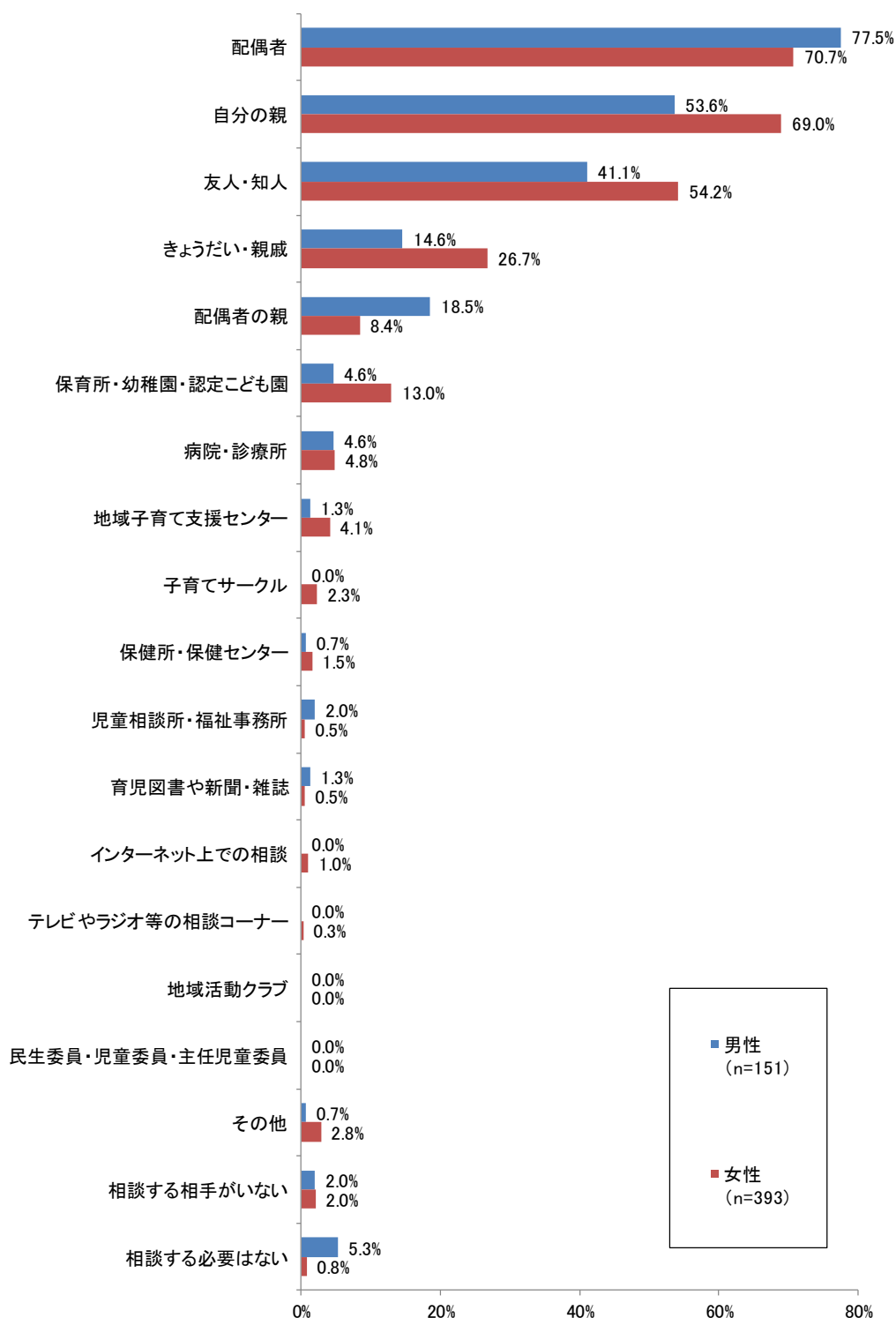
二次医療圏別では、上位の項目はいずれの圏域も全体とほぼ同様の傾向となっている。

<過去調査との比較>

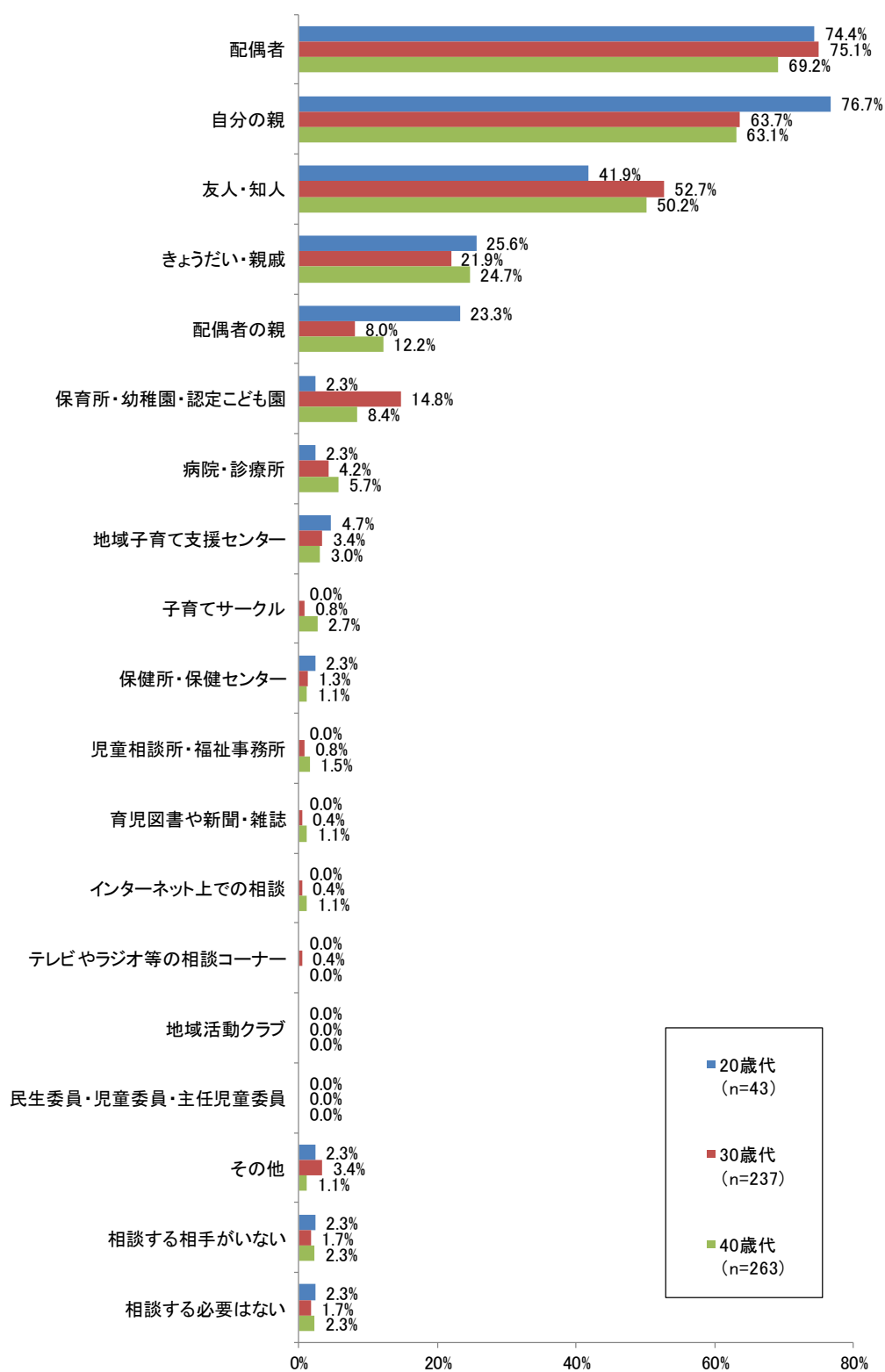


※「インターネット上での相談」は今回調査から追加した項目

<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=66)	日向入郷 (n=45)	宮崎東諸県 (n=210)	西都児湯 (n=66)	日南串間 (n=22)	都城北諸県 (n=85)	西諸 (n=35)
配偶者	68.2%	66.7%	73.3%	78.8%	72.7%	70.6%	71.4%
自分の親	72.7%	62.2%	65.2%	54.5%	72.7%	65.9%	65.7%
友人・知人	45.5%	57.8%	49.0%	53.0%	31.8%	55.3%	57.1%
きょうだい・親戚	15.2%	24.4%	26.2%	24.2%	13.6%	22.4%	25.7%
配偶者の親	15.2%	8.9%	9.0%	15.2%	9.1%	11.8%	8.6%
保育所・幼稚園・認定こども園	10.6%	11.1%	10.0%	7.6%	18.2%	16.5%	5.7%
病院・診療所	13.6%	0.0%	2.9%	7.6%	4.5%	3.5%	5.7%
地域子育て支援センター	1.5%	2.2%	1.0%	3.0%	13.6%	8.2%	2.9%
子育てサークル	3.0%	6.7%	0.5%	0.0%	9.1%	1.2%	0.0%
保健所・保健センター	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童相談所・福祉事務所	3.0%	2.2%	1.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%
育児図書や新聞・雑誌	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
インターネット上での相談	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	4.5%	0.0%	2.9%
テレビやラジオ等の相談コーナー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%
地域活動クラブ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民生委員・児童委員・主任児童委員	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7.6%	2.2%	1.9%	1.5%	0.0%	1.2%	0.0%
相談する相手がいない	1.5%	0.0%	2.9%	3.0%	0.0%	0.0%	2.9%
相談する必要はない	0.0%	2.2%	2.4%	3.0%	9.1%	1.2%	0.0%

問28 子どもと外出の際、困ることや困ったことはありますか。(3つまで○)

第1位「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」(30.6%)、第2位「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」(30.2%)、第3位「トイレがおむつ替え親子での利用に配慮されていない」(26.0%)となっている。

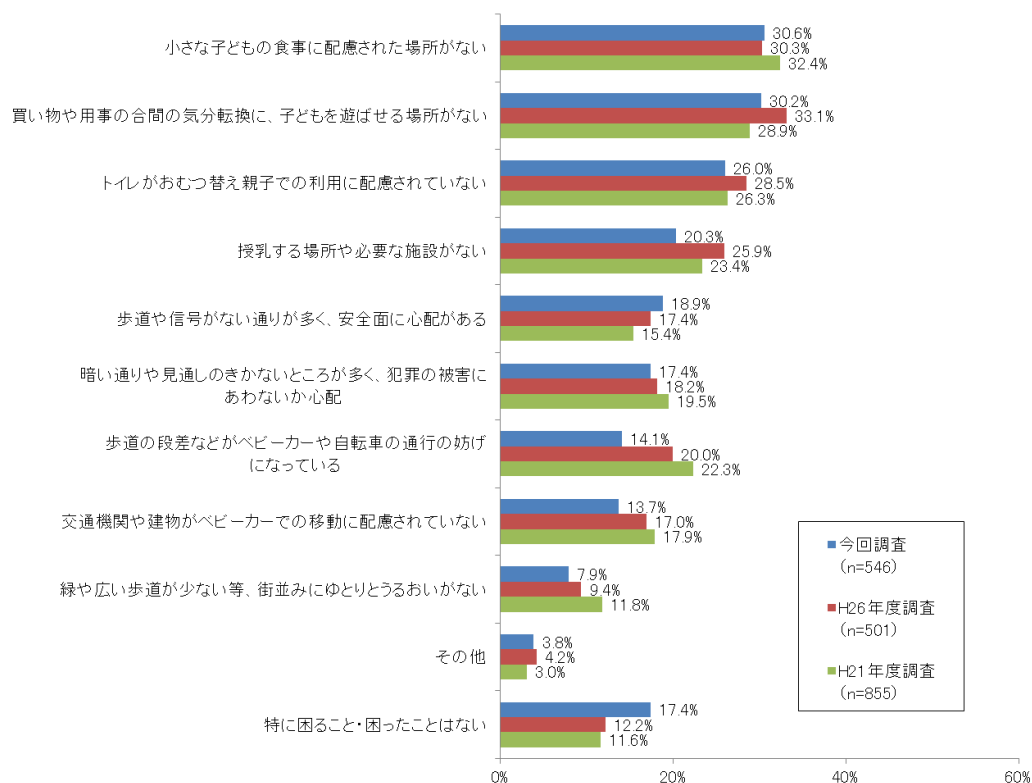
過去調査との比較では、項目の上位は概ね同様の傾向を示している。その中で「特に困ること・困ったことはない」は今回17.4%となっており、過去調査を5ポイント程度上回っている。

性別では、上位3項目については、いずれもその割合は女性が男性を上回っている。なお、第5位の「歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配がある」の割合は男性が女性を上回っている。

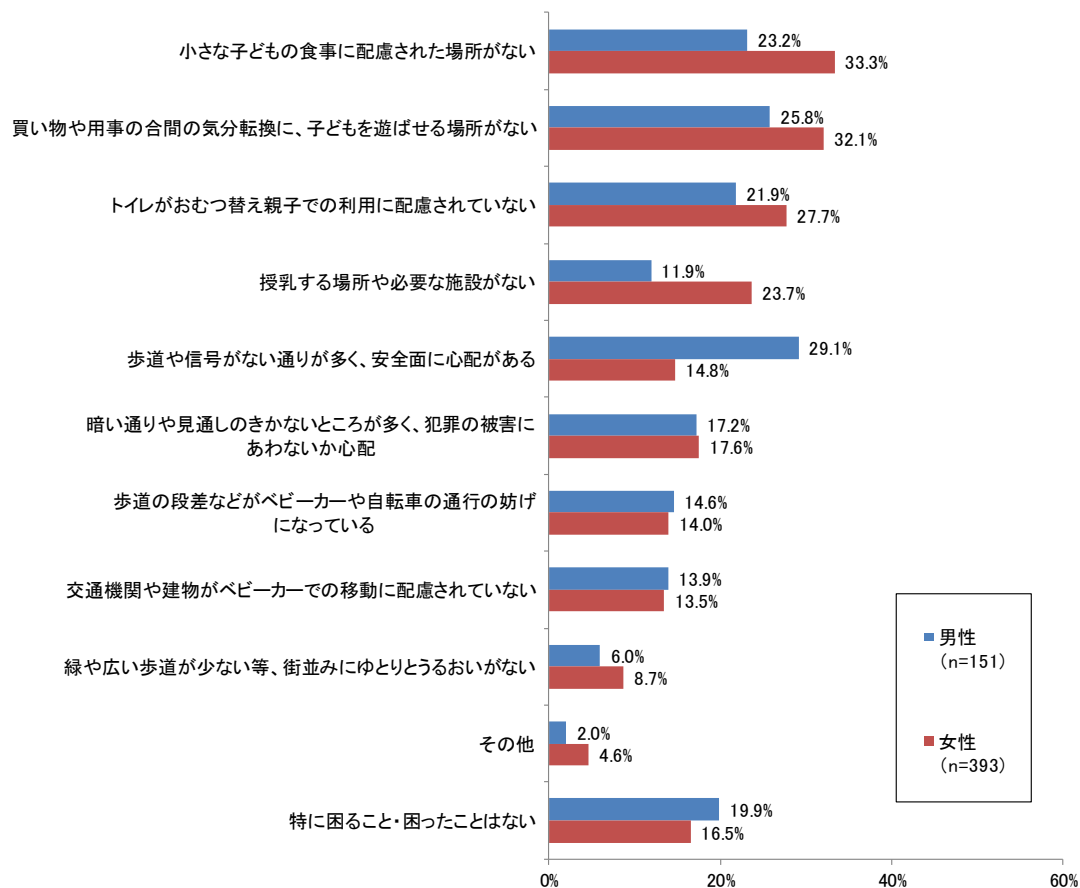
年代別では、20歳代は第1位「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」、第2位「トイレがおむつ替え親子での利用に配慮されていない」、第3位「授乳する場所や必要な施設がない」の割合が高くなっており、全体と上位の順位が異なっている。「特に困ること・困ったことはない」の割合は年代が高いほど大きくなっている。

二次医療圏別では、上位項目は全体と概ね同様の傾向となっている。その中で宮崎東諸県では「歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配がある」(21.4%)、西都児湯は「授乳する場所や必要な施設がない」(25.8%)、日南串間は「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配」(36.4%)が上位3位に入っている。

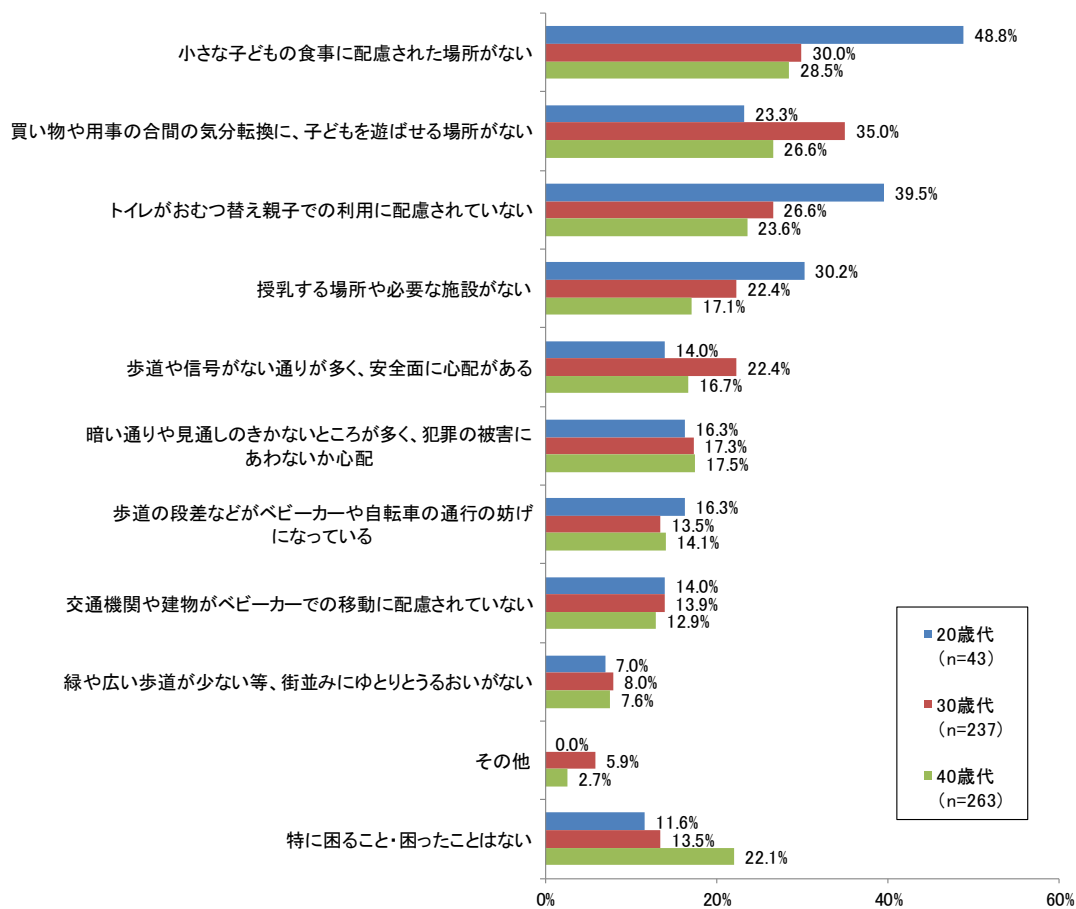
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=66)	日向入郷 (n=45)	宮崎東諸県 (n=210)	西都児湯 (n=66)	日南串間 (n=22)	都城北諸県 (n=85)	西諸 (n=35)
小さな子どもの食事に配慮された場所がない	36.4%	31.1%	22.9%	42.4%	31.8%	34.1%	34.3%
買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない	47.0%	33.3%	21.9%	25.8%	31.8%	32.9%	37.1%
トイレがおむつ替え親子での利用に配慮されていない	30.3%	26.7%	19.5%	37.9%	36.4%	20.0%	42.9%
授乳する場所や必要な施設がない	27.3%	24.4%	17.6%	25.8%	27.3%	12.9%	22.9%
歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配がある	19.7%	8.9%	21.4%	24.2%	9.1%	14.1%	14.3%
暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配	22.7%	8.9%	15.2%	19.7%	36.4%	18.8%	11.4%
歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている	13.6%	11.1%	16.7%	7.6%	4.5%	15.3%	17.1%
交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない	7.6%	24.4%	16.7%	18.2%	18.2%	8.2%	0.0%
緑や広い歩道が少ない等、街並みにゆとりとるおいがない	6.1%	6.7%	7.1%	7.6%	9.1%	11.8%	5.7%
その他	3.0%	2.2%	5.2%	1.5%	4.5%	3.5%	2.9%
特に困ること・困ったことはない	6.1%	17.8%	24.3%	12.1%	9.1%	21.2%	11.4%

問29 あなたが急な用事等の場合に、子どもを預ける(預けた)ところはどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

第1位「自分の親」(69.4%)、第2位「配偶者の親」(43.0%)、第3位「きょうだい・親戚」(21.4%)となっている。

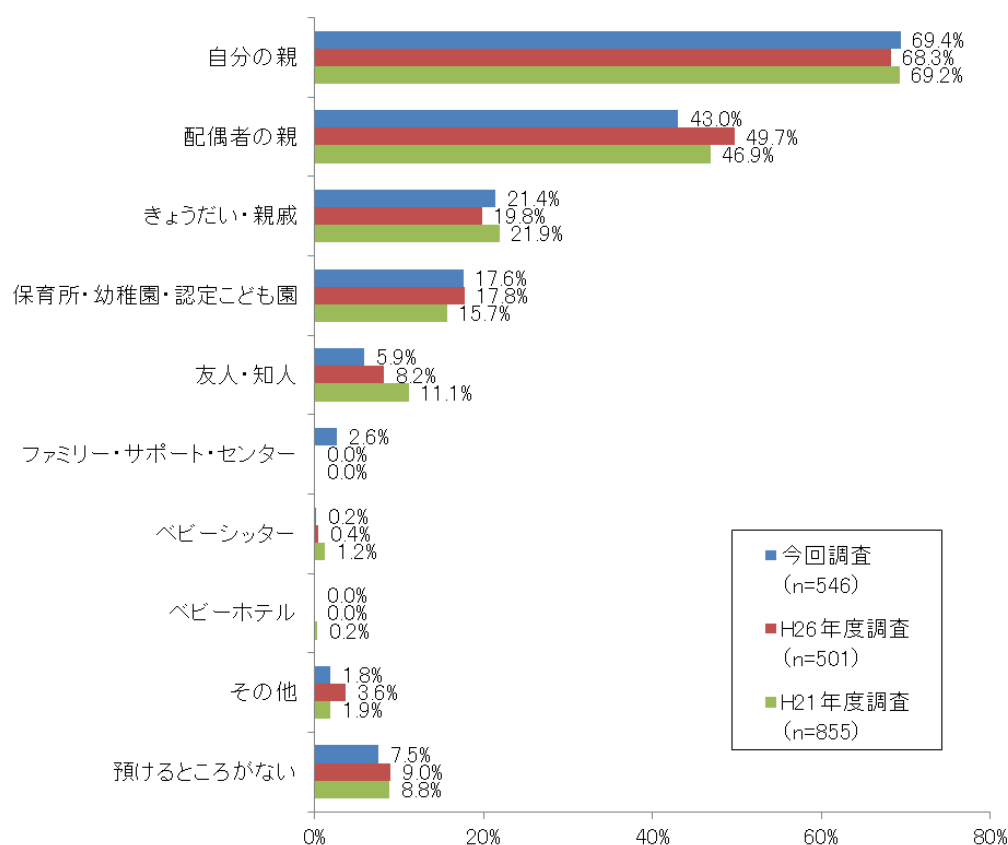
過去調査との比較では、概ね同様の結果となっている。

性別では、女性は「自分の親」(72.3%)、男性も「配偶者の親」(56.3%)でいわゆる”妻の実家”の割合が高くなっている。

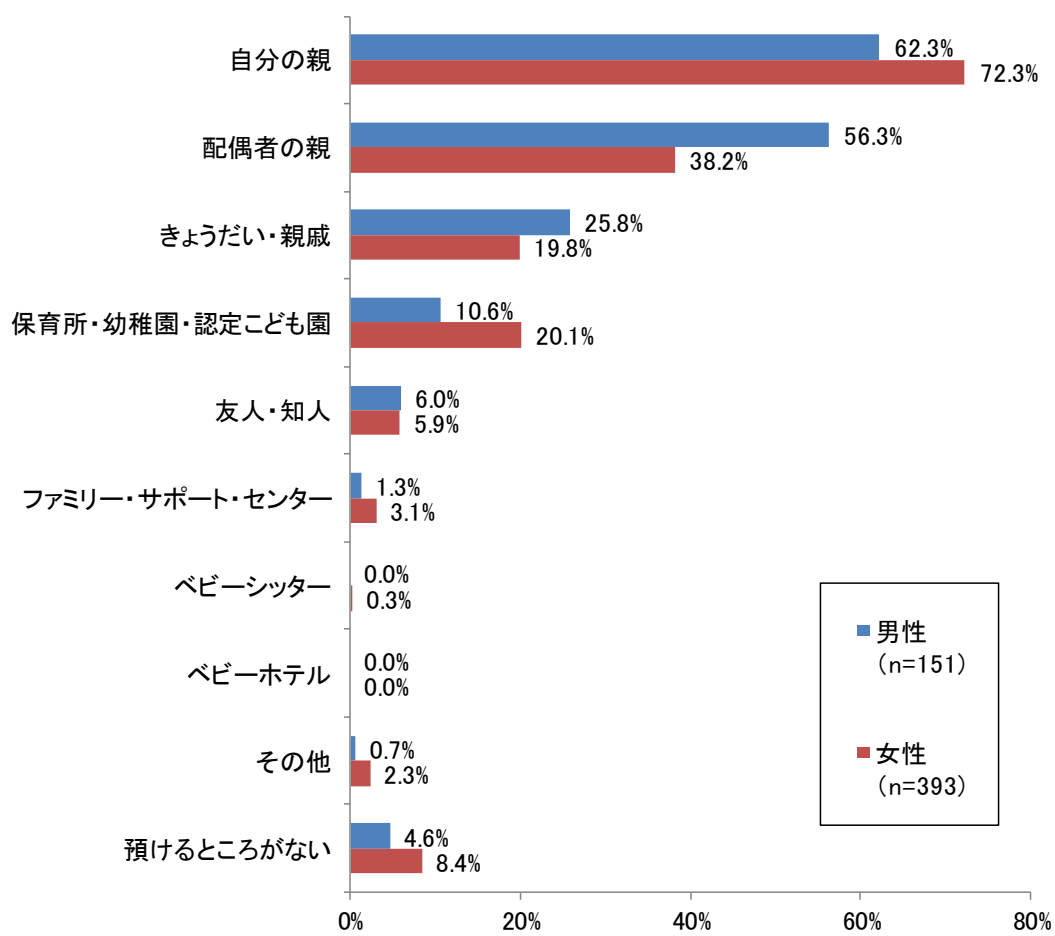
年代別では、いずれの年代も全体と概ね同様の傾向となっている。

二次医療圏別では、いずれの圏域も概ね同様の傾向となっている。その中で日南串間は「保育所・幼稚園・認定こども園」が31.8%で割合が高くなっている。また、宮崎東諸県では「預けるところがない」が11.9%で他の圏域よりも割合が高い状況にある。

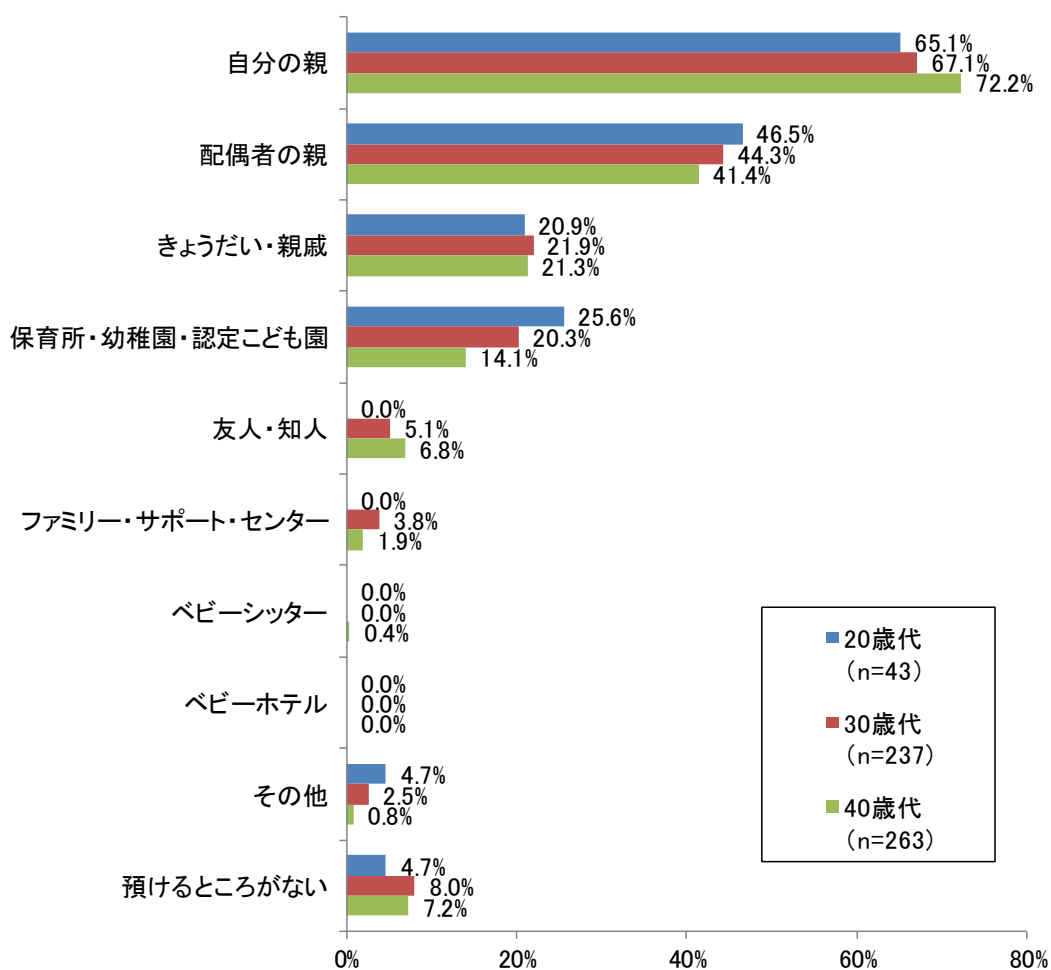
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞

	宮崎県北部 (n=66)	日向入郷 (n=45)	宮崎東諸県 (n=210)	西都児湯 (n=66)	日南串間 (n=22)	都城北諸県 (n=85)	西諸 (n=35)
自分の親	72.7%	71.1%	64.8%	65.2%	86.4%	70.6%	82.9%
配偶者の親	45.5%	48.9%	38.1%	53.0%	40.9%	36.5%	51.4%
きょうだい・親戚	18.2%	20.0%	20.0%	25.8%	13.6%	21.2%	31.4%
保育所・幼稚園・認定こども園	16.7%	22.2%	18.1%	15.2%	31.8%	14.1%	20.0%
友人・知人	4.5%	13.3%	5.2%	6.1%	4.5%	2.4%	8.6%
ファミリー・サポート・センター	4.5%	2.2%	1.4%	1.5%	0.0%	2.4%	8.6%
ベビーシッター	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ベビーホテル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	4.4%	1.4%	1.5%	4.5%	2.4%	2.9%
預けるところがない	4.5%	4.4%	11.9%	1.5%	0.0%	7.1%	5.7%

問30 子どもを家族・親族以外の誰かに預けてリフレッシュしたいと思ったことはありますか。

(○は1つ)

「1 ある」が46.3%、「2 ない」が53.7%となっている。

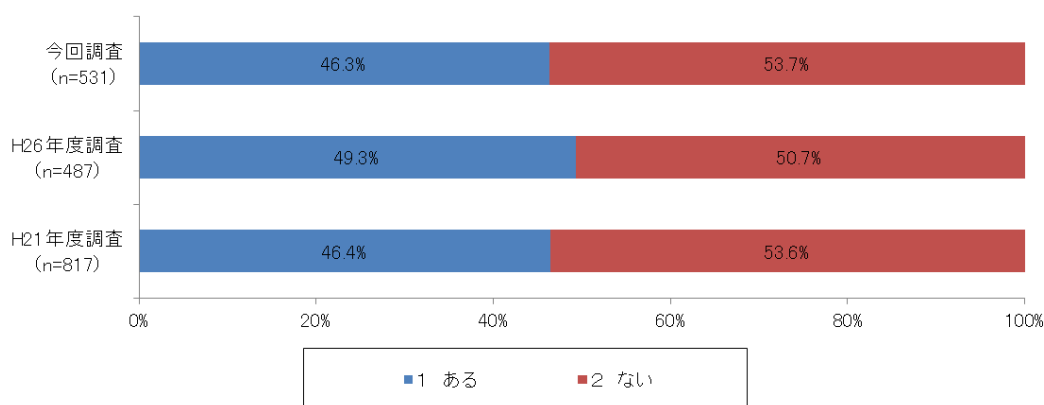
過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

性別では、女性の「1 ある」は51.0%で男性を18.1ポイント上回っている。

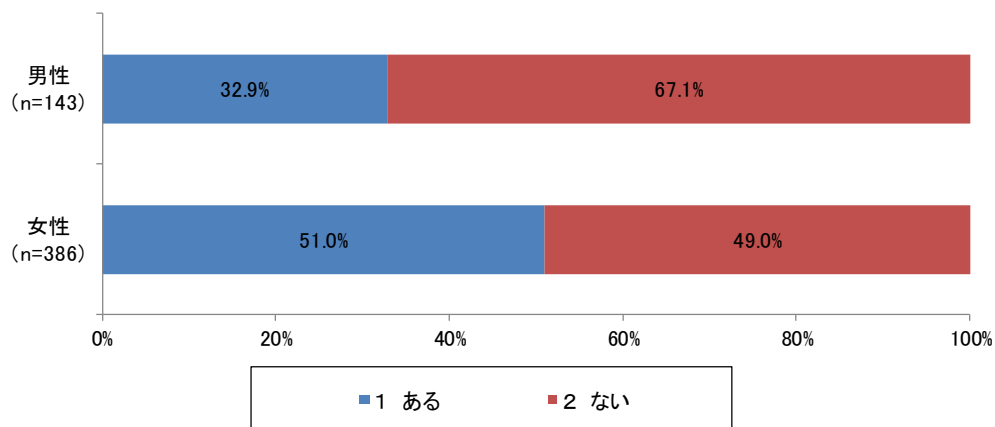
年代別では、いずれの年代も同様の傾向となっている。

二次医療圏別では、宮崎県北部と宮崎東諸県で「1 ある」が全体(46.3%)を上回っている。

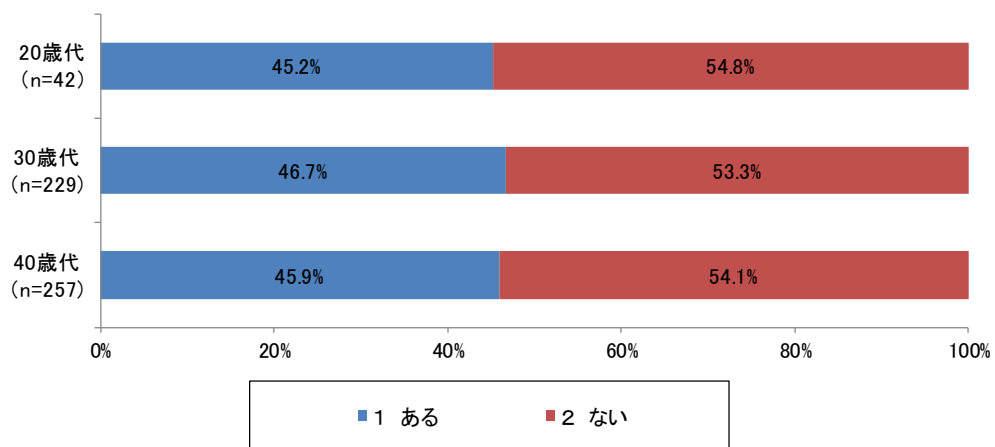
<過去調査との比較>



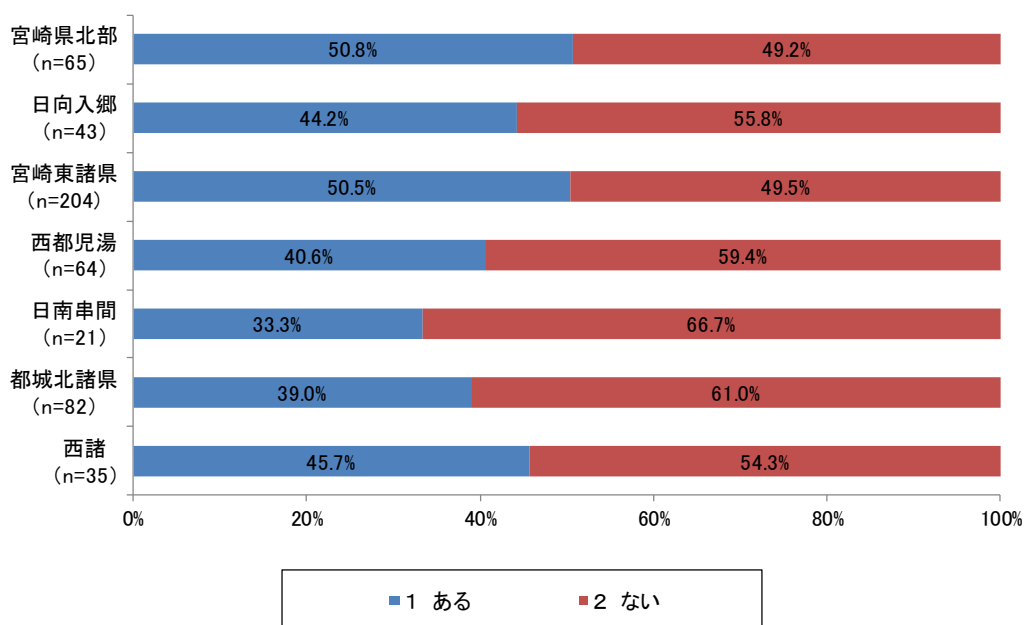
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



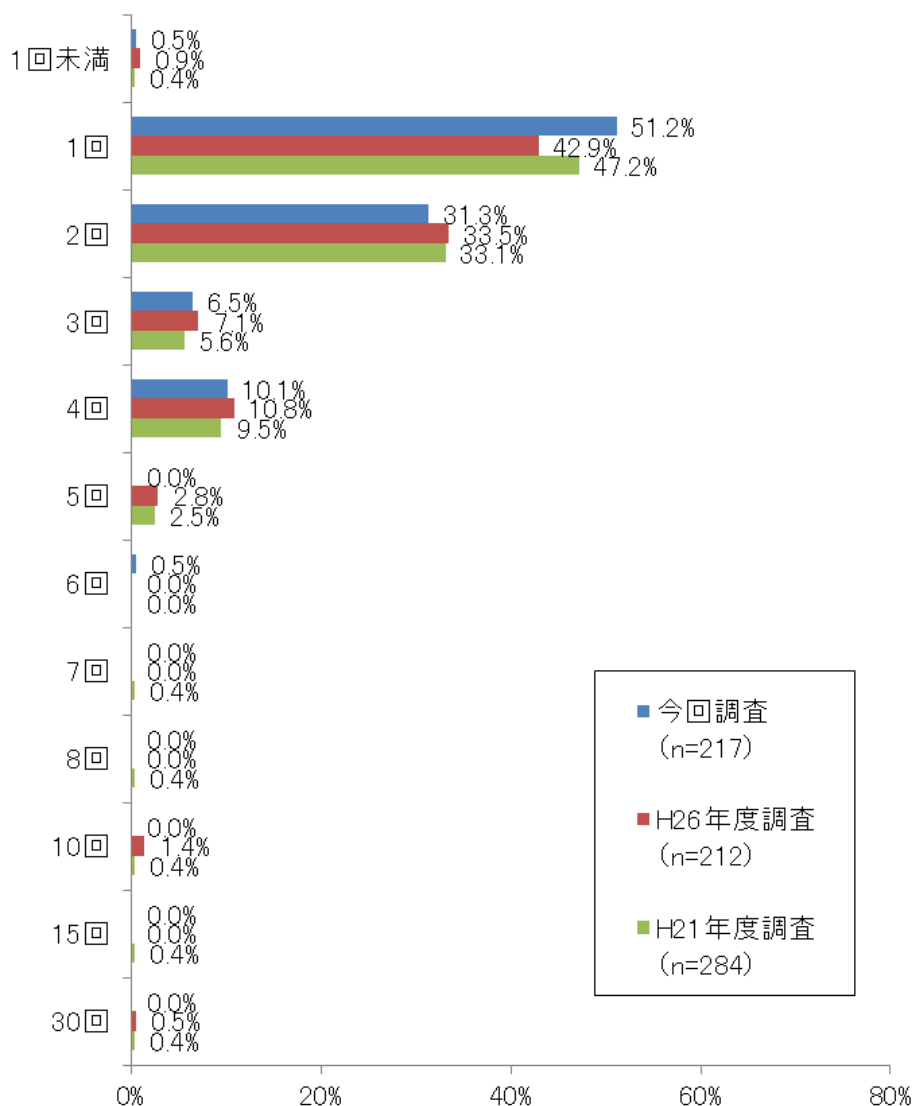
○ある場合は回数と平均的な時間をご記入ください。

(1) 月回数

「1回」が51.2%で最も多く、「2回」(31.3%)が次に多くなっている。

過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

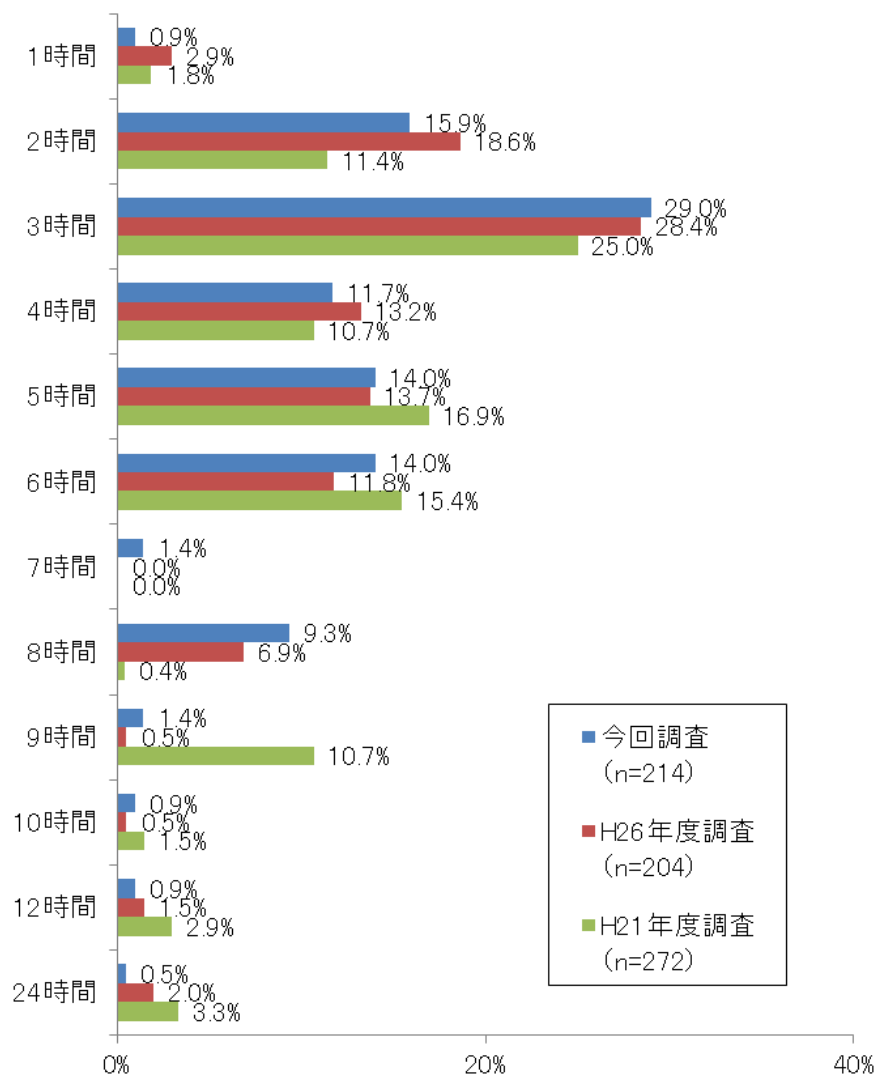
<過去調査との比較>



(2) 1回あたり時間

「3時間」が29.0%で最も多く、「2時間」(15.9%)が次に多くなっている。
過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。

<過去調査との比較>



問31 問30で選択肢「1 ある」を選ばれた方におうかがいします。

子どもを預ける場合、どのようなサービスを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

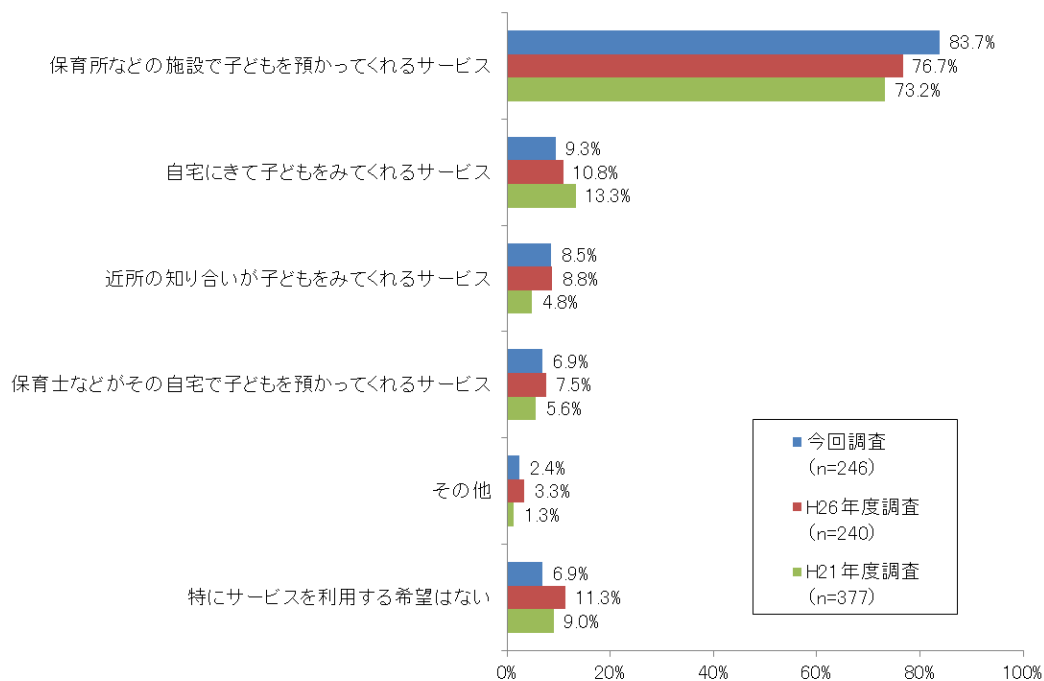
「保育所などの施設で子どもを預かってくれるサービス」(83.7%)の割合が最も高くなっている。

過去調査との比較では、いずれも概ね同様の傾向を示している。

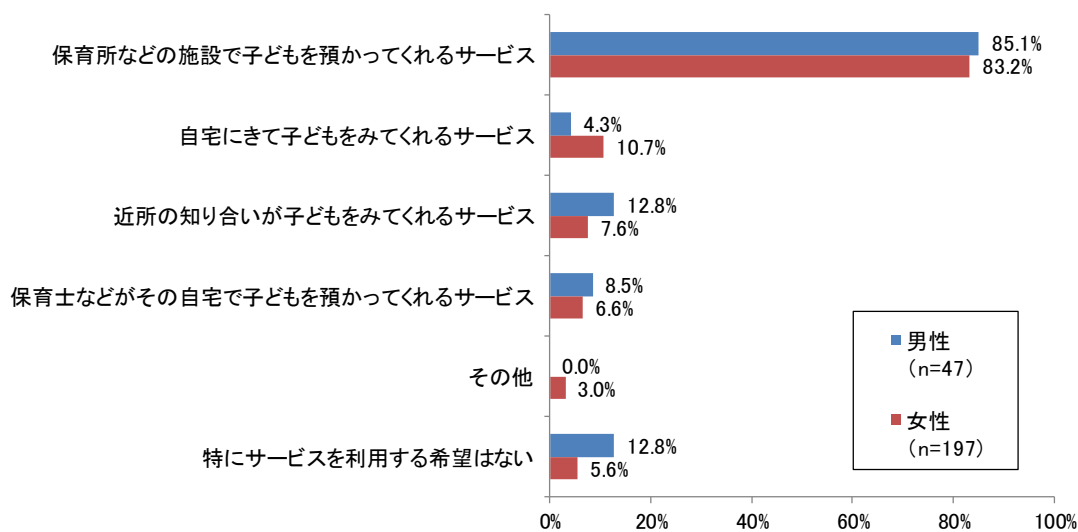
性別、年代別でも全体と概ね同様の傾向を示している。

※二次医療圏別は回答数が少ないため、分析は行わない。

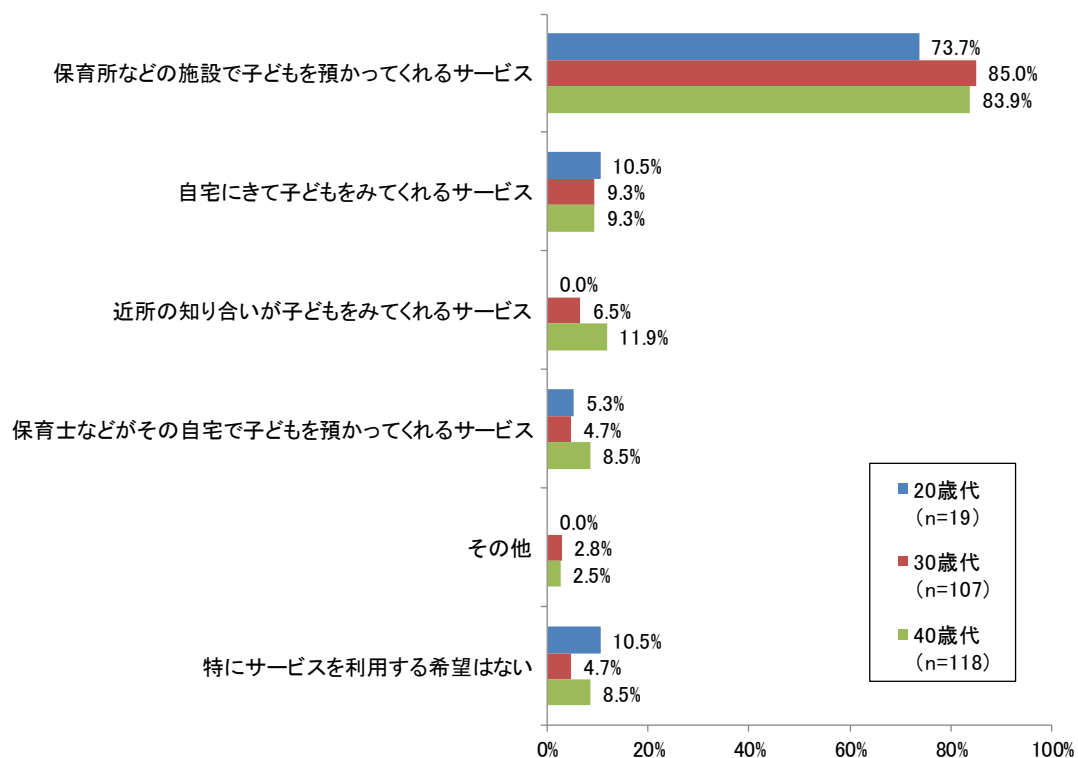
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



<二次医療圏別> (参考)

	宮崎県北部 (n=33)	日向入郷 (n=19)	宮崎東諸県 (n=103)	西都児湯 (n=26)	日南串間 (n=7)	都城北諸県 (n=32)	西諸 (n=16)
保育所などの施設で子どもを預かってくれるサービス	78.8%	73.7%	85.4%	73.1%	85.7%	87.5%	93.8%
自宅にきて子どもをみてくれるサービス	12.1%	15.8%	6.8%	15.4%	0.0%	6.3%	12.5%
近所の知り合いが子どもをみてくれるサービス	9.1%	10.5%	7.8%	15.4%	0.0%	9.4%	6.3%
保育士などがその自宅子どもを預かってくれるサービス	3.0%	5.3%	6.8%	11.5%	0.0%	9.4%	6.3%
その他	6.1%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%
特にサービスを利用する希望はない	12.1%	10.5%	5.8%	3.8%	14.3%	9.4%	0.0%

問32 子どもが病気や病気回復期であり、家族が面倒をみるのが困難な場合に、医療機関との連携のもとに看護師などが預かるサービスがあるとしたら、どのような条件の場合に利用したいと思いますか。(〇は1つ)

「医療機関の専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」(49.5%)の割合が最も高くなっている。次に「保育所などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」(40.0%)となっている。

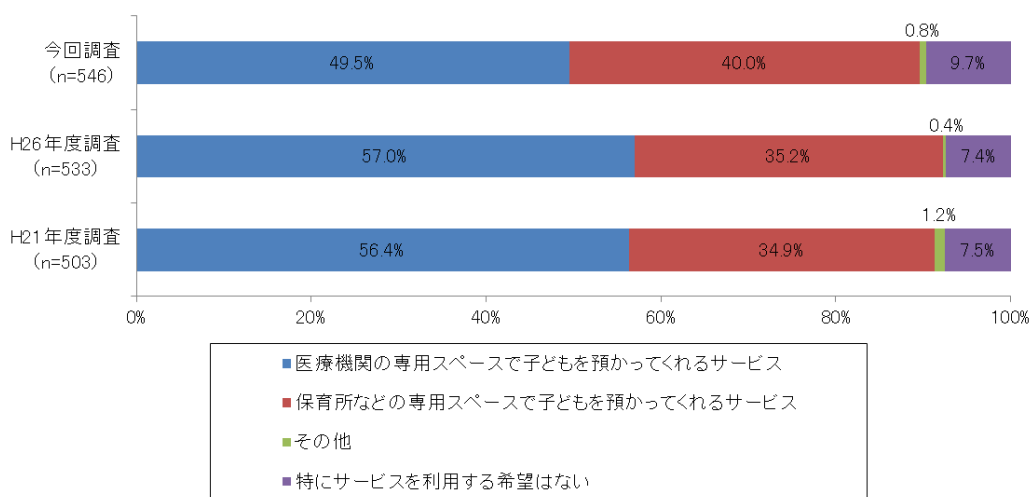
過去調査との比較では、概ね同様の傾向を示しているが、「保育所などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」の割合が増加傾向を示している。

性別では、男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。

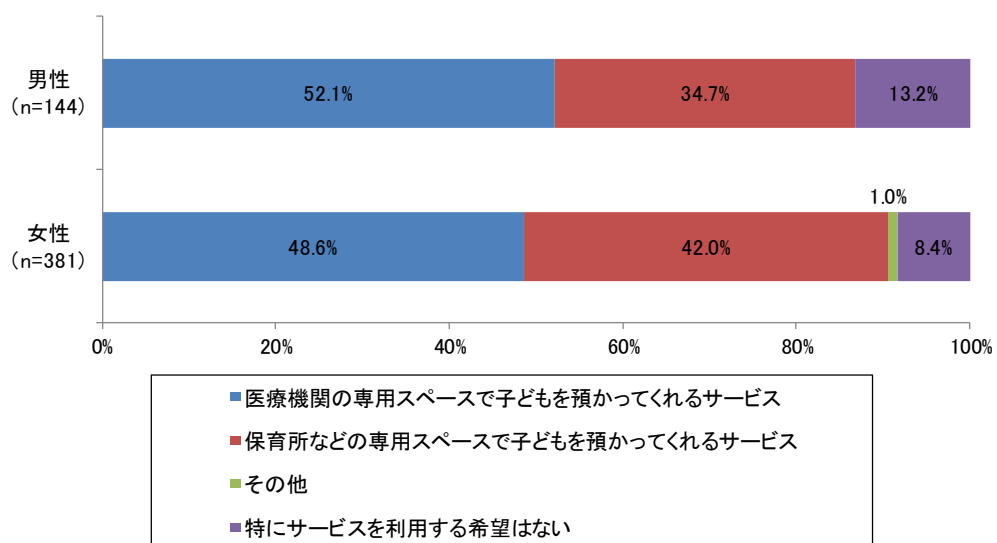
年代別では、若い年代では「保育所などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」、年代が高くなると「医療機関の専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」の割合が高くなっている。

二次医療圏別では、宮崎県北部、宮崎東諸県、西都児湯で「医療機関の専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」が全体(49.5%)を上回っている。日南串間では、「保育所などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」(57.1%)が全体(40.0%)を大きく上回っている。

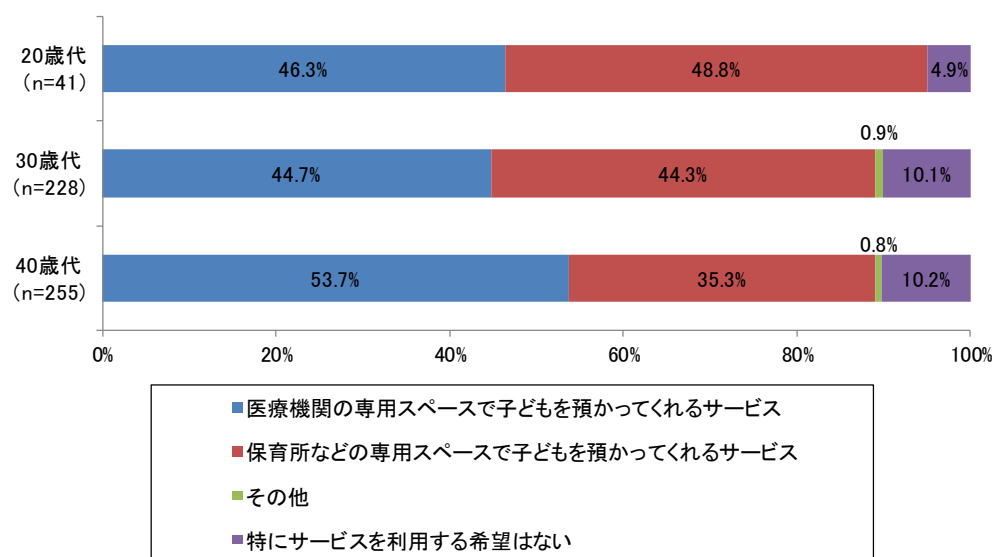
<過去調査との比較>



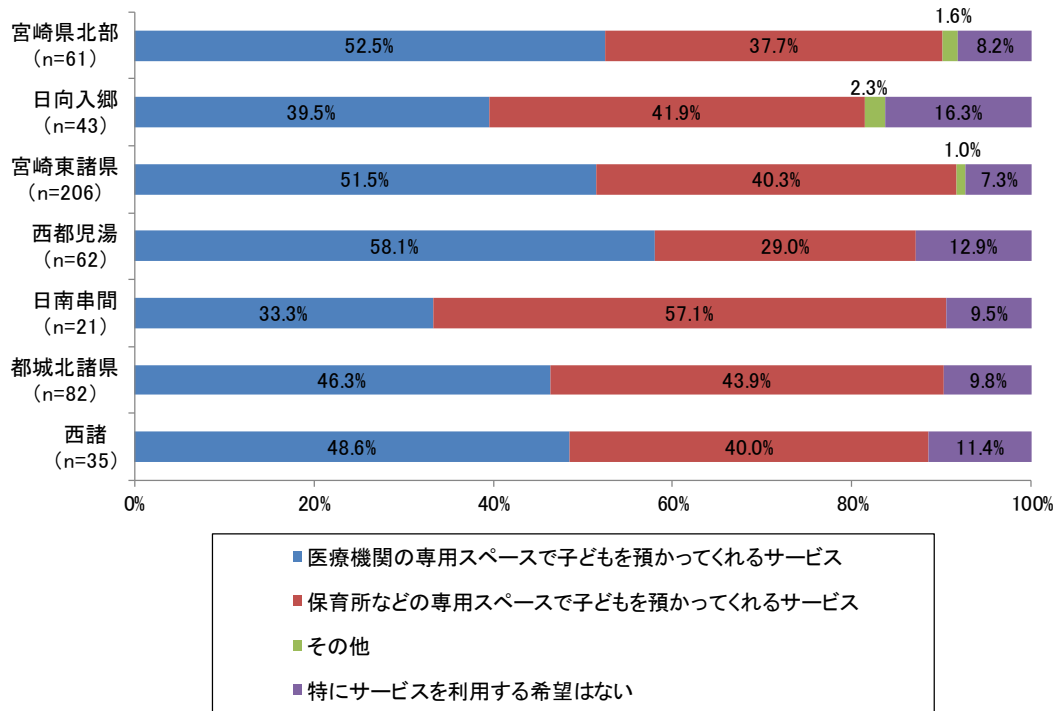
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



9. 問33については、子どもをお持ちでない方のみお答えください。

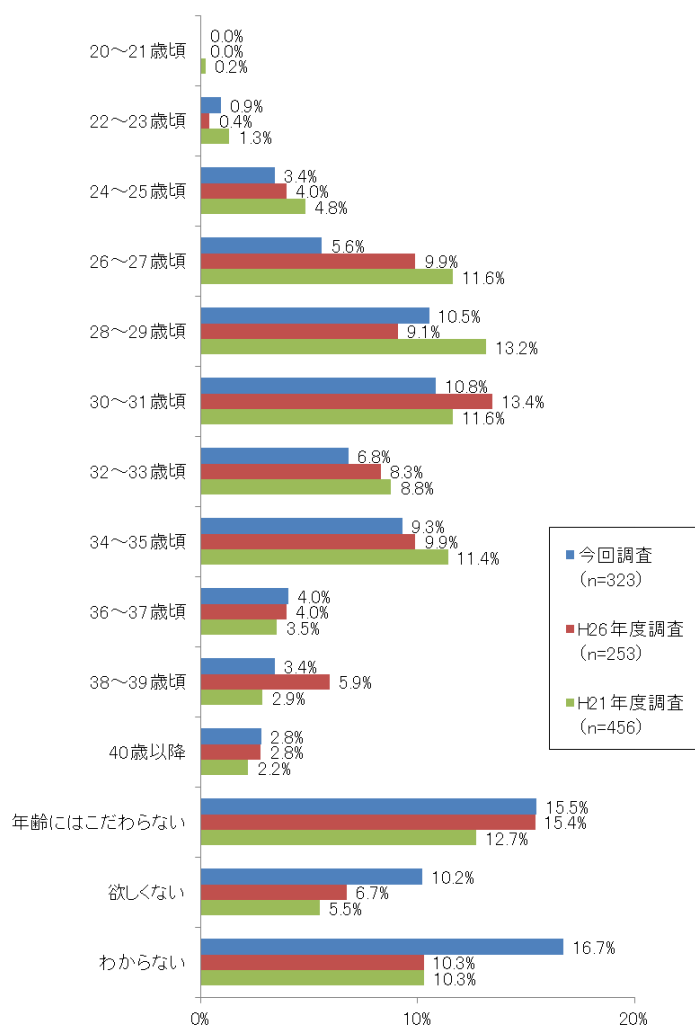
問33 あなたは何歳ぐらいまでに子どもがほしいと思いますか。(〇は1つ)

「わからない」(16.7%)の割合が最も高く、「年齢にはこだわらない」(15.5%)が次に高くなっている。具体的な年齢としては、「30～31歳」(10.8%)、「28～29歳」(10.5%)、「34～35歳」(9.3%)の順になっている。

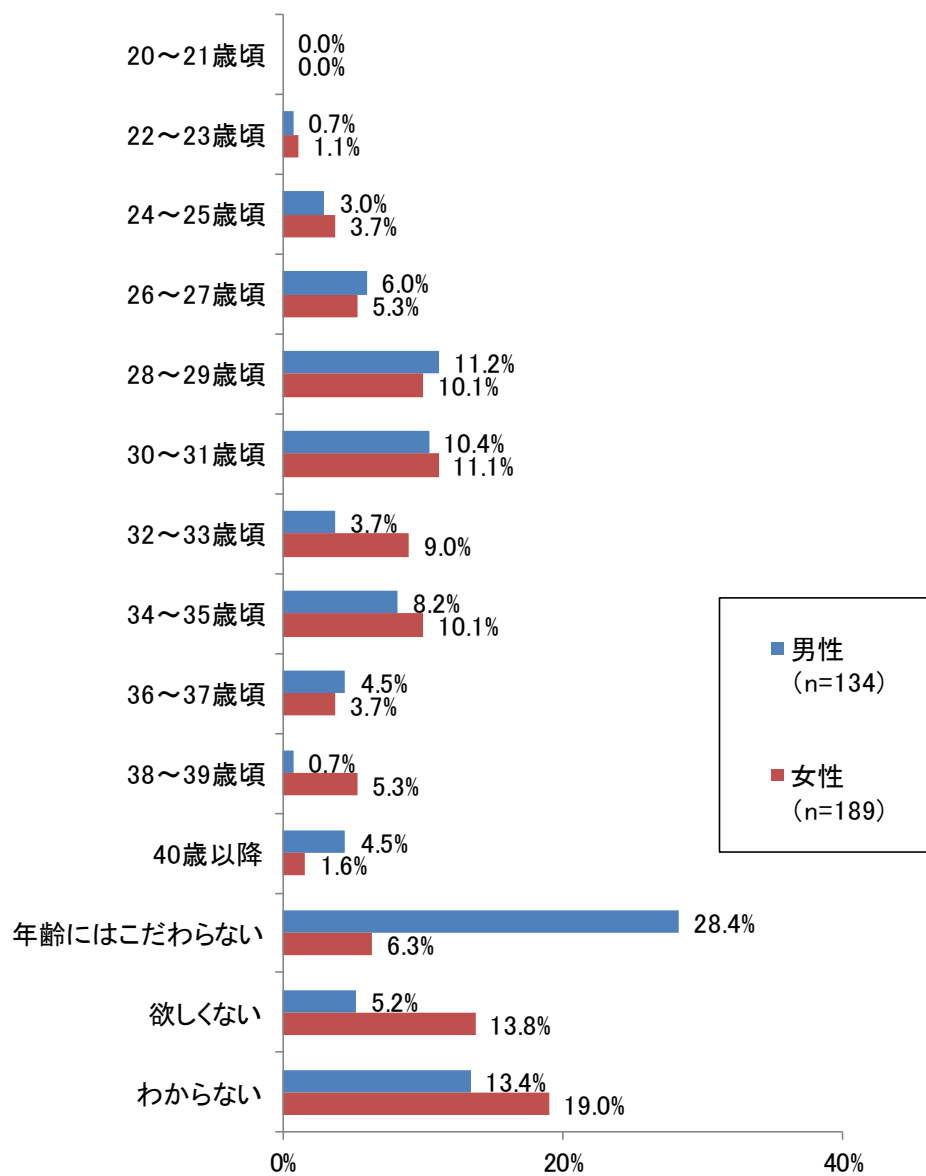
過去調査との比較では、「わからない」を除けば今回も過去と同じように「年齢にはこだわらない」の割合が最も高くなっている。なお、「欲しくない」(今回10.2%)が過去より高まる傾向を示している。

性別では、全体とほぼ同じ傾向にあるが、男性は「年齢にはこだわらない」(28.4%)が女性(6.3%)を大きく上回っている。また、「欲しくない」は女性(13.8%)が男性(5.2%)を上回っている。

<過去調査との比較>



<性別>



10. 問34～問37については、未婚の方のみお答えください。

問34 あなたが独身でいる理由は何ですか。(2つまで○)

「結婚したいと考える相手にめぐり合わないから」(44.5%)の割合が最も高く、他の理由を大きく上回っている。

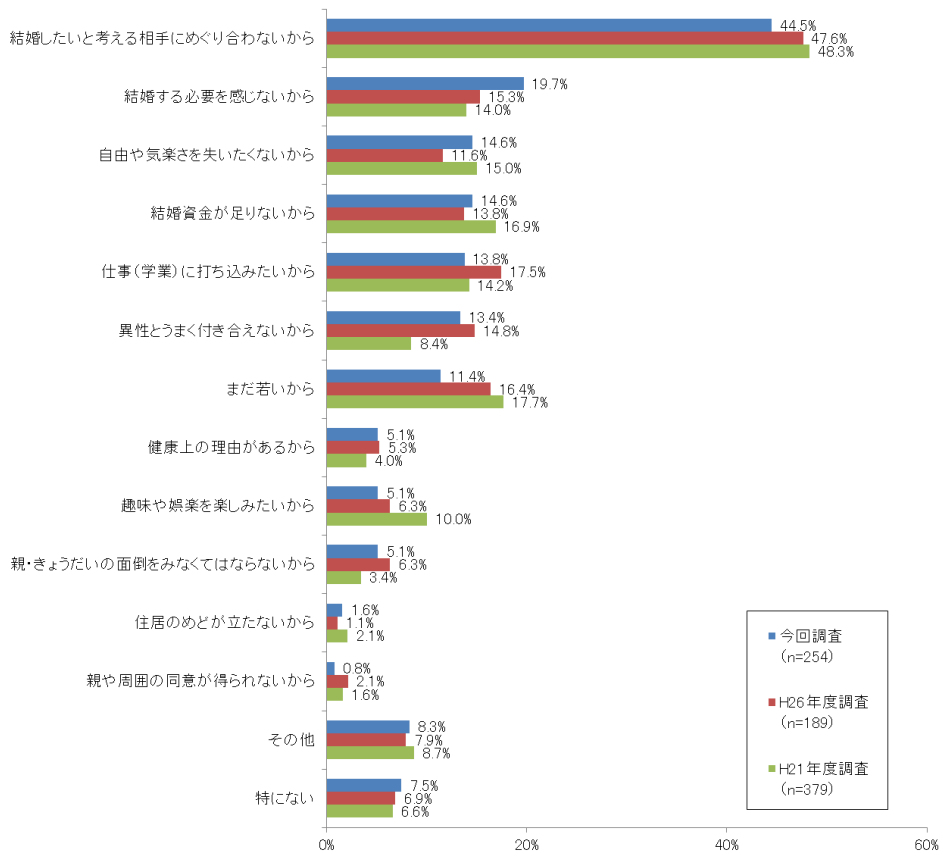
過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっている。その中で、理由第2位の「結婚する必要を感じないから」は過去を上回る傾向を示している。

性別では、「結婚したいと考える相手にめぐり合わないから」(男性:36.0%、女性:51.0%)、「結婚する必要を感じないから」(男性:15.3%、女性:23.1%)の割合は、女性が男性を大きく上回っている。なお、男性は、「結婚資金が足りないから」(男性:21.6%、女性:9.1%)の割合が女性を大きく上回っている。

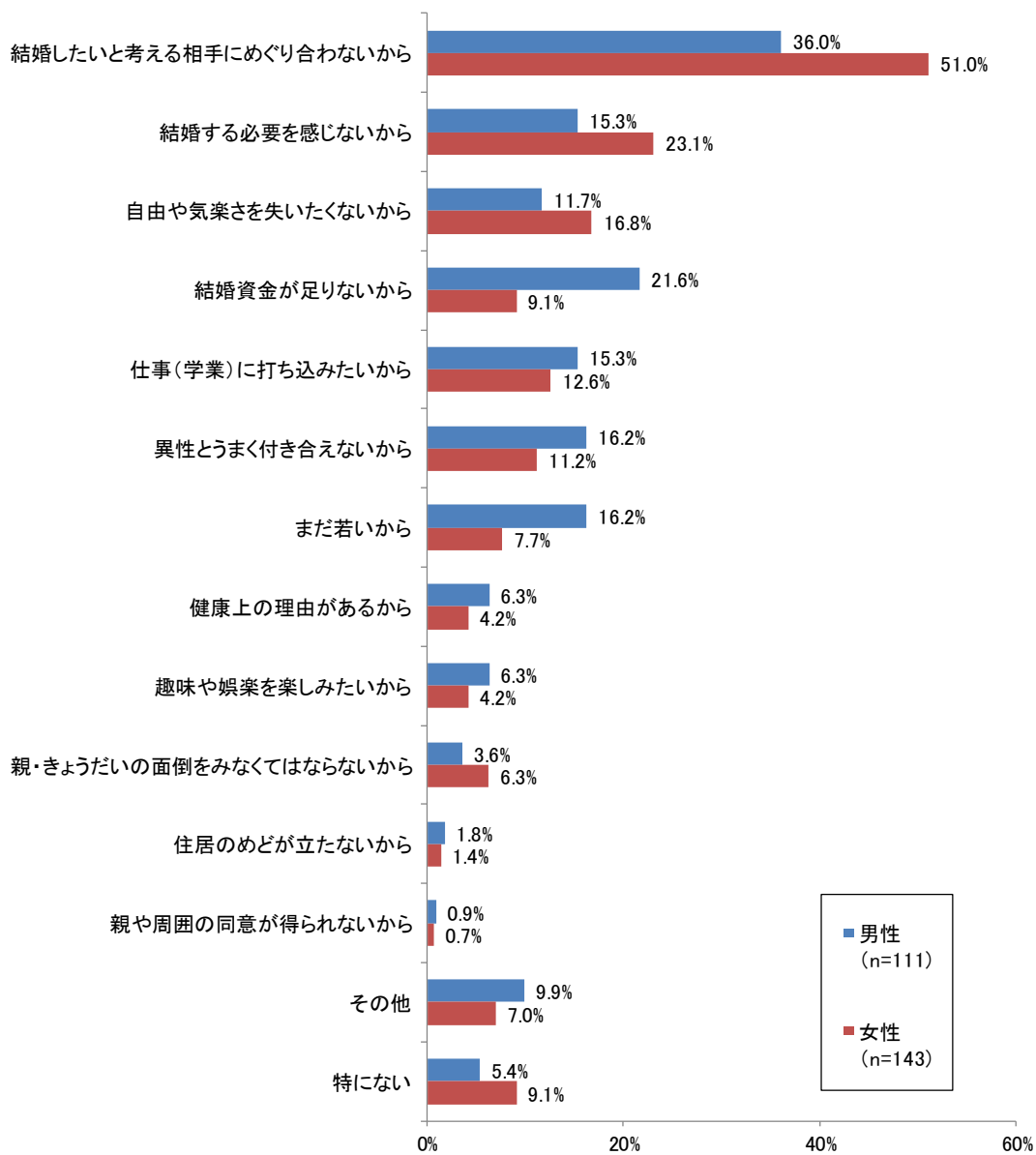
年代別では、30歳代で「結婚したいと考える相手にめぐり合わないから」の割合(63.9%)が他の年代よりも割合が顕著に高くなっている。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いて回答数が少ないため分析は行わない。

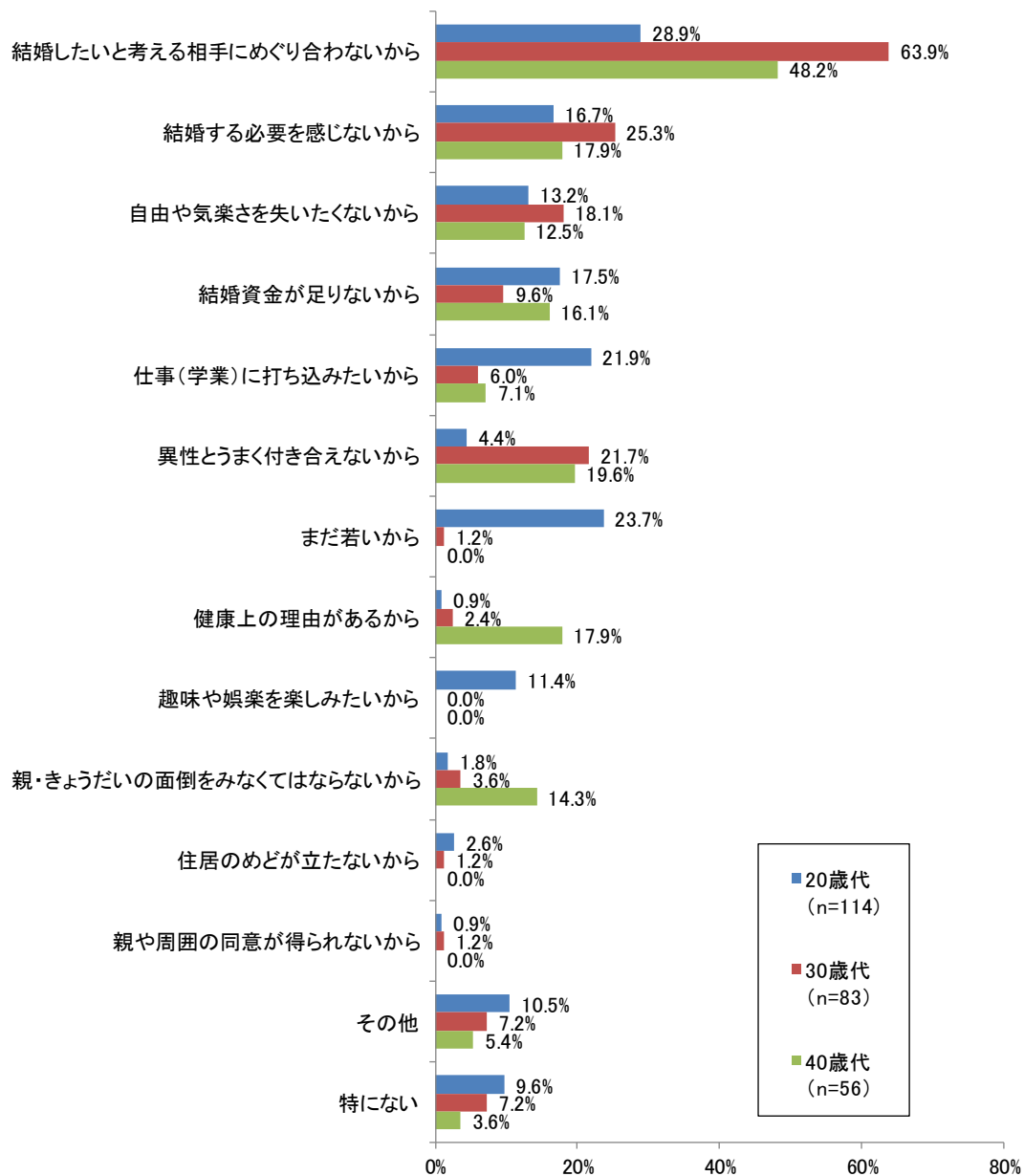
<過去調査との比較>



<性別>



<年代別>



＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=35)	日向入郷 (n=20)	宮崎東諸県 (n=108)	西都児湯 (n=20)	日南串間 (n=15)	都城北諸県 (n=33)	西諸 (n=12)
結婚したいと考える相手にめぐり合わないから	51.4%	50.0%	40.7%	40.0%	60.0%	45.5%	50.0%
結婚する必要を感じないから	22.9%	15.0%	17.6%	20.0%	46.7%	9.1%	33.3%
自由や気楽さを失いたくないから	11.4%	15.0%	13.9%	10.0%	13.3%	9.1%	25.0%
結婚資金が足りないから	14.3%	15.0%	15.7%	15.0%	13.3%	12.1%	8.3%
仕事(学業)に打ち込みたいから	11.4%	10.0%	13.0%	15.0%	0.0%	24.2%	16.7%
異性とうまく付き合えないから	14.3%	5.0%	12.0%	15.0%	6.7%	21.2%	25.0%
まだ若いから	5.7%	15.0%	13.9%	25.0%	0.0%	12.1%	0.0%
健康上の理由があるから	5.7%	5.0%	2.8%	5.0%	0.0%	9.1%	8.3%
趣味や娯楽を楽しみたいから	5.7%	0.0%	5.6%	5.0%	6.7%	9.1%	0.0%
親・きょうだいの面倒をみなくてはならないから	5.7%	10.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
住居のめどが立たないから	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	6.7%	6.1%	0.0%
親や周囲の同意が得られないから	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%
その他	8.6%	5.0%	7.4%	5.0%	0.0%	21.2%	0.0%
特になし	5.7%	0.0%	13.0%	5.0%	0.0%	3.0%	8.3%

問35 あなたは現在、独身であることに対してどのように感じていますか。(2つまで○)

「特に意識していない」(36.6%)の割合が最も高く、「将来結婚できるかどうか不安だ」(29.1%)が次に高くなっている。

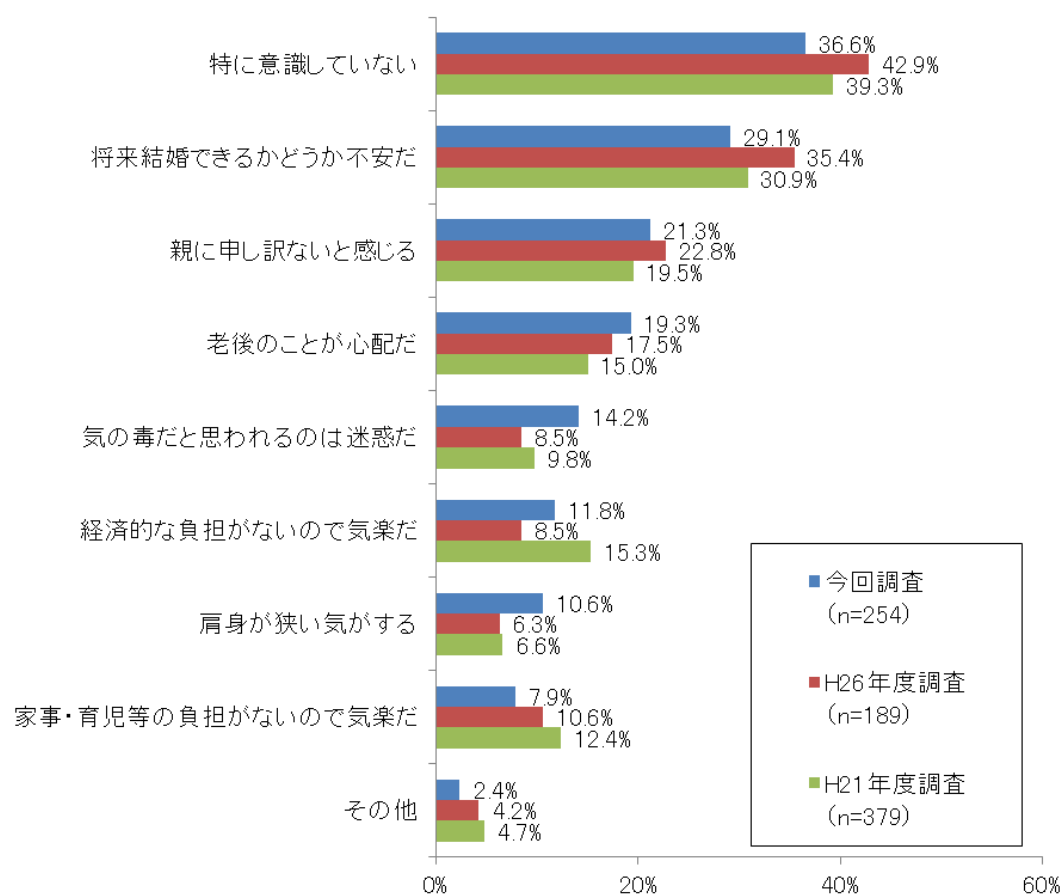
過去調査との比較では、項目の上位は概ね同様の傾向を示している。

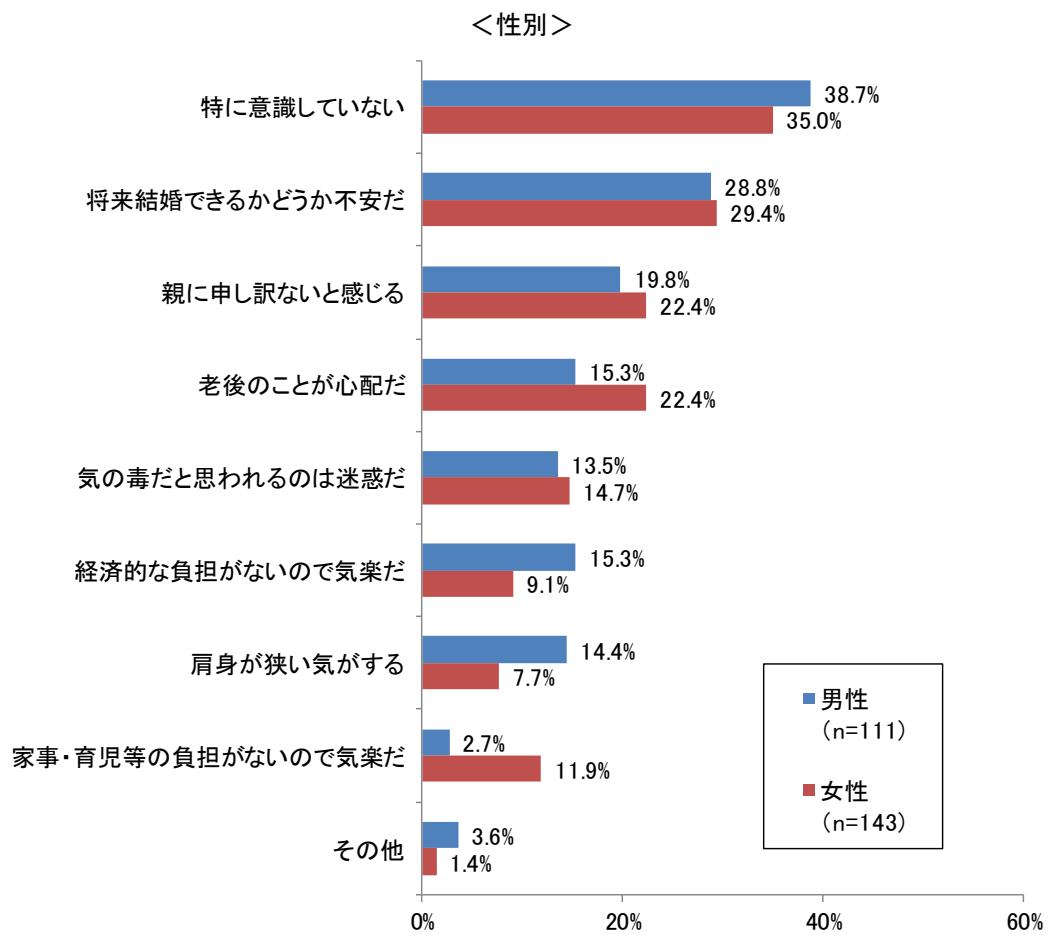
性別では男女とも全体と概ね同様の傾向を示している。

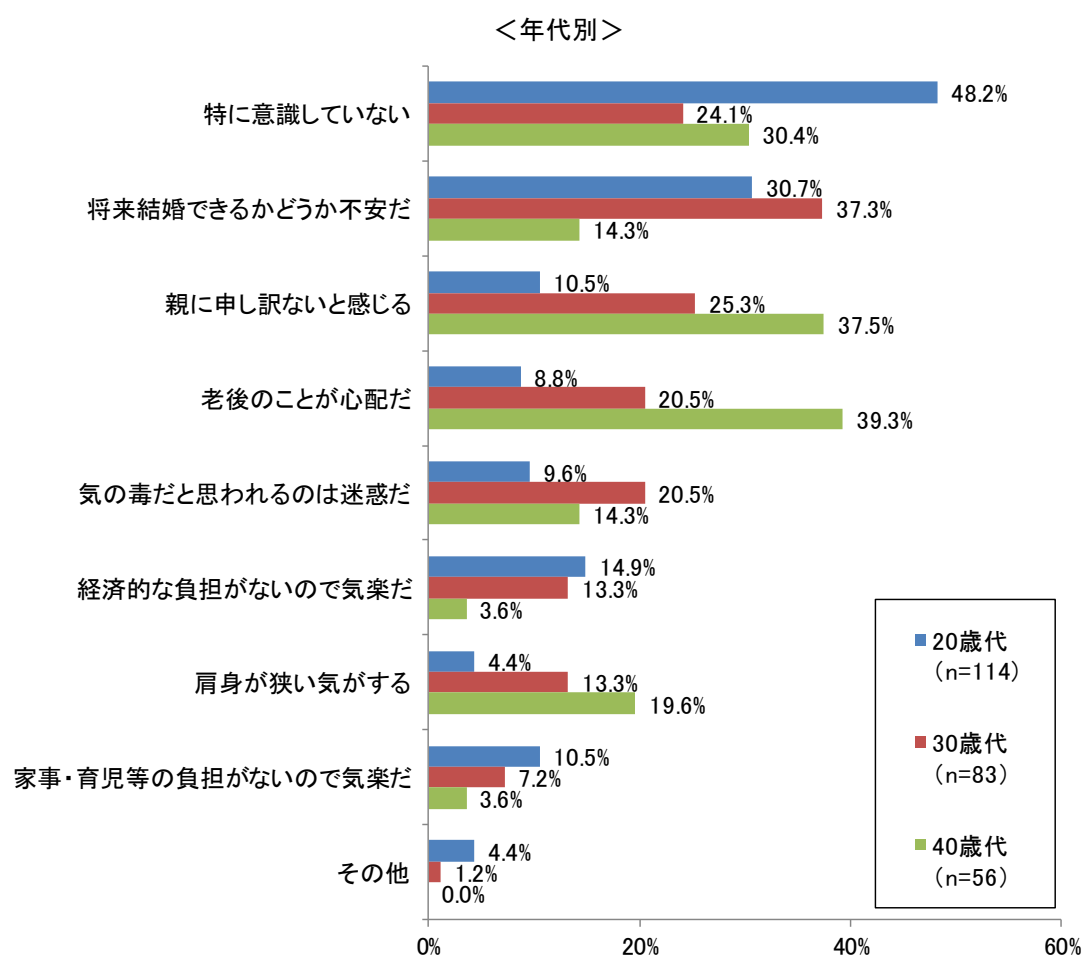
年代別では、20歳代で「特に意識していない」(48.2%)の割合が最も高い。30歳代は「将来結婚できるかが不安だ」(37.3%)の割合が最も高くなっている。40歳代は「老後のことが心配だ」(39.3%)の割合が最も高く、次に「親に申し訳ないと感じる」(37.5%)となっている。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いて回答数が少ないため分析は行わない。

<過去調査との比較>







＜二次医療圏別＞（参考）

	宮崎県北部 (n=35)	日向入郷 (n=20)	宮崎東諸県 (n=108)	西都児湯 (n=20)	日南串間 (n=15)	都城北諸県 (n=33)	西諸 (n=12)
特に意識していない	28.6%	50.0%	33.3%	55.0%	33.3%	30.3%	50.0%
将来結婚できるかどうか不安だ	40.0%	10.0%	28.7%	25.0%	20.0%	33.3%	41.7%
親に申し訳ないと感じる	22.9%	15.0%	25.9%	20.0%	20.0%	15.2%	8.3%
老後のことが心配だ	14.3%	25.0%	19.4%	10.0%	13.3%	36.4%	0.0%
気の毒だと思われるのは迷惑だ	8.6%	15.0%	13.0%	20.0%	40.0%	15.2%	8.3%
経済的な負担がないので気楽だ	17.1%	5.0%	11.1%	5.0%	6.7%	18.2%	8.3%
肩身が狭い気がする	20.0%	5.0%	8.3%	10.0%	13.3%	12.1%	8.3%
家事・育児等の負担がないので気楽だ	8.6%	15.0%	4.6%	0.0%	6.7%	3.0%	25.0%
その他	5.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問36 自分の一生を通じて考えた場合、結婚に対してどのような考えを持っていますか。

(1つに○)

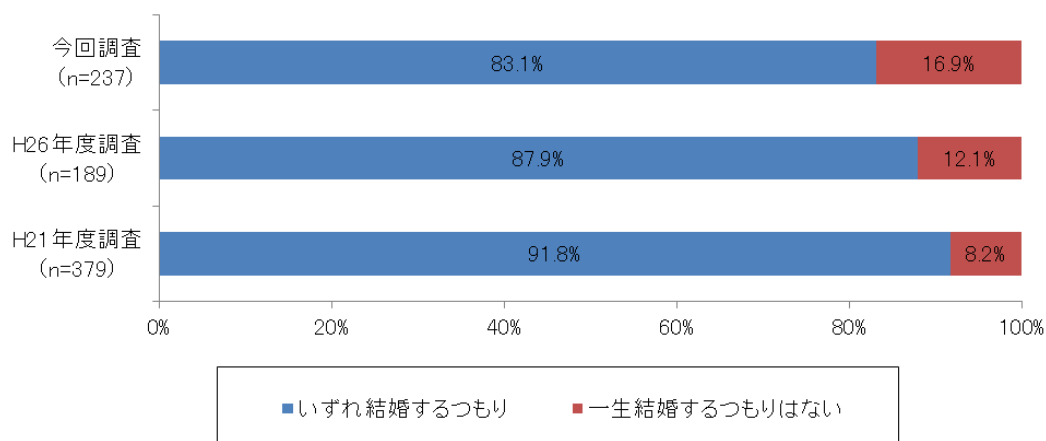
「いずれ結婚するつもり」(83.1%)が8割を超えている。

一方、「一生結婚するつもりはない」(16.9%)は過去と比べ高まる傾向を示している。

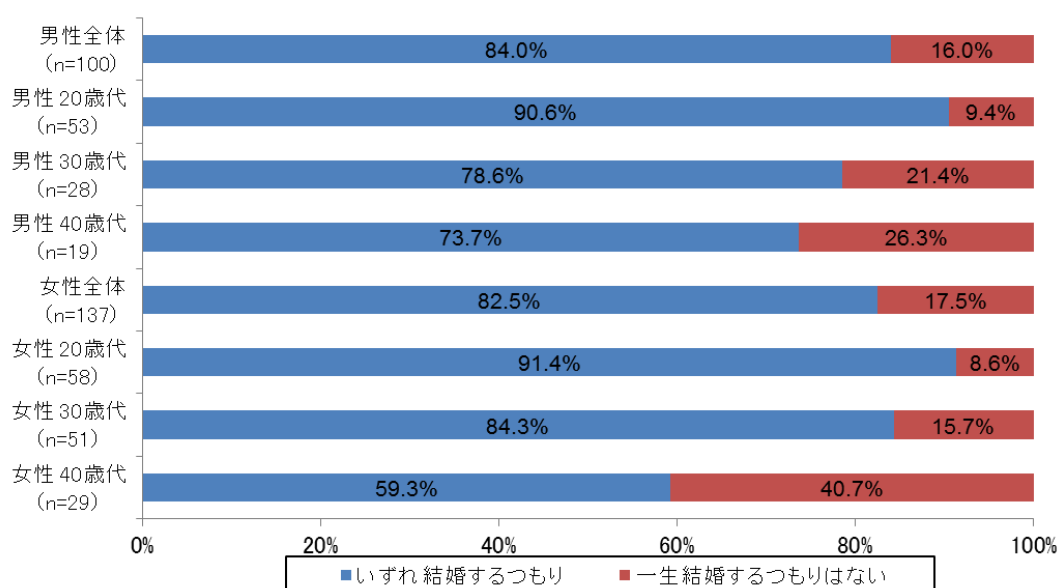
性別では、男女ともに同様の傾向にあり、それぞれの年代別では、年代が上がるにつれて「一生結婚するつもりはない」の割合が高くなっている。その中で、女性40歳代の割合(40.7%)は他を大きく上回っている。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いて回答数が少ないため分析は行わない。

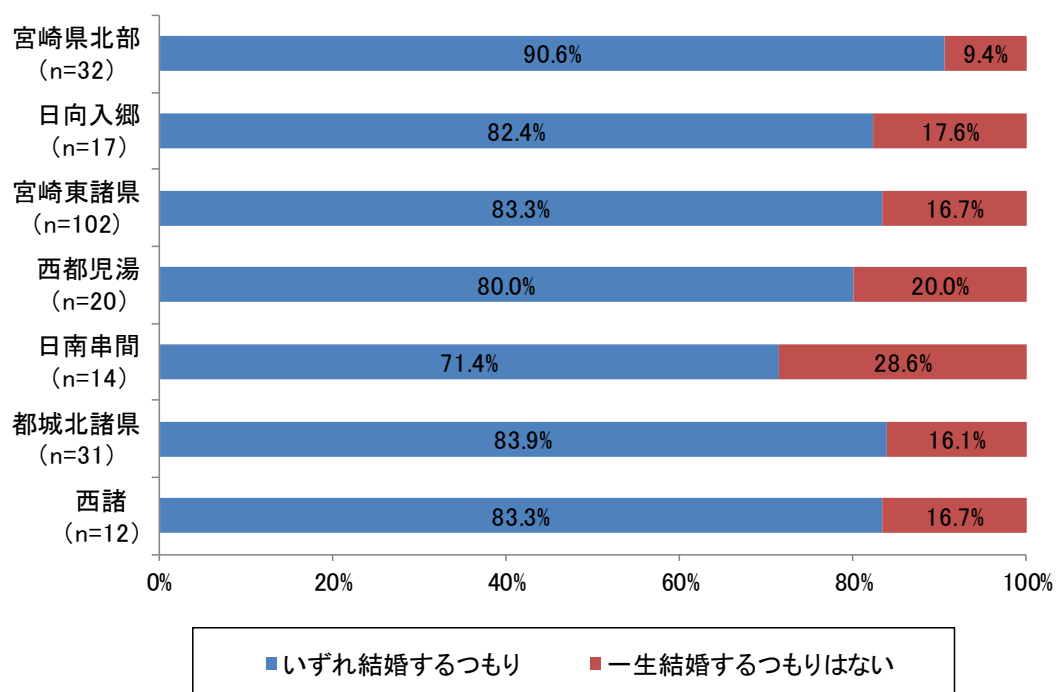
<過去調査との比較>



<性別・年代別>



<二次医療圏別> (参考)



問37 問36で選択肢「いずれ結婚するつもり」を選ばれた方におうかがいします。

(1)結婚する時期について、あなたはどのような考えを持っていますか。(〇は1つ)

「ある程度の年齢までには結婚するつもり」の割合が54.1%で、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」が45.9%となっている。

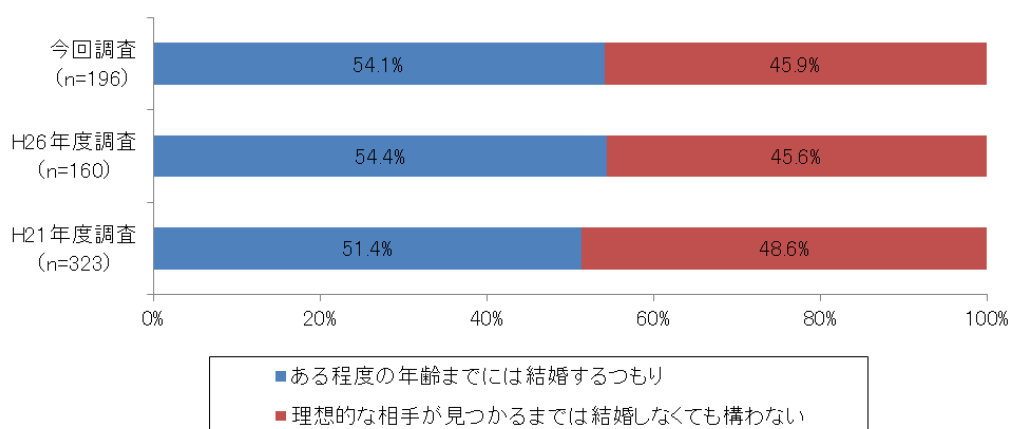
過去調査との比較では、概ね同様の傾向となっているが、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」の割合はやや低下する傾向を示している。

性別では、男女ともに同様の傾向にある。

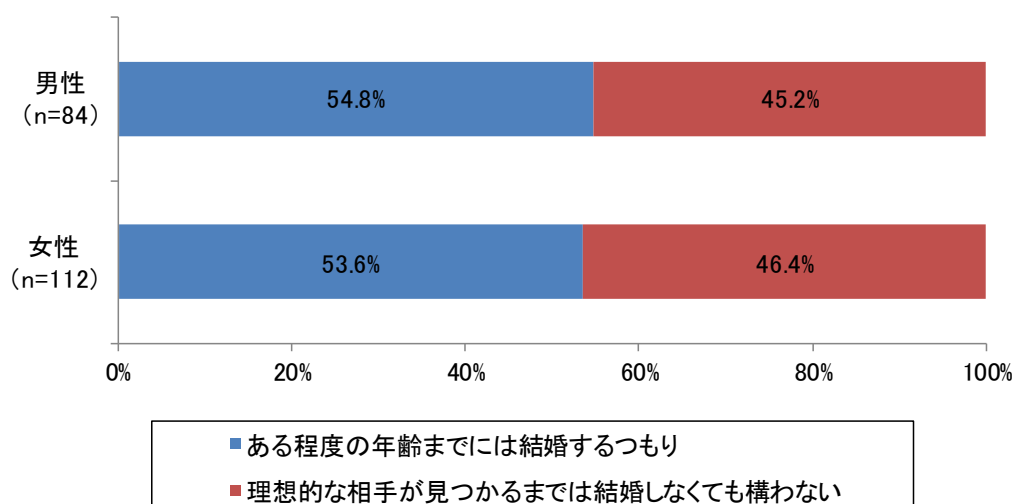
年代別では、年代が上がるにつれて「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくても構わない」の割合が高くなっており、40歳代では76.7%となっている。

※二次医療圏別は、宮崎東諸県を除いて回答数が少ないため分析は行わない。

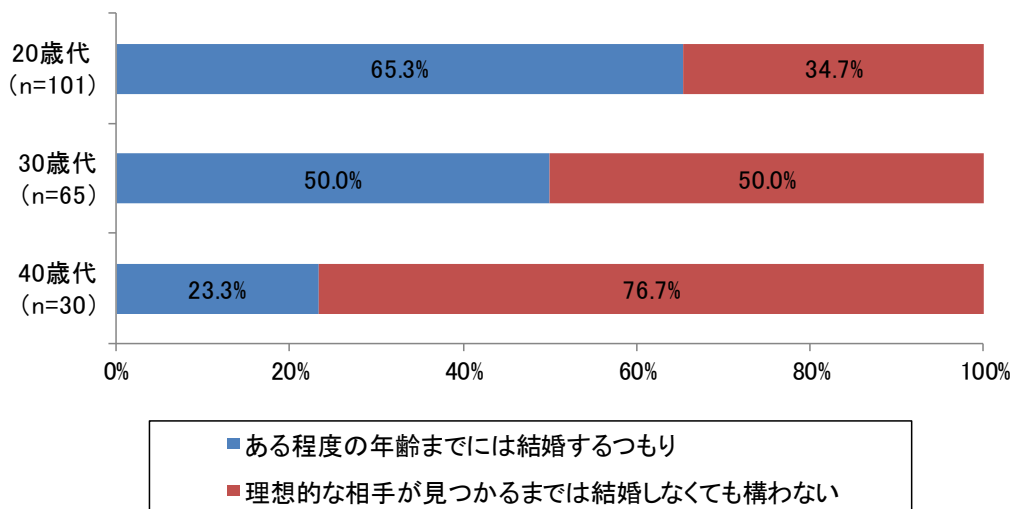
<過去調査との比較>



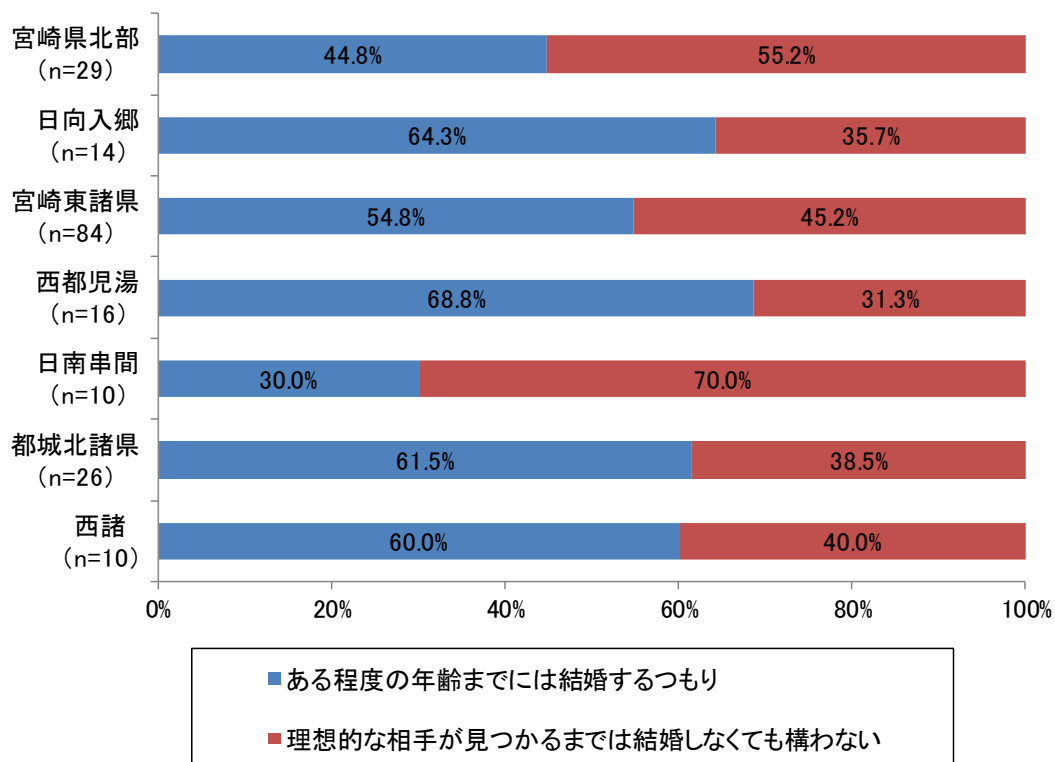
<性別>



<年代別>



<二次医療圏別>



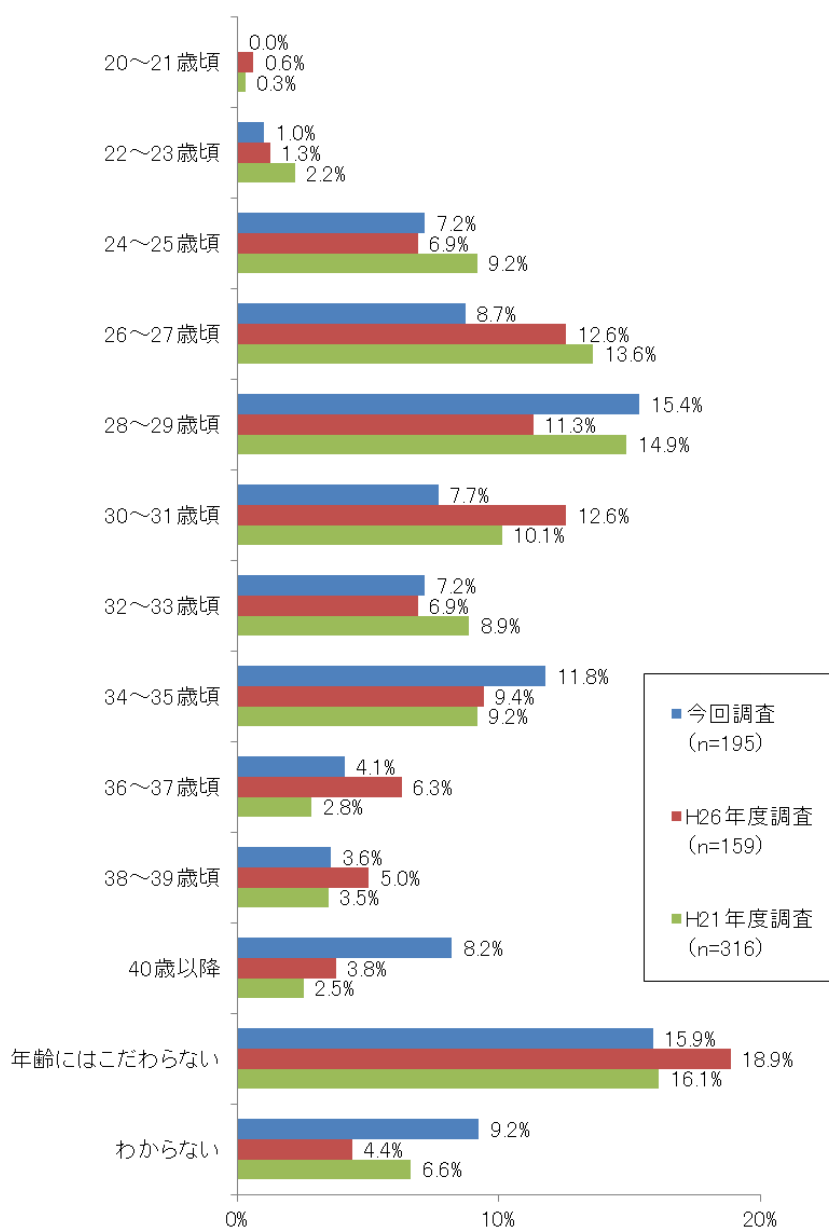
(2) あなたは何歳ぐらいまでに結婚したいと考えていますか。(〇は1つ)

「年齢にはこだわらない」(15.9%)の割合が最も高くなっている。次に「28～29歳頃」(15.4%)となっている。

今回と過去調査との比較では、年齢等の割合に大きな変化はみられない状況にある。

性別では、男性は「年齢にはこだわらない」(男性:21.4%、女性:11.7%)の割合が最も高く、女性を9.7ポイント上回っている。この項目以外については、「わからない」を除けば、性別に大きな差異はみられない。

<過去調査との比較>



<性別>

